

MUTOH

創造、大切にします

取扱説明書

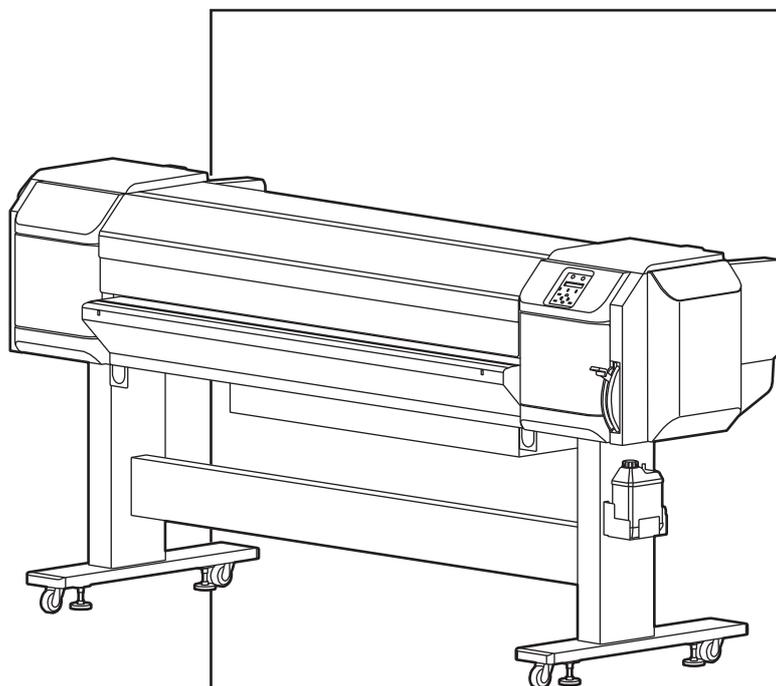
OPERATION MANUAL

Full-Color Inkjet Printer

ValueJet

フルカラー・インクジェットプリンタ

VJ-1638UH Mark II



ご使用前に必ずお読みください

管理 No.

VJ1638UH2J-A-03

重要なお知らせ

この装置は、クラスA 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

1. 受信障害について

この製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もしもこの製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダの方向を変えてみる
- この製品の使用方向を変えてみる
- 受信機とこの製品の距離を変えてみる
- この製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

2. 本書記載の商標

- MUTOH、ValueJet、VJ-1638UH Mark II、MH-RTL は、武藤工業株式会社の商標および商品名です。
- Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7 は、米国マイクロソフト社の商標もしくは商品名です。
- 各社名、各機種名は、各社の商標もしくは商品名です。

注 記

- 本製品および本書の内容の全部または一部を個人で使用する他は、著作権者である弊社の承諾を得ずに複写・複製・転載することを禁止します。
- 本製品や本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 本製品および本書を運用した結果につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

1. 本製品のマニュアル構成

本製品のマニュアルは、次の3部構成となっています。

設置要領書

本製品の開梱、設置、使用前の準備までの作業手順について説明しています。

プリンタ・アクティベーションガイド

本製品の初回起動時に行う作業の手順を説明しています。

取扱説明書（本書）

2. 本書の目的と対象者

本書は、武藤工業株式会社のフルカラー・インクジェットプリンタ（VJ-1638UH Mark II）の使用前の準備、日常の使用方法等について説明しています。

本書は、本製品を所有する人、使用するユーザーを対象として作成しています。

本製品を使用する場合は、本書の内容および指示を理解した上で、作業を行ってください。

3. 本書の構成

セクション	内容
1 安全に関する事項	この章では、本製品の設置および操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。
2 製品の概要	この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。
3 使用前の準備	この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。
4 操作方法	この章では、本製品の操作方法について説明します。
5 パネル設定メニュー	この章では、製品の各設定メニューについて説明します。
6 保守	この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。
7 トラブルシューティング	この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。
8 付録	この章では、本製品の各仕様、オプション・サブライ用品、ユーザサポートについて説明します。

注 記

- 「1 安全に関する事項」～「4 操作方法」については、本製品の使用前に必ずお読みください。
- 「5 パネル設定メニュー」～「8 付録」については、必要に応じて各項目をお読みください。

4. 本書の表記について

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告用語	意味
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注 意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。
注 記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。
参 考	操作を行うときあるいは、装置に対する理解を深める上で参考になる事柄を示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	操作を行うときに参照する本文中の箇所を示します。

目次

1	安全に関する事項	
1.1	警告用語の種類と意味	14
1.2	安全遵守事項	15
1.3	警告ラベル	19
1.3.1	警告ラベルの取り扱い上の注意	19
1.3.2	警告ラベルの貼付位置と種類	20
2	製品の概要	
2.1	特長	26
2.2	各部の名称と機能	27
2.2.1	正面部	27
2.2.2	背面部	29
2.2.3	操作パネル	30
2.2.3.1	プリンタ操作パネル	30
2.2.4	インジケータ表示	33
2.2.4.1	インジケータ表示の内容	35
2.3	動作の概要	36
2.3.1	使用する色数について	36
2.3.2	通常状態	36
2.3.3	設定メニュー表示状態	36
2.3.4	動作状態の切替え方法	37
3	使用前の準備	
3.1	電源ケーブルの接続	40
3.2	電源を ON/OFF する方法	44
3.2.1	電源を ON する方法	44
3.2.2	電源を OFF する方法	45
3.2.3	長期間使用しない場合（長期保存）	47
3.3	スリープモード	51
3.3.1	プリンタをスリープモードにする	52
3.3.2	プリンタをスリープモードから復帰する	55
3.4	インクの初期充てん	56
3.4.1	初期充てんの詳細	59
3.5	メディアの取り付け	69
3.5.1	搬送台の取り付け	69
3.5.1.1	背面側	69

3.5.1.2	正面側	75
3.5.2	リジッドメディアのセット	80
3.5.3	搬送台(オプション)の取り外し	89
3.5.4	ロール紙の取り付け	92
3.5.5	ロール紙のセット方法	96
3.5.6	ユーザ定義の設定手順	103
3.5.7	ユーザ定義メニューからのユーザ定義の変更手順	108
3.5.7.1	メディア厚検出の設定が On の場合	108
3.5.7.2	メディア厚検出の設定が Off の場合	111
3.5.8	加圧アームを個別に解除する	118
3.6	テスト作画	120
3.6.1	ノズルチェック	123
3.6.2	ノズルチェック B	124
3.6.3	モードプリント	125
3.6.4	設定内容作画	126
3.6.5	パレット作画	128
3.6.6	ヘッド調整	129
3.6.6.1	Standard ヘッド調整	130
3.6.6.2	Custom ヘッド調整	135
3.7	画質調整	141
3.7.1	Standard 画質調整	142
3.7.1.1	Standard 確認パターン	143
3.7.1.2	Standard 粗調整パターン	148
3.7.1.3	Standard 微調整パターン	151
3.7.2	Custom 画質調整	154
3.7.2.1	Custom 確認パターン	155
3.7.2.2	Custom 粗調整パターン	160
3.7.2.2.1	粗調整パターン ALL	160
3.7.2.2.2	粗調整パターン A ~ F	163
3.7.2.3	Custom 微調整パターン	166
3.7.2.3.1	微調整 ALL	166
3.7.2.3.2	微調整パターン A ~ F	169
3.8	コンピュータとの接続	172
3.8.1	システム条件の確認	172
3.8.2	印刷サポートソフトについて	172
3.8.3	接続ケーブルの準備	173
3.8.4	ネットワーク・インターフェースケーブルの接続	173
3.8.5	IP アドレスの設定	174
3.8.6	サブネットマスクの設定	177
3.8.7	ゲートウェイの設定	180
4	操作方法	
4.1	印刷までの流れ	184
4.2	メディアについて	186
4.2.1	取り付け可能なメディア	186
4.2.2	メディアの取り扱い上の注意	187
4.2.3	メディアの保管時の注意	187
4.2.4	印刷領域	188

4.2.5	ヘッド高さ補正	189
4.2.6	メディア送り補正	191
4.2.7	メディア押さえプレートの使用方法	196
4.3	操作パネルのメニュー設定	199
4.3.1	パネル設定メニューの概要	199
4.3.2	メニュー設定手順	200
4.4	操作パネルからの各種操作	203
4.4.1	メディア送り	203
4.4.2	印刷の中断	204
4.4.3	メディアのカット	205
4.4.4	印刷中の設定値変更・確認	207
4.4.4.1	印刷中の設定値変更・確認手順	207
4.4.4.2	印刷中に変更・確認できる設定値	208
4.4.5	印刷の一時停止	209
4.4.6	印刷中の常駐表示	210
5	パネル設定メニュー	
5.1	スリープモードメニュー	214
5.1.1	スリープモードスタートメニュー	215
5.2	ユーザ定義メニュー	216
5.2.1	定義種類メニュー	216
5.2.2	ユーザ定義の各種設定	217
5.2.2.1	作画モードメニュー	219
5.2.2.1.1	エフェクトメニュー	220
5.2.2.2	調整作画メニュー	221
5.2.2.3	メディア送り補正メニュー	223
5.2.2.3.1	初期調整作画メニュー	223
5.2.2.3.2	初期調整値メニュー	224
5.2.2.3.3	確認調整作画メニュー	224
5.2.2.3.4	微調整作画メニュー	225
5.2.2.3.5	微調整値メニュー	225
5.2.2.4	吸着ファンメニュー	226
5.2.2.5	メディア厚メニュー	227
5.2.2.5.1	メディア厚メニュー	227
5.2.2.5.2	メディア厚確認メニュー	227
5.2.2.6	メディア厚補正メニュー	228
5.2.2.7	メディア検出メニュー	228
5.2.2.7.1	メディア厚検出 (メディアイニシャル1)	229
5.2.2.7.2	メディア幅・先端検出 (メディアイニシャル2)	230
5.2.2.8	メディア幅・幅確認メニュー	230
5.2.2.8.1	メディア幅メニュー	231
5.2.2.8.2	幅確認メニュー	231
5.2.2.9	パス間ウェイトメニュー	231
5.2.2.10	メディア種類メニュー	232
5.2.2.11	印刷範囲確認メニュー	233
5.2.2.12	低速印字メニュー	234
5.2.2.13	Yレイヤー追加メニュー (6色設定時のみ)	235
5.2.2.14	ユーザコピーメニュー	236
5.2.2.15	初期化メニュー	236

5.3	設定メニュー	237
5.3.1	サイドマージンメニュー.....	239
5.3.2	巻き取り装置メニュー.....	240
5.3.2.1	ページ間余白メニュー.....	240
5.3.3	メディアセット位置メニュー.....	241
5.3.4	原点設定メニュー.....	243
5.3.5	CR 作画移動幅メニュー.....	245
5.3.6	重ね描き回数メニュー.....	245
5.3.6.1	レイヤー重ね描き回数メニュー.....	246
5.3.6.1.1	カラーレイヤー回数メニュー.....	247
5.3.6.1.2	ホワイトレイヤー回数メニュー.....	247
5.3.6.1.3	バーニッシュレイヤー回数メニュー.....	247
5.3.7	斜行チェックメニュー.....	248
5.3.8	シングルヘッドメニュー.....	248
5.3.9	ノズル選択メニュー.....	249
5.3.10	オートクリーニングメニュー.....	250
5.3.10.1	累積作画オートクリーニングメニュー.....	250
5.3.11	ロール紙長さ設定メニュー.....	251
5.3.11.1	ロール紙長さメニュー.....	251
5.3.11.2	作画停止メニュー.....	252
5.3.11.3	ニアエンドメニュー.....	252
5.3.12	先端処理メニュー.....	253
5.3.13	CR メンテナンスメニュー.....	253
5.3.14	インクステータスメニュー.....	254
5.3.15	寿命確認メニュー.....	255
5.3.16	ヘッダーダンプメニュー.....	256
5.3.17	排気ファンメニュー.....	257
5.3.18	ホワイトメンテナンスメニュー.....	257
5.3.19	スタートフィードメニュー.....	258
5.3.20	初期化メニュー.....	258
5.3.21	フラッシングメニュー.....	259
5.3.21.1	フラッシングリターン回数メニュー.....	261
5.3.22	カラーメンテナンスメニュー.....	262
5.3.23	追加照射回数メニュー.....	262
5.4	テスト作画メニュー	263
5.5	クリーニングメニュー	264
5.6	簡易選択メニュー	265
5.7	メンテナンスメニュー	267
5.7.1	デイリーメンテナンスメニュー.....	267
5.7.2	プラグ寿命メニュー.....	268
5.7.2.1	プラグ寿命確認メニュー.....	268
5.7.2.2	プラグ寿命初期化メニュー.....	268
5.7.3	インク排出.....	269
5.8	バージョンメニュー	269
5.9	初期設定メニュー	270
5.9.1	言語メニュー.....	271
5.9.2	長さメニュー.....	271
5.9.3	IP アドレスメニュー.....	271

5.9.4	サブネットマスクメニュー	272
5.9.5	ゲートウェイメニュー	272
5.9.6	警告ブザーメニュー	273
5.10	Job ステータスメニュー	274
6 保守		
6.1	手袋、ゴーグルをつける	276
6.1.1	付属の手袋の着用方法	276
6.2	インクカートリッジを振る	277
6.3	長期間のスリープモードに入る前に	280
6.4	消耗品の交換	281
6.4.1	インクカートリッジの交換	281
6.4.2	ロール紙の交換	287
6.4.3	フラッシングボックス用吸収材の交換	290
6.4.4	クリーニングワイパーの交換	297
6.4.5	大容量パックアダプタのアダプタープラグの交換について	303
6.5	清掃	304
6.5.1	デイリーメンテナンス	305
•	用意するもの	306
6.5.2	ヘッドクリーニング	315
6.5.3	各部の清掃	317
6.5.4	製品外装の清掃	320
6.5.5	製品内部の清掃	320
6.6	廃液の処理	323
6.7	輸送	326
6.7.1	輸送前の準備	326
6.7.2	インク排出後の初期充てん	328
7 トラブルシューティング		
7.1	製品の異常・故障	334
7.1.1	設置・導入時のトラブル	334
7.1.2	全く印刷しない場合	334
7.1.3	メディアに関するトラブル	336
7.1.4	印刷に関するトラブル	338
7.2	表示の詳細	340
7.2.1	動作状態表示	340
7.2.2	メッセージ型エラー表示と対処方法	343
7.2.3	データエラー表示と対処方法	347
7.2.4	コマンドエラー表示と対処方法	348
7.2.5	再起動が必要なエラー	349
7.3	メディアが詰まった場合	350
7.3.1	リジッドメディアを取り除く方法	350
7.3.2	ロール紙を取り除く方法	350

7.4	スマートチップリカバリー	353
7.4.1	「[*****] S / C ニンシキ エラー」が表示された場合.....	353
7.4.2	「[*****] カラーカクニン → E」が表示された場合	353

8 付録

8.1	製品仕様	356
8.1.1	本体仕様	356
8.1.2	システム構成	358
8.2	インターフェイス仕様	359
8.2.1	ネットワーク・インターフェイス仕様	359
8.3	オプション・サプライ用品リスト	360
8.3.1	オプション.....	360
8.3.2	サプライ用品	360
8.4	お問い合わせ先	362

9 設定メニュー構成図

1 安全に関する事項

この章では、本製品の設置および操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。



- 本製品の設置および操作を行う場合は、必ず本書の指示・警告に従ってください。

1.1 警告用語の種類と意味

取扱説明書に記載している警告表示、および製品本体に貼付けてある警告ラベルの内容を危険度の高さ（または事故の大きさ）に応じて、次の3段階に分類しています。

以下の、警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意味
 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。
注記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。

1.2 安全遵守事項

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告

-  本装置を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
 - ぐらついた台の上
 - 傾いている場所
 - 他の機械等の振動が伝わる場所
-  本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本体内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「[8.4 お問い合わせ先](#)」までご連絡ください。
- 
 - 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
 - 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
 - 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
他の物質（酸化剤など）と混合すると発熱し、容器の融解、漏液などの事故が発生する原因となります。
-  各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。
-  必ず指定品の電源ケーブルを使用してください。
指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。



電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。



電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。



必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。



電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。



- プリンタから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

⚠ 注意



UV-LED ランプから少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取り扱う場合は以下の点に注意してください。

- 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。
- 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。



電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

- 電源ケーブルを加工しないこと。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
- 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。



電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



- 硬化前のインクに素手で触れないようしてください。UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- プリンタ使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。
- 特にインクの付着する恐れがある作業を行う場合（例：インクカートリッジおよび廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング）、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋を着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。
- 衣類等に付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は洗濯をしてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断／手当を受けてください。



インクカートリッジを分解しないでください。
分解すると、インクが眼に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

-  製品の初期動作中および印刷中は、メディアセットレバーを操作しないでください。プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。
-  シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。塗装を傷めたり、製品本体を損傷したりする原因となります。
-  製品内部に水気が入らないように注意してください。製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
-  ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。感電または故障する恐れがあります。
-  フラッシングボックス用吸収材を交換する場合、廃液がこぼれないように十分注意してください。廃液がグリッドローラに付着するとグリッドローラ表面を侵して、メディア搬送に影響を及ぼす恐れがあります。
-  プリンタを清掃するときは、
 - クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
 - 必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
 - クリーンスティックは再利用しないでください。付着したホコリ等により、ヘッドを破損させる恐れがあります。
-  直射日光のあたる場所に本製品を設置しないでください。太陽光に含まれる紫外線により、インクが硬化する恐れがあります。
-  製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。製品内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。
-  本製品を開梱または移動させる場合は、必ず次の人数で作業してください。
 - VJ-1638UH Mark II : 4人以上
-  アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子
-  ご使用前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みの上、作業を行ってください。
- 
 - 作業場所は、換気してください。風通しの悪い場所で使用する場合は、換気装置を設置してください。インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。
 - 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
-  ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。取り扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。
 - メディアを押さえる場合は、メディアカット溝の上に指を乗せない
 - カッターはメディアカット溝に沿ってゆっくり動かす
-  製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
-  本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。



- インクカートリッジは使用する前に振ってください。
- インクカートリッジは定期的に振る必要があります。
放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。



- スリープモードを1週間以上継続するような場合は、1週間が経過した時点で以下を行ってください。
- インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
 - インクカートリッジを振ってください。



クリーニングワイパの清掃、プリントヘッド外周の清掃およびキャップ外周の清掃は、プリントヘッドキャップを外した状態で作業を行います。この状態で長時間放置しないでください。
作業時間の目安は10分以内です。



本製品は化学薬品、腐食性の蒸気、強い振動や機械的な衝撃から保護する必要があります。



本製品を分解しないでください。分解するとすべての保証が無効となります。



この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

1.3 警告ラベル

警告ラベルの取り扱い、貼付位置、種類について説明します。
本製品には、特に注意を要する個所に警告ラベルが使用されています。
これらの正確な位置および危険の内容について、十分に理解をしたうえで作業を行ってください。

1.3.1 警告ラベルの取り扱い上の注意

警告ラベルを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

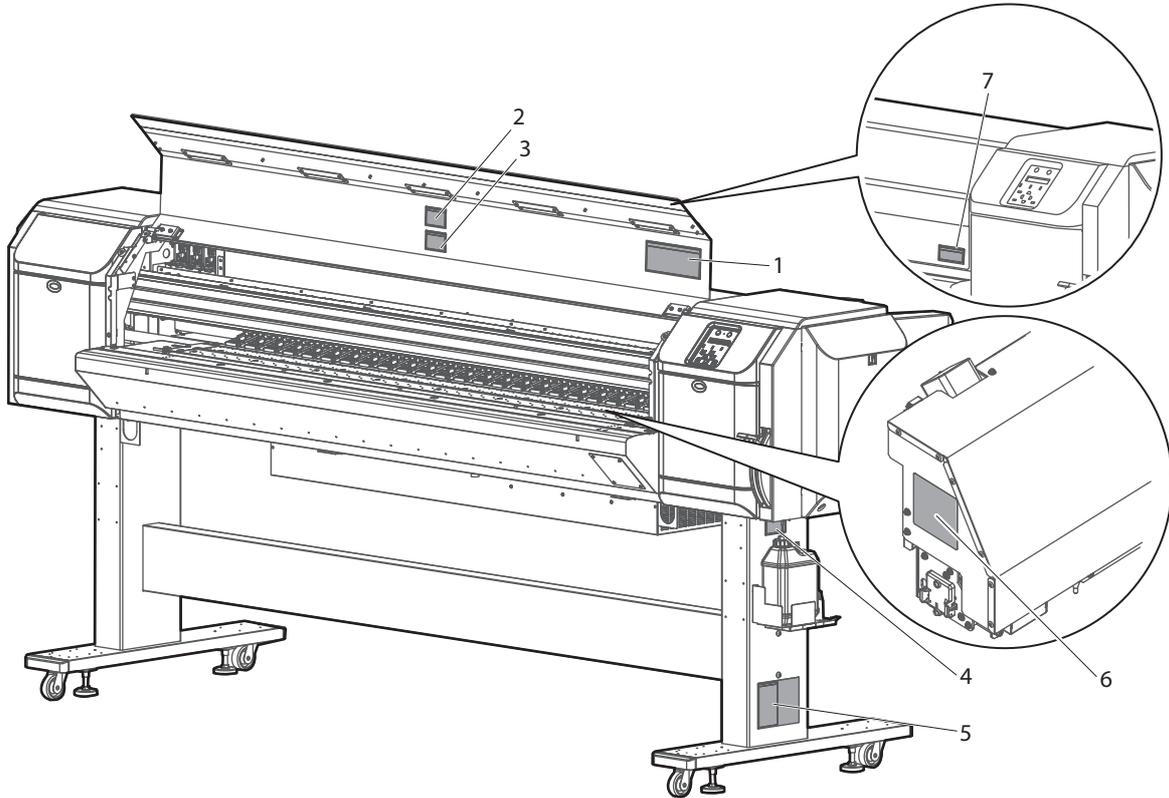
注 記

- 警告ラベルが全て読めるか確認してください。
文字やイラストが見えない場合は、ラベルの汚れを落としてください。
- 警告ラベルの汚れ落としには、布、水、中性洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどは使用しないでください。
- 警告ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルを交換する必要があります。
警告ラベルの交換が必要な場合は、「[8.4 お問い合わせ先](#)」にご連絡ください。

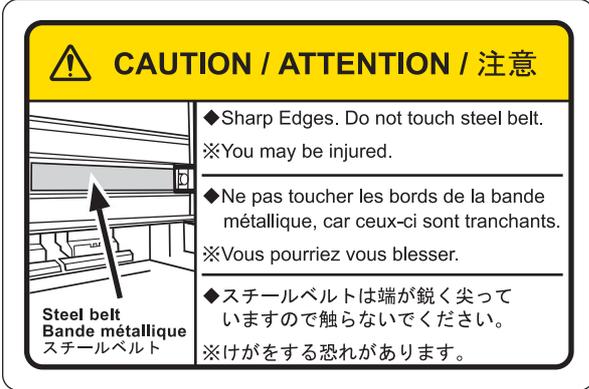
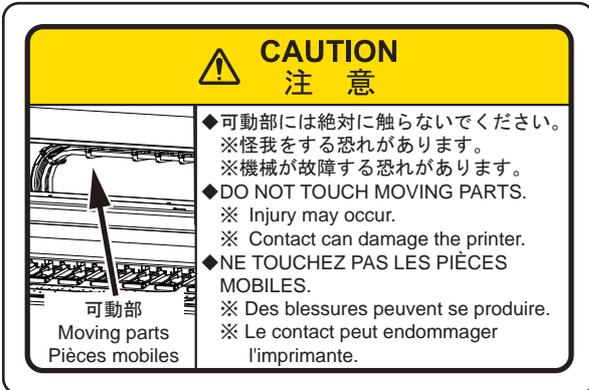
1.3.2 警告ラベルの貼付位置と種類

警告ラベルの貼付位置を次図に示します。

正面部

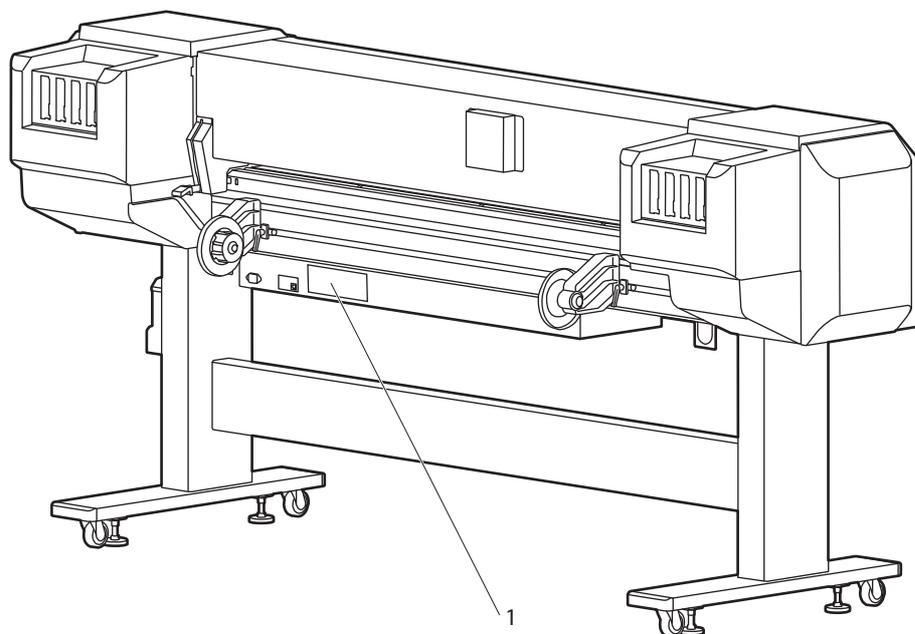


番号	警告ラベルの種類
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine. ※A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results. ◆ Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period. ※If the printer is left without cleaning, the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble. ◆ Do not open the front cover while printing. Moreover, Do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained. ◆ Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result. ◆ Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Ne pas exposer directement l'imprimante aux courants d'air des appareils de ventilation ou de climatisation. ※Un courant d'air peut affecter la projection d'encre, empêchant ainsi l'obtention d'une qualité d'impression satisfaisante; ou entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses. ◆ Si vous n'utilisez pas l'imprimante durant une longue période, effectuez un nettoyage normal une fois par semaine. ◆ Si vous ne le faites pas, cela pourrait entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses. ◆ Ne pas ouvrir le capot frontal en cours d'impression. De plus, en cours d'impression, ne pas introduire vos mains par les ouvertures, et ne pas toucher au papier. Vous pourriez vous blesser, ou ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante. ◆ Si vous n'imprimez pas durant une longue période, retirez le papier, et maintenez le levier en position haute. À défaut, vous risquez de ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante. ◆ Le réglage de la température du chauffe-eau, papier - depuis le guide, platine, papier plaque de pression est une température élevée, il peut provoquer des brûlures. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。 ※風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印字結果が得られないことがあります。 ◆ 長期開プリントを使用しない場合は、週に一度ノーマルクリーニングを行ってください。 ◆ クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。 ◆ 作画中はフロントカバーを開けないでください。また、作画中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。思わぬケガをしたり、良好な作画結果が得られないことがあります。 ◆ 長時間作画を行わない時は、用紙を外しホルダーレバーをアップ状態にしてください。良好な作画結果が得られないことがあります。 ◆ ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。 </div>

番号	警告ラベルの種類
2	 <p>CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Sharp Edges. Do not touch steel belt. ※ You may be injured. ◆ Ne pas toucher les bords de la bande métallique, car ceux-ci sont tranchants. ※ Vous pourriez vous blesser. ◆ スチールベルトは端が鋭く尖っていますので触らないでください。 ※ けがをする恐れがあります。 <p>Steel belt Bande métallique スチールベルト</p>
3	 <p>CAUTION 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 可動部には絶対に触らないでください。 ※ 怪我をする恐れがあります。 ※ 機械が故障する恐れがあります。 ◆ DO NOT TOUCH MOVING PARTS. ※ Injury may occur. ※ Contact can damage the printer. ◆ NE TOUCHEZ PAS LES PIÈCES MOBILES. ※ Des blessures peuvent se produire. ※ Le contact peut endommager l'imprimante. <p>可動部 Moving parts Pièces mobiles</p>
4	 <p>CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Do not bend or pull the waste ink drain tube. The ink may be leaked and damages the printer. ◆ Ne pas tirer ou plier le drain d'encre usagé; cela pourrait provoquer une fuite d'encre, et endommager l'imprimante. ◆ 廃液チューブを折り曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。インクが漏れて製品が故障する恐れがあります。

番号	警告ラベルの種類						
5	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">CAUTION / ATTENTION / 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Before using this product, please be sure to read the Safety Data Sheet (SDS) ● The workplace should be free from open flame and well ventilated. ● Please handle the ink with care to avoid the ink touch to your skin, eyes and clothing, also to avoid accidental ingestion. Be careful not to inhale the steam. ● Please wear a protective mask, eyewear, gloves, long sleeves and long trousers to avoid contact with the ink during the operation. ● Work clothes that soiled with the ink should be thoroughly cleaned. ● Please wash your hands and gargle well after using. ● Do not bring food near. ● Please store out of reach of children. ● Do not use for anything other than VJ. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● Avant utilisation de ce produit, lisez sa fiche de données de sécurité. (SDS) ● Veuillez travailler dans un lieu bien ventilé et sans flamme ouverte. ● Manipuler l'encre avec précaution, afin qu'il n'entre pas en contact avec la peau, les yeux ou les vêtements, et d'éviter toute ingestion accidentelle. Prendre également garde à ne pas inhaler les vapeurs d'encre. ● Pour éviter d'entrer en contact avec l'encre lors de la manipulation, prendre soin de porter un masque, des lunettes et des gants de protection, ainsi que des pantalons et des vêtements aux manches longues. ● Les habits de travail tachés par l'encre devront être bien nettoyés. ● Après manipulation, bien vous laver les mains et vous rincer la bouche avec soin. ● Ne pas amener de la nourriture à proximité. ● A conserver hors de portée des enfants. ● Ne pas utiliser pour un autre usage que la VJ. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。 ● 取扱い作業場所は火気の無い所で行い、換気を十分に行ってください。 ● インクを皮膚、目、衣服に接触させたり、誤飲しないよう十分に注意して取扱ってください。また、蒸気を吸込まないよう注意してください。 ● 取扱中はなるべくインクとの接触を避けるため、保護マスク、保護メガネ、保護手袋、長袖、長ズボン等を着用してください。 ● 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落とすしてください。 ● 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。 ● 食品に近づけないでください。 ● 子供の手の届かないところへ保管してください。 ● VJ以外には使用しないでください。 </div> <div style="width: 50%;"> <p>Emergency Measures</p> <ul style="list-style-type: none"> ● If it sticks to your skin, wash well with plenty of soapy water. Consult your doctor if your skin feels irritated or is discolored. ● If it gets in your eyes, wash well with plenty of tap water and see your doctor as soon as possible. ● If accidentally swallowed, do not vomit. Consult your doctor as soon as possible. ● If you inhaled the steam, move to clean air and consult your doctor if you feel giddy or nauseous. ● If breathing has stopped, apply artificial respiration immediately, and get an emergency medication. ● If spilled from the container, remove heat sources, sparks and flame first, then wipe up with cloth. Used cloths containing ink should be soaked in water until disposal. <p>Mesures d'urgence</p> <ul style="list-style-type: none"> ● En cas de contact avec la peau, bien laver et rincer abondamment avec de l'eau savonneuse. Consulter un médecin si la peau est irritée ou si vous constatez une modification de son aspect. ● En cas de contact avec les yeux, rincer abondamment avec de l'eau du robinet, et consulter un médecin le plus rapidement possible. ● Ne pas régurgiter si vous avez ingéré de l'encre par mégarde. Ne pas régurgiter si vous avez ingéré de l'encre par mégarde. ● En cas d'inhalation de vapeurs, déplacez-vous dans un endroit où l'air est propre, consultez un médecin si vous êtes pris de vertiges ou de nausées. ● En cas d'arrêt de la respiration, pratiquer immédiatement une ventilation artificielle, et contacter les urgences. ● Si l'encre a coulé du réservoir, l'éloigner d'abord des sources de chaleur, des étincelles ou des flammes, puis essuyer avec un morceau de tissu. Toujours laisser tremper les tissus tachés avec de l'encre dans l'eau jusqu'à leur élimination. <p>応急処置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い流し、皮膚に刺激を感じたり変化がある場合は医師の診断を受けてください。 ● 目に入った場合は多量の水道水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 誤って飲み込んだ場合は吐き出さないでください。その後できるだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 蒸気を吸入した場合は空気の清浄な場所へ移動し、めまいや吐き気を感じる場合は医師の診断を受けてください。 ● 呼吸が止まった場合はただちに人工呼吸を行い、救急医療を受けてください。 ● 容器からこぼれた場合は、熱源、火花、炎からまず離し、布等で拭き取ってください。インクが付着した布等は廃棄するまで必ず水につけておいてください。 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> </div>						
6	<p style="text-align: center;">紫外線に注意 直視したり皮膚に当てないでください。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">Risk Group 3</td> <td> <p>CAUTION. UV emitted from this product. Eye or skin irritation may result from exposure. Use appropriate shielding.</p> <p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Groupe de risque 3</td> <td> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Une exposition peut entraîner une irritation de la peau ou des yeux. Utilisez un écran de protection approprié.</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">リスクグループ3</td> <td> <p>注意: この装置は紫外線を放射します。暴露により目や皮膚に炎症が起こる可能性があります。適切な保護をしてください。</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に暴露することは避けてください。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">JIS C7550: 2011</p> </td> </tr> </table> </div>	Risk Group 3	<p>CAUTION. UV emitted from this product. Eye or skin irritation may result from exposure. Use appropriate shielding.</p> <p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p>	Groupe de risque 3	<p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Une exposition peut entraîner une irritation de la peau ou des yeux. Utilisez un écran de protection approprié.</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p>	リスクグループ3	<p>注意: この装置は紫外線を放射します。暴露により目や皮膚に炎症が起こる可能性があります。適切な保護をしてください。</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に暴露することは避けてください。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">JIS C7550: 2011</p>
Risk Group 3	<p>CAUTION. UV emitted from this product. Eye or skin irritation may result from exposure. Use appropriate shielding.</p> <p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p>						
Groupe de risque 3	<p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Une exposition peut entraîner une irritation de la peau ou des yeux. Utilisez un écran de protection approprié.</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p>						
リスクグループ3	<p>注意: この装置は紫外線を放射します。暴露により目や皮膚に炎症が起こる可能性があります。適切な保護をしてください。</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に暴露することは避けてください。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">JIS C7550: 2011</p>						
7	<p style="text-align: center;">紫外線に注意 直視したり皮膚に当てないでください。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Risk Group 3 / Groupe de risque 3 / リスクグループ3</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;"></td> <td> <p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に当てないでください。JIS C7550: 2011</p> </td> </tr> </table> </div>	Risk Group 3 / Groupe de risque 3 / リスクグループ3			<p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に当てないでください。JIS C7550: 2011</p>		
Risk Group 3 / Groupe de risque 3 / リスクグループ3							
	<p>WARNING. UV emitted from this product. Avoid eye and skin exposure to unshielded product.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>AVERTISSEMENT. Ce produit émet des rayons ultraviolets. Évitez une exposition de la peau ou des yeux au produit non blindé.</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC62471: 2006</p> <p>警告: この装置は紫外線を放射します。保護具なしで見つめたり、皮膚に当てないでください。JIS C7550: 2011</p>						

背面部



番号	警告ラベルの種類				
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">MUTOH</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"> <p>MODEL 型式</p> <p>SERIAL NO. 製造番号</p> </td> <td style="width: 20%;"> <p>VJ-1638UH2</p> <p>JV6U * * * * *</p> </td> <td style="width: 20%;"> <p>VOLTAGE 100-240V ~</p> <p>FREQUENCY 50 / 60 Hz</p> <p>CURRENT 10.0 A - 4.0 A</p> </td> <td style="width: 40%;"> <p>This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)</p> <p style="text-align: center;">MUTOH INDUSTRIES LTD. MADE IN JAPAN</p> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">Complies With UL 62368-1 CSA C22.2 No. 62368-1</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">      </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: x-small;"> <p>定格電圧 100V ~</p> <p>定格周波数 50 / 60 Hz</p> <p>消費電流 10.0 A</p> </div> <div style="font-size: x-small;"> <p>注意</p> <p>この装置は、クラスA情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を 引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう 要求されることがあります。 VCCI-A 武蔵工業株式会社 日本製</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: x-small; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> • Apparatet må tilkoples jordnet stikkontakt • Apparatet skall anslutas till jordat uttag • Laite on liitettävä suojakoskettimilla varustettuun pistorasiaan • Apparatets stikprop skal tilsluttes en stikkontakt med jord, som giver forbindelse til stikproppens jord </div> </div>	<p>MODEL 型式</p> <p>SERIAL NO. 製造番号</p>	<p>VJ-1638UH2</p> <p>JV6U * * * * *</p>	<p>VOLTAGE 100-240V ~</p> <p>FREQUENCY 50 / 60 Hz</p> <p>CURRENT 10.0 A - 4.0 A</p>	<p>This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)</p> <p style="text-align: center;">MUTOH INDUSTRIES LTD. MADE IN JAPAN</p>
<p>MODEL 型式</p> <p>SERIAL NO. 製造番号</p>	<p>VJ-1638UH2</p> <p>JV6U * * * * *</p>	<p>VOLTAGE 100-240V ~</p> <p>FREQUENCY 50 / 60 Hz</p> <p>CURRENT 10.0 A - 4.0 A</p>	<p>This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)</p> <p style="text-align: center;">MUTOH INDUSTRIES LTD. MADE IN JAPAN</p>		

2 製品の概要

この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。

2.1 特長

本製品の主な特長について説明します。

(1) UV 硬化インクの採用

UV 硬化インク（紫外線硬化型インク）の採用により、印刷直後から硬化・定着するため作業性が向上しました。また、さまざまな素材でのインクの定着性も向上しました。

(2) 厚物メディアへの対応

プリントヘッドの高さ調節機構が、厚さ 15.0 mm のリジッドメディア*1 まで対応しました。厚さ 0.08 mm から、15.0 mm までの様々なメディアに対応できます。

*1: 本書では板などの硬質なメディアをリジッドメディアと表記します。

(3) 硬質メディアへの対応

搬送機構にゴムローラーを採用することにより、プラスチック板など硬質なりジッドメディアの搬送が可能になりました。

(4) 発色の向上と特殊印刷への対応

ホワイトインクとバーニッシュ（クリアトップコート）に対応（6色使用時）。ホワイトインクを、透明なメディアや有色素材に印刷する場合の下地（アンダーレイヤー）に使用することで発色が向上します（レイヤー印刷はお使いの RIP ソフトウェアの機能によります）。ホワイトインクは他の色に比べ2倍のノズルを使用しているため、より濃度の高い白印刷が可能です。また、バーニッシュを印刷面に重ねる（オーバーレイヤー）ことにより、光沢仕上げや厚盛り印刷が可能です。

(5) LED ポインタの搭載

LED ポインタ搭載により、印刷の原点位置の変更が作業しやすくなりました。また、変更した原点位置を保存する事で、繰り返し同じ位置に印刷を行う作業を簡単にしました。

(6) 搬送台（オプション）の機能向上

搬送台にローラーを組み込むことでリジッドメディアの搬送精度向上を目指しました。

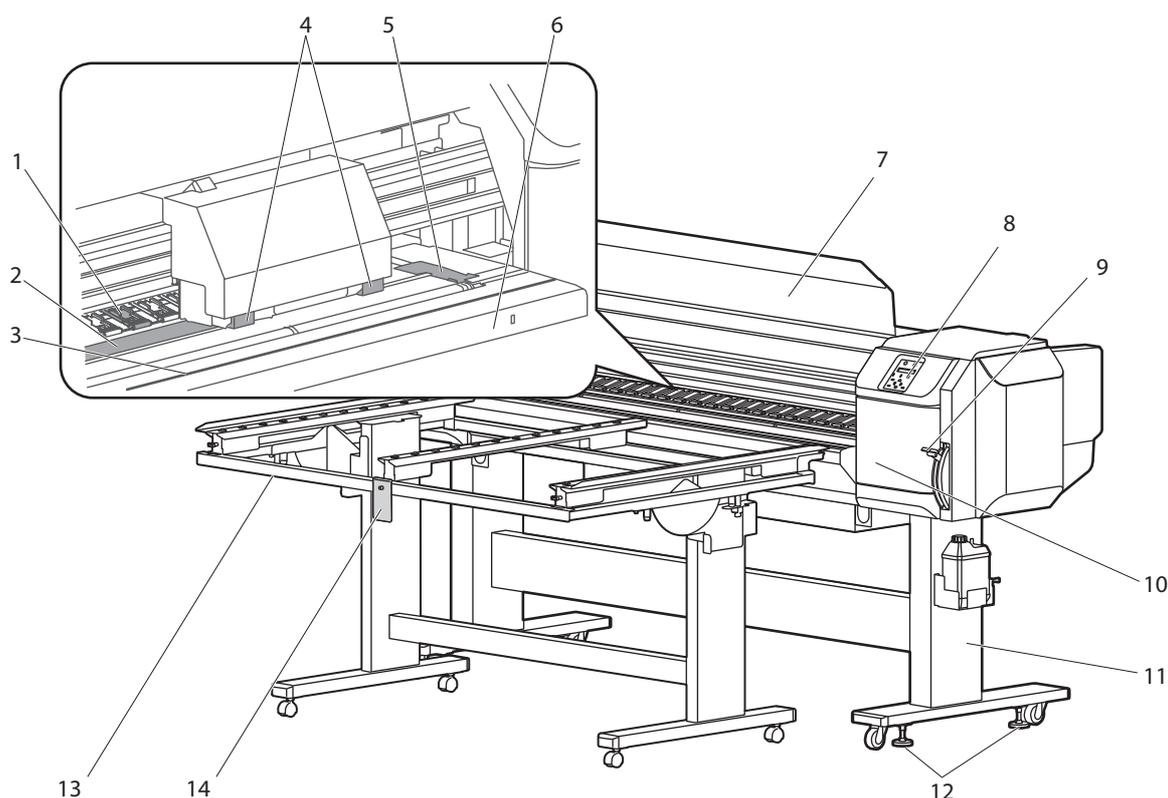
(7) RIP

専用ソフトウェア RIP をオプションで販売します。

2.2 各部の名称と機能

各部の名称とその機能について説明します。

2.2.1 正面部



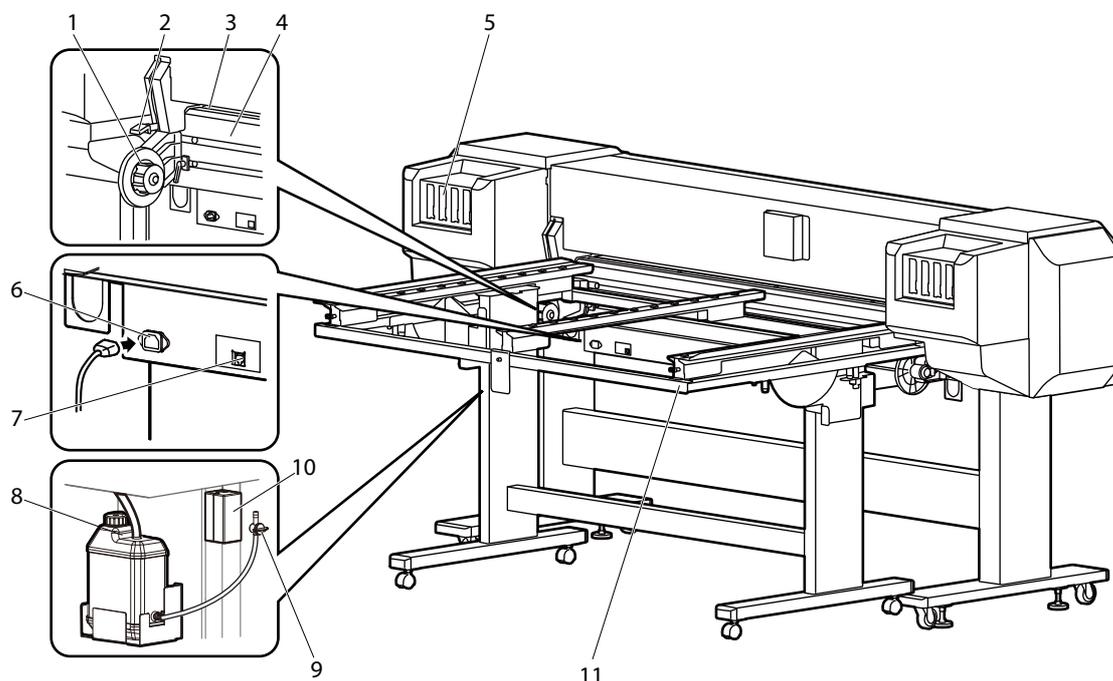
番号	名称	機能
1	加圧ローラー	フロントカバー内にあります。 印刷時にメディアを上から押さえて保持します。
2	プラテン	フロントカバー内にあります。 印刷時にメディアを下から保持します。
3	メディアカット溝	フロントカバー内にあります。 メディアをまっすぐにカットするために使用します。
4	UV-LED ランプ	紫外線を照射してインクを硬化させます。 印刷中に点灯します。
5	メディア押さえプレート	フロントカバー内にあります。 メディアの両端に取り付けることで、ロール紙などの薄いメディア（厚さ 0.5 mm 以下）の反りがある程度抑えることができます。
6	メディアガイド	メディアセット・印刷等を行う場合に、メディアをスムーズに搬送するために使用します。

番号	名称	機能
7	フロントカバー	本製品の動作中に、使用者を駆動部から保護するためのカバーです。メディアセット時や紙詰まり時に開閉します。通常は閉じておきます。
8	プリンタ操作パネル	動作条件の設定、プリンタの状態表示、各種機能の設定を行います。  2.2.3.1 プリンタ操作パネル
9	フロントメディアセットレバー	メディアを固定または解除するレバーです。背面部のリアメディアセットレバーとは動作が逆になります。 <ul style="list-style-type: none"> レバーを下げると、メディアを固定します。 レバーを上げると、メディアの固定を解除します。
10	メンテナンスカバー	使用者を製品内部の機構部から保護するためのカバーです。次の場合に開閉します。 <ul style="list-style-type: none"> クリーニングワイパユニットを清掃する場合 プリントヘッド外周を清掃する場合 CR メンテナンスを行う場合 通常は閉じておきます。
11	専用スタンド	本製品を水平な床の上に設置する場合に使用します。
12	アジャスタ	製品を水平に設置するために使用します。
13	搬送台 (オプション)	リジッドメディアをスムーズに搬送するために使用します。ロール紙を使用する場合は取り外します。
14	メディアストッパ	搬送台の上にメディアをのせたときに、手前側に滑り落ちてしまう場合、ツマミネジを緩めてストッパーを上向きにしてください。通常使用時は下に向けておいてください。

注意

- UV-LED ランプから少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取り扱う場合は以下の点に注意してください。
 - 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。
 - 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。

2.2.2 背面部



番号	名称	機能
1	ロール紙受け	ロール紙をセットします。 ロール紙をはめ込むフランジと、ロール紙受けを固定する固定レバーが付いています。
2	リアメディアセットレバー	メディアを固定または解除するレバーです。正面部のフロントメディアセットレバーとは動作が逆になります。 <ul style="list-style-type: none"> レバーを下げると、メディアの固定を解除します。 レバーを上げると、メディアを固定します。
3	給紙スロット	メディアセット時に、メディアを差し込むための給紙口です。
4	メディアガイド	メディアセット・印刷等を行う場合に、メディアをスムーズに搬送するために使用します。
5	インクカートリッジスロット	インクカートリッジを装着します。
6	プリンタ用 AC インレット	電源ケーブルのプラグを差し込みます。
7	ネットワーク・インターフェイスコネクタ	ネットワーク・インターフェイスケーブルを接続するコネクタです。
8	廃液タンク	製品から排出された廃インクを貯めておくためのタンクです。
9	二方コック	廃液タンクから廃液を排出する場合に開閉します。 通常は閉じておきます。
10	二方コッククランプ	廃液を排出するとき以外は、二方コックは二方コッククランプに収納します。
11	搬送台 (オプション)	リジッドメディアをスムーズに搬送するために使用します。 ロール紙を使用する場合は取り外します。

2.2.3 操作パネル

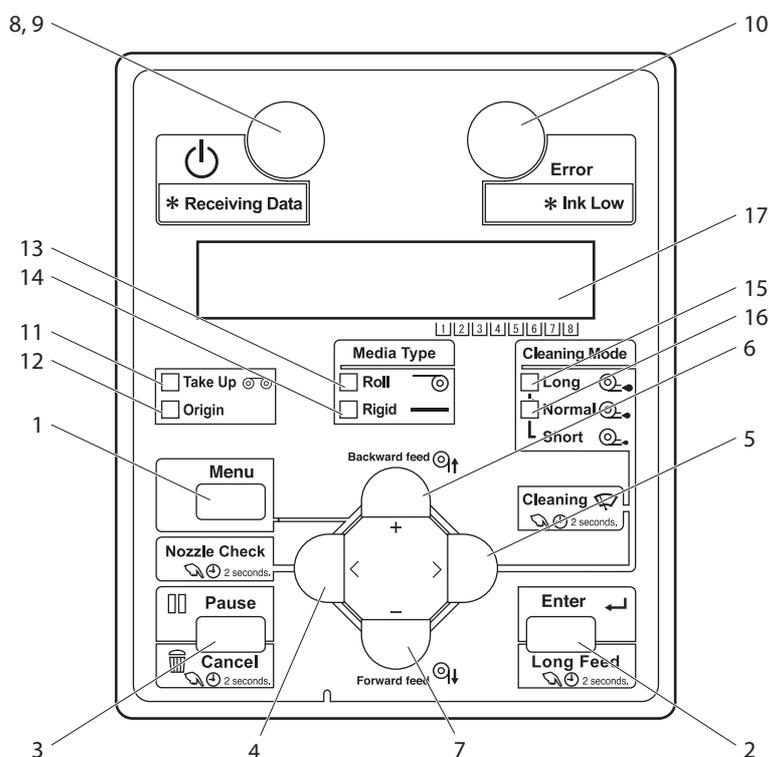
操作パネルは、動作条件の設定、製品の状態表示、各種機能の設定を行う場合に使用します。

操作キー（スイッチ）部および状態表示部の各名称、機能について説明します。

注 記

- 操作パネルの操作方法の詳細については、以下を参照してください。
- プリンタ操作パネルからメニュー設定を行う場合 : [I 4.3 操作パネルのメニュー設定](#)
- プリンタ操作パネルでの各種操作を行う場合 : [I 4.4 操作パネルからの各種操作](#)

2.2.3.1 プリンタ操作パネル



(1) 操作キ一部

注 記

- 操作キ一部には、動作状態（通常状態または設定メニュー表示状態）によって異なる機能・名称が割り当てられています。
動作状態の詳細については、「2.3 動作の概要」を参照してください。
- ⏻マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。本書ではこの状態を「電源オフ」と表記しています。

番号	名称	通常状態	設定メニュー表示状態
1	[Menu] キー	設定メニュー状態に切替えます。	設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
2	[Enter] キー	印刷の一時停止中に押すと、印刷を再開します。	<ul style="list-style-type: none"> 設定するメニューを選択し、次階層に移行します。 設定値を確定して保存します。
	[Long Feed] キー	2秒以上押し続けると、規定量のメディアを送ります。	—
3	[Pause] キー	印刷を一時停止します。	—
	[Cancel] キー	2秒以上押し続けると、以下の動作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷中：印刷を強制終了して、残ったデータを1ファイル削除します。 受信・解析中：すでに受信、解析したデータを削除して、以降のデータを1ファイル削除します。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとつ前のメニュー階層に戻ります。設定値変更は無効となります。 設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
4	[<] キー	—	設定値を変更します。
	[Nozzle Check] キー	2秒以上押し続けると、ノズルチェック印刷を行います。	—
5	[>] キー	クリーニングモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定したクリーニングモードのランプが点灯（緑色）します。 	<ul style="list-style-type: none"> メニューを下階層に移行します。 設定値を変更します。
	[Cleaning] キー	2秒以上押し続けると、プリントヘッドのクリーニングを行います。	—
6	[Backward↑] キー	メディアを逆方向に送ります。	—
	[+] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を順方向に変更します。 設定値を順方向に変更します。 数値入力時には値を増加させます。
7	[Forward↓] キー	メディアを順方向に送ります。	—
	[-] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を逆方向に変更します。 設定値を逆方向に変更します。 数値入力時には値を減少させます。
8	[Power] キー	製品の電源を ON/OFF します。	製品の電源を ON/OFF します。

(2) 状態表示部

番号	名称	色	状態	内容
9	Power ランプ	青色	点灯	電源が ON になっています。
			点滅	<ul style="list-style-type: none"> データを受信・解析しています。 メディアイニシャル動作中です。
			5 秒毎点滅	<ul style="list-style-type: none"> スリープモード中
			消灯	電源が OFF になっています。
10	Error ランプ	橙色	点灯	エラーが発生しています。 エラー内容は液晶表示部に表示されます。
			点滅	インクが少なくなっています。
			消灯	エラーはありません。
11	Take Up ランプ	緑色	点灯	「巻き取り設定」が有効状態です。
			消灯	「巻き取り設定」が無効状態です。
12	Origin ランプ	緑色	点灯	「原点設定」が有効状態です。
			消灯	「原点設定」が無効状態です。
13	Roll ランプ	緑色	点灯	「メディア種類」が「ロール紙」に設定されています。
14	Rigid ランプ	緑色	点灯	「メディア種類」が「リジッド」に設定されています。
15	Long ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングモードが Long に設定されています。 Normal ランプも点灯している場合は、クリーニングモードが Short に設定されています。
			消灯	クリーニングモードが Normal に設定されています。
16	Normal ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングモードが Normal に設定されています。 Long ランプも点灯している場合は、クリーニングモードが Short に設定されています。
			消灯	クリーニングモードが Long に設定されています。
17	液晶表示部	—	—	製品の動作状態やエラーメッセージを表示します。

注 記

- 再起動が必要なエラー（本製品が動作する上で致命的な障害）が発生した場合は、警告音とともにすべてのランプが点滅します。

🔧 7.2.5 再起動が必要なエラー

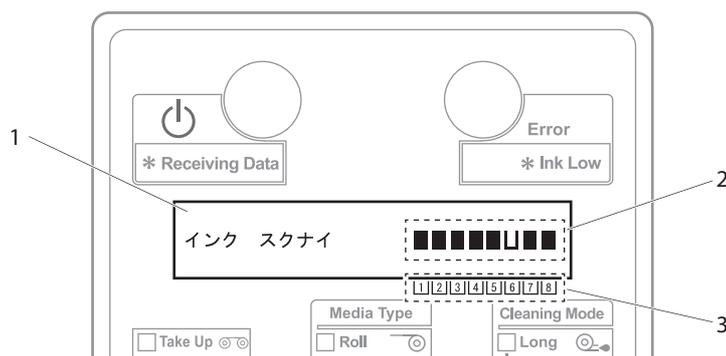
- 障害を取り除いても再起動が必要なエラーが再発する場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポートまでご連絡ください。

🔧 8.4 お問い合わせ先

2.2.4 インジケータ表示

次の場合に、液晶表示部にインクやカートリッジの状態を示すインジケータを表示します。

- 通常状態
☞ [2.3.2 通常状態](#)
- 印刷中
- インクやカートリッジのエラー表示
☞ [7.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法](#)



番号	名称
1	液晶表示部
2	インジケータ
3	スロット番号

インジケーター下にインクカートリッジのスロット番号が印刷されており、以下の色を意味しています。

6 色の場合



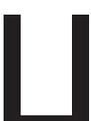
スロット番号	インク色
1	ブラック (K)
2	マゼンタ (M)
3	シアン (C)
4	イエロー (Y)
5	バーニッシュ (VA)
6	バーニッシュ (VA)
7	ホワイト (WH)
8	ホワイト (WH)

4 色の場合



スロット番号	インク色
1	マゼンタ (M)
2	マゼンタ (M)
3	シアン (C)
4	シアン (C)
5	イエロー (Y)
6	イエロー (Y)
7	ブラック (K)
8	ブラック (K)

2.2.4.1 インジケータ表示の内容

番号	インジケータ	インク / カートリッジ状態
1		インク残量 80% 以上 100% 以下
2		インク残量 60% 以上 80% 未満
3		インク残量 40% 以上 60% 未満
4		インク残量 20% 以上 40% 未満
5		インク残量 20% 未満 <ul style="list-style-type: none"> インジケータが点滅している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。  7.4 スマートチップリカバリー
6		インク少ない
7		インクなし
8		カートリッジなし

2.3 動作の概要

本製品の動作状態について説明します。

2.3.1 使用する色数について

本製品はプリンタにセットするインクの色数を、初期充電時に選択することができます。

本製品は、セットするインクの色数により以下の特徴があります。

- 4色使用時：6色使用時よりも高速な印刷が可能です。
- 6色使用時：ホワイトインクとバーニッシュ（クリアトップコート）が使用可能です。
ホワイトインクは透明なメディアや有色素材に印刷する場合の下地（アンダーレイヤー）に使用することで発色が向上します（レイヤー印刷はお使いのRIPソフトウェアの機能によります）。
バーニッシュは、印刷面に重ねる（オーバーレイヤー）ことで光沢仕上げや厚盛り印刷が可能です。

注意

- 本製品のインクは色素が沈殿しやすい性質があります。安定した印刷を行うにはプリンタ内部でのインク循環と、定期的なヘッドクリーニングが必要です。
 - スリープモードはインク循環を自動で行うため、作業終了時は電源をOFFせずにスリープモードにしてください。
 - 定期的にヘッドクリーニングを行ってください。[6.5.2 ヘッドクリーニング](#)
- インクカートリッジは使用する前に振ってください。
- インクカートリッジは定期的に振る必要があります。放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- 本製品を長期間使用しないことが予想される場合は、以下の手順に従ってください。
[6.3 長期間のスリープモードに入る前に](#)

2.3.2 通常状態

製品にメディアがセットされている場合に、印刷することができる状態です。操作パネルで印刷に関する各種操作を行うことができます。

2.3.3 設定メニュー表示状態

本製品の印刷に関する各種設定を、操作パネルから行うことができる状態です。操作パネルで印刷に関する各種操作を行うことができます。操作パネルの液晶表示部の表示内容は以下のとおりです。

2.3.4 動作状態の切替え方法

以下の手順に従って、動作状態の切替えを行ってください。

(1) 通常状態 → 設定メニュー表示状態

製品が通常状態の時に、操作パネルの [Menu] キーを押します。

- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード>」と表示され、設定メニュー表示状態に移行します。

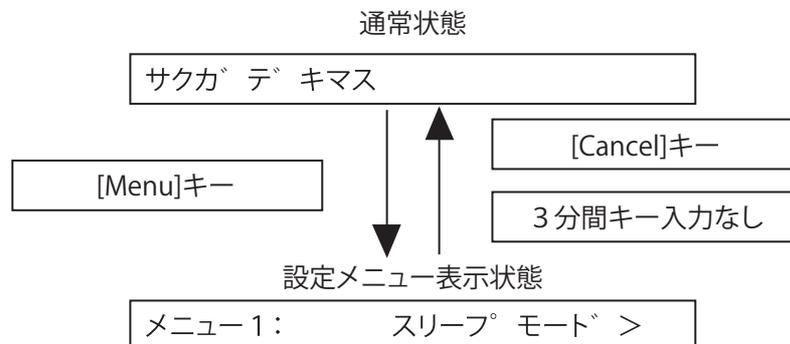
注 記

設定メニューの詳細については、「[4.3 操作パネルのメニュー設定](#)」を参照してください。

(2) 設定メニュー表示状態 → 通常状態

製品が設定メニュー表示状態の時に、以下のいずれかの操作を行うと、操作パネルが通常状態の表示に移行します。

- 操作パネルの [Cancel] キーを押す。
- 設定メニュー状態のときに、3分間何もキー操作をせずに放置する。



注 記

- CR メンテナンスメニュー表示中は、3分間何もキー操作をせずに放置しても、通常状態には戻りません。
🔗 [5.3.13 CR メンテナンスメニュー](#)
- 動作状態表示の詳細については、「[7.2.1 動作状態表示](#)」を参照してください。

3 使用前の準備

この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。

3.1 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続手順について説明します。

警告

- 必ず指定品の電源ケーブルを使用してください。
指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
- 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
- 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
- 破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。

注意

- 電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - 電源ケーブルを加工しないこと。
 - 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。

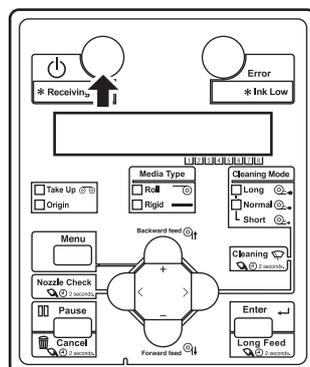
注記

電源ケーブルが破損した場合は、以下のいずれかに相談してください。

- お買い求めの MUTOH 製品取扱店
- MUTOH 各営業所
 [8.4 お問い合わせ先](#)

以下の手順に従って、電源ケーブルを取り付けてください。

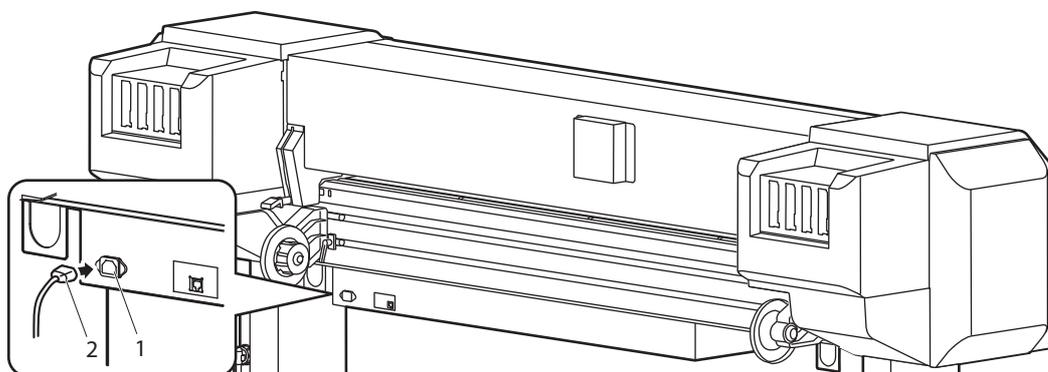
1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。



注 記

操作パネルの [Power] キーが奥に押し込まれているときは、電源が ON になっています。もう一度キーを押して、電源を OFF にしてください。

2. 製品背面の AC インレットに、電源ケーブルを接続します。



番号	名称
1	AC インレット
2	電源ケーブル

3. 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
- 電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
- 電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
- 以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

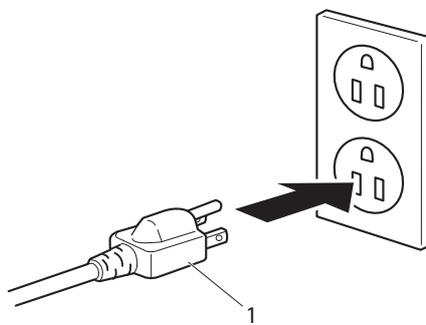
注意

- 電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
 - 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
 - 本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子

注 記

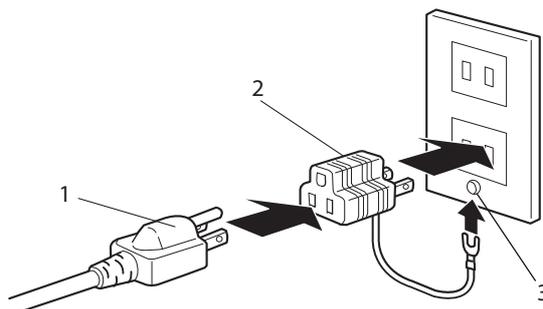
- コンセントに3芯プラグを差し込めない場合は、同梱の3芯2芯変換コネクタを使用してください。
- アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品の電源が ON になっている場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから引抜かないでください。
もしプラグがコンセントから外れた場合は、1分以上放置してから再びプラグをコンセントに差し込んでください。

a. 3芯プラグを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ

b. 3芯2芯変換コネクタを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ
2	3芯2芯変換コネクタ
3	アース端子

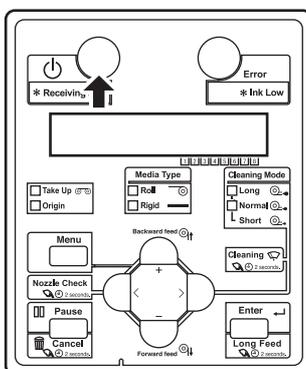
3.2 電源を ON/OFF する方法

製品の電源を ON/OFF する方法について説明します。

3.2.1 電源を ON する方法

以下の手順に従って、製品の電源を ON にしてください。

1. 操作パネルの [Power] キーを押して、製品の電源を ON します。
 - 操作パネルの Power ランプが点灯（青色）します。
 - 製品は初期動作を開始します。
 - 初期動作が終了後、製品は通常状態に移行します。



注 記

初期動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。
動作が停止した場合は、[7 トラブルシューティング](#)を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

3.2.2 電源を OFF する方法

注意

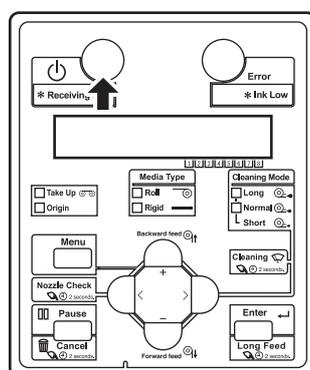
- 本製品は、電源を常時 ON にしてご使用ください。使わないときは電源を OFF にせず、かならずスリープモードにしてください。
スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

☞ 3.3 スリープモード

- 長期間（最長 1ヶ月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源を OFF にしてください。

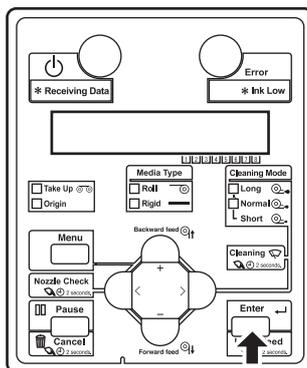
☞ 3.2.3 長期間使用しない場合（長期保存）

- 製品の動作状態について以下を確認してください。
 - 印刷等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
- デイリーメンテナンスに必要なものを用意します。
☞ [デイリーメンテナンスの準備](#)
- 操作パネルの [Power] キーを押します。

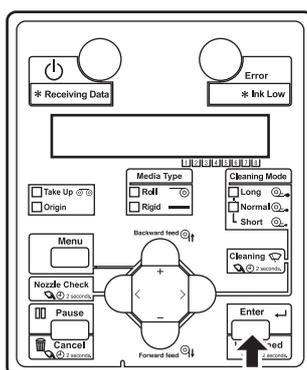


- 操作パネルに「デイリーメンテナンス： Start」と表示されます。

4. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
 - 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されます。
5. デイリーメンテナンスを行います。
 **デイリーメンテナンスを行う**
6. メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。

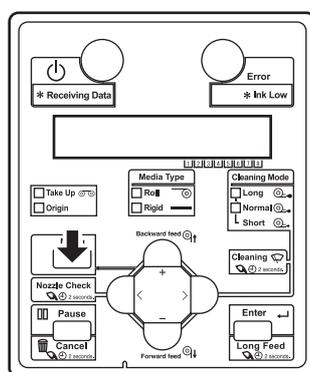


- キャリッジとクリーニングワイパーが、元の位置に移動します。
 - プリンタが自動で微量クリーニングを行います。
7. 微量クリーニング終了後、操作パネルに「デンゲンシャダンチュウ」と表示されます。
- 製品が電源 OFF 動作を開始します。
 - 操作パネルのすべてのランプおよび液晶表示部が消灯します。
 - 電源が OFF します。

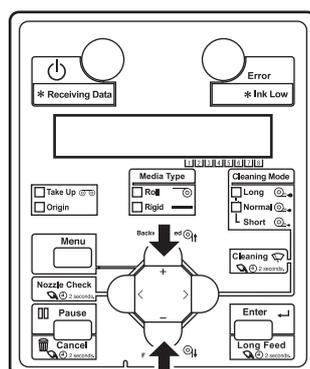
3.2.3 長期間使用しない場合（長期保存）

長期間（最長1ヶ月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

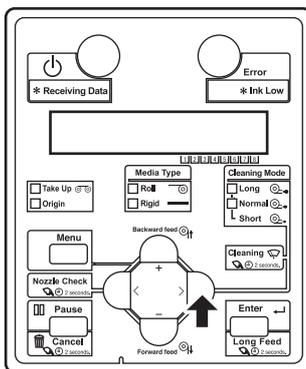
1. 製品の動作状態について以下を確認してください。
 - 印刷が終了し、メディアが取り外されていること
 - 操作パネルが通常状態であること
2. デイリーメンテナンスに必要なものを用意します。
🔧 [デイリーメンテナンスの準備](#)
3. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー7： メンテナンス >」を選択します。

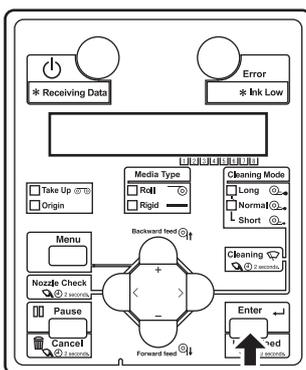


5. 操作パネルの [>] キーを押します。



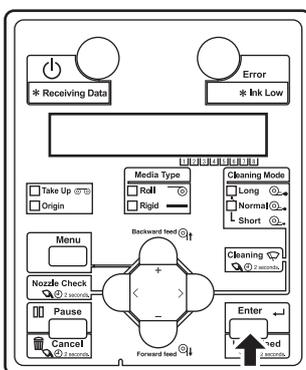
- 操作パネルに「メンテナンス 1 : デイリーメンテナンス」と表示されます。
- メンテナンスメニューに移行します。
[図 5.7 メンテナンスメニュー](#)

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



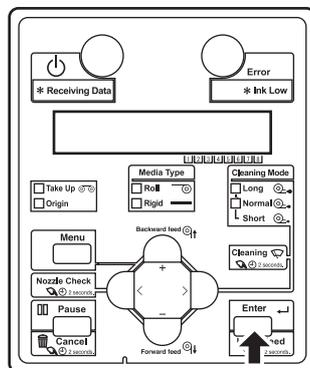
- 操作パネルに「デイリーメンテナンス : Start」と表示されます。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

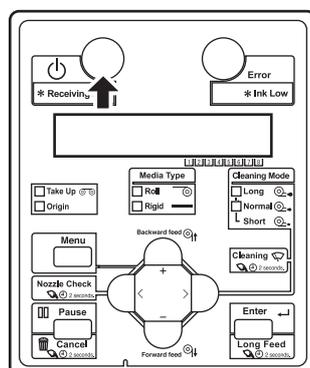


- キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
- 操作パネルに「デイリーメンテナンス : End」と表示されます。

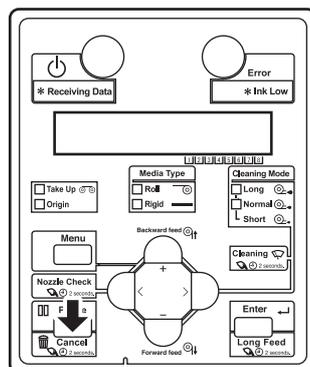
8. デイリーメンテナンスを行います。
 **デイリーメンテナンスを行う**
9. メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、元の位置に移動します。
 - プリンタが自動で微量クリーニングを行います。
10. インク排出を行います。
 **5.7.3 インク排出**
 11. 操作パネルの [Power] キーを押します。



- 操作パネルに「デイリーメンテナンス： Start」と表示されます。
12. 操作パネルの [Cancel] キーを押します。



13. 操作パネルに「デンゲンシャダンチュウ」と表示されます。

- 製品が電源 OFF 動作を開始します。
- 操作パネルのすべてのランプおよび液晶表示部が消灯します。
- 電源が OFF します。

3.3 スリープモード

製品をスリープモードにすると、以下の動作を行います。

- 用紙吸着ファンが停止する。
- Power ランプを除くすべてのランプが消灯する。
- プリンタ内にあるインクの一部を循環する
- インクの微量充てん

最小限の動作しか行わなくなるため、消費電力を抑えることができます。

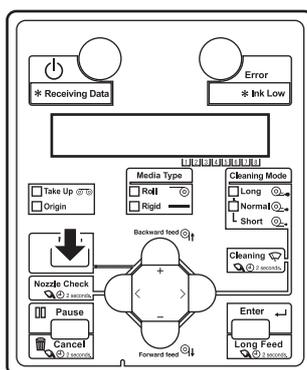
注意

- 本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。
スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

- 長時間スリープモードを継続することが予想される場合は、先に「[6.3 長期間のスリープモードに入る前に](#)」に従ってください。

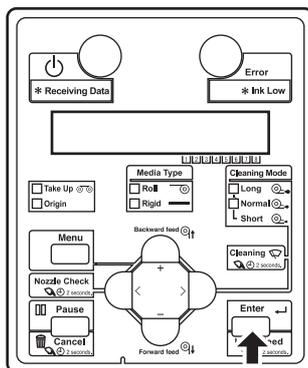
3.3.1 プリンタをスリープモードにする

- 製品の動作状態について以下を確認してください。
 - 印刷等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
 - インクカートリッジの残量が十分にあること
☞ [5.3.14 インクステータスメニュー](#)
☞ [6.4.1 インクカートリッジの交換](#)
 - 廃液ボトルの空き容量が十分にあること
☞ [6.6 廃液の処理](#)
 - フロントカバーが閉じていること
 - フロントメディアセットレバーが下がっていること（リアメディアセットレバーは上がっていること）
- デイリーメンテナンスに必要なものを用意します。
☞ [デイリーメンテナンスの準備](#)
- 操作パネルの [Menu] キーを押します。



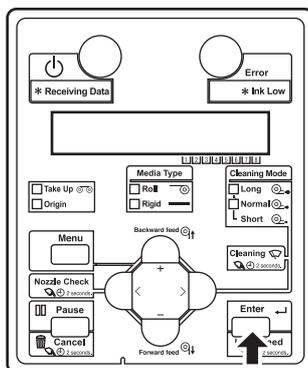
- 操作パネルに「メニュー1： スリープ° モード` >」と表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「スリープ° モード` 1：スタート」と表示されます。
- 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「スリープモード` ヲ カイシシマスカ？」と表示されます。

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



7. 操作パネルに「デイリーメンテナンス： Start」と表示されます。

- 操作パネルの [Enter] キーを押します。

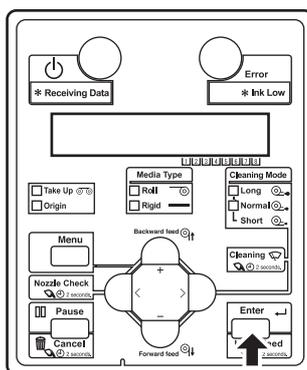


- キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
- 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されます。

8. デイリーメンテナンスを行います。

 **デイリーメンテナンスを行う**

9. メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、元の位置に移動します。
- プリンタが自動で微量クリーニングを行います。
- 操作パネルに「ENTER デ サイカイシマス」と表示されます。
- 製品がスリープモードになります。

注 記

- スリープモード状態のときに [Enter] キーを押すと、製品が通常状態に戻ります。
- スリープモード移行時に、製品が以下の状態になった場合は、「スリープモード フォカイシデ キマセン」と表示され、スリープモードになりません。
 - フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている
 - フロントメディアセットレバーが上がっている（リアメディアセットレバーが下がっている）
 - 廃液タンクが満タンになっている
 - インクカートリッジのインクが残り少なくなった（またはなくなった）
 - インクカートリッジが取り外されている
 - 純正品以外のインクカートリッジが挿入されている など

製品を正常な状態に戻してから、再度スリープモードを実行してください。

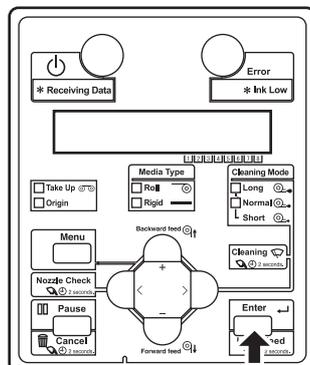
☞ 7.2 表示の詳細

- スリープモード中に、製品が上記の状態になった場合は、[Enter] キーを押しても通常状態には戻りません。
- 正常な状態に戻し、[Enter] キーを押すと通常状態に戻ります。

☞ 7.2 表示の詳細

3.3.2 プリンタをスリープモードから復帰する

1. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 製品が通常状態に戻ります。

3.4 インクの初期充てん

本製品は、初回使用前にヘッド洗浄とインクの初期充てんが必要です。

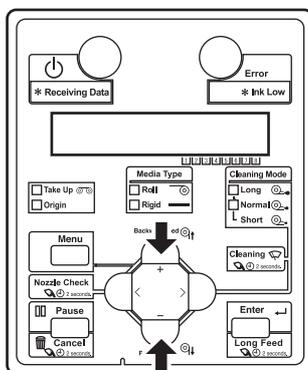
注 記

本作業はおおよそ 40 分かかります（インクカートリッジを取り外したり、セットする時間は含まれていません）。

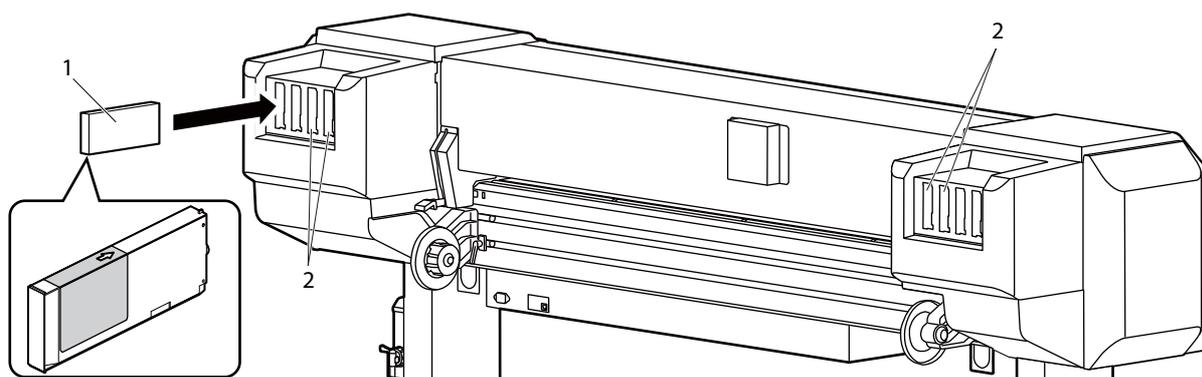
手順の概要は以下のとおりです。

合わせて「[3.4.1 初期充てんの詳細](#)」を必ずご確認ください。

1. 操作パネルで、使用したいインクの色数を選択します。



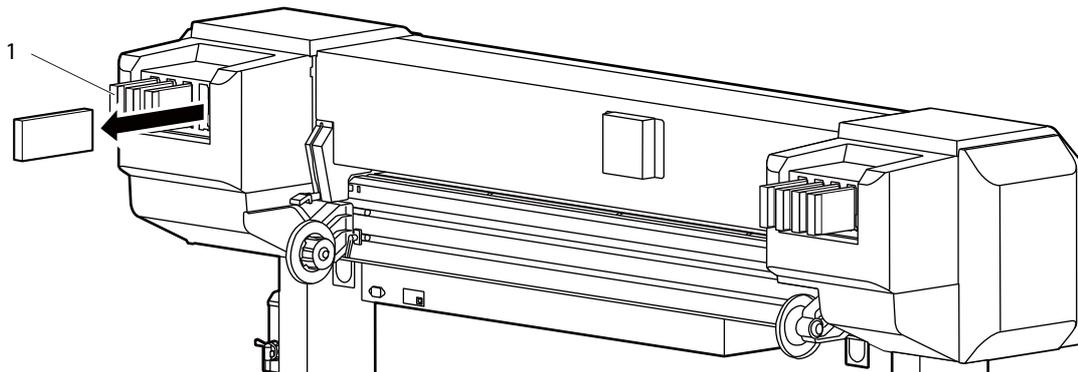
2. 洗浄カートリッジをインクカートリッジスロットに取り付けます。



番号	名称
1	洗浄カートリッジ
2	インクカートリッジスロット

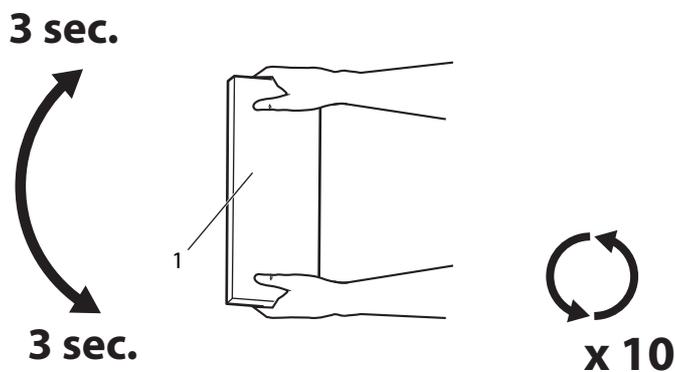
- プリンタが洗浄液を充てんします。

3. すべての洗浄カートリッジをプリンタから取り外します。



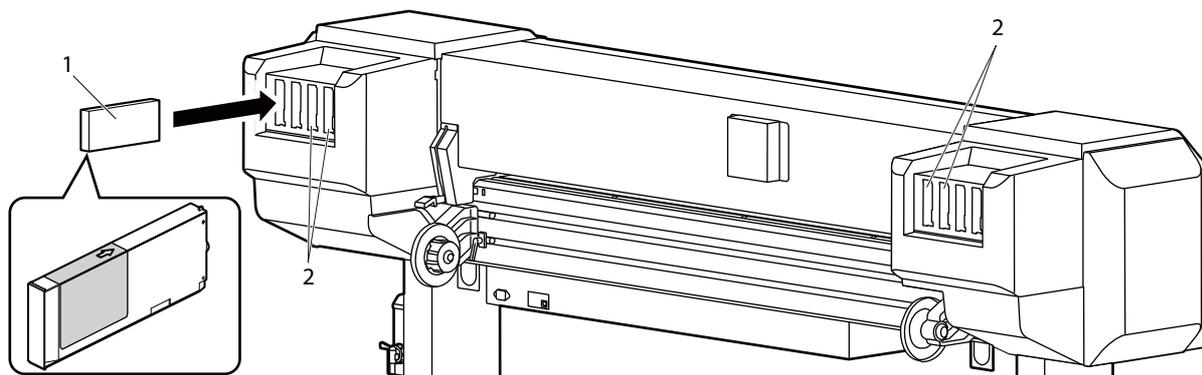
番号	名称
1	洗浄カートリッジ

- プリンタがヘッド洗浄を行います。
4. 以下の手順で新しいインクカートリッジを振ります。
- 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
 - 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
 - 10回繰り返します。



番号	名称
1	インクカートリッジ

5. インクカートリッジをインクカートリッジスロットに取り付けます。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

- プリンタがインクを充てんします。

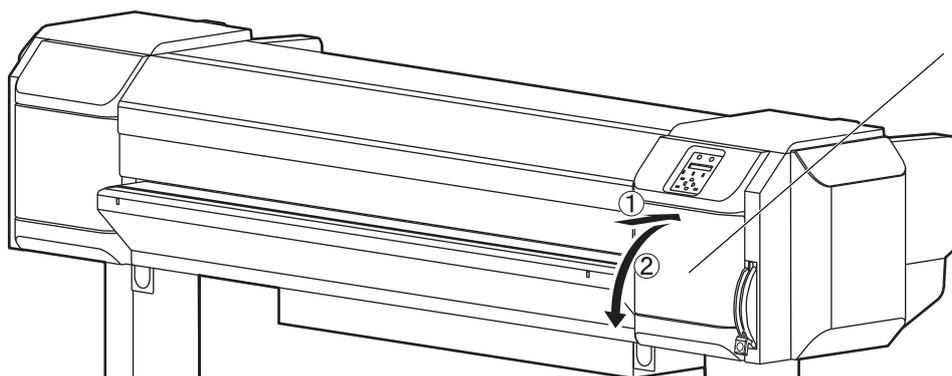
3.4.1 初期充てんの詳細

以下の手順で初期充てんを行ってください。

⚠ 注意

- インクカートリッジは直射日光を避け冷暗所に保管してください。
- 開封後保管する場合は、元のアルミ袋の中に入れて状態で保管してください。
紫外線がカートリッジに当たるとインクが徐々に硬化して故障の原因になります。

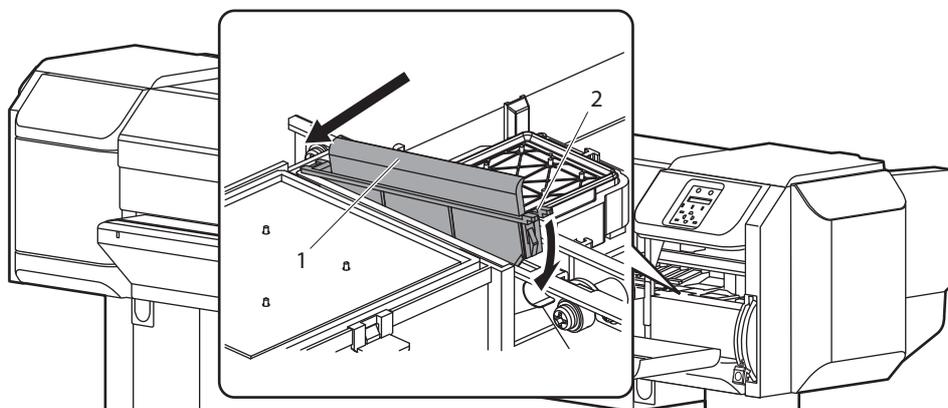
1. 製品の電源を ON します。
 - 製品が初期動作を開始します。
 - 初期動作終了後、操作パネルに「ワイパーヲ トリツケマシタカ? → イイエ」と表示されます。
2. 製品右側のメンテナンスカバーを開きます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

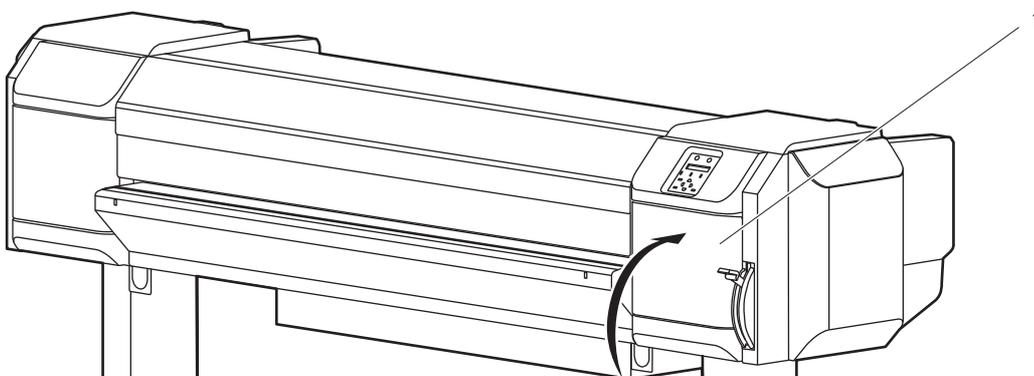
3. 以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。

- クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
- クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。



番号	名称
1	クリーニングワイパー
2	クリーニングワイパーのツメ部

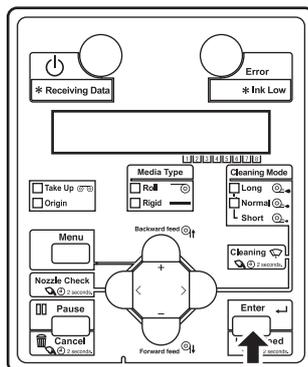
4. メンテナンスカバーを閉じます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

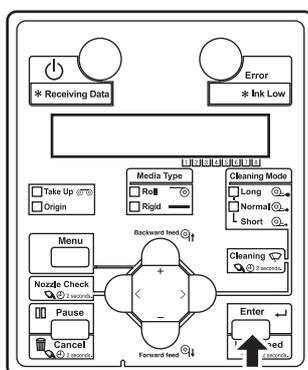
5. 操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、「ワイパーヲ トリツケマシタカ? → ハイ」を選択します。

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



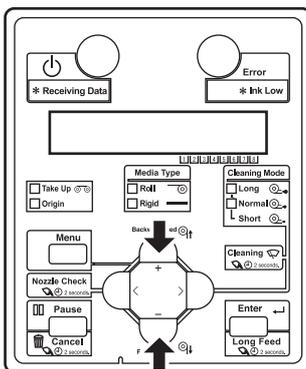
- 操作パネルに「インクシ ュウテンカイシ ー > E n t e r」と表示されます。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



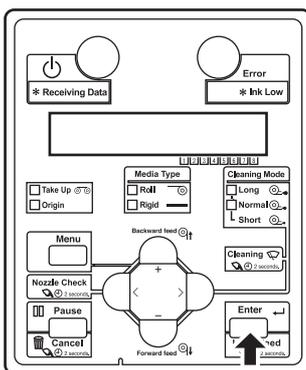
- 操作パネルに「インク クミアワセ4ショック」と表示されます。

8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、使用したいインクの色数を選択します。



- 「インク 4色 (シアン (C)、マゼンダ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K))」
- 「インク 6色 (シアン (C)、マゼンダ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K)、ホワイト (WH)、バーニッシュ (VA))」

9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

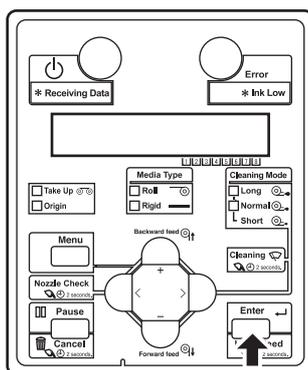


- 操作パネルに「ハイエキマ カラニシテクダサイ」と表示されます。

注 記

作業中、このメッセージが表示されたら廃液タンクを確認し、タンク内に廃液がある場合は空にしてください。廃液が残ったままだと、洗浄液を浪費します。

10. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

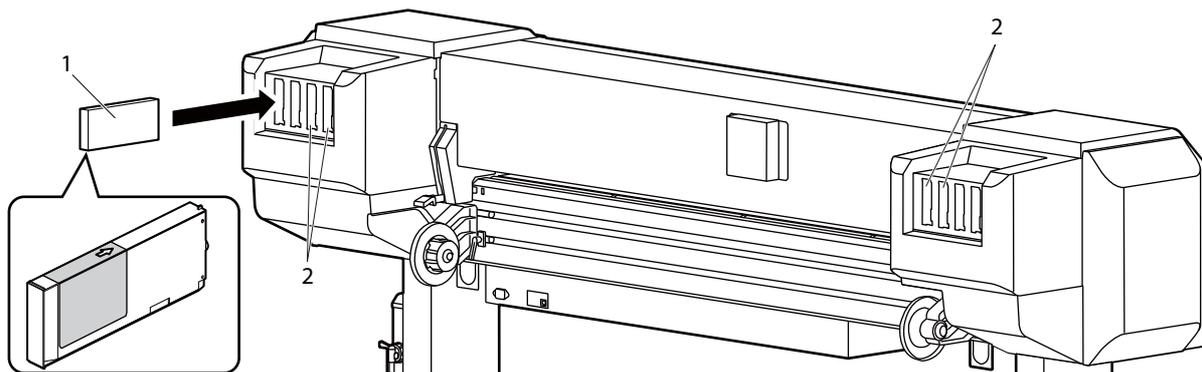


- 操作パネルに「センシ ョウカートリッジ フォ ーセット」と表示されます。

11. 洗浄カートリッジを用意します。

- 洗浄カートリッジの必要数：8本

12. 洗浄カートリッジをすべてのインクカートリッジスロットへ挿入します。

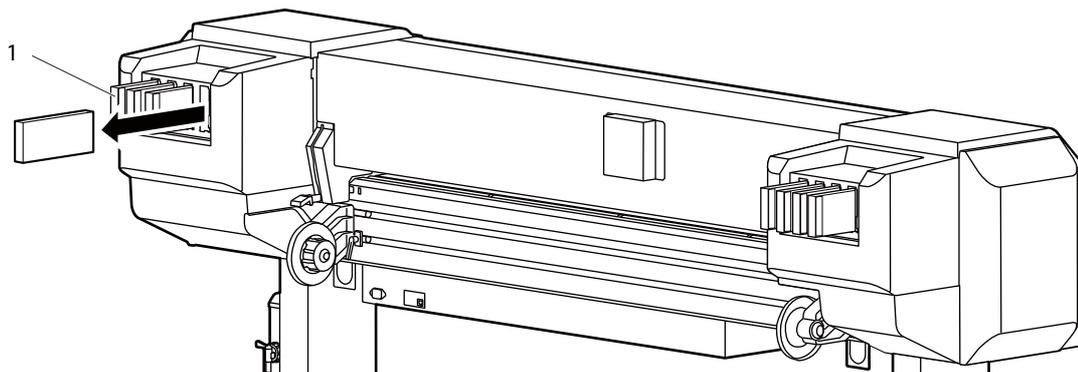


番号	名称
1	洗浄カートリッジ
2	インクカートリッジスロット

- 洗浄カートリッジの矢印マークを上にして、製品に挿入してください。
- 洗浄カートリッジはインクカートリッジスロットの奥までしっかり挿入してください。
- すべての洗浄カートリッジを取り付けると、操作パネルに「ヘッド センシ ョウ チュウ」と表示され、製品が洗浄液充てんを開始します。
- 洗浄液充てん後、操作パネルに「カートリッジ フォ ーヌイテクタ ーサイ」と表示されます。

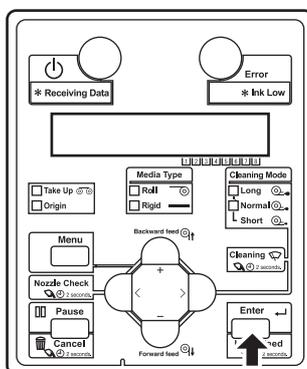
13. すべての洗浄カートリッジをプリンタから取り外します。

- 操作パネルに「ヘッド`センシ`ョウチュウ」と表示され、製品がヘッド洗浄を開始します。
- ヘッド洗浄終了後、操作パネルに「ハイエキヲ カラニシテクタ`サイ」と表示されます。
- 廃液タンクを確認してください。



番号	名称
1	洗浄カートリッジ

14. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



15. インクカートリッジを用意します。

- 使用するインクカートリッジの種類と数量が、手順3で選択したインク色数によって異なります。

(1) インクの色数が4色の場合

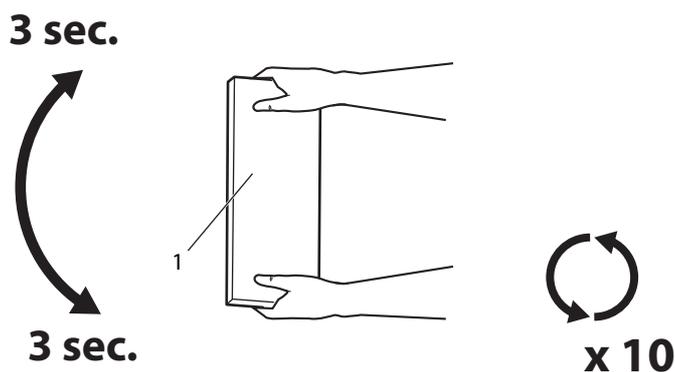
- シアン (C) : 2本
- マゼンダ (M) : 2本
- イエロー (Y) : 2本
- ブラック (K) : 2本

(2) インクの色数が6色の場合

- シアン (C) : 1本
- マゼンダ (M) : 1本
- イエロー (Y) : 1本
- ブラック (K) : 1本
- バーニッシュ (VA) : 2本
- ホワイト (WH) : 2本

16. 以下の手順で新しいインクカートリッジを振ります。

- 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- 10回繰り返します。



番号	名称
1	インクカートリッジ

注意

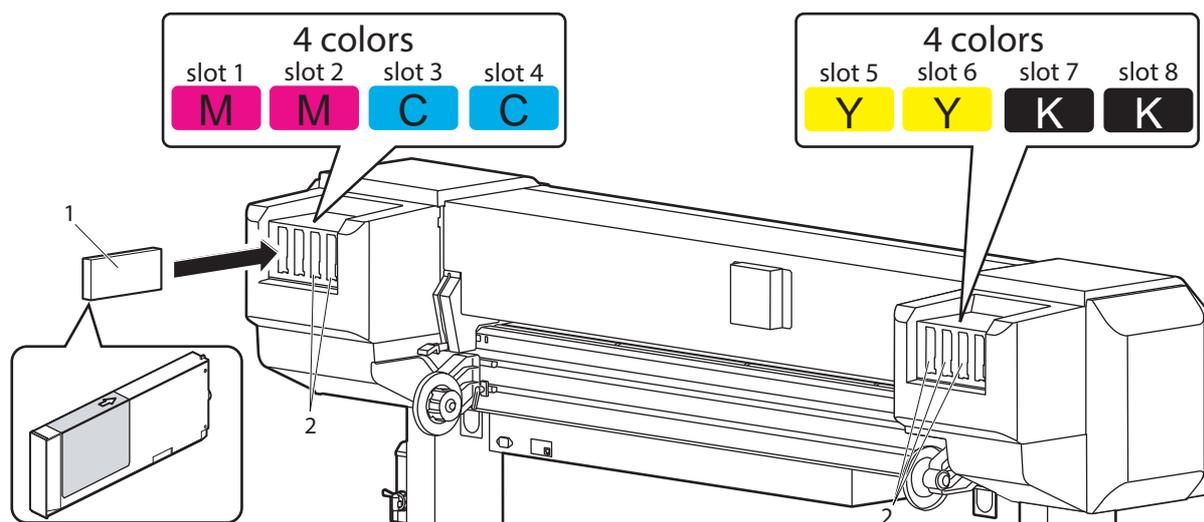
- インクカートリッジは使用する前に振ってください。
- インクカートリッジは定期的に振る必要があります。
放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

17. インクカートリッジを、インクカートリッジスロットに取り付けます。

注記

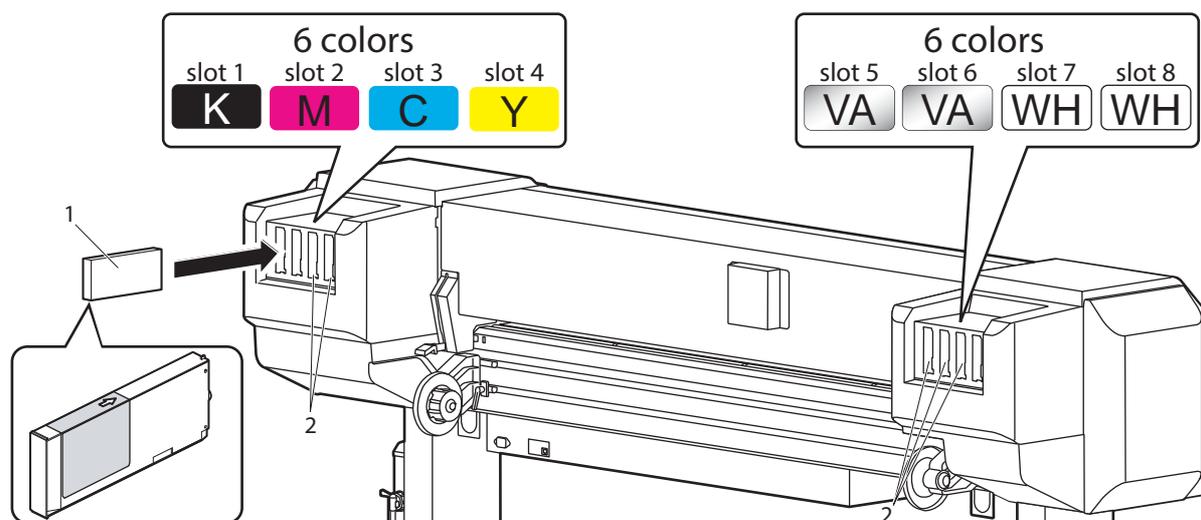
手順3で選択したインク色数によって、インク色とインクカートリッジスロットの対応関係が異なりますのでご注意ください。

(1) インクの色数が4色の場合



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

(2) インクの色数が 6 色の場合



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

- ・ インク色表示ラベルでインク色とインクカートリッジスロットの対応を確認できます。
- ・ インクカートリッジの矢印マークを上にして、製品に挿入してください。
- ・ インクカートリッジはインクカートリッジスロットの奥までしっかり挿入してください。
- ・ インクカートリッジを取り付けると、操作パネルに「インクシ ユウテンチュウ * *%」と表示され、初期充てんを開始します。
- ・ 初期充てんにはおおよそ 15 分かかります。
- ・ 初期充てん中は、インク充てん動作と休止動作を繰り返します。
- ・ メッセージの「**」部が 100 になると、初期充てんが終了します。
- ・ 初期充てんが終了すると、操作パネルに「メテ ィアナシ」と表示されます。

▲ 注意

- インク充てん中は、以下のことを遵守してください。充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。
 - 製品の電源を OFF しないこと。
 - 製品の電源ケーブルを抜かないこと。
 - フロントカバーを開けないこと。
 - メンテナンスカバーを開けないこと。
 - フロントメディアセットレバーを上げないこと（リアメディアセットレバーを下げないこと）。
 - インク残量の少ないインクカートリッジを使用しないこと。

注記

- 初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。
 - 印刷した線がかすれる
 - 部分的に印刷されない

このような場合には、「[5.5 クリーニングメニュー](#)」に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。

微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「[8.4 お問い合わせ先](#)」までご連絡ください。

3.5 メディアの取り付け

3.5.1 搬送台の取り付け

本製品でリジッドメディアを使用する場合は、搬送台（オプション）をご使用ください。
以下の手順に従って、搬送台を取り付けてください。

搬送台の取り付けには下記を使用します。

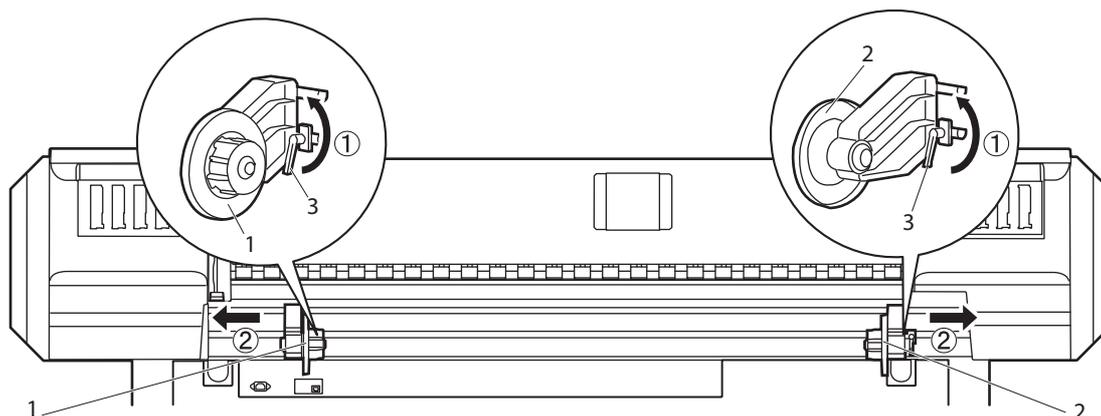
- スパナ：搬送台付属品
- 水準器：プリンタ付属品

注 記

搬送台の組み立て方法は、プリンタの設置要領書をご覧ください。

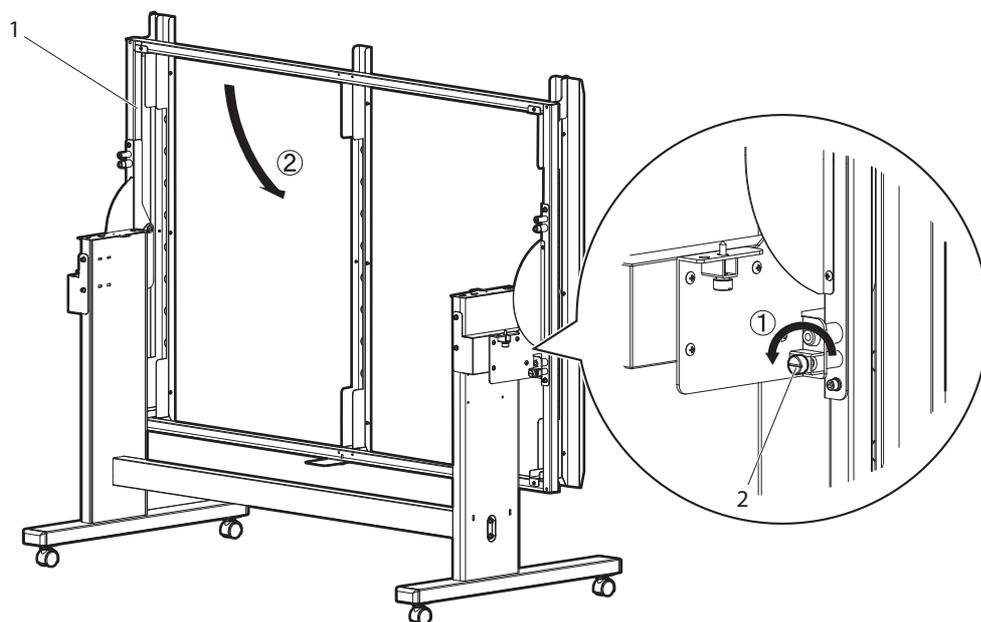
3.5.1.1 背面側

1. 製品背面左右のロール紙受けの固定レバーを緩め、ロール紙受けを両端に寄せて固定します。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	固定レバー

2. 搬送台の垂直固定ネジを緩め、静かにテーブル面を水平にします。

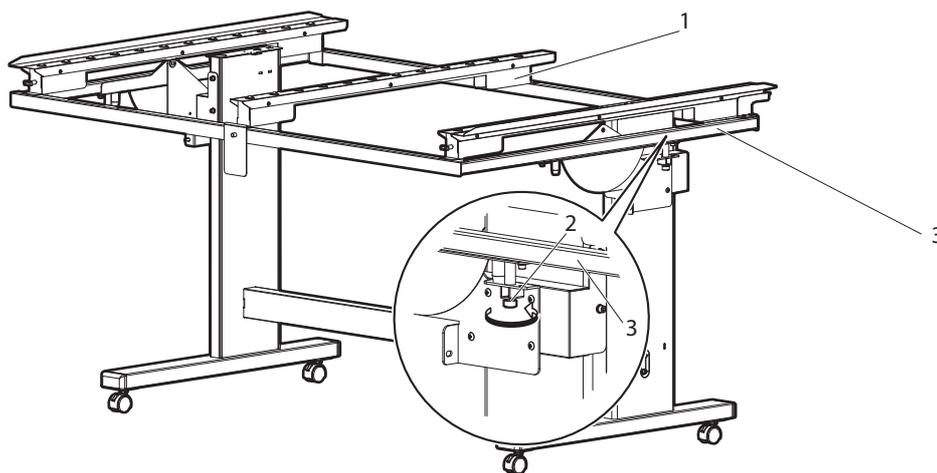


番号	名称
1	搬送台
2	垂直固定ネジ

3. 搬送台の水平固定ネジ（左右2箇所）を締め、テーブルを固定します。

注 記

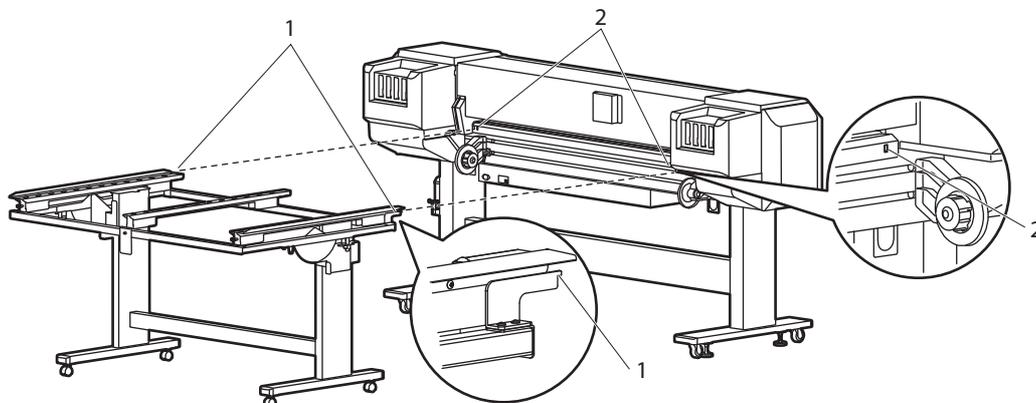
水平固定ネジを固定する際は、フレーム部を上からおさえてゴム足部を圧縮しながらネジを回し、ネジが回らなくなるまで回してください。



番号	名称
1	搬送台
2	水平固定ネジ
3	フレーム

4. 搬送台の位置決めガイドをペーパーガイド R の角穴に挿入します。

- 位置決めガイドの高さが角穴に合わないときは、搬送台のキャスターのネジをスパナで回して高さを調整します（手順 5 参照）。

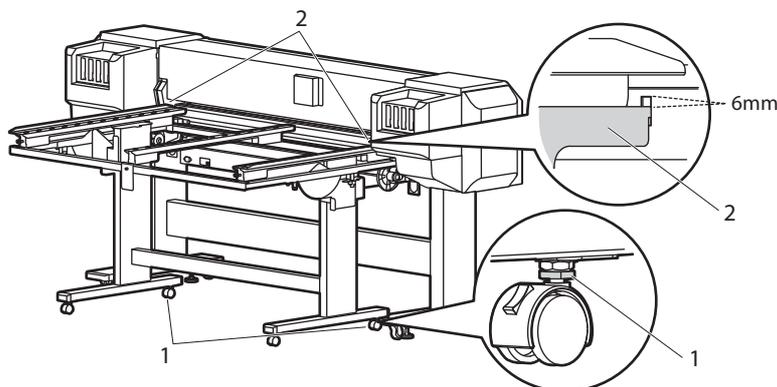


番号	名称
1	位置決めガイド
2	角穴

5. 搬送台のキャスター（プリンタから近い側、2箇所）のネジをスパナで回して、ペーパーガイド R の角穴の上部と搬送台の位置決めガイドの上側の差が、6 mm 位になるように調整します。

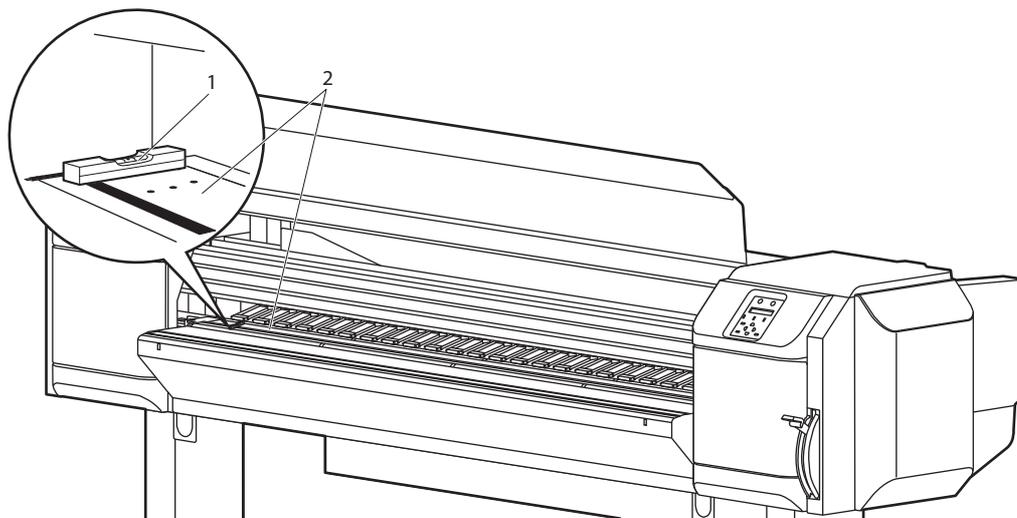
注記

- 搬送台のキャスターにはネジが 2 種類あります。下側のネジを回してください。
- ネジを時計回りに回したときに、搬送台が上昇します。



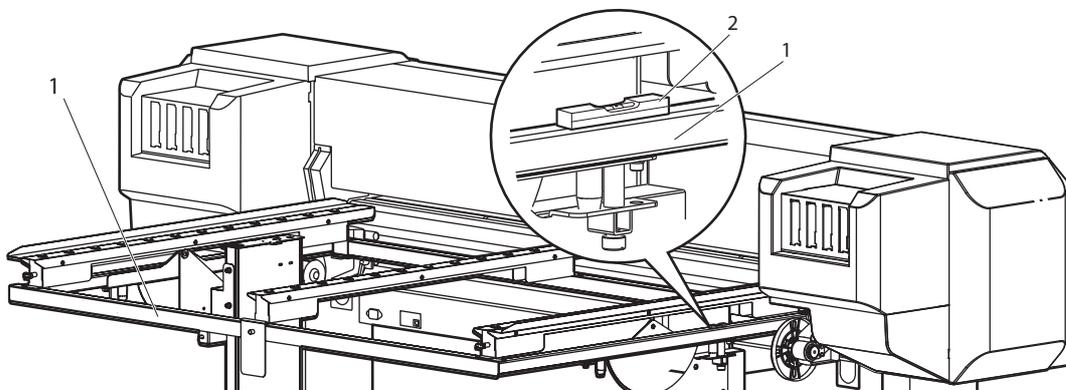
番号	名称
1	キャスターのネジ
2	位置決めガイド

6. 水準器をプリンタのプラテンの端に置き、気泡の位置を確認します。



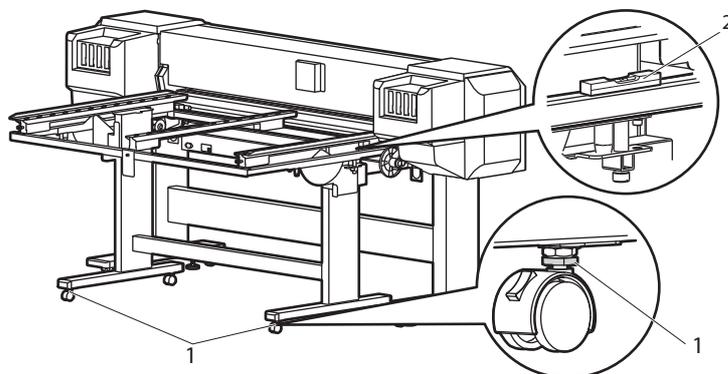
番号	名称
1	水準器
2	プラテン

7. 水準器を搬送台の枠に置きます。
水準器は、プリンタに置いたときと同じ側に置きます。



番号	名称
1	搬送台の枠
2	水準器

8. 搬送台のキャスター(プリンタから遠い側)のネジをスパナで回し、傾きを調整します。
- 水準器の気泡の位置が、プリンタに置いたときと同じ位置になるようにします。



番号	名称
1	キャスターのネジ
2	水準器

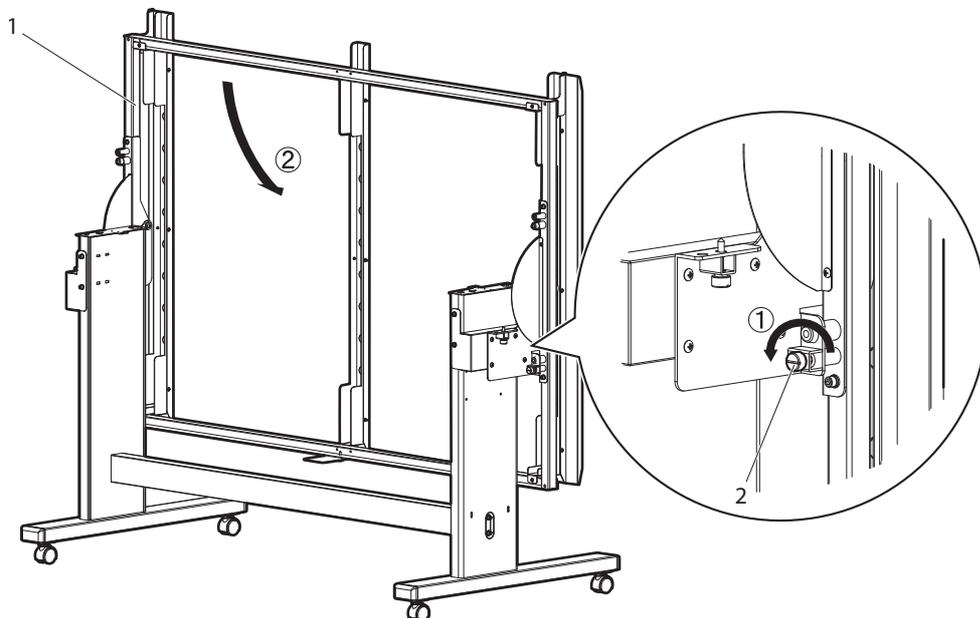
9. 反対側も同様に傾きをプリンタに合わせます。

⚠ 注意

- 搬送台の傾きが適正でない場合、メディアがプリントヘッドに接触してプリントヘッドが損傷する恐れがあります。

3.5.1.2 正面側

1. 搬送台の垂直固定ネジを緩め、静かにテーブル面を水平にします。

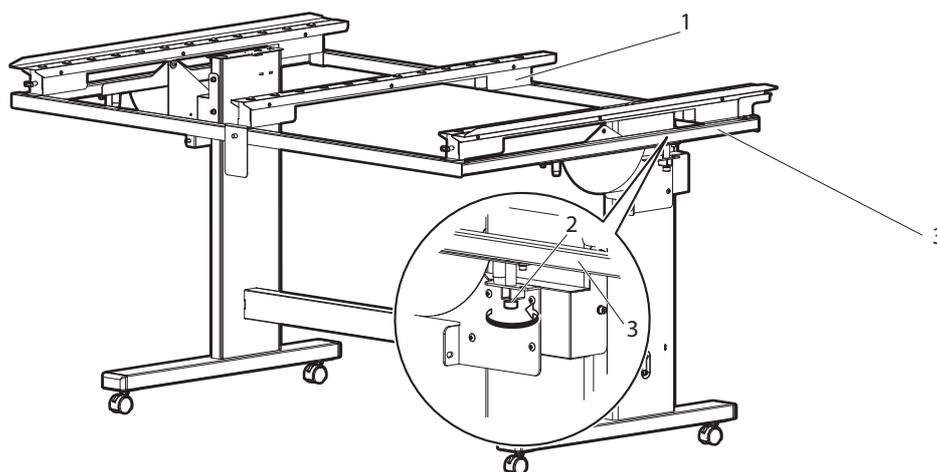


番号	名称
1	搬送台
2	垂直固定ネジ

2. 搬送台の水平固定ネジ（左右2箇所）を締め、テーブルを固定します。

注 記

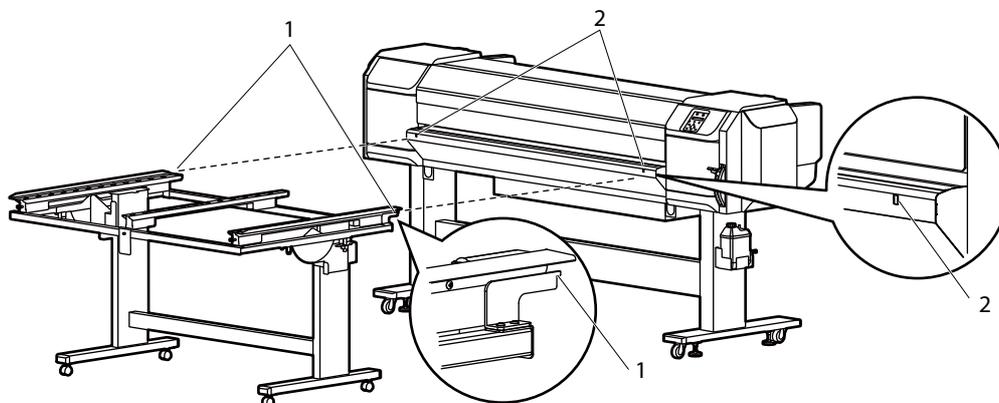
水平固定ネジを固定する際は、フレーム部を上からおさえてゴム足部を圧縮しながらネジを回し、ネジが回らなくなるまで回してください。



番号	名称
1	搬送台
2	水平固定ネジ
3	フレーム

3. 搬送台の位置決めガイドをペーパーガイドFの角穴に挿入します。

- 位置決めガイドの高さが、角穴に合わないときは、搬送台のキャスターのネジをスパナで回して高さを調整します(手順4参照)。

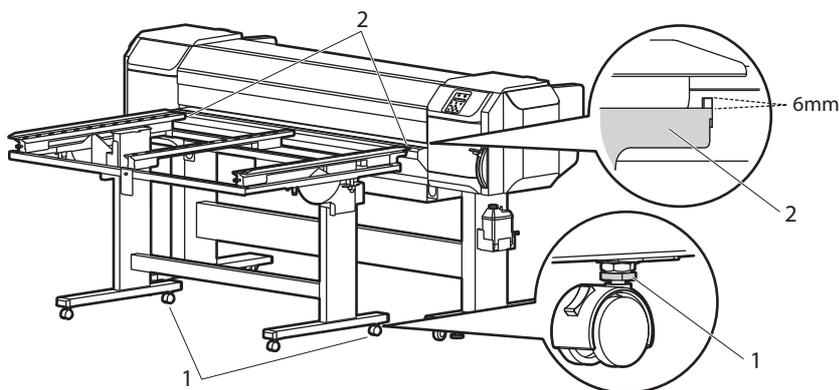


番号	名称
1	位置決めガイド
2	角穴

4. 搬送台のキャスター（プリンタから近い側、2箇所）のネジをスパナで回して、ペーパーガイドFの角穴の上部と搬送台の位置決めガイドの上側の差が、6mm位になるように調整します。

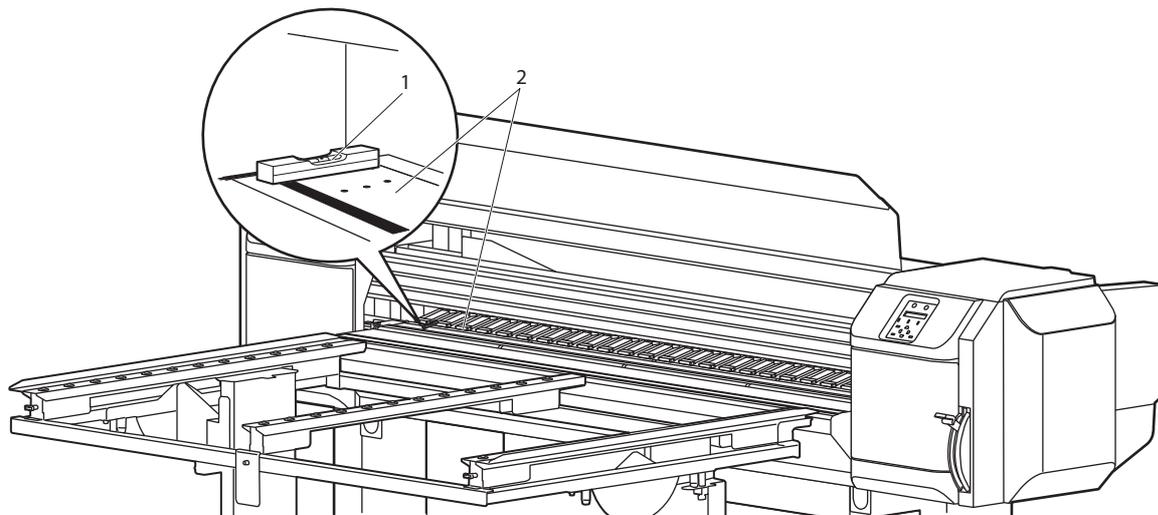
注記

- 搬送台のキャスターにはネジが2種類あります。下側のネジを回してください。
- ネジを時計回りに回したときに、搬送台が上昇します。



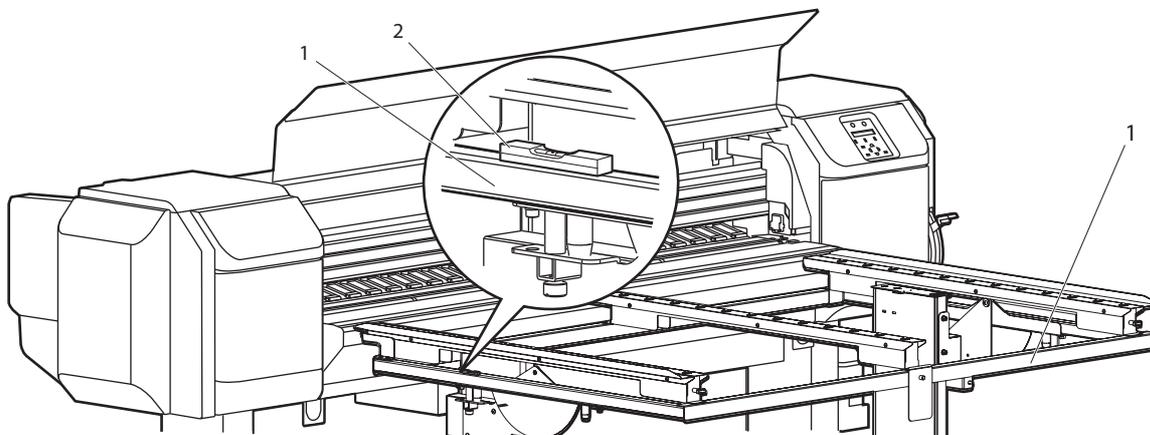
番号	名称
1	キャスターのネジ
2	位置決めガイド

5. 水準器をプリンタのプラテンの端に置き、気泡の位置を確認します。



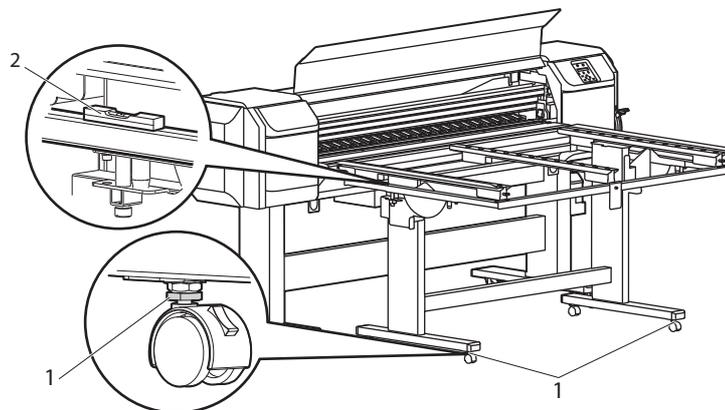
番号	名称
1	水準器
2	プラテン

6. 水準器を搬送台の枠に置きます。
水準器は、プリンタに置いたときと同じ側に置きます。



番号	名称
1	搬送台の枠
2	水準器

7. 搬送台のキャスター（プリンタから遠い側）のネジをスパナで回し、傾きを調整します。水準器の気泡の位置が、プリンタに置いたときと同じ位置になるようにします。



番号	名称
1	キャスターのネジ
2	水準器

8. 反対側も同様に傾きをプリンタに合わせます。

3.5.2 リジッドメディアのセット

注 記

- 本製品に取り付け可能なリジッドメディアは下記の通りです。
 - 最大幅：1,625 mm
 - 最小幅：182 mm
 - 最大奥行：1,200 mm
 - 最小奥行：200 mm
 - 厚さ：15 mm 以下（メディアの反り、バラツキを含む）
 - 重量：15 kg 以下
 - メディアの反り：1 mm 以下（厚さのバラツキがある場合は、反りとバラツキの合計値が 1 mm 以下とする。また、反りが上向きの状態での印刷は行わないこと）

リジッドメディアのセットには下記を使用します（搬送台調整時のみ）。

- スパナ：搬送台付属品

以下の手順に従ってリジッドメディアをセットしてください。

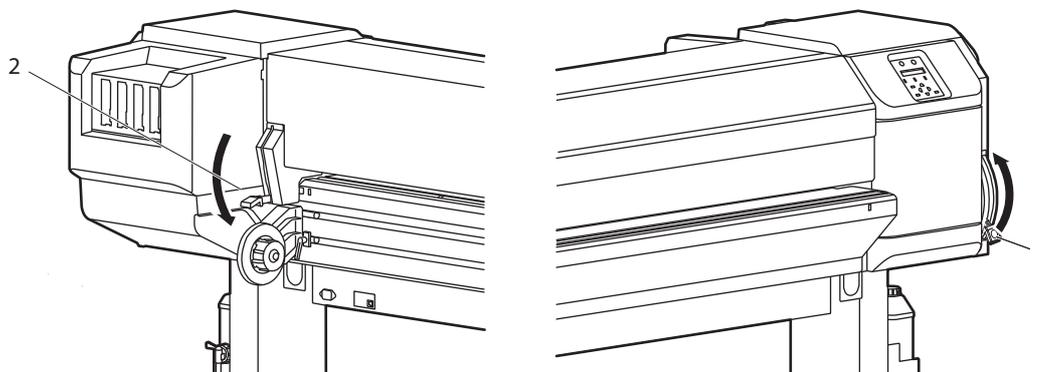
1. 電源を ON します。
2. パネル設定メニューで、これから使用したいユーザ定義の「メディア種類」設定が「リジッド」になっているかを確認します。
 - 🔗 [4.3.2 メニュー設定手順](#)
 - 🔗 [5.2.2.10 メディア種類メニュー](#)

注 記

実際にセットしたメディアと設定したユーザ定義のメディア種類が異なる場合、正常にメディア検出を行えない恐れがあります。

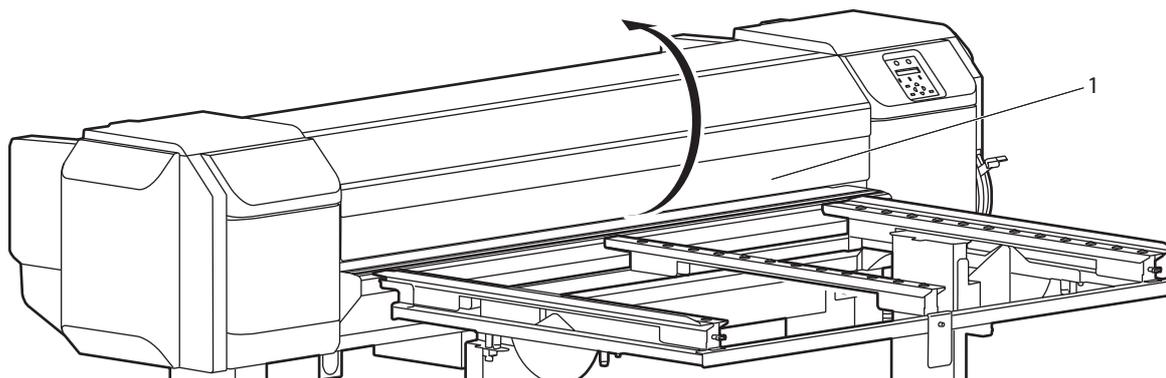
3. フロントメディアセットレバーを上げます（リアメディアセットレバーを下げます）。

- 見やすくするため、イラストでは搬送台を省略しています。



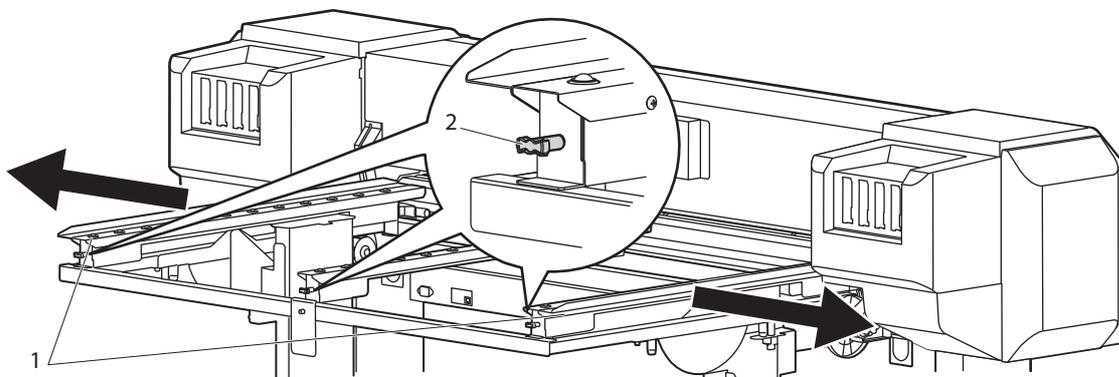
番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

4. フロントカバーを開きます。



番号	名称
1	フロントカバー

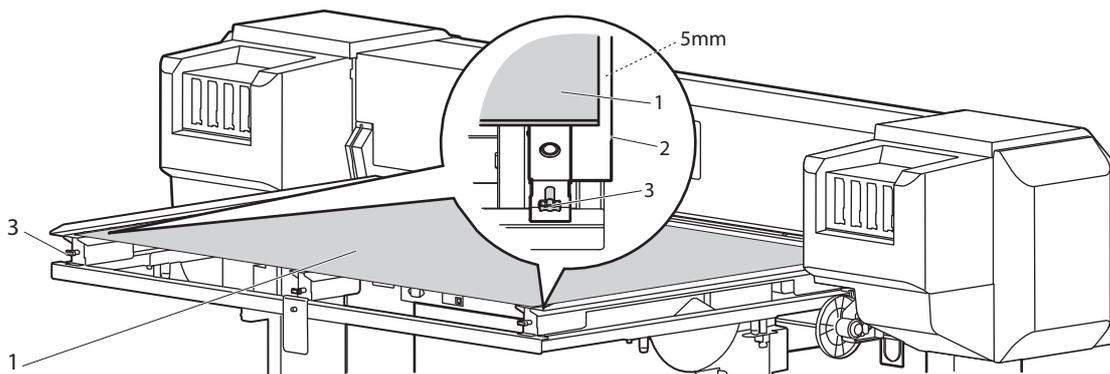
5. 搬送台（背面側）のレール固定ネジをゆるめ、リジッドメディアが置けるようにレールを左右に広げます。
 リジッドメディアはプリンタの原点側に寄せて配置します。



番号	名称
1	レール
2	レール固定ネジ

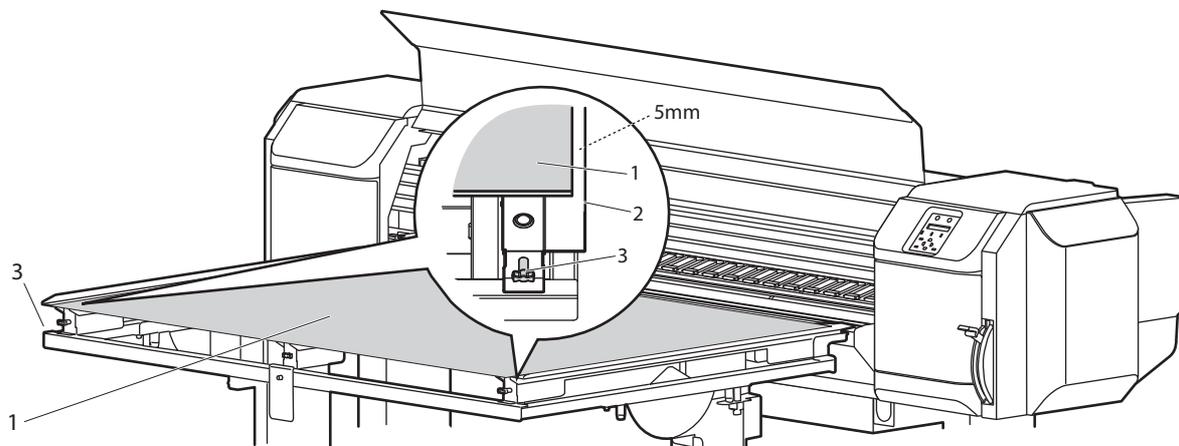
6. レール上にリジッドメディアを載せ、左右のストッパーとリジッドメディアの隙間が 5 mm 以上ある位置で、レール固定ネジを締め付けます。

- リジッドメディアはメディア搬送方向と平行になるようにします。
- リジッドメディアがレールのボール部に必ず載るようにします。
- レールはリジッドメディアに対して平行を保つように調整してから固定します。
- 中央のレールが左右のレールの中心になるように配置してから固定します。



番号	名称
1	リジッドメディア
2	ストッパー
3	レール固定ネジ

7. 搬送台（前側）も同様に、リジッドメディアを載せてみて、左右のストッパーとメディアとの隙間が 5 mm 以上ある位置でレールを固定してください。



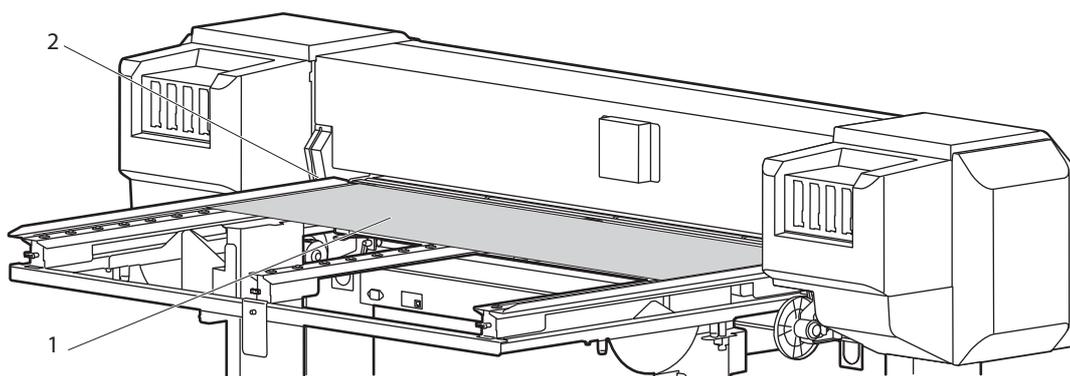
番号	名称
1	リジッドメディア
2	ストッパー
3	レール固定ネジ

注記

リジッドメディアが手前に滑り落ちてしまう場合は、メディアストッパを使用してください。

☞ 2.2 各部の名称と機能

8. プリンタ背面側から、リジッドメディアを給紙スロットに差し込みます。

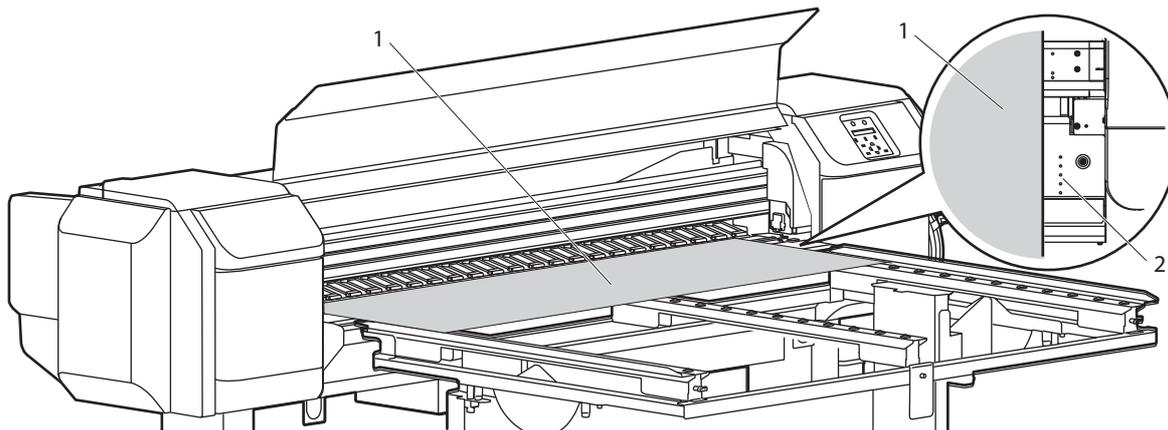


番号	名称
1	リジッドメディア
2	給紙スロット

9. 正面から見て、メディアの右端がメディアセット目安より右側に入ってしまう場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。

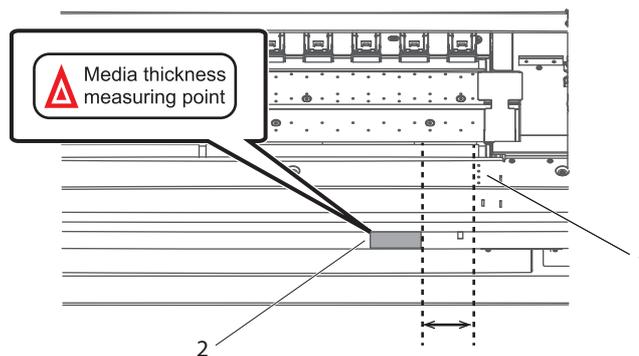
参考

メディアセット目安は、メディア右端の基準位置を定めるものではありません。線を越えていなければ、メディアが線から離れた位置にあっても問題ありません。



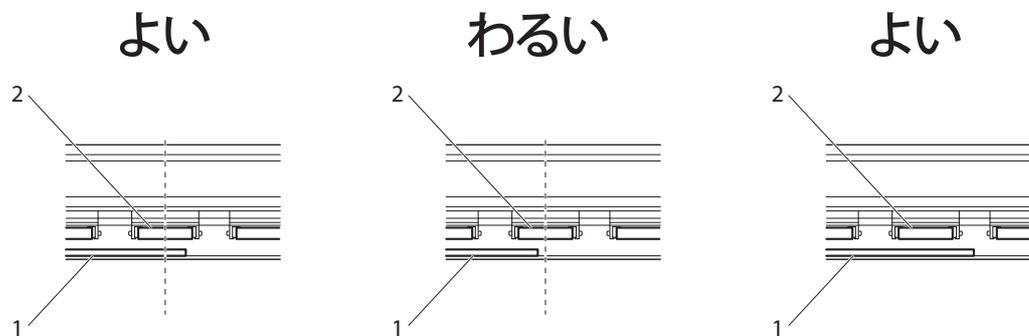
番号	名称
1	リジッドメディア
2	メディアセット目安

- メディア右端が、メディアセット目安とラベルの間にあるようにセットしてください。(見やすくするため、イラストでは搬送台を省略しています。)



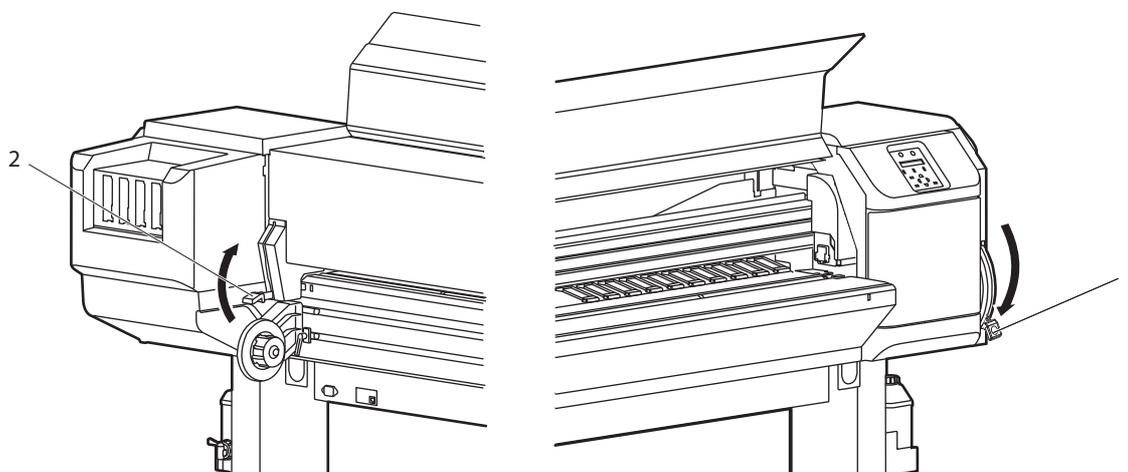
番号	名称
1	メディアセット目安
2	ラベル

10. メディアの両端が加圧ローラに半分以上かかっていない場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。
 加圧ローラに半分以上かからないリジッドメディアをセットする場合は、メディアの両端が加圧ローラに掛からないようにしてください。



番号	名称
1	リジッドメディア
2	加圧ローラ

11. フロントメディアセットレバーを下げます（リアメディアセットレバーを上げます）。
 • 見やすくするため、イラストでは搬送台を省略しています。



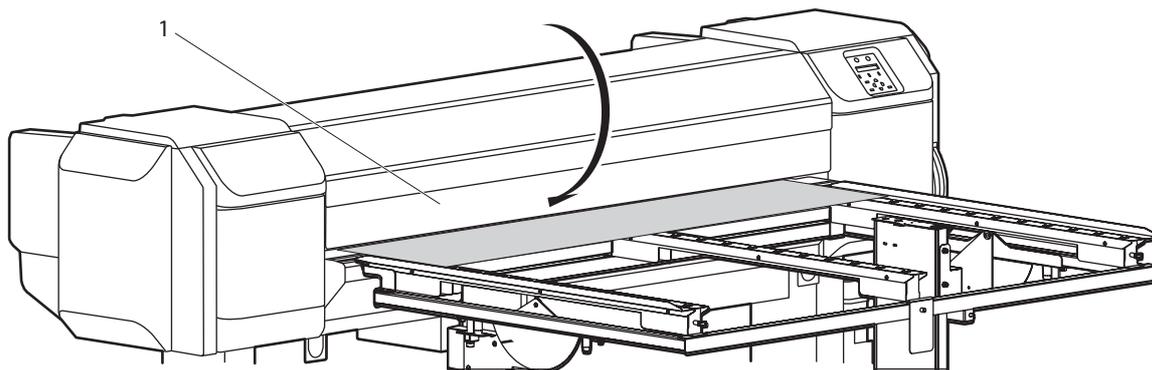
番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

注 記

フロントメディアセットレバーは、下方に押しつけるようにしてしっかり下げてください。リアメディアセットレバーの場合は、上方に持ち上げるようにしっかり上げてください。

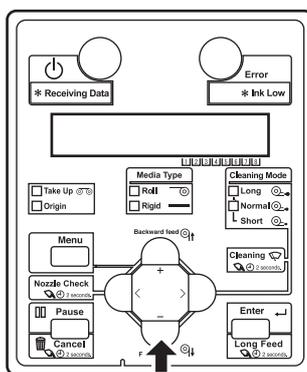
レバーの上げ下げが不完全な状態の場合、メディアの検出ができない恐れがあります。

12. フロントカバーを閉めます。



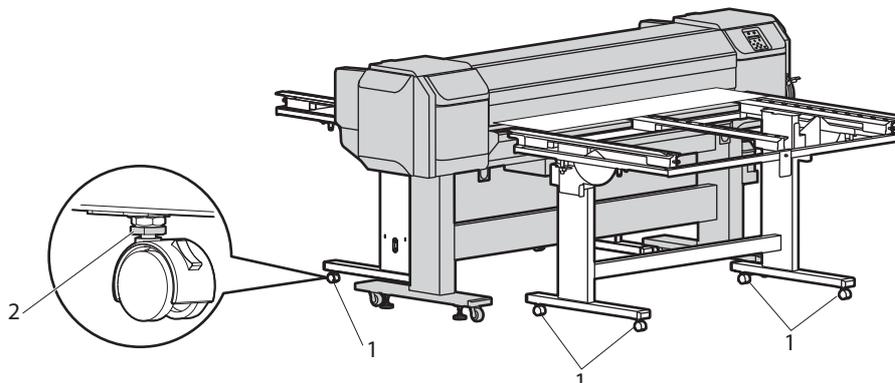
番号	名称
1	フロントカバー

13. 操作パネルの [-] キーを長押しして、リジッドメディアが問題なく搬送できることを確認します。



- 確認はリジッドメディアの全体に対して行ってください。

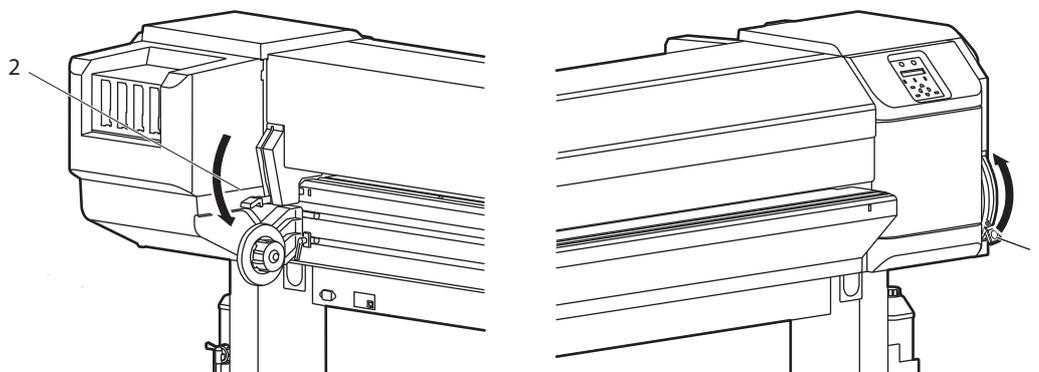
14. 搬送不良がある場合は、前後の搬送台のキャスター（各4箇所）のネジをスパナで回して、高さを少しずつ上げ、搬送ができる位置に調節してください。



番号	名称
1	キャスター
2	ネジ

15. フロントメディアセットレバーを上げ（リアメディアセットレバーを下げ）て、リジッドメディアを元の位置に戻します。

- 見やすくするため、イラストでは搬送台を省略しています。

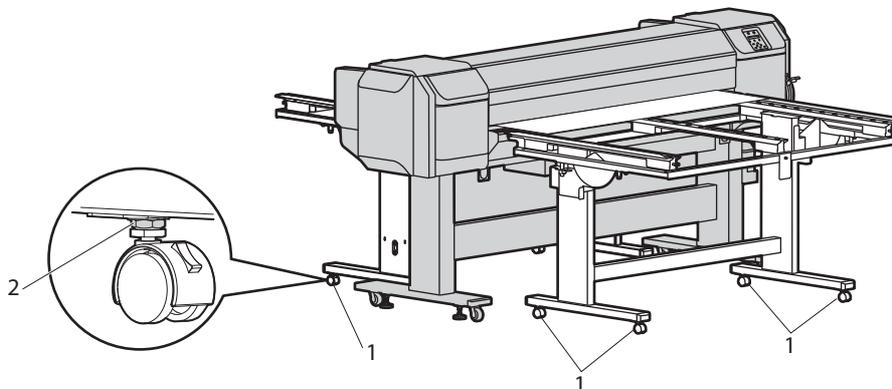


番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

16. フロントメディアセットレバーを下げます（リアメディアセットレバーを上げます）。

17. 搬送台のキャスター（4箇所）の六角ナットを、搬送台のテーブルに向かってスパナで締めます。

- キャスターの高さが固定されます。



番号	名称
1	キャスター高さ調整部
2	六角ナット

注 記

キャスターの高さ固定後は、下記の場合であれば、搬送台の取り外しを行っても搬送台の高さ調整が必要なくなります。

- プリンタの移動がない
- メディア種類の変更がない

- リジッドメディアのセットを終了します。
- 引き続き、ユーザー定義を設定します。
[I 3.5.6 ユーザー定義の設定手順](#)

3.5.3 搬送台 (オプション) の取り外し

搬送台の取り外し手順について説明します。

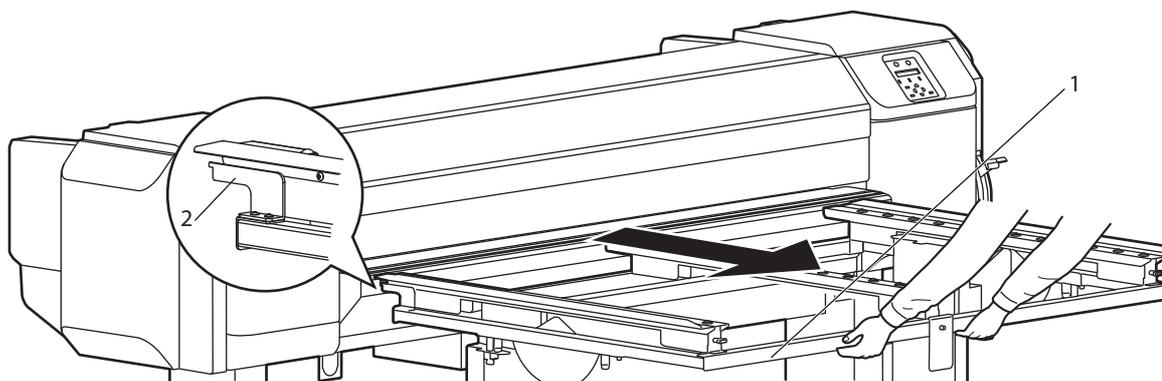
製品に搬送台 (オプション) が取り付けられている場合は、ロール紙を使用する前に搬送台を取り外す必要があります。

以下の手順に従って、搬送台を取り外してください。

1. 製品正面側の搬送台を取り外します。
 - a. 搬送台を手前側に引き、ペーパーガイドFの角穴から位置決めガイドを外します。

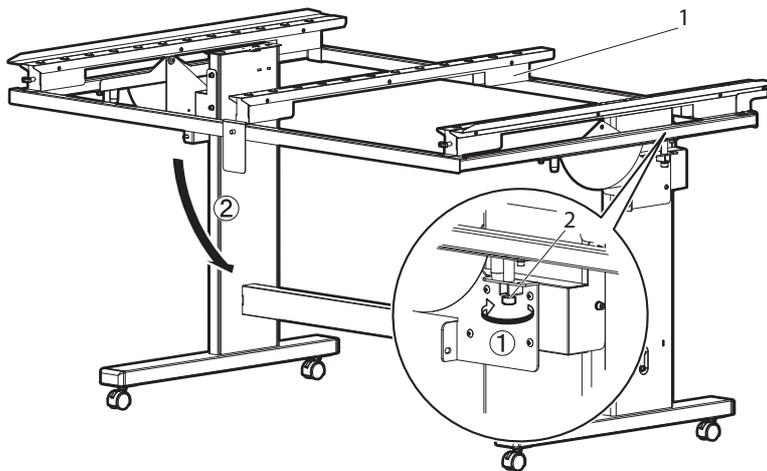
注 記

搬送台を取り外す時に、搬送台の位置決めガイドで製品を傷つけないように注意してください。



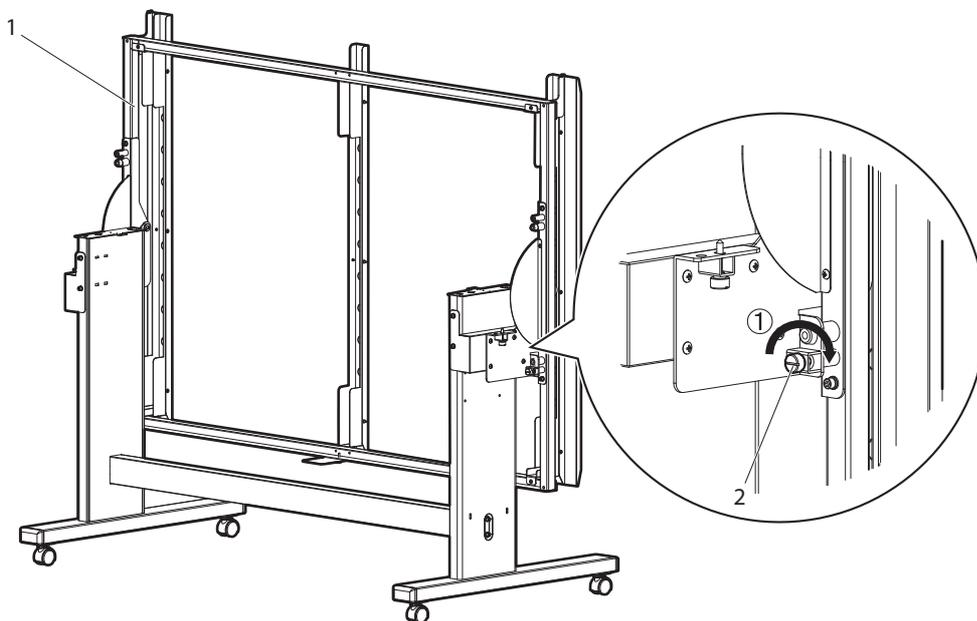
番号	名称
1	搬送台
2	位置決めガイド

b. 水平固定ネジ（左右2カ所）を緩めて、搬送台を折たたみます。



番号	名称
1	搬送台
2	水平固定ネジ

c. 垂直固定ネジを締めて、搬送台を固定します。

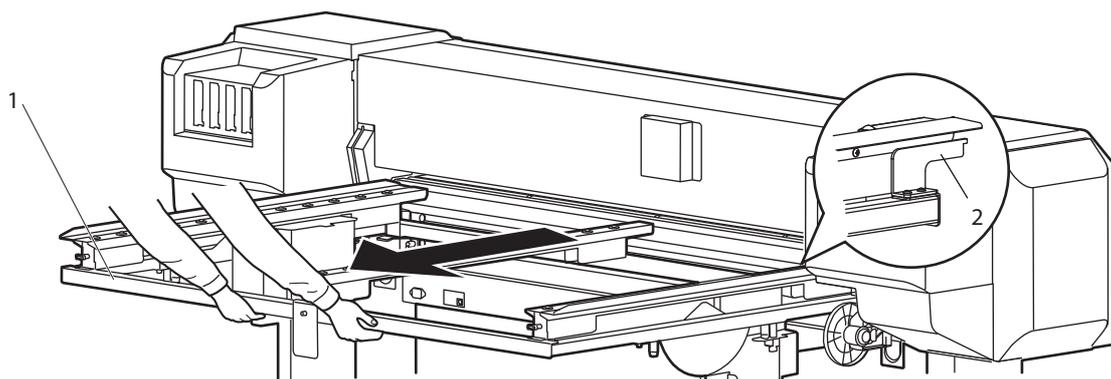


番号	名称
1	搬送台
2	垂直固定ネジ

2. 製品背面側の搬送台を取り外します。
 - a. 搬送台を手前側に引き、ペーパーガイド R の穴から位置決めガイドを外します。

注 記

搬送台を取り外す時に、搬送台の位置決めガイドで製品を傷つけないように注意してください。



番号	名称
1	搬送台

- b. 製品正面側の搬送台と同様に、搬送台を折りたたみます。
 - 搬送台の取り外しを終了します。
 - 引き続き、製品にロール紙を取り付けます。
🔗 [3.5.4 ロール紙の取り付け](#)

3.5.4 ロール紙の取り付け

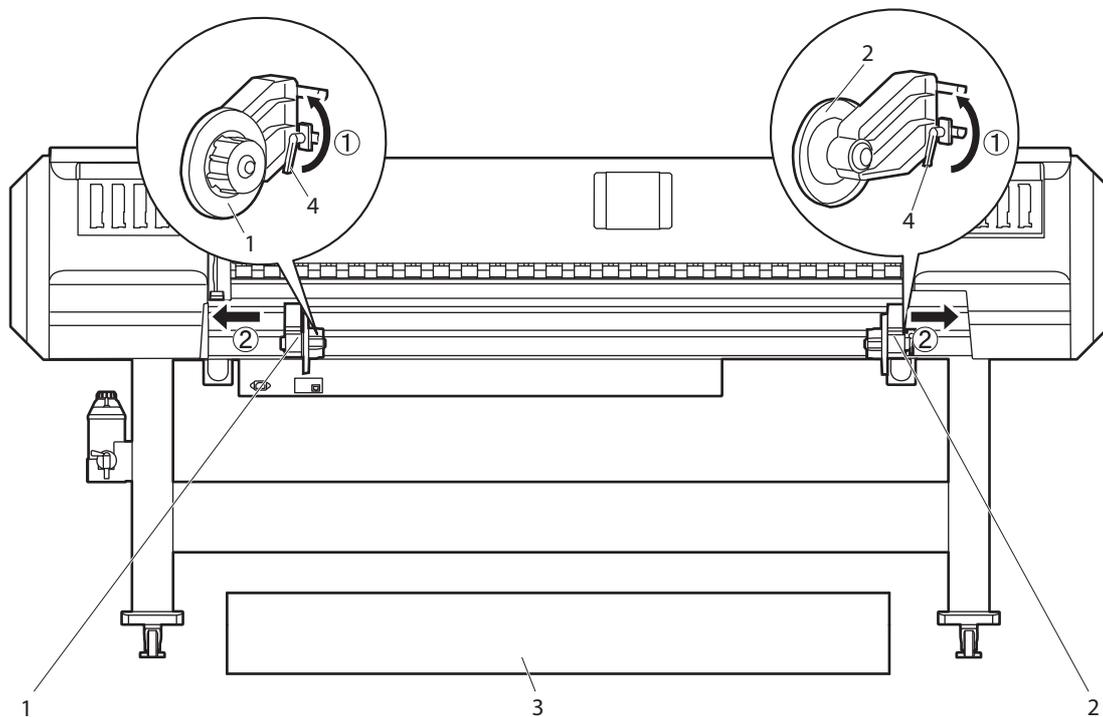
ロール紙の取り付け手順について説明します。
ロール紙は製品中央に配置します。

注 記

- 本製品には、次のロール紙を取り付けることができます。
 - 外径 : 150 mm 以下
 - 紙管径 : 2 インチ / 3 インチ
 - 重量 : 30 kg 以下
 - 長さ : 50 m 以下
 - 幅 : 1,625 mm 以下
-  [8.1.1 本体仕様](#)

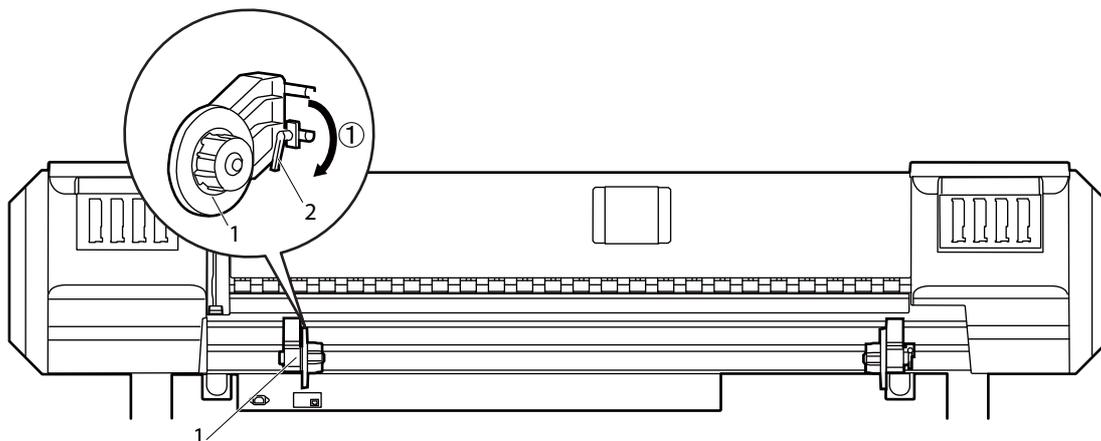
以下の手順に従って、ロール紙を取り付けてください。

1. 製品背面左右のロール紙受けの固定レバーを緩め、セットするロール紙幅よりロール紙受けを広げます。



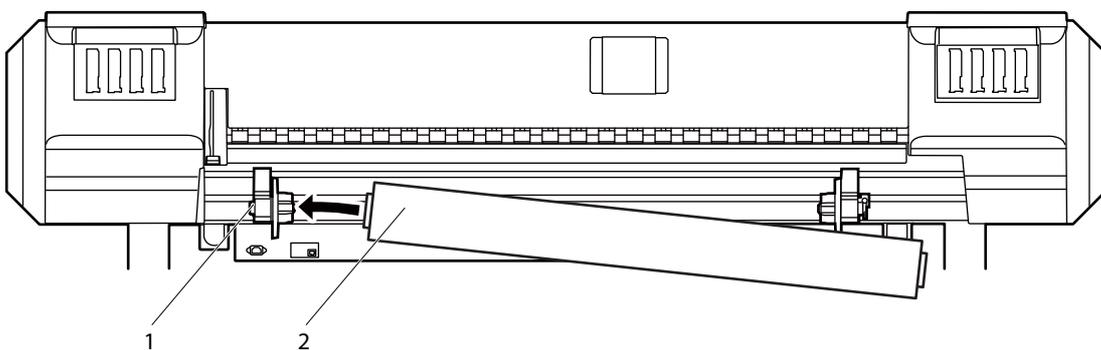
番号	名称
1	ロール紙受け (左)
2	ロール紙受け (右)
3	ロール紙
4	固定レバー

2. ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。



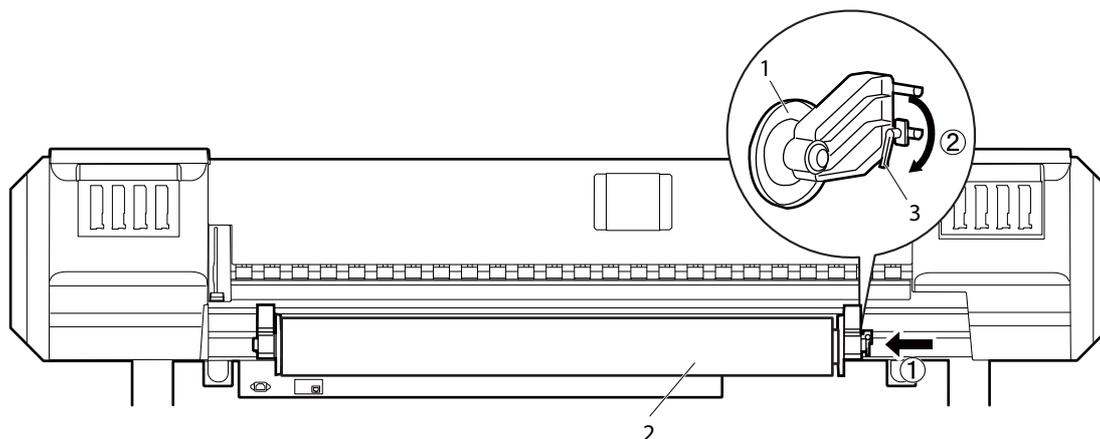
番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	固定レバー

3. ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙

4. ロール紙受け（右）をロール紙に取り付け、固定レバーを締め付けます。

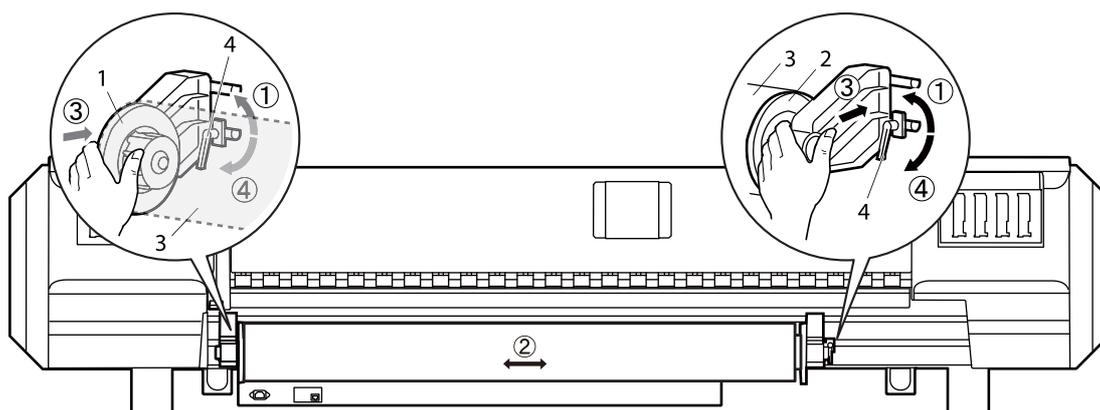


番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	ロール紙
3	固定レバー

5. ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を製品原点側に移動して、固定レバーを締め付けます。

注 記

ロール紙受けを固定する場合は、ロール紙受けを製品側に押し当てながら固定してください。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	ロール紙
4	固定レバー

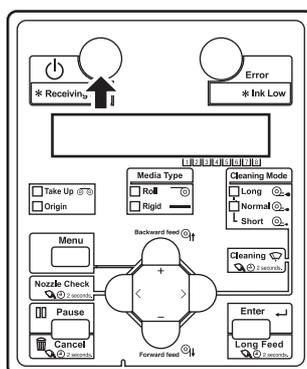
- ロール紙の取り付けを終了します。
- 引き続き、製品にロール紙をセットします。
 [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)

3.5.5 ロール紙のセット方法

ロール紙のセット方法について説明します。

以下の手順に従って、ロール紙をセットしてください。

1. 製品の電源を ON します。



注意

- 製品の初期動作中および印刷中は、メディアセットレバーを操作しないでください。プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。

- 製品が初期動作を開始します。
- 操作パネルに「メディアナシ」と表示されます。
2. パネル設定メニューで、これから使用したいユーザ定義の「メディア種類」設定が適切かを確認します。

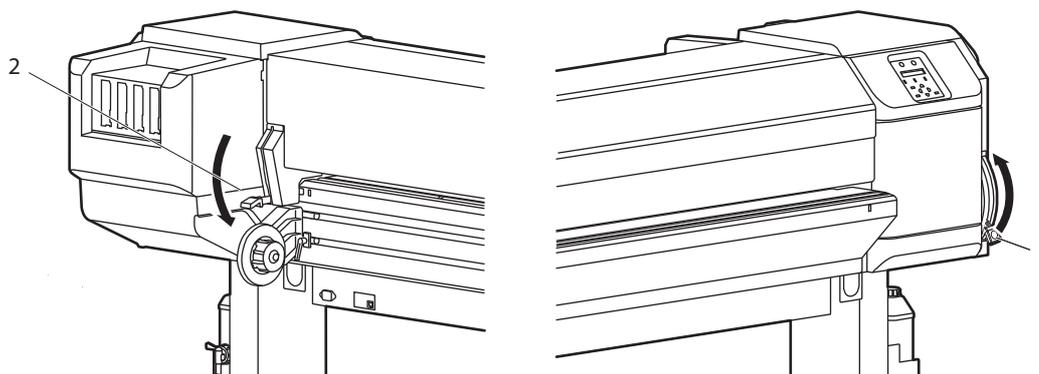
 [4.3.2 メニュー設定手順](#)

 [5.2.2.10 メディア種類メニュー](#)

注記

実際にセットしたメディアと設定したユーザ定義のメディア種類が異なる場合、正常にメディア検出を行えない恐れがあります。

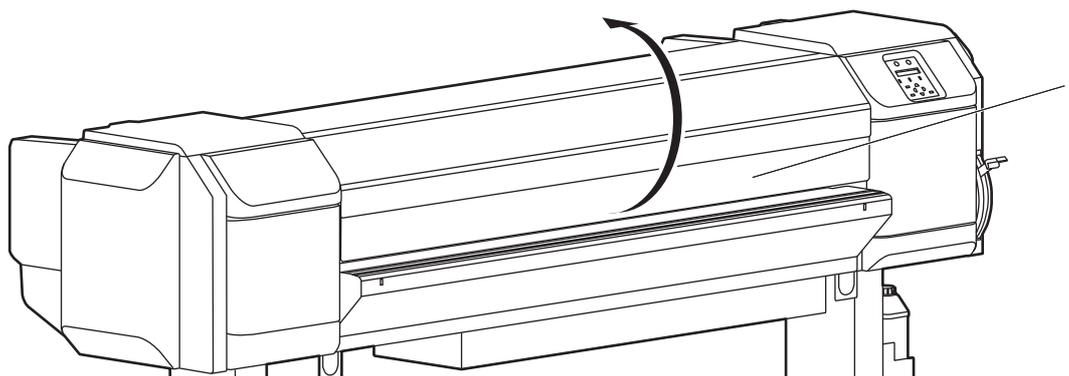
3. フロントメディアセットレバーを上げます (リアメディアセットレバーを下げます)。



番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

- 操作パネルに「メディアセットシテクタサイ」と表示されます。

4. フロントカバーを開けます。

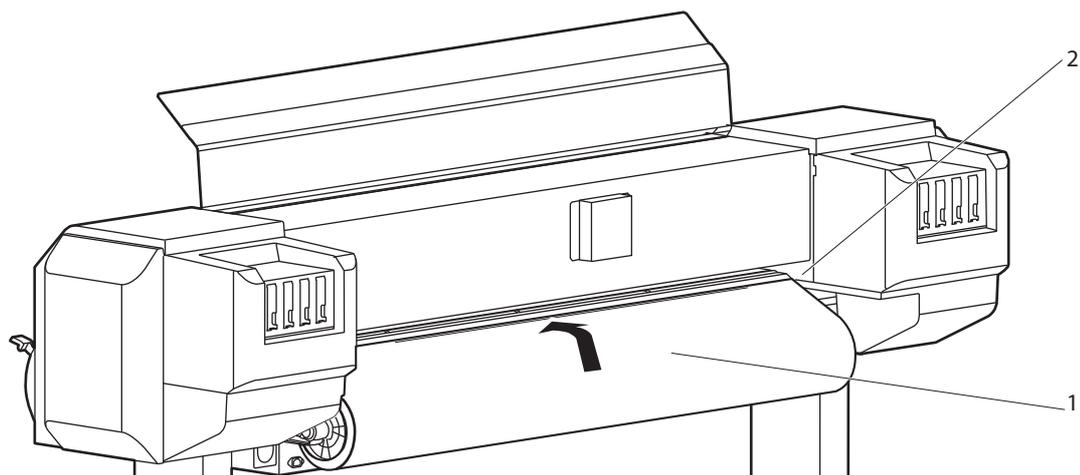


番号	名称
1	フロントカバー

5. ロール紙を給紙スロットに差し込みます。

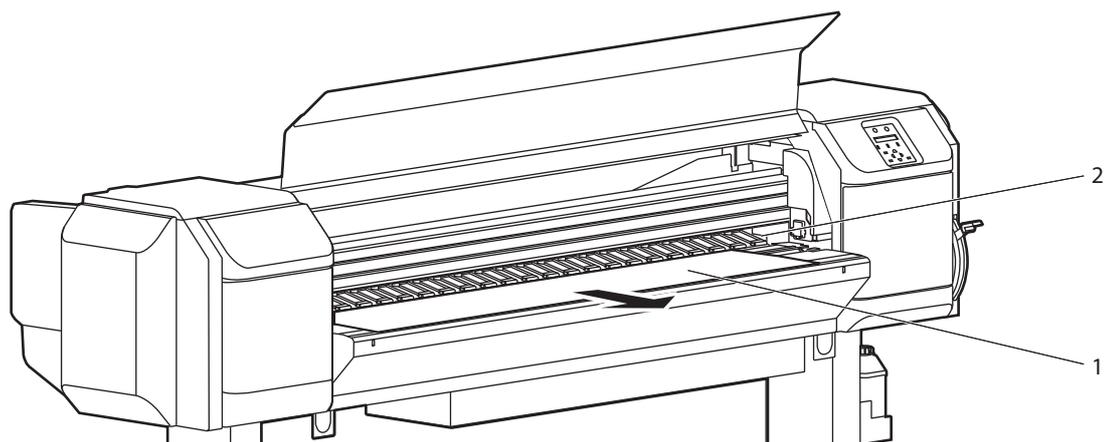
注 記

ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。



番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

6. フロントカバー内にある正面側の給紙スロットから、ロール紙を約 1 m 引き出します。

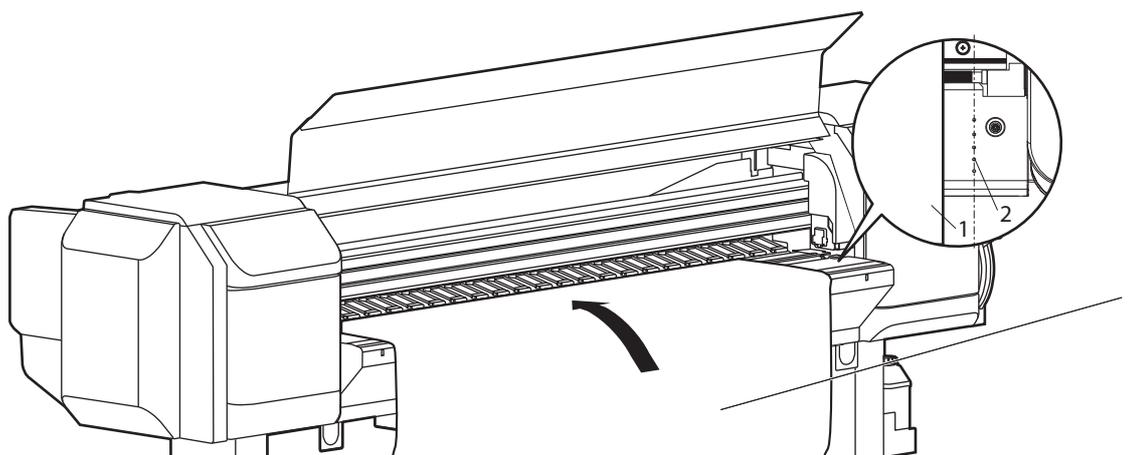


番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

7. ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。

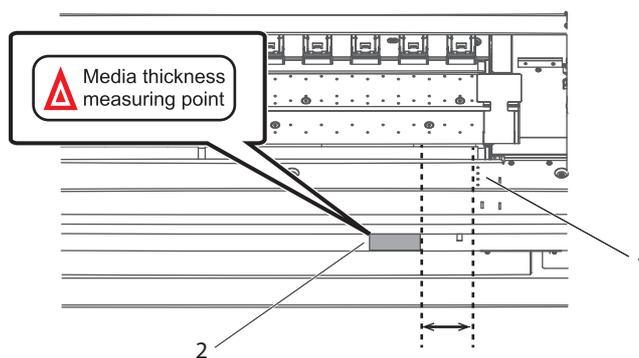
注 記

- ロール紙を巻き戻しすぎると、ロール紙が給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。
- ロール紙の右端がメディアセット目安よりも右側に入ると、メディア検出を失敗する可能性があります、かつ、印刷品質に影響する場合があります。



番号	名称
1	ロール紙
2	メディアセット目安

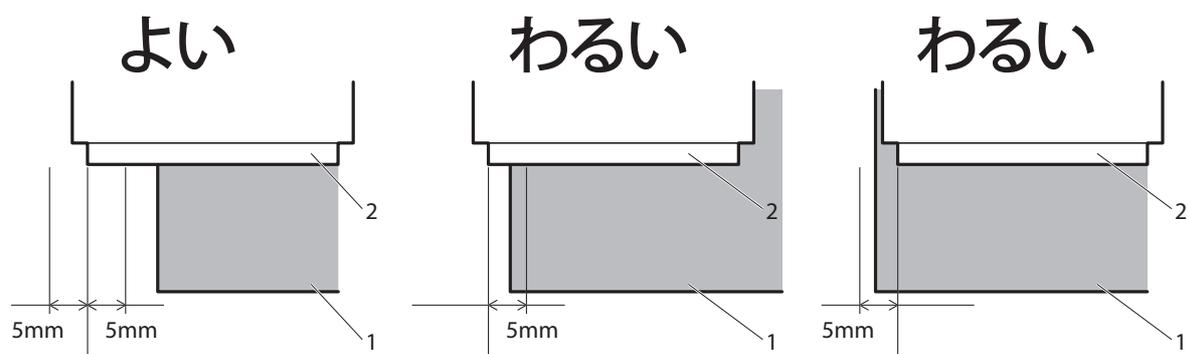
- メディア右端が、メディアセット目安とラベルの間にあるようにセットしてください。



番号	名称
1	メディアセット目安
2	ラベル

注 記

ロール紙をセットする場合は、ロール紙の両端を、加圧ローラの両端から 5 mm 以上離してセットしてください。
印刷時にメディアのずれ、しわ等が発生する場合があります。

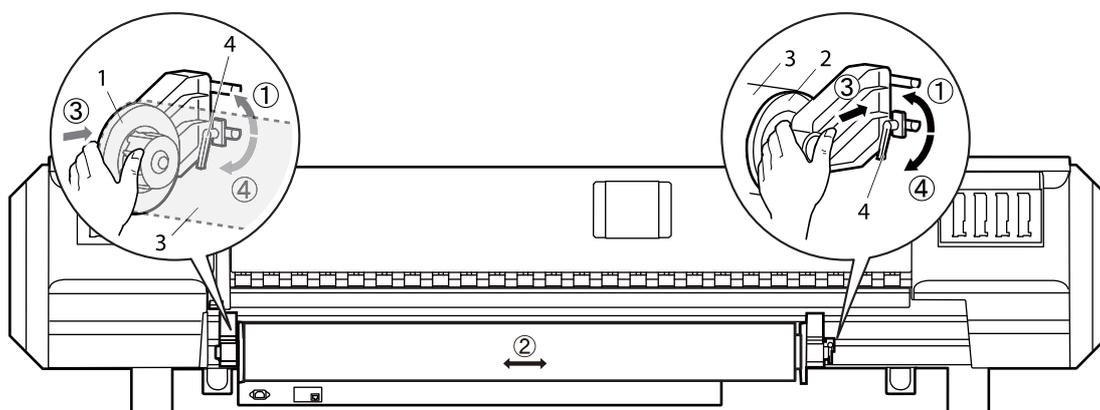


番号	名称
1	ロール紙
2	加圧ローラ

8. ロール紙の両端が、加圧ローラの両端から 5 mm 未満の範囲にある場合は、以下の手順に従って、ロール紙の位置を調整します。
- ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め (①)、ロール紙を左または右に動かします (②)。
 - ロール紙受けを製品側に押し当てながら (③)、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます (④)。

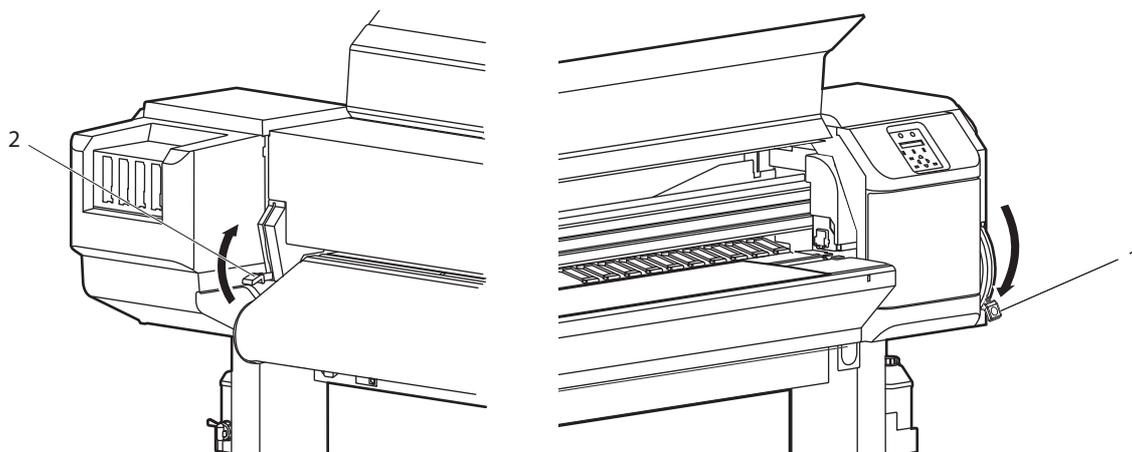
注 記

ロール紙を左または右に動かした場合は、手順 5～7 を再度行ってください。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	ロール紙
4	固定レバー

9. フロントメディアセットレバーを下げます（リアメディアセットレバーを上げます）。

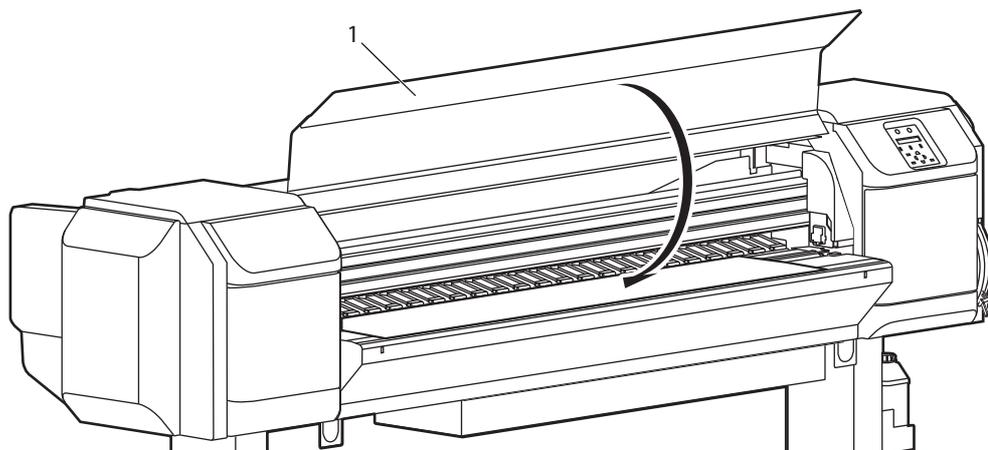


番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

注 記

- フロントメディアセットレバーは、下方に押しつけるようにしてしっかり下げてください。リアメディアセットレバーの場合は、上方に持ち上げるようにしっかり上げてください。
レバーの上げ下げが不完全な状態の場合、メディアの検出ができない恐れがあります。
- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
☞ 4.4.3 メディアのカット

10. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- ロール紙のセットを終了します。
- 引き続き、ユーザ定義を設定します。
I 3.5.6 ユーザ定義の設定手順

3.5.6 ユーザ定義の設定手順

ユーザ定義の設定手順について説明します。

以下の手順に従って、ユーザ定義を設定してください。

注 記

ユーザ定義を変更した場合は、メディア送り補正を設定し直してください。

1. 製品の電源を ON します。
2. パネル設定メニューで、これから使用したいユーザ定義の「メディア種類」設定が適切かを確認します。
I 4.3.2 メニュー設定手順
I 5.2.2.10 メディア種類メニュー

注 記

実際にセットしたメディアと設定したユーザ定義のメディア種類が異なる場合、正常にメディア検出を行えない恐れがあります。

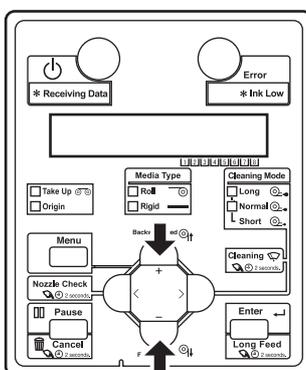
3. メディアをセットします。

参 考

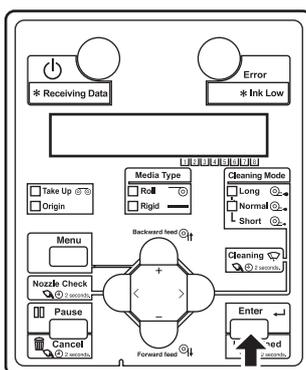
メディアセットの方法については、以下を参照してください。

- リジッドメディア :
[3.5.2 リジッドメディアのセット](#)
- ロール紙 :
[3.5.3 搬送台 \(オプション\) の取り外し](#) ~ [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)

- メディアセット後、操作パネルに「ユーザ : Type 1 OK?」と表示されます。
4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、セットしているユーザ定義を選択します。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



注 記

ユーザ定義メニューで、以下の操作を行った場合、パネルに表示されたユーザ定義でメディアイニシャル動作に移行します。

- 操作パネルの [Cancel] キーを押した場合
- 操作パネルのキー操作を 30 秒間行わなかった場合

- ユーザ定義が確定します。
- 操作パネルに「メディアイニシャルチュウ」と表示されます。
- 製品はヘッド高さイニシャル動作を開始します。
- メディアの厚さを検出し、自動でプラテンからプリントヘッド表面までの距離（ヘッド高さの設定値）が最適な値に調整されます。
- 操作パネルに「ヘンコウ： * . * mm ->」と表示されます。

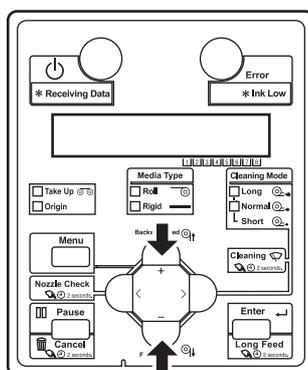
注意

- メディア厚さ検出メニューの設定値を「Off」に設定した場合、ヘッド高さイニシャル動作を行いません。
操作パネルに「Warning! * . * mm ->」と表示されたら、セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい設定値を入力してください。
- 正確なメディア厚さより小さい数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。

参 考

「* . *」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。

6. ヘッド高さの設定値を変更したい場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。



注 記

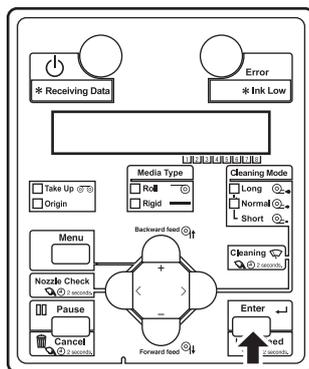
- 印刷面の軟らかいリジッドメディアを使用する場合、操作パネルに表示されたヘッド高さの設定値と、実際のメディアの厚さが異なる場合があります。その場合、以下の要領でヘッド高さが実際のメディアの厚さと合うように、補正値を入力してください。
- メディア厚さ検出は、プリントヘッドとメディアとの隙間を一定に保ち、印字品質を安定させるための機能であり、測定された値は実際のメディアの厚さと異なる場合があります。

- a. リジッドメディアを本体からいったん取り外します。
- b. メディアの厚さをノギスなどで測ります。
- c. 再びリジッドメディアをセットします。
- d. 操作パネルに表示されている設定値と、実際のメディアの厚さの差を、補正値として入力します。

参 考

- 「*.*」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正値（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： *.*+○.○」のように、設定値（*.*）と入力した補正値（○.○）がそれぞれ表示されます。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「メディアイニシャルチュウ」と表示されます。
- 製品はメディアイニシャル動作を再開します。
- メディアイニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカデキマス」と表示され、通常状態に移行します。
- ユーザ定義の設定が終了します。

3.5.7 ユーザ定義メニューからのユーザ定義の変更手順

ユーザ定義メニューからユーザ定義を変更する手順を説明します。

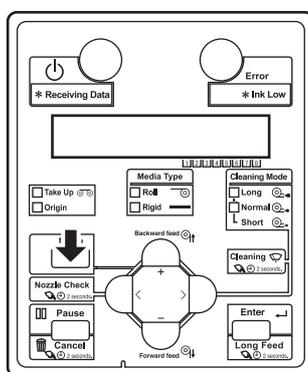
手順はメディア厚検出の設定により異なります。使用したいユーザ定義のメディア厚検出の設定をご確認のうえ、該当する手順をご覧ください。

図 5.2.2.7.1 メディア厚検出（メディアイニシャル1）

3.5.7.1 メディア厚検出の設定が On の場合

メディア厚検出の設定が On の場合は、下記の手順に従ってください。

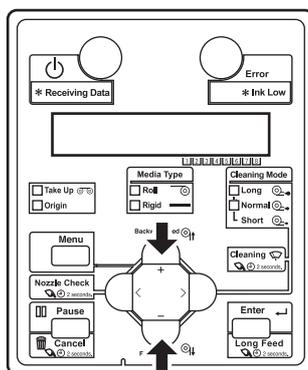
1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



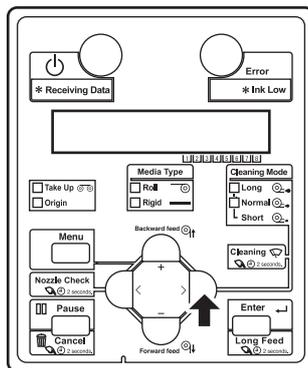
- 操作パネルに「メニュー1： スリープ° モード° >」と表示されます。

メニュー1： スリープ° モード° >

2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー2： ユーサ° テイキ° >」を表示します。



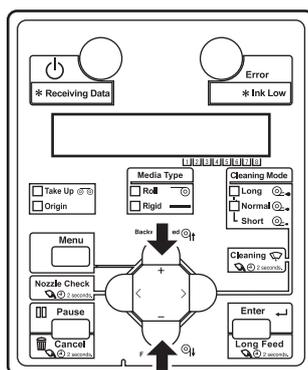
3. 操作パネルの [>] キーを押します。



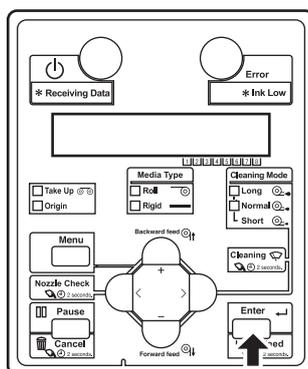
- 操作パネルに「ユーザ : Type 1」と表示されます。

ユーザ : Type 1

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するユーザ定義を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- ユーザ定義を変更すると、操作パネルに「ヨウシアツ ヲ ヘンコウシマスカ？」と表示されます。

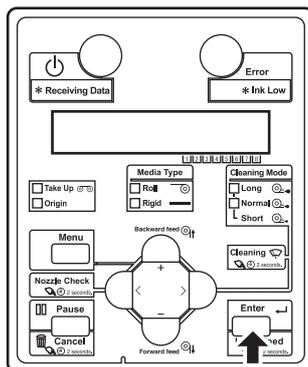
ヨウシアツ ヲ ヘンコウシマスカ？

注 記

前回と同じユーザ定義を選択した場合は、操作パネルに「**>1 : サクカ`モード`」と表示されます。本手順を終了し、続いてユーザ定義の設定を行うことができます。

 **5.2.2 ユーザ定義の各種設定**

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 選択したユーザ定義に登録されているメディア厚さが、現在セットされているメディア厚さに更新されます。
- 操作パネルに「**>1 : サクカ`モード`」と表示されます。

**>1	サクカ`モード`
------	----------

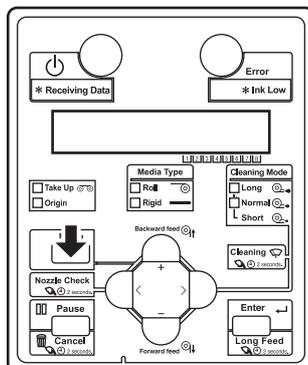
7. 続けてユーザ定義の各種設定を行うことができます。

 **5.2.2 ユーザ定義の各種設定**

3.5.7.2 メディア厚検出の設定が Off の場合

メディア厚検出の設定が Off の場合は、下記の手順に従ってください。

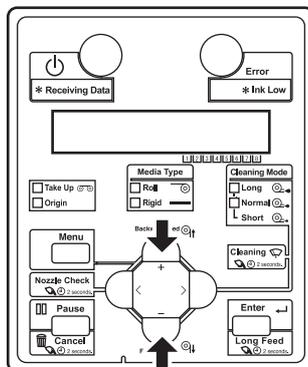
1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



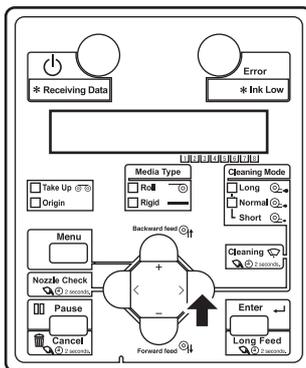
- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。

メニュー1： スリープモード >

2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー2： ユーザーテイキ >」を表示します。



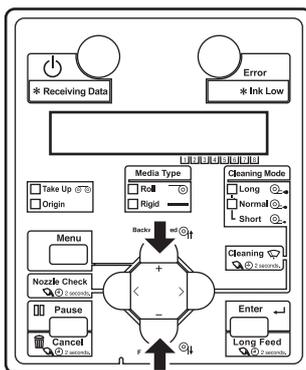
3. 操作パネルの [>] キーを押します。



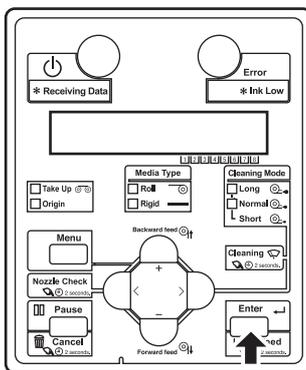
- 操作パネルに「ユーザー : Type 1」と表示されます。



4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するユーザ定義を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 別のユーザ定義（ユーザ定義の内容が設定済み）に変更した場合は、操作パネルに「Warning! *. *mm->」と表示されます。



注 記

- 新規のユーザ定義（ユーザ定義の内容が未設定）を選択した場合は、製品がメディア厚さの検出を行います。手順 8 の (b) にとびます。
- 前回と同じユーザ定義を選択した場合は、操作パネルに「**> 1 : サクカゝモートゝ」と表示されます。本手順を終了し、続いてユーザ定義の設定を行うことができます。

5.2.2 ユーザ定義の各種設定

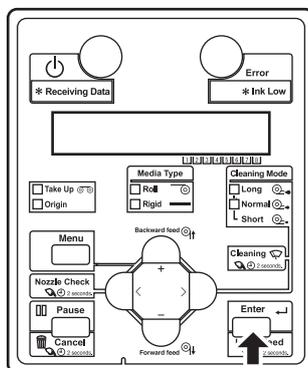
参 考

- 「*.*」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： *.*+0.0」のように、設定値（*.*）と入力した補正值（0.0）がそれぞれ表示されます。

6. セットしたメディアの厚さとパネルの数値が合っているかを確認します。

- 数値が正しい場合は、手順 a にとびます。
- メディアの厚さを計りたい場合は、手順 8 の b にとびます。

a. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



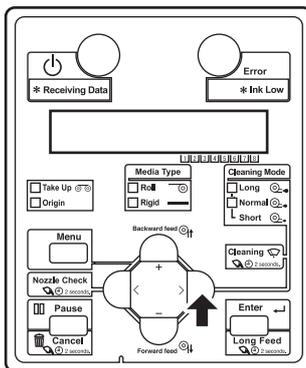
- 操作パネルに「Misuse Damage Unit >」と表示されます。

Misuse Damage Unit >

注 意

- 正確なメディア厚さより小さい数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突しヘッドが破損する恐れがあります。

7. 操作パネルの [>] キーを長押しします。

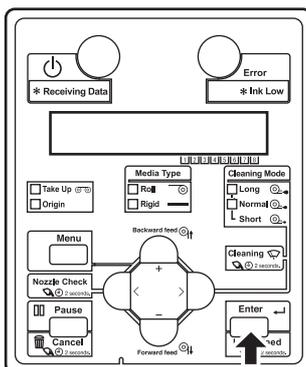


- 操作パネルに「< E > S k i p , < C A N > D e t e c t」と表示されます。

< E > S k i p , < C A N > D e t e c t

8. メディア厚さの検出を行うかどうかを選択します。

- メディア厚さの検出をスキップする場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。

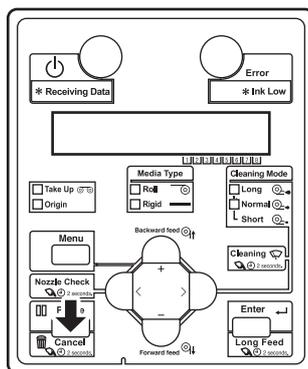


- プリンタがメディアイニシャル動作を行います（メディア厚さは検出しません）。
- 操作パネルに「サクカ` テ` キマス」と表示されます。

サクカ` テ` キマス

- メディア種類の変更手順を終了します。

- b. メディア厚さを検出する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 操作パネルに「メディアイニシャルチュウ」と表示されます。

メディアイニシャルチュウ

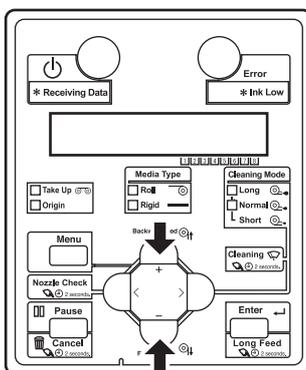
- 製品はヘッド高さイニシャル動作を開始します。
- メディアの厚さを検出し、自動でプラテンからプリントヘッド表面までの距離（ヘッド高さの設定値）が最適な値に調整されます。
- 操作パネルに「ヘンコウ： * . * mm ->」と表示されます。

ヘンコウ： * . * mm ->

参 考

- 「* . *」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： * . * + 〇 . 〇」のように、設定値（* . *）と入力した補正值（〇 . 〇）がそれぞれ表示されます。

9. ヘッド高さの設定値を変更したい場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。

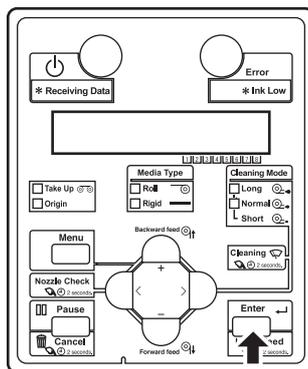


注 記

- 印刷面の軟らかいリジッドメディアを使用する場合、操作パネルに表示されたヘッド高さの設定値と、実際のメディアの厚さが異なる場合があります。その場合、以下の要領でヘッド高さが実際のメディアの厚さと合うように、補正値を入力してください。
- メディア厚さ検出は、プリントヘッドとメディアとの隙間を一定に保ち、印字品質を安定させるための機能であり、測定された値は実際のメディアの厚さと異なる場合があります。

- a. リジッドメディアを本体からいったん取り外します。
- b. リジッドメディアの厚さをノギスなどで測ります。
- c. 再びリジッドメディアをセットします。
- d. 操作パネルに表示されている設定値と、実際のリジッドメディアの厚さの差を、補正値として入力します。

10. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「メディアイニシャルチュウ」と表示されます。

メディアイニシャルチュウ

- 製品はメディアイニシャル動作を再開します。
- メディアイニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカ`テ`キマス」と表示されます。

サクカ`テ`キマス

- メディア種類の変更手順を終了します。

3.5.8 加圧アームを個別に解除する

本製品の加圧アームは個別に解除できます。
解除した加圧アームは、メディアセットレバーを下げてても動作しなくなります。

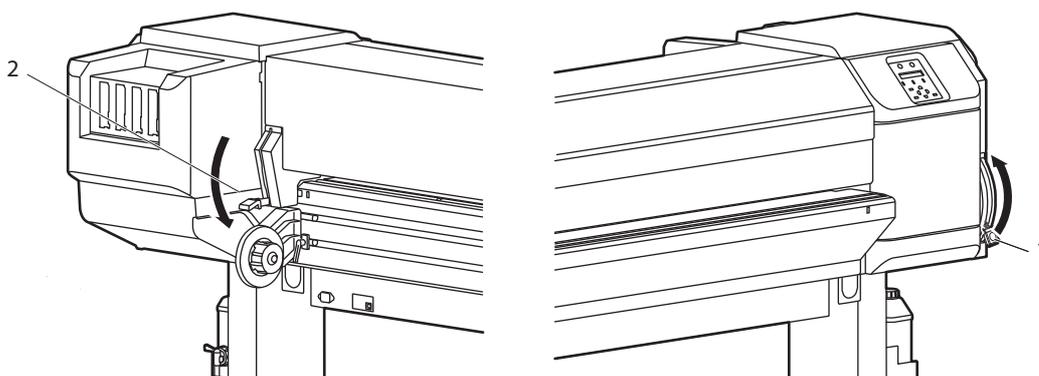
この機能は、以下の場合に使用します。

- 薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき
- 印刷にジグを使用していて、ジグに加圧したくない箇所があるとき

注 記

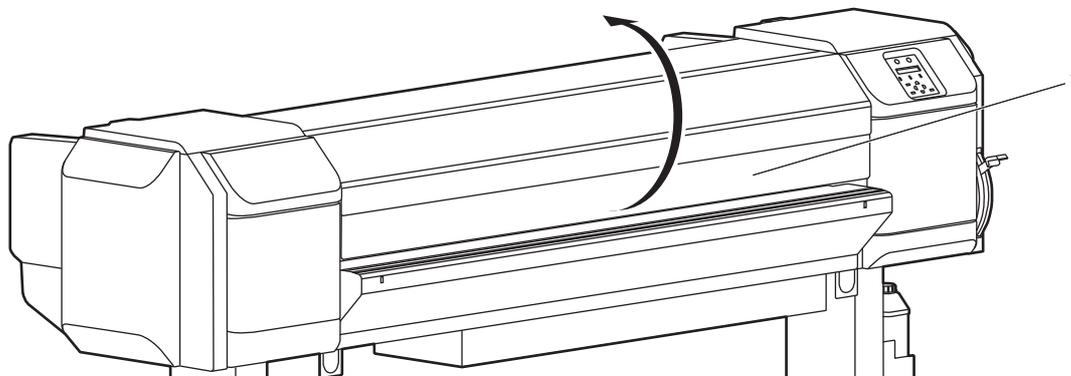
薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。加圧アームを間引いて解除するとシワの防止に効果があります。

1. フロントメディアセットレバーを上げます（リアメディアセットレバーを下げます）。



番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

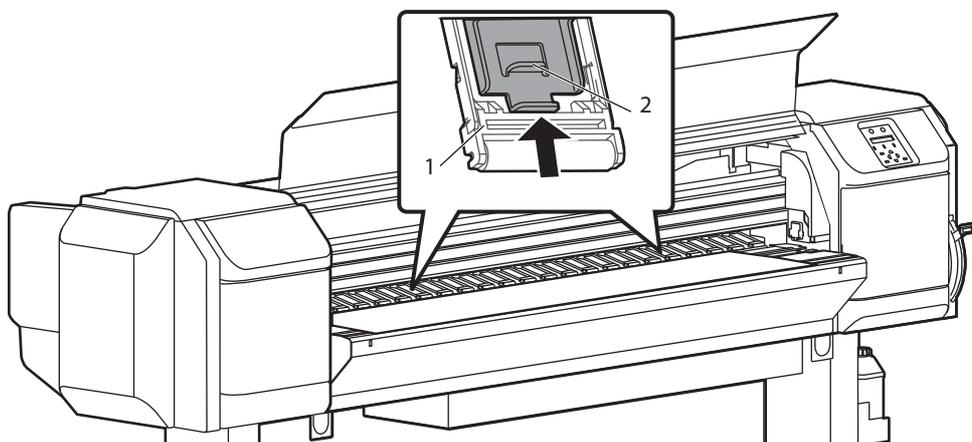
2. フロントカバーを開きます。



番号	名称
1	フロントカバー

3. 加圧アームを解除します。

- 解除スライダを、奥に向かって突き当たる場所まで押しと解除できます。
- メディアの場合は、加圧アームを間引いて解除してください。
- ジグの場合は、ジグに当てたくない加圧アームを解除してください。



番号	名称
1	加圧アーム
2	解除スライダ

4. フロントカバーを閉じます。
5. メディアセットレバーを下げます。
6. メディア送り補正を行います。

 **4.2.6 メディア送り補正**

注 記

メディアの汚れが原因で解除するときは、解除する加圧アームの数を増やすと改善する場合があります。そのとき加圧アームは左右均等の数を解除してください。

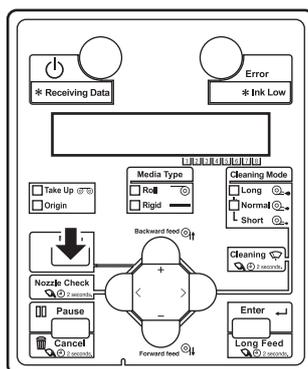
3.6 テスト作画

以下の手順に従ってテスト作画を行い、本機が正常に動作するか確認してください。

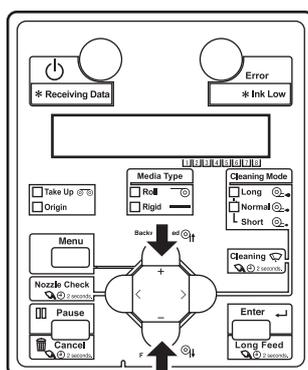
⚠ 注意

- 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
UV 硬化インクが皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- プリンタ使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。
🔗 [6.1 手袋、ゴーグルをつける](#)

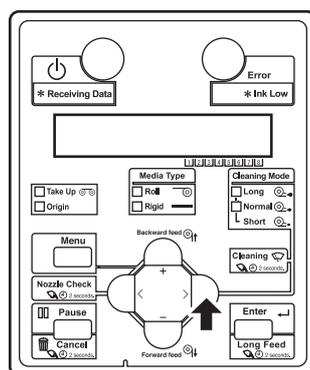
1. 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。
🔗 [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)
2. 製品が通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルにテスト作画メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー4： テストサクカ >」を選択します。



- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

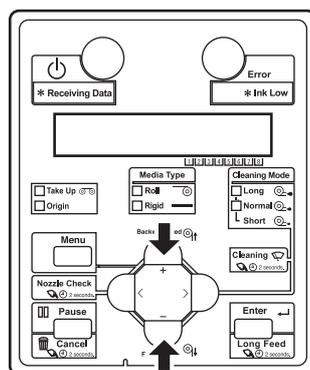


- 操作パネルに「テスト 1 : ノズルチェック」と表示されます。
- テスト作画メニューに移行します。

図 5.4 テスト作画メニュー

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、次の各項目から印刷する項目を選択します。

- ノズルチェック
- ノズルチェック B
- モードプリント
- 設定内容作画
- パレット作画



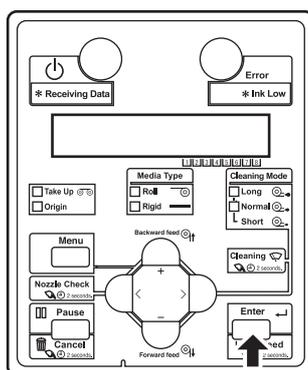
注 記

- 作画モードメニューで「Graphics 1」、「Graphics 2」に設定されている場合、テスト作画メニューに「パレット作画」は表示されません。

図 5.4 テスト作画メニュー

- 4色使用時は、「ノズルチェック B」の項目は表示されません。

5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



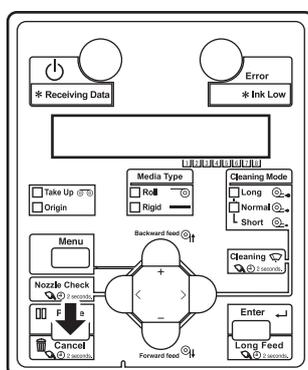
- 選択した項目のテスト作画を開始します。

参考

各印刷内容の詳細については、以下を参照してください。

図 3.6.1 ノズルチェック～ 3.6.6 ヘッド調整

6. 他の項目のテスト作画を行う場合は、手順 4～5 を繰り返します。
7. テスト作画を終了する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 操作パネルが通常状態に戻ります。
- テスト作画を終了します。

3.6.1 ノズルチェック

ヘッドの目詰まり、印刷の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。

注 記

ノズルチェックの結果、チェックパターンがかすれたり、欠けたりした場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

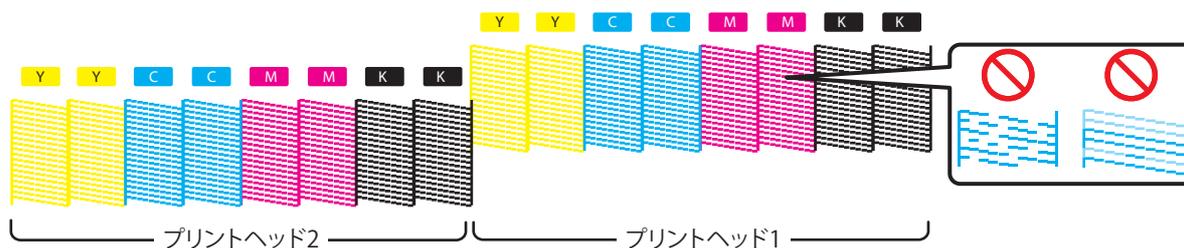
☞ 6.5.2 ヘッドクリーニング

作業終了後には、再度ノズルチェックを行なってください。

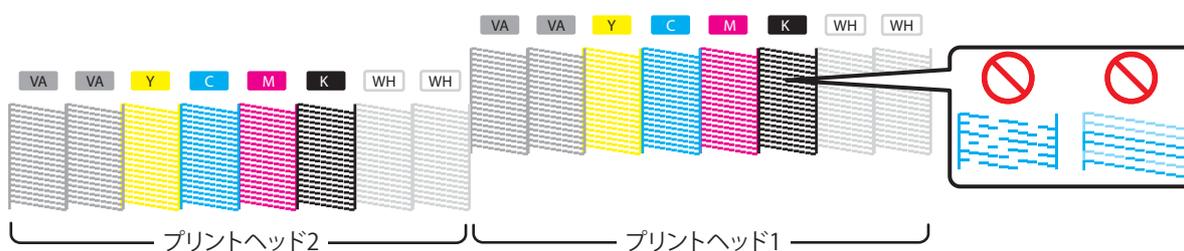
参 考

- 印刷手順については、以下を参照してください。
☞ 3.6 テスト作画
- ノズルチェックパターンの横に、プリンタ情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

- 4 色設定時



- 6 色設定時



3.6.2 ノズルチェック B

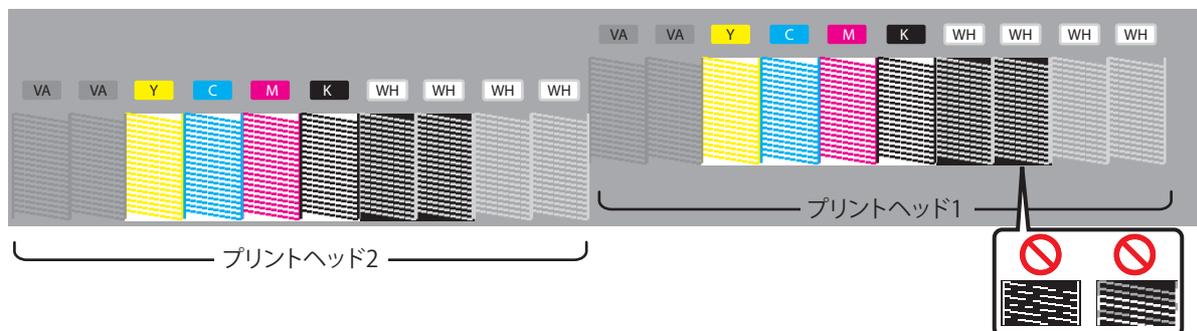
ホワイトインク用のノズルチェックです。ホワイトインクの欠けが見えるよう、ノズルチェックパターンのバックグラウンドに色を付けて印刷します。

注 記

- 6色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。
- ノズルチェックの結果、チェックパターンがかすれたり、欠けたりした場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。
🔗 [6.5.2 ヘッドクリーニング](#)
作業終了後には、再度ノズルチェックを行なってください。

参 考

- 印刷手順については、以下を参照してください。
🔗 [3.6 テスト作画](#)
- ノズルチェックパターンの横に、プリンタ情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。



3.6.3 モードプリント

以下の印刷条件を確認するときに使用します。

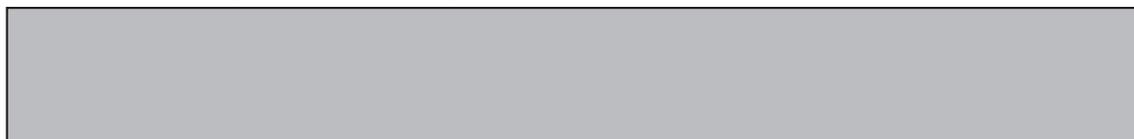
- 作画モード
- エフェクト
- 作画微調整値

参 考

印刷手順については、以下を参照してください。

 [3.6 テスト作画](#)

2016/03/01 0:00 Q4(720x1440 16Pass Bi)-i-Weave UV/微調整値: 0.00%



<各メテア種類設定>

ユーザ定義 作画面モード 作画面モード > エフェクト 送り補正 > 初期調整値 送り補正 > 微調整値 縦着ファン メテア厚 メテア厚補正 メテア検出 > タカサ メテア検出 > メテア メテアハハ パスキャンウエイ メテアシユルイ 印刷範囲確認 低速印字 Yレイヤー追加	Type 1 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 2 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 3 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 4 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 5 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ
ユーザ定義 作画面モード 作画面モード > エフェクト 送り補正 > 初期調整値 送り補正 > 微調整値 縦着ファン メテア厚 メテア厚補正 メテア検出 > タカサ メテア検出 > メテア メテアハハ パスキャンウエイ メテアシユルイ 印刷範囲確認 低速印字 Yレイヤー追加	Type 6 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 7 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 8 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 9 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 10 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ
ユーザ定義 作画面モード 作画面モード > エフェクト 送り補正 > 初期調整値 送り補正 > 微調整値 縦着ファン メテア厚 メテア厚補正 メテア検出 > タカサ メテア検出 > メテア メテアハハ パスキャンウエイ メテアシユルイ 印刷範囲確認 低速印字 Yレイヤー追加	Type 11 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 12 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 13 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 14 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ	Type 15 Graphics 2 i-Weave UV 250.0/250mm 0.00% High 0.2mm 0.0mm On Width 1000mm 0.0sec リシット オフ オフ オフ

3.6.5 パレット作画

カラーデモとして、パレット作画を行います。

注 記

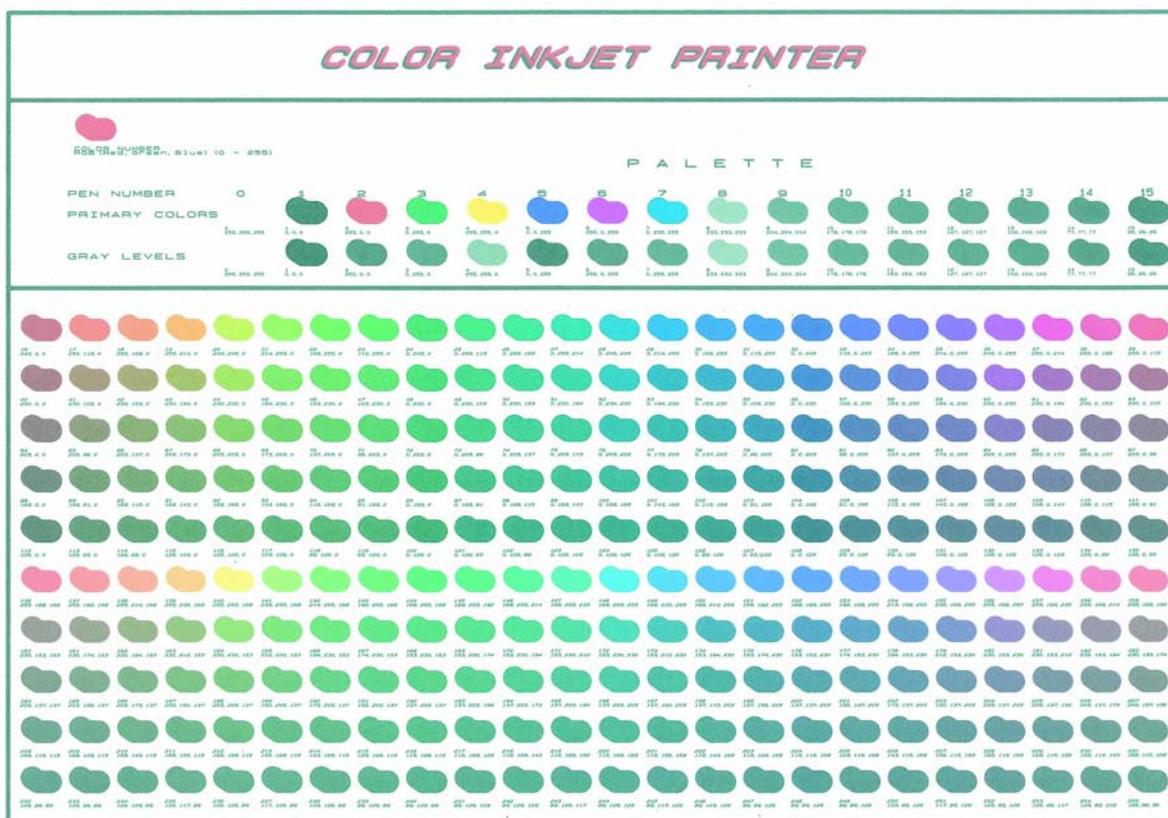
作画モードメニューで「Graphics 1」、「Graphics 2」に設定されている場合、テスト作画メニューに「パレット作画」は表示されません。

☞ [5.4 テスト作画メニュー](#)

参 考

印刷手順については、以下を参照してください。

☞ [3.6 テスト作画](#)



3.6.6 ヘッド調整

プリントヘッド間のずれを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

調整方式	内容	参照
Standard	現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。	 3.6.6.1 Standard ヘッド調整
Custom	現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。	 3.6.6.2 Custom ヘッド調整

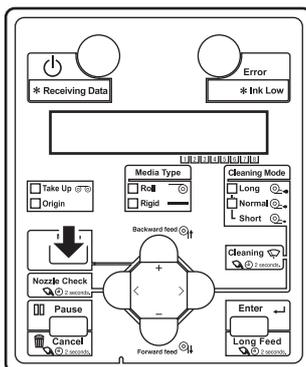
注 記

- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。
 - 作画方向が片方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき
 [作画モードの詳細](#)
 - 画質調整をしても画質が向上しないとき
- ヘッド調整を行った後は、必ず画質調整を行ってください。
ヘッド調整の影響で、ずれが生じる可能性があります。
 [3.7 画質調整](#)
- Standard ヘッド調整を行った後に、作画モードを変更するときは、必ずヘッド調整も合わせて行ってください。
- Custom ヘッド調整の「調整 ALL」を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更してもヘッド調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom ヘッド調整であらかじめすべてのパターン (A ~ F) を確認し、ズレがあるパターンは調整を行っておいてください。

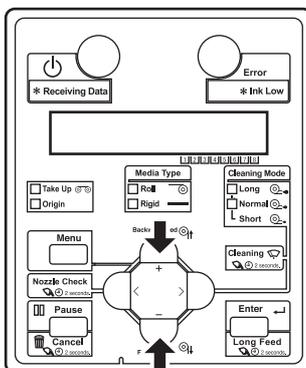
3.6.6.1 Standard ヘッド調整

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみ、調整を行います。

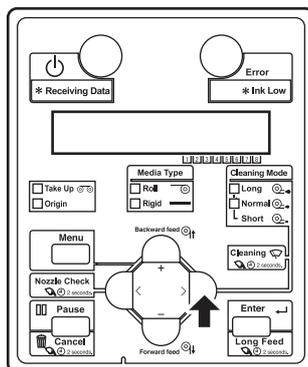
1. 製品の電源を ON して、ロール紙をセットします。
▶ [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)
2. 操作パネルにヘッド調整メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



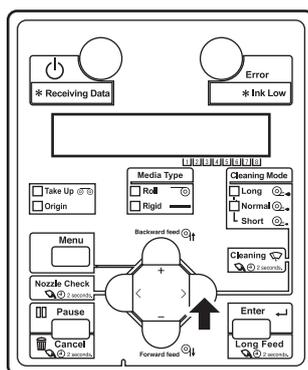
- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー4： テストサクカ >」を選択します。



- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

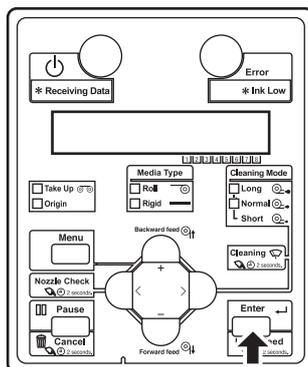


- 操作パネルに「テスト 1 : ノズルチェック」と表示されます。
- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「テスト 6 : ヘッドチョウセイ >」を選択します。
- e. 操作パネルの [>] キーを押します。

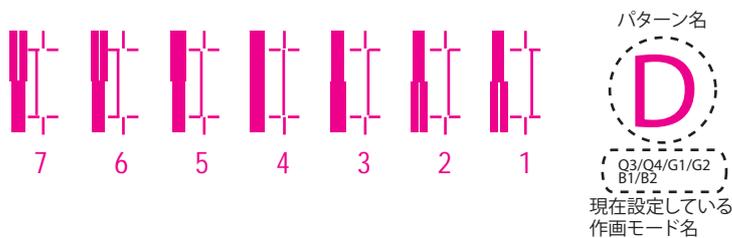


- 操作パネルに「ヘッドチョウセイ 1 : Standard」と表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 印刷を開始します。
- 確認パターンが印刷されます（下図は4色設定時の印刷例です）。

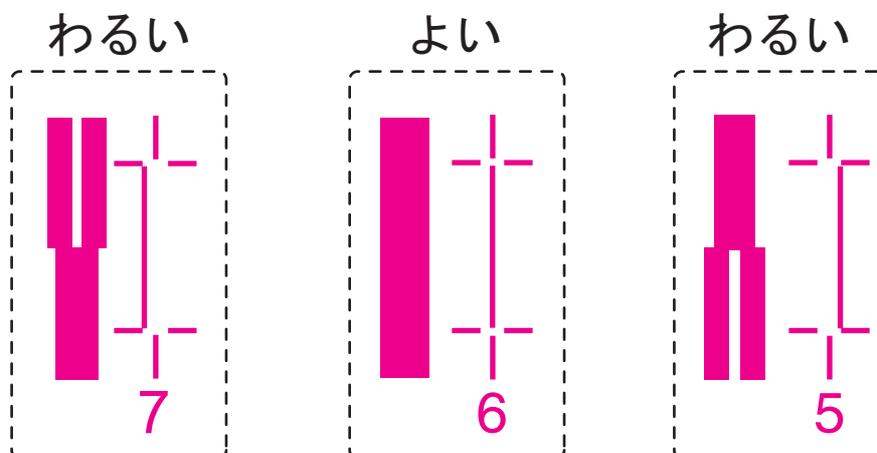


注 記

現在のユーザー定義に設定されている作画モードにより D、E のいずれかの確認パターンを印刷します。

4. 番号1から7のうち、直線にズレがない番号を選択します。

- 次図の印刷サンプルでは、「6」を選択します。



注 記

- 「4」は現在の設定値を表しています。
- 直線にズレがない番号は、その左隣の太線に白い縦線がありません。

5. 操作パネルに「ハ° ターン* : 4」（*は下表参照）が表示されます。

- 設定されている作画モードにより、「*」に表示されるパターン名が異なります。作画モードとパターン名の対応関係は以下のとおりです。

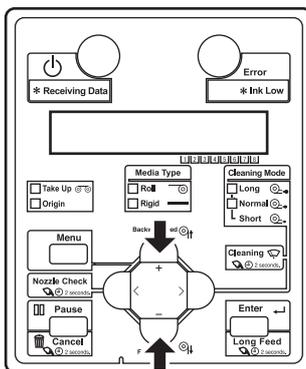
作画モード	パターン名
Quality 1, 2	E
Quality 3, 4	D
Graphics 1, 2	
Banner 1, 2	

注 記

作画モードについては、以下を参照してください。

🔗 [5.2.2.1 作画モードメニュー](#)

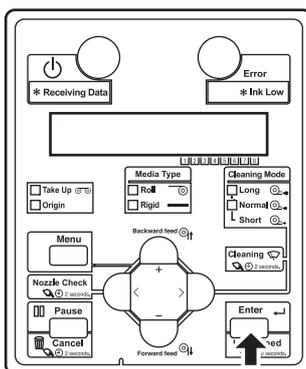
6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、設定値を入力せずに「ヘッド チョウセイ 1 : Standard」に戻ります。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。
- 操作パネルが「ヘッド チョウセイ 1 : Standard」に戻ります。

3.6.6.2 Custom ヘッド調整

A～Fのパターンに対する調整を行います。
本調整により、すべての作画モードに対して調整が行われます。
本メニューは、下記のメニューで構成されています。

メニュー名	内容	参照
調整 ALL	A～Fの確認パターンをすべて印刷し、すべてのパターンを調整します。	-
調整パターン A～F	A～Fの確認パターンのいずれかを選んで印刷し、調整します。	-

調整方法

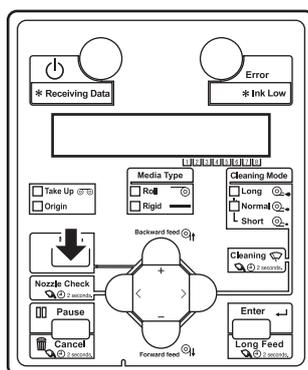
1. 「調整 ALL」を実行し、すべてのパターンを確認し、ズレがあれば調整します。
2. 手順1で調整したパターンについて、「調整パターン A～F」を実行し、調整できているか確認してズレがあれば調整します。

注 記

手順1でほとんどのパターンを調整した場合は、手順2でも「調整 ALL」を実行し、確認・調整してください。

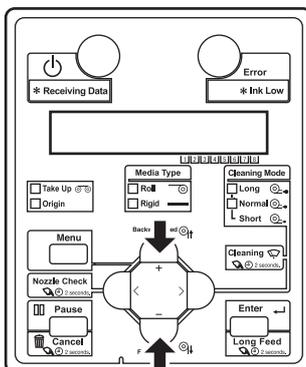
以下の手順に従って調整を行ってください。

1. 製品の電源を ON して、ロール紙をセットします。
[🔗 3.5.5 ロール紙のセット方法](#)
2. 操作パネルに調整作画メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。

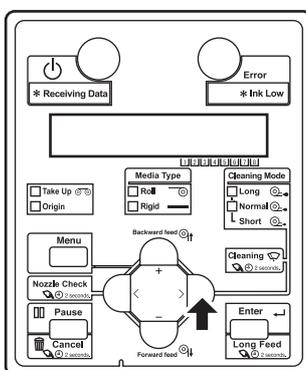


- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。

- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー 4 : テストサクカ` >」を選択します。

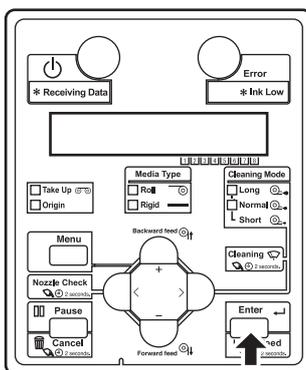


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。



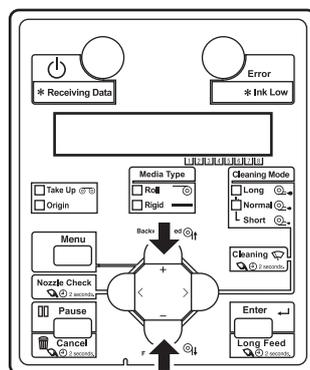
- 操作パネルに「テスト 1 : ノズルチェック」と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「テスト 6 : ヘット` チョウセイ」を選択します。
- e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

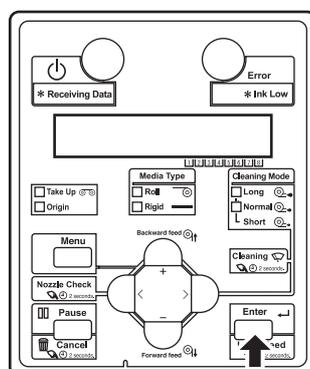


- 操作パネルに「ヘッド` チョウセイ 1 : Standard」と表示されます。

- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ヘッド` チョウセイ 2 : C u s t o m」を選択します。



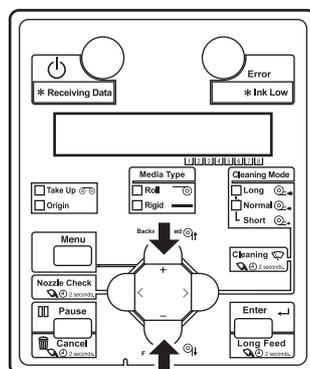
3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



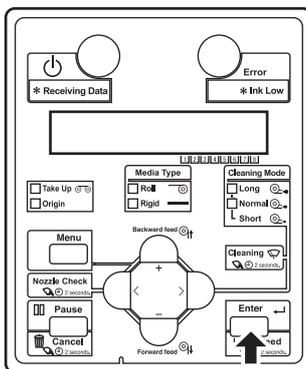
- 操作パネルに「チョウセイ 1 : チョウセイ A L L」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、調整したいパターンを選択します。

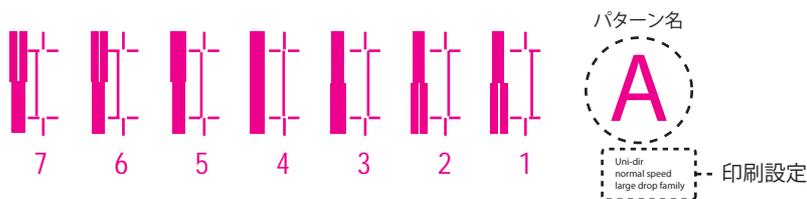
- すべてのパターンを調整する場合は、「チョウセイ 1 : チョウセイ A L L」を選択します。
- 特定のパターンを調整する場合は、「チョウセイ 2 : チョウセイパ` ターン A」～「チョウセイ 7 : チョウセイパ` ターン F」のいずれかを選択します。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

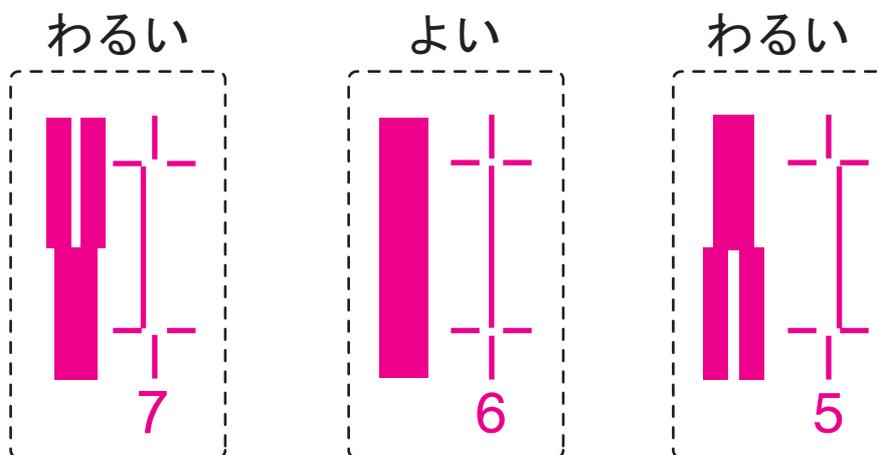


- 精度調整作画を開始します。
- 「チョウセイ ALL」を選択した場合は、精度調整パターンは A から F までの 6 パターン印刷されます。
- 「チョウセイパターン A」～「チョウセイパターン F」のいずれかを選択した場合は、選択したパターンの精度調整パターンが印刷されます（下図は 4 色設定時の印刷例です）。



6. 番号 1 から 7 のうち直線にズレがない番号を選択します。

- 次図の印刷サンプルでは、「6」を選択します。

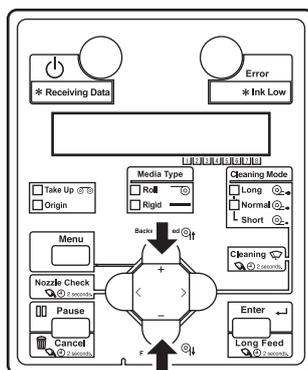


注 記

- 「4」は現在の設定値を表しています。
- 直線にズレがない番号は、その左隣の太線に白い縦線がありません。

7. 操作パネルに「パターン* : 4」が表示されます (*はパターン名)。

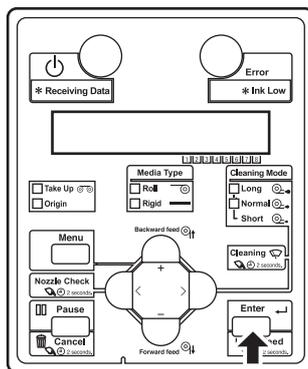
8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 6 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、設定値を入力せずに「チョウセイ 1 : チョウセイ ALL」に戻ります。

9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。
- 手順4で「チョウセイ ALL」を選択した場合は、操作パネルに「ハ° ターン* : 4」（*はパターン名）と表示されます。該当するパターンの印刷結果を確認し、手順6～手順9と同様にズレのない番号を設定します。A～Fまでの設定が完了すると、操作パネルが「チョウセイ 1 : チョウセイ ALL」に戻ります。
- 手順4で「チョウセイハ° ターン A」～「チョウセイハ° ターン F」のいずれかを選択した場合は、操作パネルが「チョウセイ 1 : チョウセイ ALL」に戻ります。

3.7 画質調整

プリントヘッドの往復動作のずれを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

調整方式	内容	参照
Standard	現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。	 3.7.1 Standard 画質調整
Custom	現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。	 3.7.2 Custom 画質調整

注 記

- 製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、印刷画質が変化した場合に、画質調整を行ってください。
- Standard 画質調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、必ず画質調整も合わせて行ってください。
- Custom 画質調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても画質調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom 画質調整であらかじめすべてのパターン（A～F）に対して調整を行ってください。

3.7.1 Standard 画質調整

現在設定されているユーザ定義の作画モードに対してのみ調整を行います。
本メニューは、下記のメニューで構成されています。

メニュー名	内容	参照	
Standard 調整作画	確認パターン	確認パターンを印刷し、ズレ量を確認します。	☞ 3.7.1.1 Standard 確認パターン
	粗調整パターン	ズレ量が大きいと思われる場合に実行します。	☞ 3.7.1.2 Standard 粗調整パターン
	微調整パターン	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。	☞ 3.7.1.3 Standard 微調整パターン

以下の概要手順に従って調整を行ってください。

1. 確認パターンを印刷し、ズレ量を確認します。
[☞ 3.7.1.1 Standard 確認パターン](#)
2. ズレ量が大きいと思われる場合は、粗調整を実行します。
[☞ 3.7.1.2 Standard 粗調整パターン](#)
ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行します。
[☞ 3.7.1.3 Standard 微調整パターン](#)

注 記

ズレ量の大小が判定できない場合は、粗調整から行ってください。

3. ふたたび確認パターンを印刷し、調整ができているか確認します。
[☞ 3.7.1.1 Standard 確認パターン](#)
4. 調整できていない場合は、手順 2 に戻ります。

注 記

粗調整で調整しきれなかった場合は、微調整を実行してください。

3.7.1.1 Standard 確認パターン

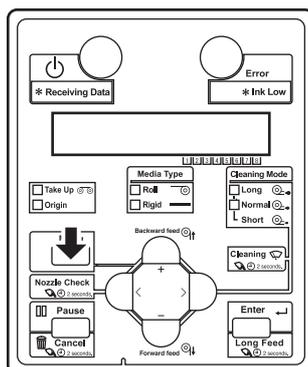
現在設定しているユーザ定義の作画モードについて、確認パターンを印刷します。

1. 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。

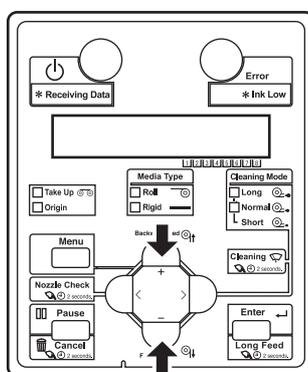
☞ [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)

2. 操作パネルに調整作画メニューを表示させます。

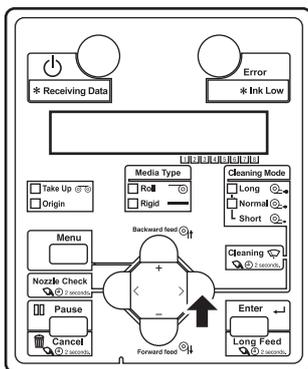
- a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー 1 : スリープモード >」と表示されます。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー 2 : ユーザー テイキ >」を選択します。

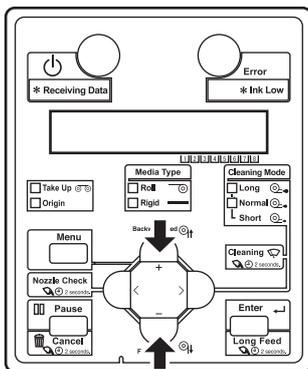


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

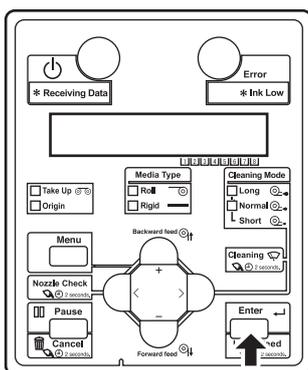


- 操作パネルに「ユーザ : Type XX」(XXは1～15の数字)と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定したいユーザ定義を選択します。



- e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「**>1 : サクカモード」と表示されます。

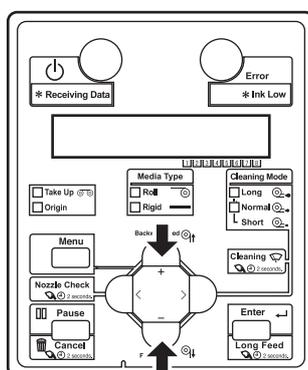
参 考

- 「**」には、選択したメディア種類（Type 1～15）が表示されます。

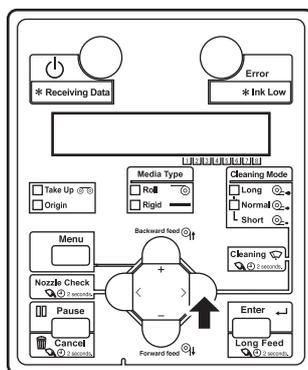
5.2.1 定義種類メニュー

- メディア厚検出が On の場合に、ここで前回と異なるユーザ定義に設定すると、操作パネルに「ヨウシアツヲヘンコウシマスカ?」と表示されます。
 - [Enter] キーを押すと、検出したメディア厚さをここで設定したユーザ定義に上書きします。
 - [Cancel] キーを押すとユーザ定義の選択画面に戻ります。

- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「** > 2 : チョウセイサクカ >」を選択します。

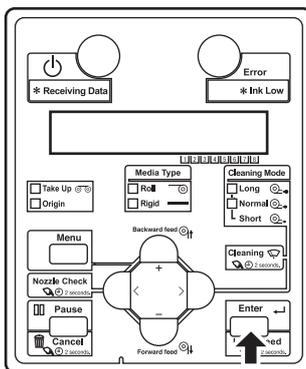


- g. 操作パネルの [>] キーを押します。



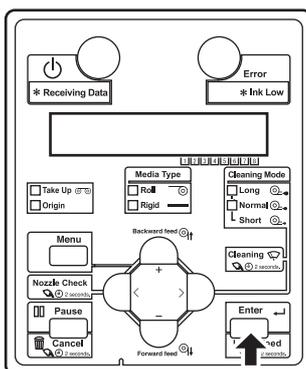
- 操作パネルに「チョウセイサクカ 1 : Standard」と表示されます。

- h. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

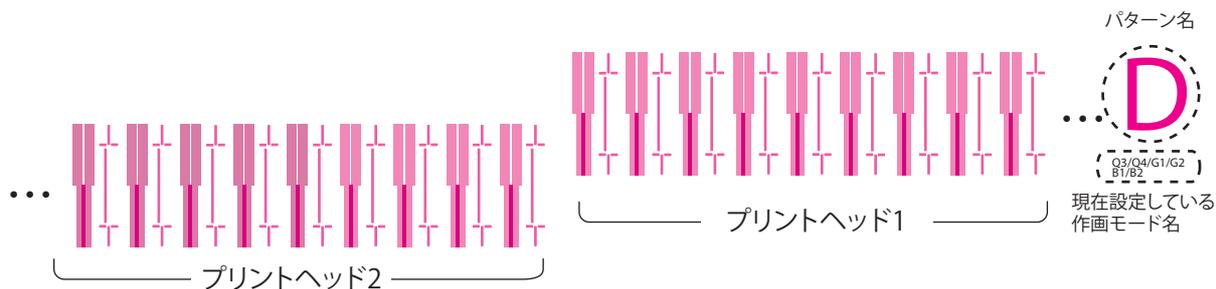


- 操作パネルに「チョウセイ1： カクニンハ° ターン」と表示されます。
- 調整作画メニューに移行します。
 [5.2.2.2 調整作画メニュー](#)

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 確認パターンが印刷されます（下図は4色設定時の印刷例です）。

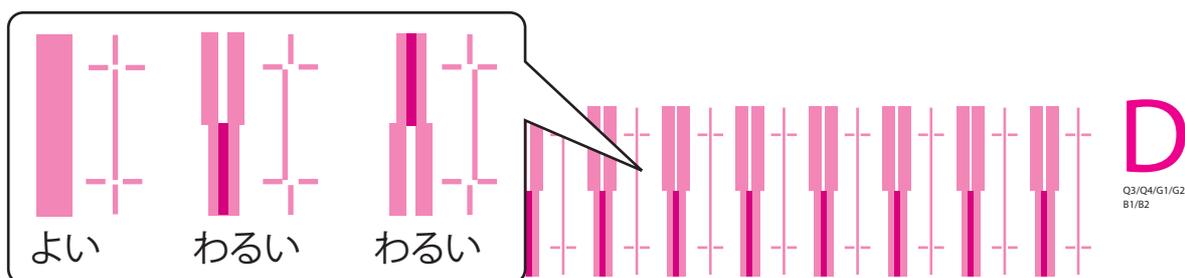


注 記

現在のユーザー定義に設定されている作画モードにより D、E のいずれかの確認パターンを印刷します。

- 確認パターン作画が終了すると、操作パネルが「チョウセイ 1 : カクニンパターン」に戻ります。

4. 確認パターンの印刷結果が、次図のようになっていることを確認します。

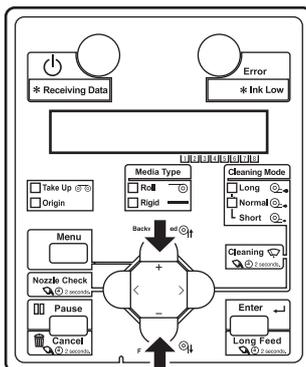


- 印刷結果が「よい」の場合：
画質調整は不要です。
画質調整を終了します。
- 印刷結果が「わるい」の場合：
画質調整が必要です。
 - ズレ量が大いと思われる場合は、粗調整を実行します。
☞ [3.7.1.2 Standard 粗調整パターン](#)
 - ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行します。
☞ [3.7.1.3 Standard 微調整パターン](#)

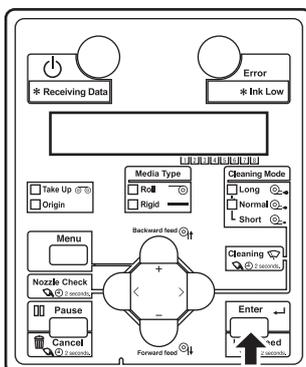
3.7.1.2 Standard 粗調整パターン

確認パターンを見て、ズレ量が大きいと思われる場合は、粗調整を実行してください。
粗調整パターンを印刷し、設定値を登録します。

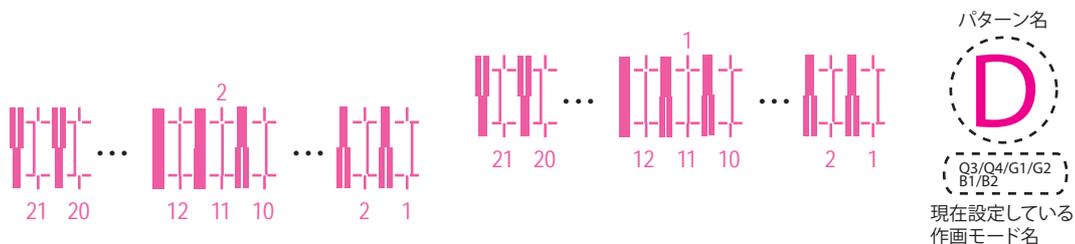
1. 「3.7.1.1 Standard 確認パターン」の手順2と同様に、操作パネルに Standard 調整作業メニューを表示させます。
2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ2：ソチョウセイパター」を選択します。



3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 粗調整パターン印刷を開始します（下図は4色設定時の印刷例です）。



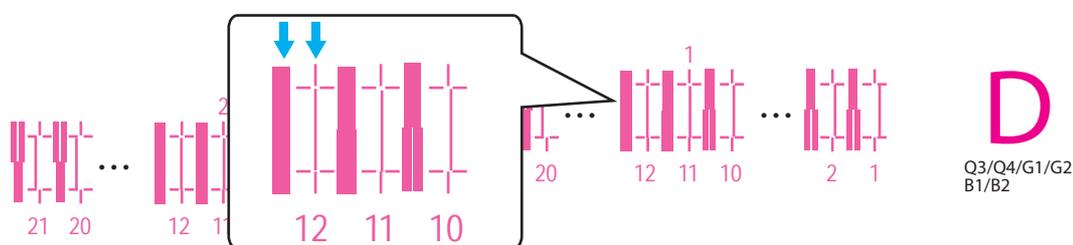
注 記

現在のユーザー定義に設定されている作画モードにより D、E のいずれかの粗調整パターンを印刷します。

- 画質粗調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。
- 操作パネルに「パターン* : 11」（*は下表参照）が表示されます。
 - 設定されている作画モードにより、「*」に表示されるパターン名が異なります。作画モードとパターン名の対応関係は以下のとおりです。

作画モード	パターン名
Quality 1, 2	E
Quality 3, 4	D
Graphics 1, 2	
Banner 1, 2	

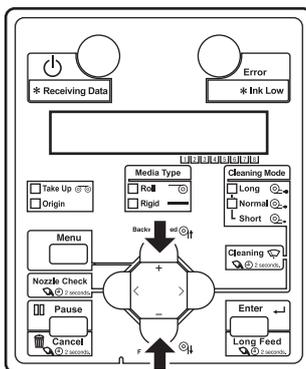
- プリントヘッド1について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
 - 次図の印刷サンプルの例では、「12」です。



注 記

「11」は現在の設定値を表しています。

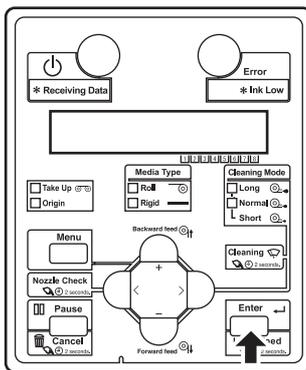
5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、設定値を入力せずに「チョウセイ 2 : ソチョウセイハターン」に戻ります。

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



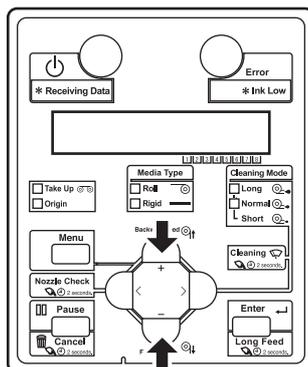
- 設定値が確定されます。
- 操作パネルが「チョウセイ 2 : ソチョウセイハターン」に戻ります。

7. 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

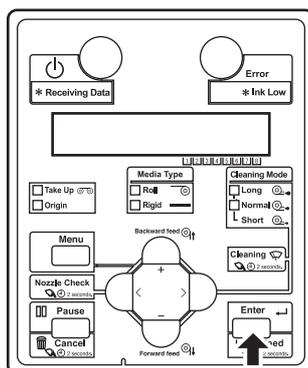
3.7.1.3 Standard 微調整パターン

確認パターンを見て、ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行してください。
調整パターンを印刷し、設定値を登録します。

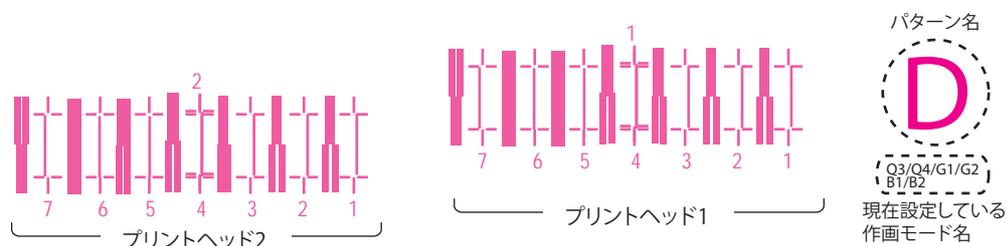
1. 「3.7.1.1 Standard 確認パターン」の手順2と同様に、操作パネルに Standard 調整作画メニューを表示させます。
2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ3：チョウセイパターン」を選択します。



3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 画質微調整パターン印刷を開始します（下図は4色設定時の印刷例です）。



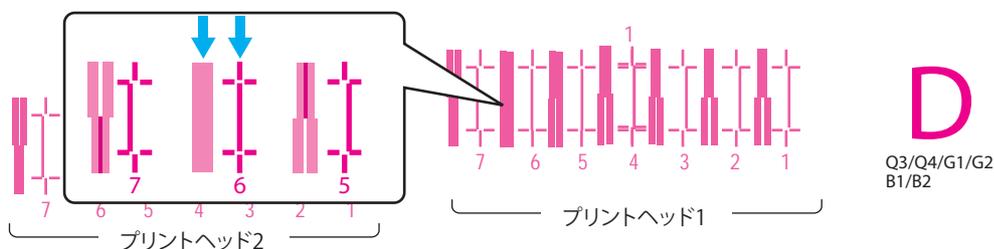
注 記

現在のユーザー定義に設定されている作画モードにより D、E のいずれかの微調整パターンを印刷します。

- 画質微調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。
- 操作パネルに「パターン* : 4」（*は下表参照）が表示されます。
 - 設定されている作画モードにより、「*」に表示されるパターン名が異なります。作画モードとパターン名の対応関係は以下のとおりです。

作画モード	パターン名
Quality 1, 2	E
Quality 3, 4	D
Graphics 1, 2	
Banner 1, 2	

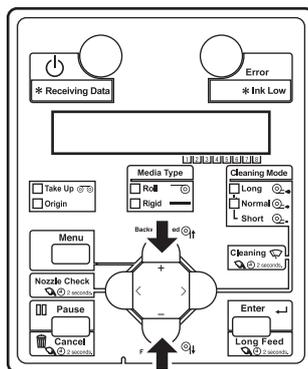
4. プリントヘッド1について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
 - 次図の印刷サンプルでは、「6」を選択します。



注 記

「4」が現在の設定値を表しています。

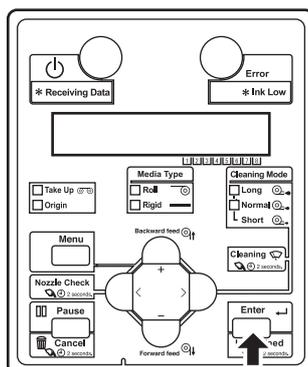
5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、「チョウセイ 3 : チョウセイパ° ターン」に戻ります。

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。
- 操作パネルが「チョウセイ 3 : チョウセイパ° ターン」に戻ります。

7. 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

3.7.2 Custom 画質調整

A～Fのパターンに対する調整を行います。
本調整により、すべての作画モードに対して調整が行われます。
本メニューは、下記のメニューで構成されています。

メニュー名	内容	参照	
Custom 調整作画	確認パターン	A～Fの確認パターンを印刷し、ズレ量を確認します。	 3.7.2.1 Custom 確認パターン
	粗調整 ALL	ズレ量が大きと思われる場合に実行します。A～Fの確認パターン全てを調整します。	 3.7.2.2 Custom 粗調整パターン
	粗調整パターン A～F	ズレ量が大きと思われる場合に実行します。A～Fの確認パターンのいずれかを調整します。	 3.7.2.2.2 粗調整パターン A～F
	微調整 ALL	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。A～Fの確認パターン全てを調整します。	 3.7.2.3.1 微調整 ALL
	微調整パターン A～F	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。A～Fの確認パターンのいずれかを調整します。	 3.7.2.3.2 微調整パターン A～F

以下の手順に従って調整を行ってください。

1. 確認パターンを印刷し、ズレ量を確認します。
 [3.7.2.1 Custom 確認パターン](#)
2. ズレ量が大きと思われる場合は、粗調整を実行します。
 [3.7.2.2 Custom 粗調整パターン](#)
ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行します。
 [3.7.2.3 Custom 微調整パターン](#)

注 記

- ズレ量の大小が判定できない場合は、粗調整から行ってください。
- A～Fのすべてのパターンについて、ズレがあれば調整を行ってください。

3. ふたたび確認パターンを印刷し、調整ができていないか確認します。
 [3.7.2.1 Custom 確認パターン](#)
4. 調整できていない場合は、手順2に戻ります。

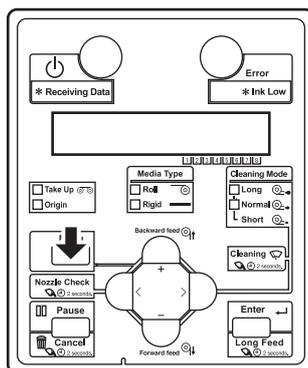
注 記

- 粗調整で調整しきれなかった場合は、微調整を実行してください。
- 調整パターンには、すべてのパターンを調整する「粗調整 ALL」「微調整 ALL」と A～F のパターンを別々に調整できる「粗調整パターン A～F」「微調整パターン A～F」があります。

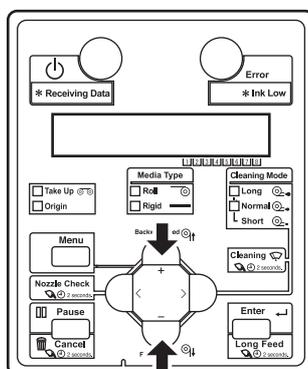
3.7.2.1 Custom 確認パターン

本メニューにより、A～Fのすべての確認パターンを印刷し、ズレ量の確認を行うことができます。

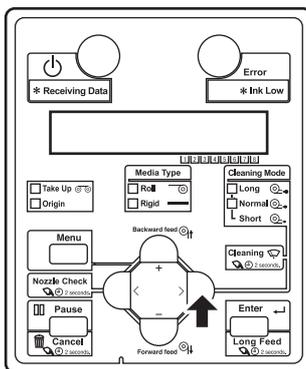
- 製品の電源を ON して、ロール紙をセットします。
[3.5.5 ロール紙のセット方法](#)
- 操作パネルに調整作画メニューを表示させます。
 - 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
- 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー2： ユーザー テイキ >」を選択します。

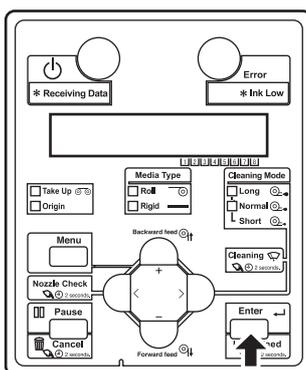


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。



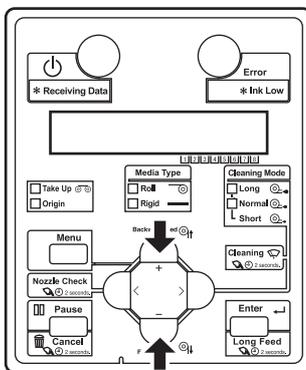
- 操作パネルに「ユーザ : Type XX」(XX は 1 ~ 15 の数字) と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定したいユーザ定義を選択します。
- e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

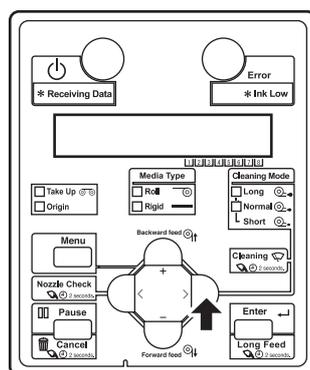


- 操作パネルに「** > 1 サクカモード >」と表示されます。

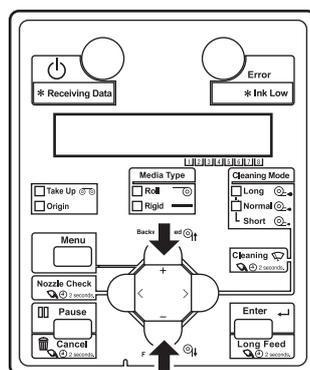
- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「** > 2 : チョウセイサクカ >」を選択します。



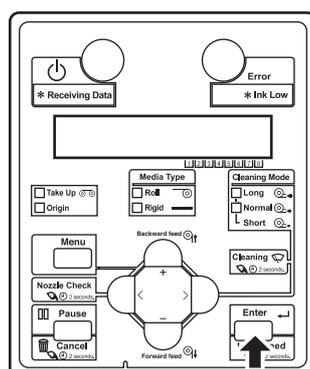
- g. 操作パネルの [>] キーを押します。



- 操作パネルに「チョウセイサクカ` 1 : Standard」と表示されます。
- h. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイサクカ` 2 : Custom」を選択します。

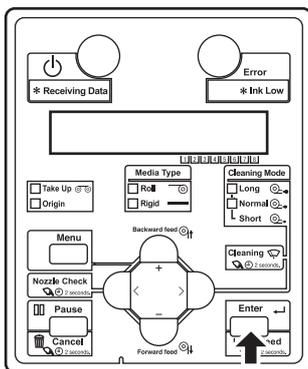


- i. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

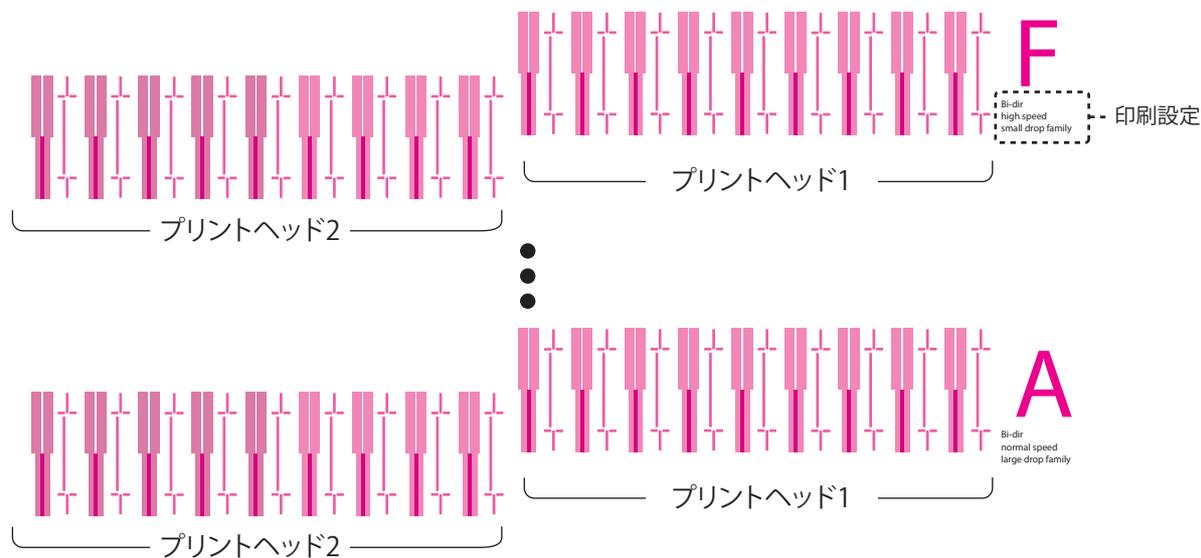


- 操作パネルに「チョウセイ 1 : カクニンハ` ターン」と表示されます。
- 調整作画メニューに移行します。
[🔗 5.2.2.2 調整作画メニュー](#)

- 3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



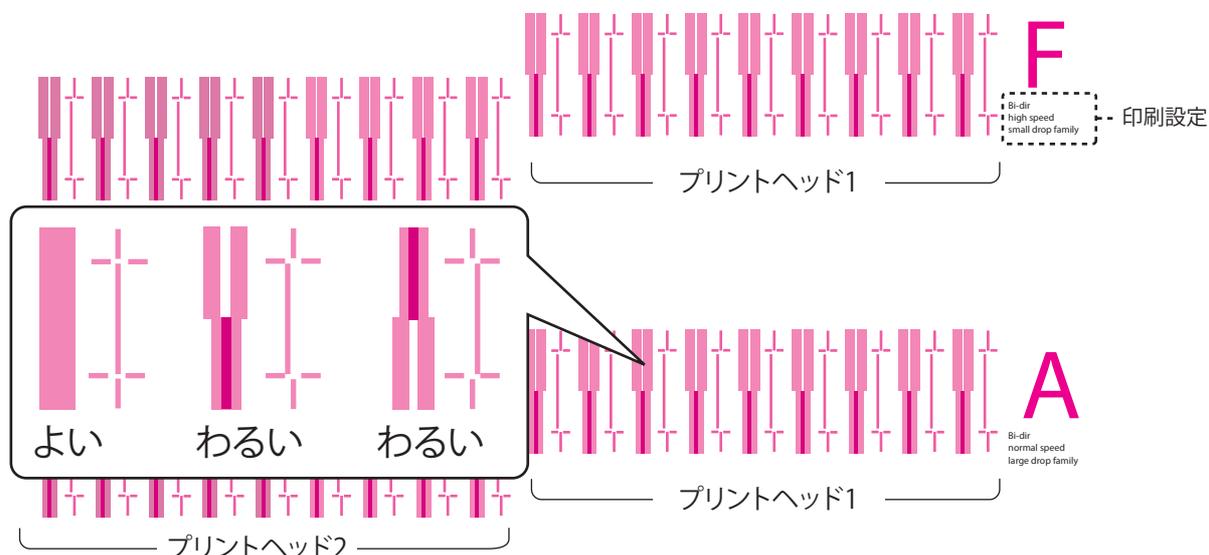
- 画質調整のための確認パターン作画を開始します。
確認パターンは A から F までの 6 パターン印刷されます（下図は 4 色設定時の印刷例です）。



- 確認パターン作画が終了すると、操作パネルが「チョウセイ 1 : カクニンパターン」に戻ります。

4. 確認パターンの印刷結果が、次図のようになっていることを確認します。

- 確認パターン A から F について、それぞれ確認を行います。



- 印刷結果が「よい」の場合：
画質調整は不要です。
画質調整を終了します。
- 印刷結果が「わるい」の場合：
画質調整が必要です。
 - ズレ量が大きいと思われる場合は、粗調整を実行します。
☞ [3.7.2.2 Custom 粗調整パターン](#)
 - ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行します。
 - A ~ F のすべてのパターンの調整が必要な場合 : ☞ [3.7.2.3.1 微調整 ALL](#)
 - A ~ F のいずれかのパターンのみ調整が必要な場合 : ☞ [3.7.2.3.2 微調整パターン A ~ F](#)

3.7.2.2 Custom 粗調整パターン

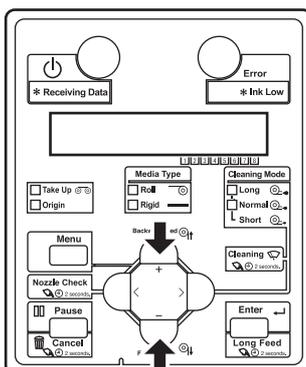
確認パターンを見て、ズレ量が大きいと思われる場合は、粗調整を実行してください。
本メニューは、下記のメニューで構成されています。

メニュー名	内容	参照	
Custom 調整画面	粗調整 ALL	A～Fの確認パターンすべてを調整します。	☞ 3.7.2.2.1 粗調整パターン ALL
	粗調整パターン A～F	A～Fの確認パターンのいずれかを調整します。	☞ 3.7.2.2.2 粗調整パターン A～F

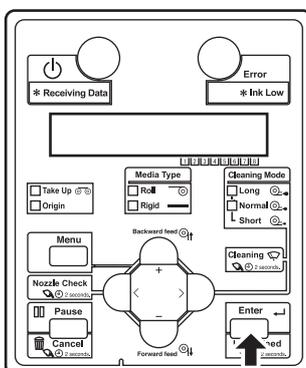
3.7.2.2.1 粗調整パターン ALL

粗調整パターン ALL を印刷し、設定値を登録します。

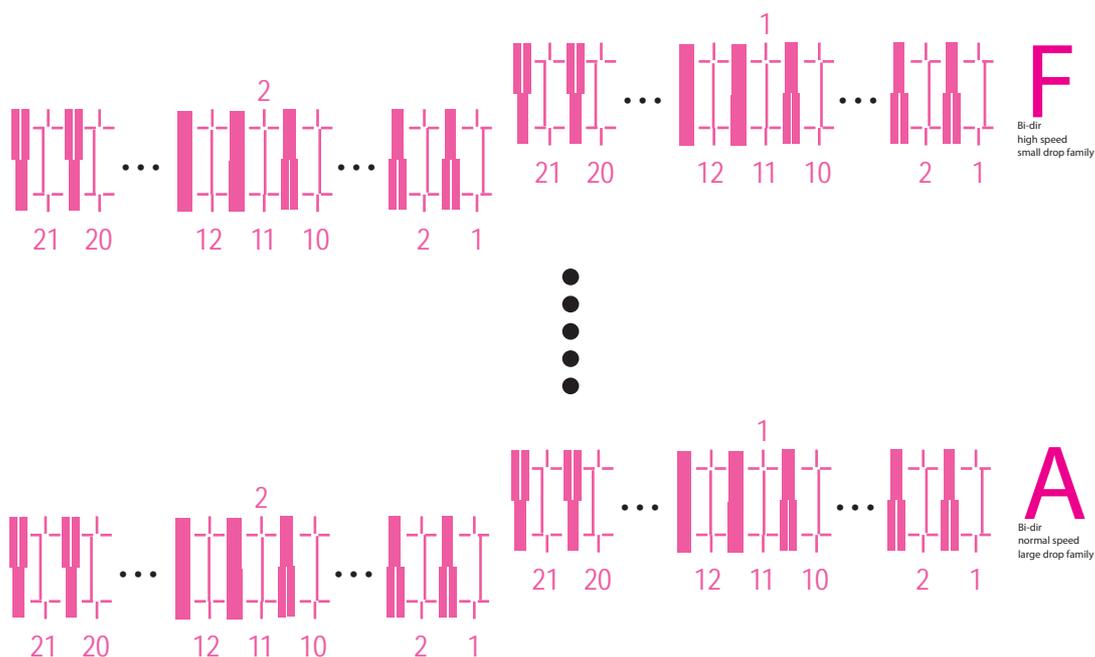
- 「3.7.2.1 Custom 確認パターン」の手順 2 と同様に、操作パネルに Custom 調整画面メニューを表示させます。
- 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ 2 : ソチョウセイ ALL」を選択します。



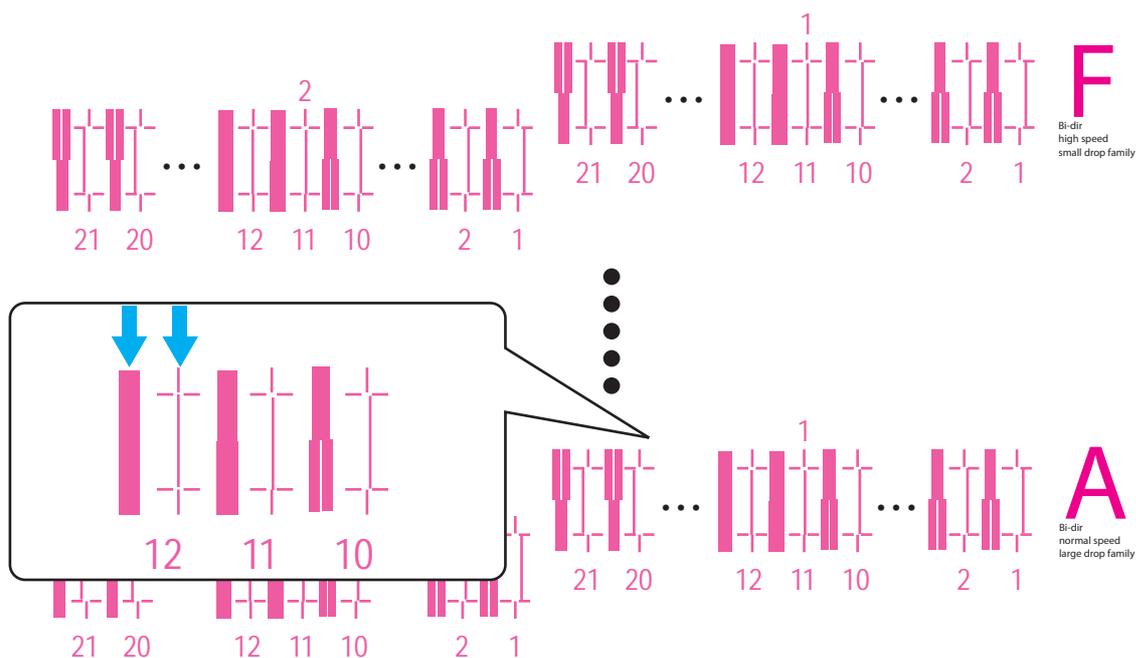
- 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 粗調整パターン印刷を開始します（下図は4色設定時の印刷例です）。



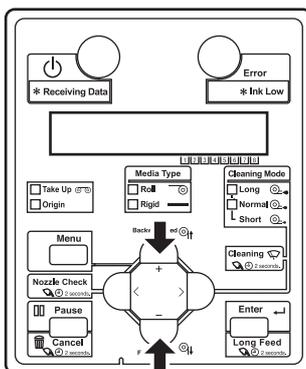
- 画質粗調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。
 - 粗調整パターン作画はAからFまで6パターン印刷されます。
 - 操作パネルに「パターン A 1 : 1 1」が表示されます。
4. プリントヘッド1について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- 次図のパターンAの例では、「12」です。



注 記

「11」は現在の設定値を表しています。

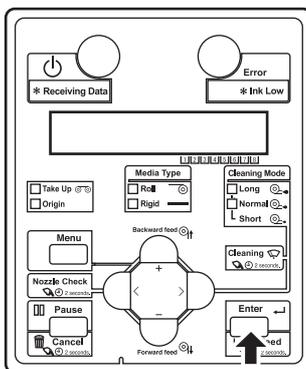
- 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、設定値を入力せずに「チョウセイ 2 : ソチョウセイ ALL」に戻ります。

- 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。

- 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

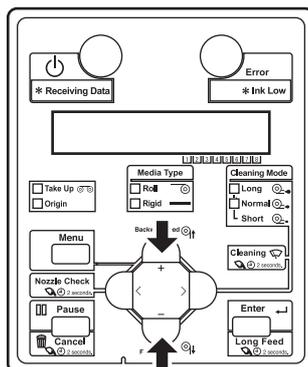
- 同様にパターン B からパターン F を入力します。

- [Enter] キーで確定します。
- すべての設定値の入力が完了した状態で [Enter] キーを押すと、プリンタに A から F の設定値が登録されます。
- 操作パネルが「チョウセイ 2 : ソチョウセイ ALL」に戻ります。

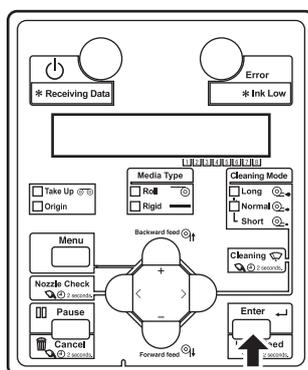
3.7.2.2.2 粗調整パターン A ~ F

A ~ Fのうちから選択された粗調整パターンひとつを印刷し、設定値を登録します。
以下ではパターン A のみ調整したい場合について説明します。

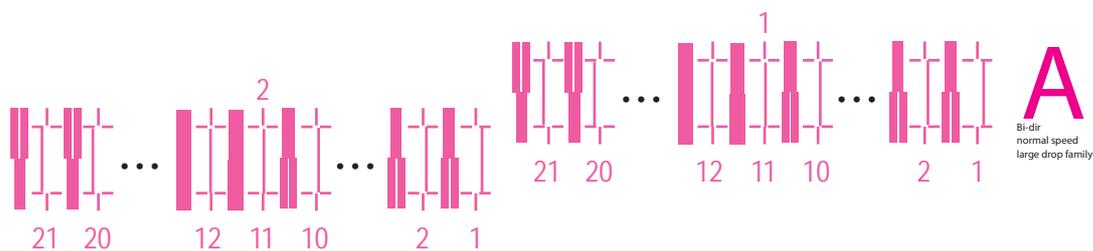
1. 「**3.7.2.1 Custom 確認パターン**」の手順 2 と同様に、操作パネルに Custom 調整作業メニューを表示させます。
2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ 3 : ソチョウセイパター A」を選択します。



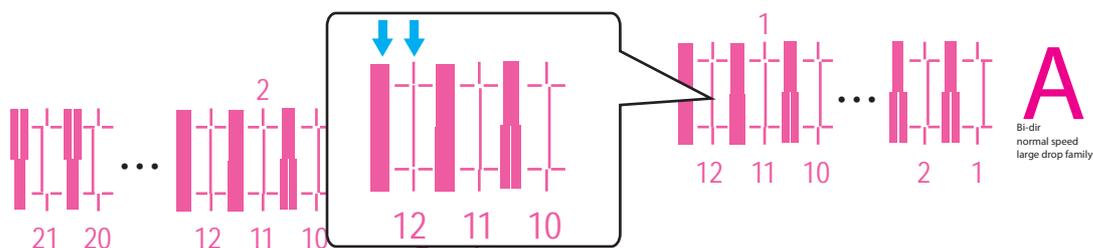
3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 粗調整パターン作画を開始します（下図は4色設定時の印刷例です）。



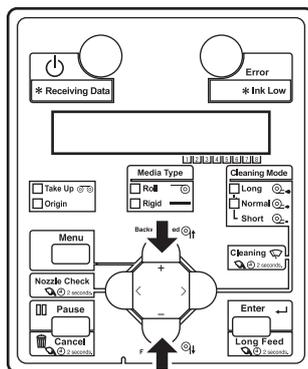
- 画質粗調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。
 - 操作パネルに「パターン A : 1 1」が表示されます。
4. プリントヘッド1について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- 次図のパターン A の例では、「12」です。



注記

「11」は現在の設定値を表しています。

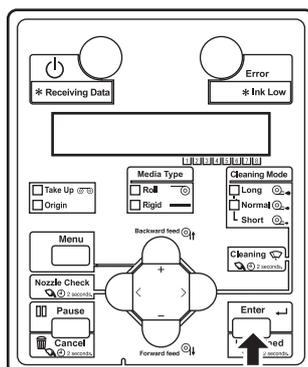
5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、「チョウセイ 3 : ソチョウセイパ° ターン A」に戻ります。

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。
- 操作パネルが「チョウセイ 3 : ソチョウセイパ° ターン A」に戻ります。

7. 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

3.7.2.3 Custom 微調整パターン

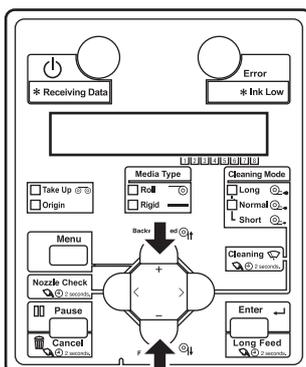
確認パターンを見て、ズレ量が小さいと思われる場合は、微調整を実行してください。
本メニューは、下記のメニューで構成されています。

メニュー名	内容	参照	
Custom 調整画面	微調整 ALL	A ~ F の確認パターン全てを調整します。	3.7.2.3.1 微調整 ALL
	微調整パターン A ~ F	A ~ F の確認パターンのいずれかを調整します。	3.7.2.3.2 微調整パターン A ~ F

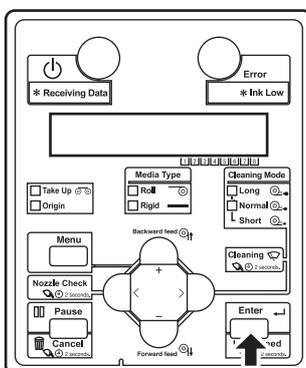
3.7.2.3.1 微調整 ALL

微調整 ALL を印刷し、設定値を登録します。

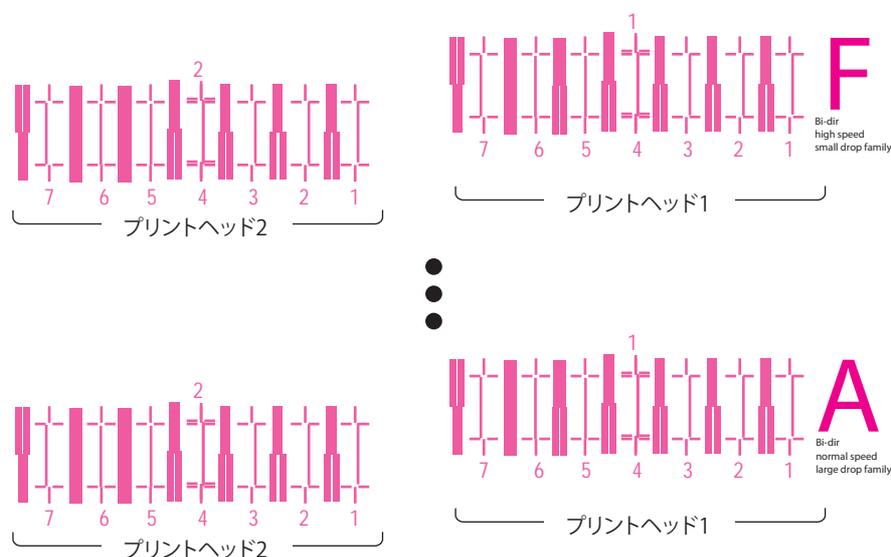
- 「[3.7.2.1 Custom 確認パターン](#)」の手順 2 と同様に、操作パネルに Custom 調整画面メニューを表示させます。
- 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ 9 : チョウセイ ALL」を選択します。



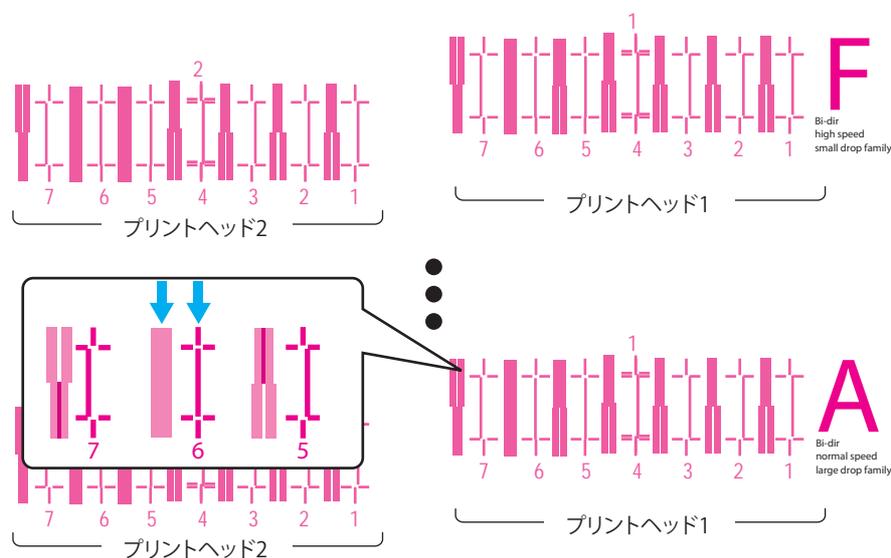
- 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 画質微調整パターン作画を開始します。
画質微調整パターン作画はパターン A からパターン F まで 6 パターン印刷されます
(下図は 4 色設定時の印刷例です)。



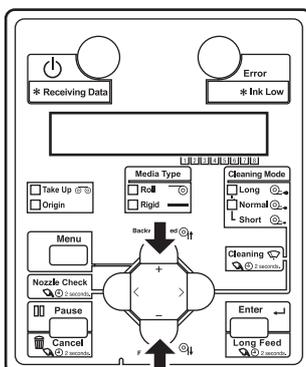
- 画質微調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。
4. プリントヘッド 1 について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- 次図のパターン A の例では、「6」を選択します。



注 記

「4」が現在の設定値を表しています。

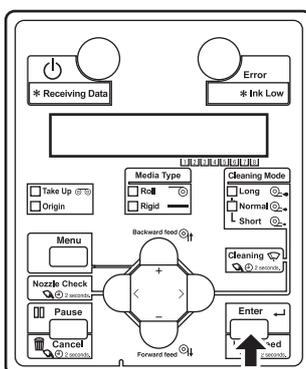
5. 操作パネルに「パターン*1 : 4」が表示されます。
6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 4 で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、「チョウセイ 9 : チョウセイ ALL」に戻ります。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

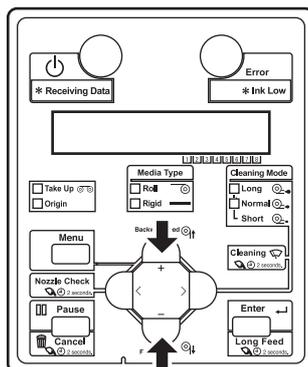


- 設定値が確定されます。
8. 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。
 9. 同様にパターン B からパターン F を入力します。
 - [Enter] キーで確定します。
 - すべての設定値の入力が完了した状態で [Enter] キーを押すと、プリンタにパターン A からパターン F の設定値が登録されます。
 - 操作パネルが「チョウセイ 9 : チョウセイ ALL」に戻ります。

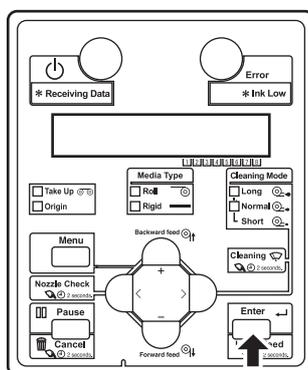
3.7.2.3.2 微調整パターン A ~ F

A ~ Fのうちから選択された微調整パターンひとつを印刷し、設定値を登録します。
以下ではパターン A のみ調整したい場合について説明します。

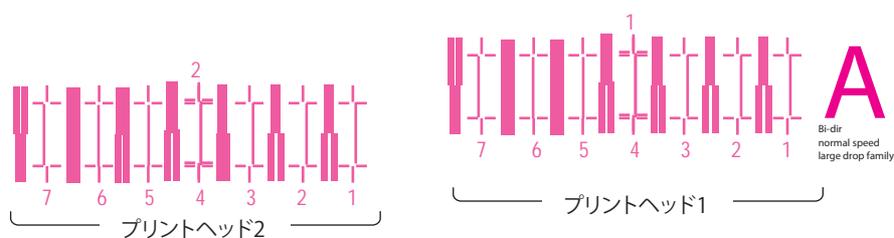
1. 「3.7.2.1 Custom 確認パターン」の手順 2 と同様に、操作パネルに Custom 調整作画メニューを表示させます。
2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「チョウセイ 10 : チョウセイパター A」を選択します。



3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

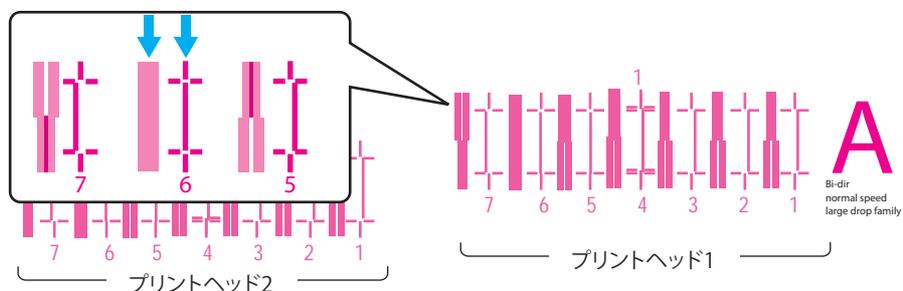


- 画質微調整パターン作画を開始します（下図は 4 色設定時の印刷例です）。



- 画質微調整パターンは、メディア両端と中央に同じパターンが印刷されます。

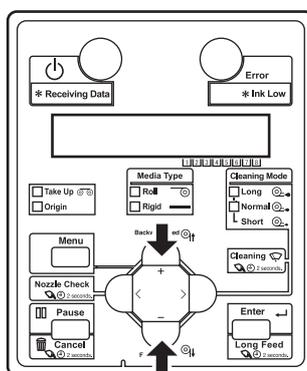
4. プリントヘッド1について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
 - 次図の印刷サンプルの例では、「6」を選択します。



注 記

「4」が現在の設定値を表しています。

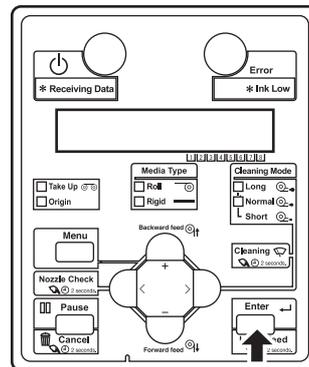
5. 操作パネルに「ハ° ターン A1 : 4」が表示されます。
6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順4で選んだ番号を入力します。



注 記

操作パネルの [Cancel] キーを押すと、「チョウセイ10 : チョウセイハ° ターン A」に戻ります。

7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 設定値が確定されます。
 - 操作パネルが「チョウセイ10：チョウセイハ° ターン A」に戻ります。
8. 同様に、プリントヘッド2の調整を行います。

3.8 コンピュータとの接続

本製品とコンピュータの接続方法について説明します。

3.8.1 システム条件の確認

本製品が対応する OS は以下のとおりです。

動作 OS	Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7
-------	------------------------------------

注 記

- 使用するアプリケーションソフトウェアや、印刷するデータの種類により、必要とされるシステム条件は異なります。
- メモリとハードディスクは、できる限り大容量のものを使用することをお奨めします。
- ソフトウェアサーバ RIP (オプション) については下記にお問い合わせください。
[☞ 8.4 お問い合わせ先](#)
- ソフトウェアサーバ RIP (オプション) の動作に必要なシステム条件は、ソフトウェアサーバ RIP の取扱説明書をご覧ください。

3.8.2 印刷サポートソフトについて

本製品のスペックを最大に発揮する為には、MUTOH Status Monitor (MSM) と MSM の MUTOH Print Server (MPS) 機能をご利用ください。

MUTOH Status Monitor は MUTOH Club からダウンロードの上ご利用ください。

注 記

- MPS 機能は、対応機種でのみメニュー表示されます。
RIP の出力先を MPS 機能に切り替えてご利用ください。
- MUTOH Club については、[8.1.2 システム構成](#)をご参照ください。

3.8.3 接続ケーブルの準備

本製品では、コンピュータとの接続に、ネットワーク・インターフェイスを装備しています。
本製品とコンピュータを接続するためには、ネットワーク・インターフェイスケーブルが必要です。接続するコンピュータや目的に応じて準備してください。

参 考

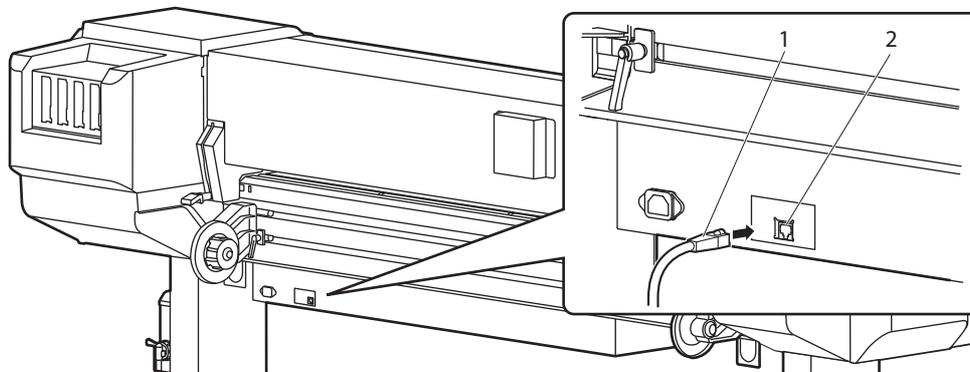
- ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続方法については、「[3.8.4 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続](#)」を参照してください。
- 接続するケーブルの推奨仕様については、「[8.1.2 システム構成](#)」を参照してください。

3.8.4 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続

ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続手順について説明します。

以下の手順に従って、本製品をコンピュータに接続してください。

1. 本製品とコンピュータ双方の電源を OFF します。
2. ネットワーク・インターフェイスケーブルのコネクタを、製品背面のネットワーク・インターフェイスコネクタに差し込みます。



番号	名称
1	ネットワーク・インターフェイスケーブル
2	ネットワーク・インターフェイスコネクタ

3. ネットワーク・インターフェイスケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。

参 考

コンピュータへの接続については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

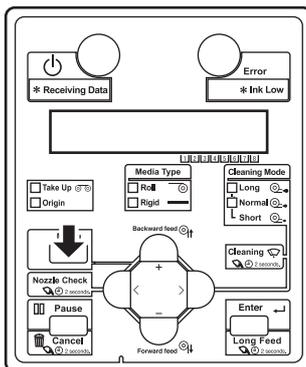
3.8.5 IP アドレスの設定

プリンタ側の IP アドレスの設定を行います。

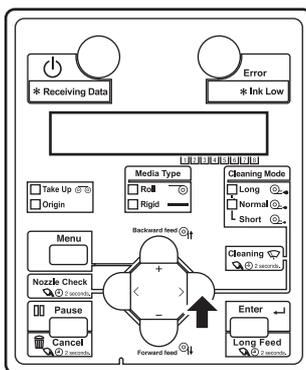
以下の手順に従って、IP アドレスを設定してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

2. 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります。

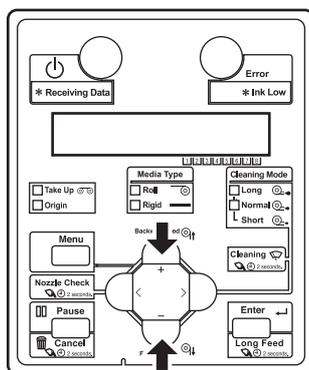


- 操作パネルに「メニュー 1 : スリープモード >」と表示されます。
3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー 9 : ショキセッテイ >」を選択します。
 4. 操作パネルの [>] キーを押します

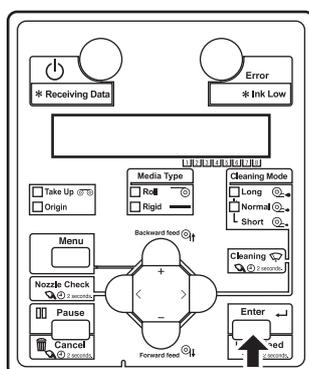


- 操作パネルに「ショキセッテイ 1 : ゲンコ」と表示されます。

5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「シヨキセッテイ 3 : I P アドレス」を選択します。

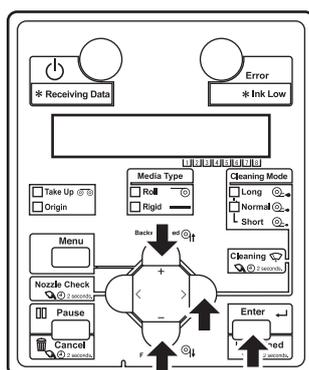


6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



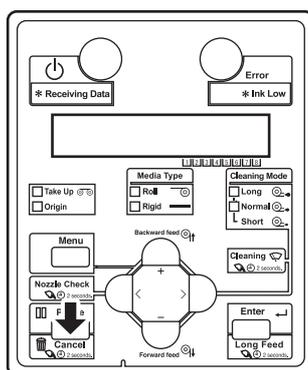
- 操作パネルに「1 9 2 . 1 6 8 . 1 . 2 5 3」（初期値）と表示されます。

7. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- [+] キー：設定値を増加させます。
- [-] キー：設定値を減少させます。
- [Enter] キー、[>] キー：次のセグメントの設定値を変更します。

8. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。
9. 製品を再起動します。

注 記

IP アドレス設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

3.8.6 サブネットマスクの設定

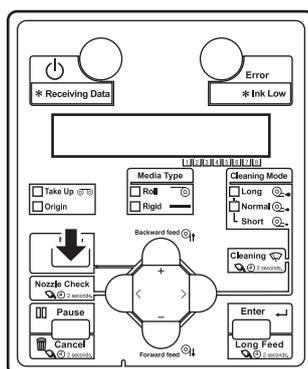
プリンタ側のサブネットマスクの設定を行います。
プリンタを接続するネットワークのサブネットマスクと同じ設定にする必要があります。

以下の手順に従って、サブネットマスクを設定してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

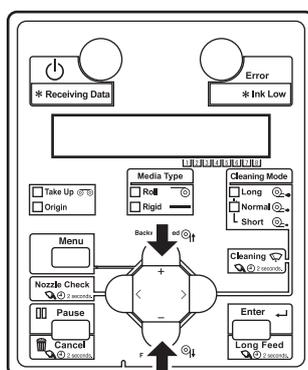
☞ 3.2.1 電源を ON する方法

2. 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります

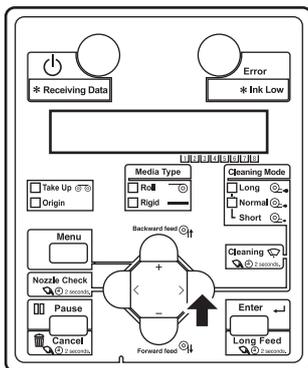


- 操作パネルに「メニュー 1 : スリープモード >」と表示されます。

3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー 9 : ショキセッテイ >」を選択します。

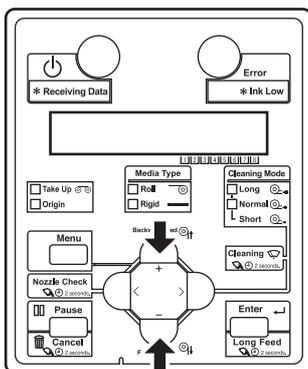


4. 操作パネルの [>] キーを押します

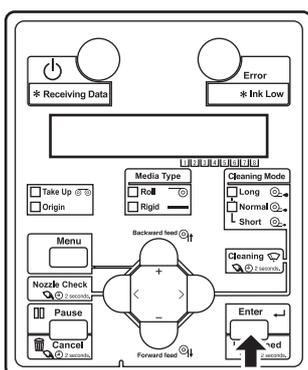


- 操作パネルに「シヨキセッテイ1： ゲ`ンゴ`」と表示されます。

5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「シヨキセッテイ4： サブ`ネットマスク」を選択します。

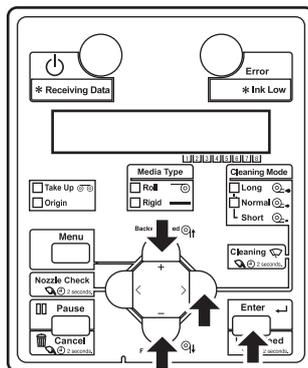


6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



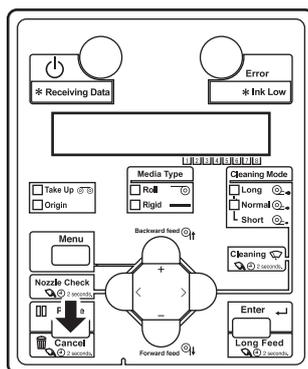
- 操作パネルに「255.255.255.0」（初期値）と表示されます。

7. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- [+] キー：設定値を増加させます。
- [-] キー：設定値を減少させます。
- [Enter] キー、[>] キー：次のセグメントの設定値を変更します。

8. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。

9. 製品を再起動します。

注記

サブネットマスク設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

3.8.7 ゲートウェイの設定

プリンタ側のゲートウェイの設定を行います。

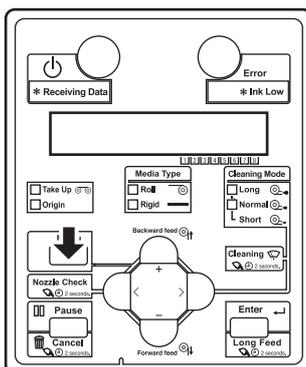
プリンタを接続するネットワークのゲートウェイと同じ設定にする必要があります。

以下の手順に従って、ゲートウェイを設定してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

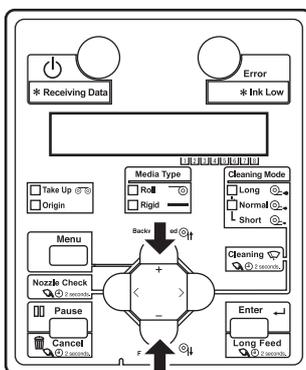
☞ [3.2.1 電源を ON する方法](#)

2. 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります

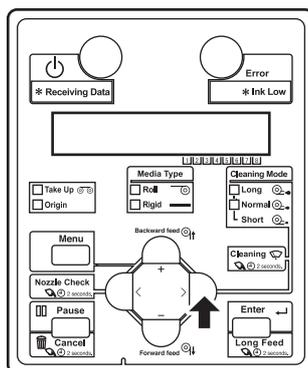


- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。

3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー9： ショキセッテイ >」を選択します。

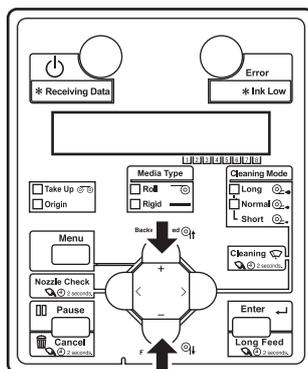


4. 操作パネルの [>] キーを押します。

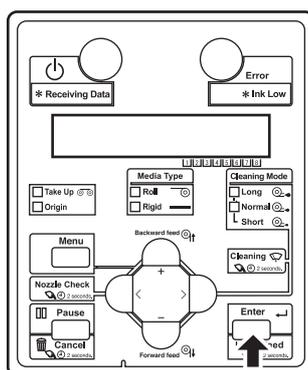


- 操作パネルに「シヨキセッテイ 1 : ケ`ンコ`」と表示されます。

5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「シヨキセッテイ 5 : ケ`ートウェイ」を選択します。

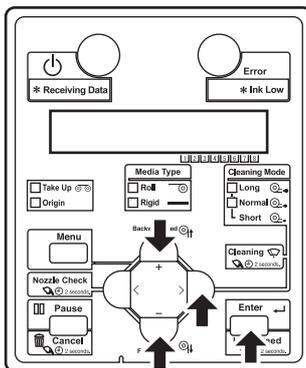


6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



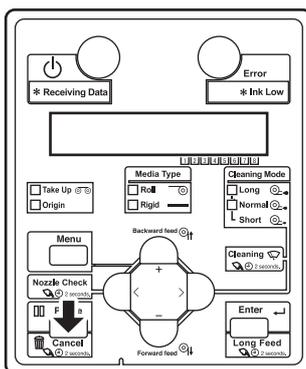
- 操作パネルに「1 9 2 . 1 6 8 . 1 . 2 5 4」（初期値）と表示されます。

7. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- [+] キー：設定値を増加させます。
- [-] キー：設定値を減少させます。
- [Enter] キー、[>] キー：次のセグメントの設定値を変更します。

8. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。

9. 製品を再起動します。

注記

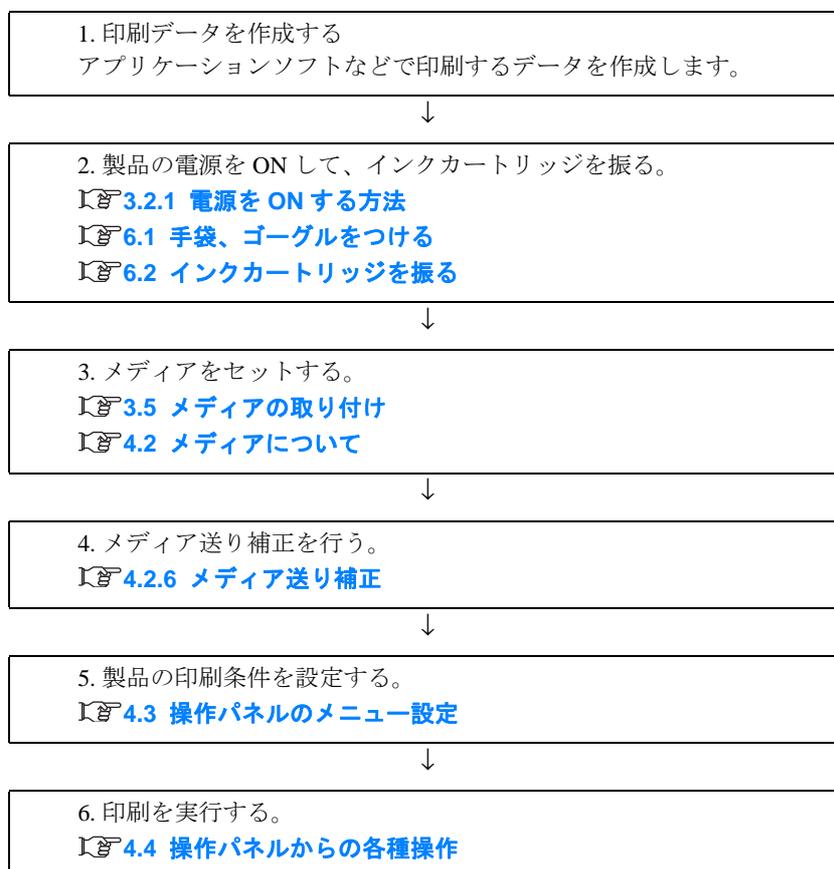
ゲートウェイ設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

4 操作方法

この章では、本製品の操作方法について説明します。

4.1 印刷までの流れ

本製品で印刷するために必要な手順を以下のフローに示します。
必要に応じて、それぞれの項目を参照してください。



注意

- ご使用前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- 作業場所は換気をしてください。
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。
頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
- 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
UV 硬化インクが皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- プリンタ使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。
- 衣類等にインクが付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は洗濯をしてください。
- 皮膚にインクが付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
- UV-LED ランプから少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取り扱う場合は以下の点に注意してください。
- 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。
- 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。

注記

- 印刷中はフロントカバーを開けないでください。
フロントカバーを開けた場合、製品は印刷を中断します。
フロントカバーを閉じると製品は印刷を再開しますが、印刷品質は保証できなくなります。
- 待機時・終了時は、フロントカバー・メンテナンスカバーを必ず閉めてください。
室内灯の光などでもインクが徐々に硬化する場合があります、インク詰まり・メンテユニットの機能障害・ヘッド破損などの故障の原因になります。
なお、本製品を改造・分解するとすべての保証が無効になります。
- 本製品のカバーを外したり、改造した状態で使用しないでください。

4.2 メディアについて

本製品で使用可能なメディアの詳細について説明します。

4.2.1 取り付け可能なメディア

<リジッドメディア>

本製品に取り付け可能なリジッドメディア*1は下記の通りです。

- 最大幅：1,625 mm
- 最小幅：182 mm
- 最大奥行：1,200 mm
- 最小奥行：200 mm
- 厚さ：15 mm 以下（メディアの反り、バラツキを含む）
- 重量：15 kg 以下
- メディアの反り：1 mm 以下（厚さのバラツキがある場合は、反りとバラツキの合算値が1 mm 以下とする。また、反りが上向きの状態での印刷は行わないこと）

*1：本書では板などの硬質なメディアをリジッドメディアと記載します。

<ロール紙>

本製品に取り付け可能なロール紙は下記の通りです。

- 2 インチ / 3 インチ紙管ロール紙
- 直径：150 mm 以下
- 最大幅：1,625 mm
- 最小幅：182 mm
- 重量：30 kg 以下
- プラテン上で、巻き癖による浮きが発生しないこと

4.2.2 メディアの取り扱い上の注意

メディアを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- メディアは、適切な環境下でご使用ください。
印刷に適した温度・湿度は次のとおりです。

	温度	湿度
印刷精度保証範囲	22℃～30℃	40%～60%
変化率	1時間あたり±2℃以内	1時間あたり±5%以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用しないでください。
- メディアは、印刷環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。
メディアの使用前には、印刷環境に約 30 分間放置して、印刷環境に慣らしてください。
印刷環境に慣らさないうちに印刷を行うと、印刷メディアのズレ、シワなどにより紙ジャムが発生する恐れがあります。
また、印刷品質にも悪影響があります。
- メディアの印刷面には手を触れないでください。
手についた水分・油脂が、印刷品質に影響します。
- メディアをセットした状態で、長時間放置しないでください。
メディアによっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印刷品質低下の原因となります。
特に冬季・乾燥期には、こうしたメディアの使用は避けてください。
- メディアの個装箱・個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、紛失しないでください。

4.2.3 メディアの保管時の注意

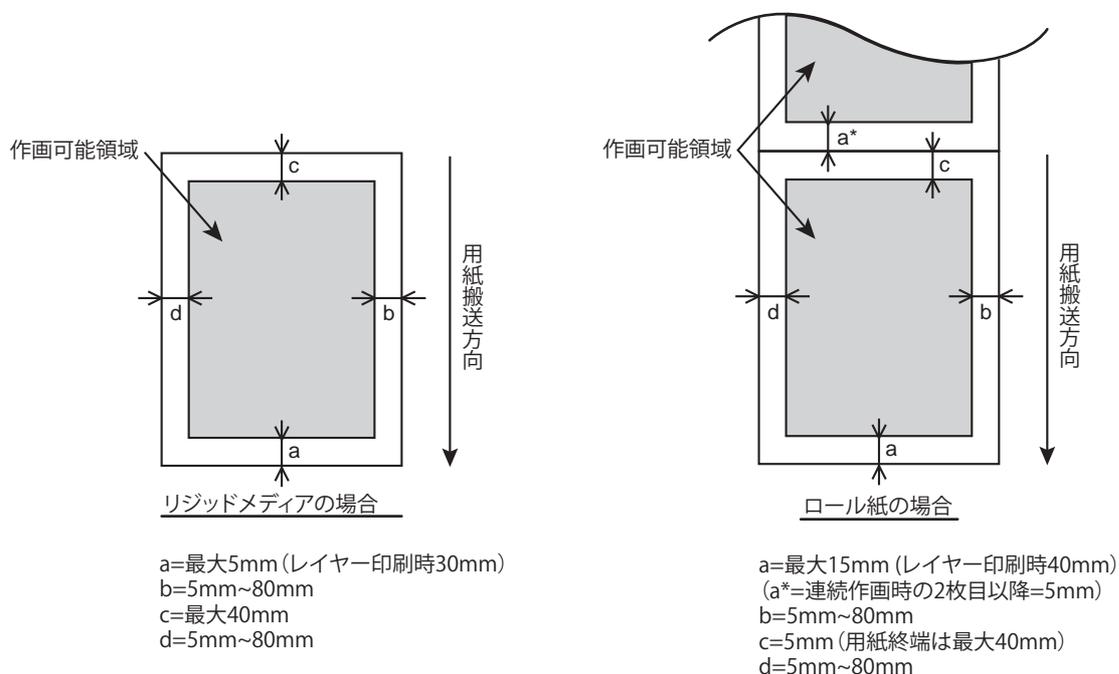
メディアを保管する場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないロール紙は、ロール紙受けから取り外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- メディアを濡らさないでください。

4.2.4 印刷領域

本製品の印刷可能な領域は以下のとおりです。



4.2.5 ヘッド高さ補正

印刷率の高い印刷を行う場合や反りの強いメディアを使用すると、ヘッド擦れを起こす場合があります。

プリントヘッド表面からメディアまでの距離（ヘッド高さ）を補正することで、ヘッド擦れを回避できる場合があります。

以下の手順に従って、ヘッド高さを補正してください。

注 記

ヘッド高さを上げた場合、印刷品質は保証できません。

1. 操作パネルにメディア厚補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー1： スリープモード」>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー2： ユーザ定義」>」を選択します。
 - c. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「ユーザ： Type 1」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するユーザ定義を選びます。
 - 選択したユーザ定義（Type1～15）が表示されます。
 - e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「**>1： サクカモード」>」と表示されます。

参 考

- 「**」には、選択したユーザ定義の種類（Type 1～15）が表示されます。
図5.2.1 定義種類メニュー
- メディア厚検出が On の場合に、ここで前回と異なるユーザ定義に設定すると、操作パネルに「ヨウシアツヲヘンコウシマスカ?」と表示されます。
 - [Enter] キーを押すと、検出したメディア厚さをここで設定したユーザ定義に上書きします。
 - [Cancel] キーを押すとユーザ定義の選択画面に戻ります。
- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「**>6： メディアアツホセイ」を選びます。

g. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「ホセイ： * . * mm ->」と表示されます。

参 考

「* . *」にはメディア厚さ検出で測定された厚さに対しての補正値が表示されます。

2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、ヘッド高さの設定値を変更します。

注 記

設定値の変更できる範囲は、基準になるメディア厚から +1.5 mm までです。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 設定値が保存されます。
- 操作パネルに「** > 6 : メディアアツホセイ」と表示されます。
- ヘッド高さの補正を終了します。

4.2.6 メディア送り補正

メディア送り補正について説明します。

メディアによっては、メディア送り量が変化するため、印刷結果に以下の現象がみられることがあります。

- 印刷された画像が重なる
- 印刷された画像に白い筋が入る 等

このように場合には、メディア送り補正值の調整でメディア搬送精度が改善することがあります。

また、メディアを変更した場合は、メディア送り補正を行ってください。

以下の手順でメディア送り補正を行なってください。

1. 操作パネルにメディア送り補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー 1 : スリープモード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー 2 : ユーザー テイキ >」を選びます。
 - c. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「ユーザー : Type 1」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するユーザ定義を選びます。
 - 選択したユーザ定義 (Type1 ~ 15) が表示されます。
 - e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「** > 1 : サクカモード」と表示されます。

参 考

- 「**」には、選択したメディア種類 (Type 1 ~ 15) が表示されます。
[図 5.2 ユーザ定義メニュー](#)
- メディア厚検出が On の場合に、ここで前回と異なるユーザ定義に設定すると、操作パネルに「ヨウシアツヲヘンコウシマスカ?」と表示されます。
 - [Enter] キーを押すと、検出したメディア厚さをここで設定したユーザ定義に上書きします。
 - [Cancel] キーを押すとユーザ定義の選択画面に戻ります。

- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「** > 3 : オクリホセイ」を選びます。
- g. 操作パネルの [>] キーを押します。

- 操作パネルに「ホセイ 1 : ショキチョウセイサクカ[°]」と表示されます。
2. 初期調整作画を行います。
 - a. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ : 250 mm」と表示されます。

参 考

- 初期調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

- b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「データサクカ[°] チュウ」と表示されます。
 - 初期調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	メディア搬送方向

- 初期調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- c. 初期調整作画終了後、メディアをカットします。
 図 4.4.3 **メディアのカット**
3. 定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。
 4. 初期調整値を設定します。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 2 : ショキチョウセイチ」を選びます。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「チョウセイチ : 250.0 / 250 mm」と表示されます。

- c. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 3 で測った実測値を入力します。
 - d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 初期調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「ホセイ 2 : ショキチョウセイチ」と表示されます。
5. 確認調整作画を行います。
- a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 3 : カクニンチョウセイサクカ[°]」を選びます。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ : 250 mm」と表示されます。

参 考

- 確認調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

- c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「テ[°] ータサクカ[°] チュウ」と表示されます。
 - 確認調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	メディア搬送方向

- 確認調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- d. 確認調整作画終了後、メディアをカットします。
 **4.4.3 メディアのカット**

6. 定規等を使用して、確認調整作画の印刷された「+」間の長さを測り、印刷時のフィード長さと一致しているか確認します。
 - a. 長さが一致していない場合は、手順 1 ～ 5 に従って再度調整を行います。
 - b. 長さが一致した場合は、手順 7 に進みます。
7. 微調整作画を行います。
 - a. 手順 1 と同様に、操作パネルにメディア送り補正メニューを表示させます。
 - b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 4 : ヒ` ヨウセイサクカ`」を選びます。
 - c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「テ` ータサクカ` チュウ」と表示されます。
 - 微調整作画を開始します（下図は 4 色設定時の印刷例です）。



- 現在設定されている微調整値を中心に、以下の補正値を加算した微調整パターンを印刷します。
 - 加算補正値 : $\pm 0.10\%$ 、 $\pm 0.20\%$ 、 $\pm 0.50\%$ 、 $\pm 0.80\%$ 、 $\pm 1.20\%$
 - 微調整作画が終了すると、操作パネルに「ヒ` ヨウセイチ : 0.00%」と表示されます。
8. 次図を参考にして、印刷結果を確認します。
 - 印刷結果のなかで最も白スジ・画像の重なりがないところを探します。
 - その印刷結果の下にある数字を微調整値とします。



9. 微調整値を設定します。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 8 の確認結果に従って微調整値を入力します。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 微調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「ホセイ 4 : ヒョウチョウセイサクカ」と表示されます。
10. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
 - メディア送り補正值の調整を終了します。

4.2.7 メディア押さえプレートの使用方法

ロール紙などの薄いメディア（厚さ 0.5 mm 以下）をご使用の場合に、紙質や使用環境によってはメディアの両端に反りが生じ、プリントヘッド表面がメディアに擦れることがあります。

このような場合には、メディア押さえプレートを使用することで、メディアの反りをある程度抑えることができます。

以下の手順に従って、メディア押さえプレートを使用してください。

1. 操作パネルにサイドマージンメニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー 1 : スリープ モード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー 3 : セッテイ >」を選びます。
 - c. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「セット 1 : サイト マージン」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「サイト マージン : ** mm」と表示されます。
 - サイドマージンメニューに移行します。
🔗 [5.3.1 サイドマージンメニュー](#)

注 記

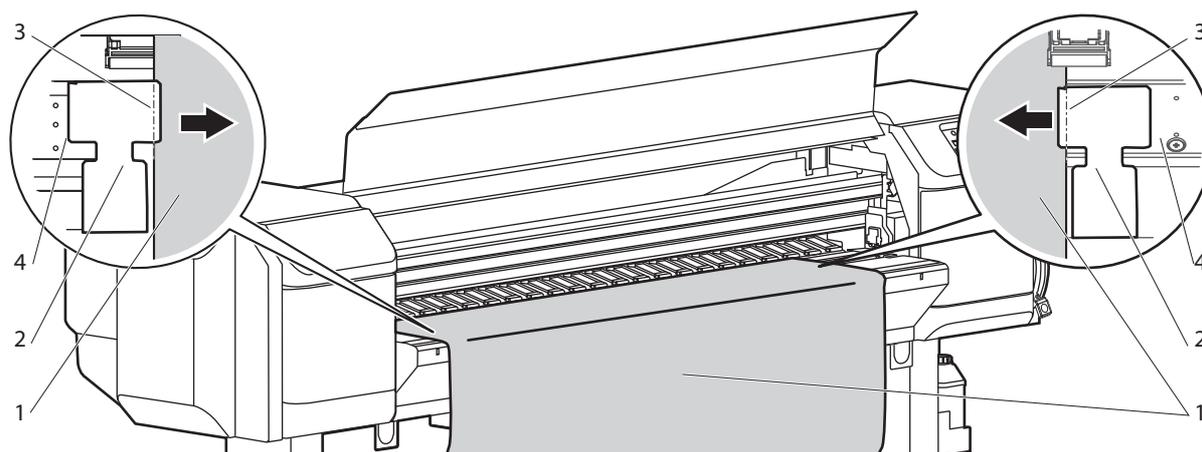
サイドマージンメニューの「**」には、現在設定されている数値が表示されます。

2. 印刷時のメディアの余白（サイドマージン）を 6 mm 以上に設定します。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、サイドマージンの値を 6 mm 以上に設定します。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 設定値が保存され、操作パネルに「セット 1 : サイト マージン」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
3. ロール紙をセットします。
🔗 [3.5.5 ロール紙のセット方法](#)

4. メディア押さえプレートをプラテン両側からスライドさせてメディアにセットします。

注 記

メディア厚さが 500 μm (0.5 mm) 以上のメディアには、メディア押さえプレートを使用しないでください。
プリントヘッドと干渉する可能性があります。



番号	名称
1	ロール紙
2	メディア押さえプレート
3	メディア合わせ位置
4	プラテン

5. メディア押さえプレートを取り付けた後、メディア搬送に支障がないことを十分に確認します。

⚠ 注 意

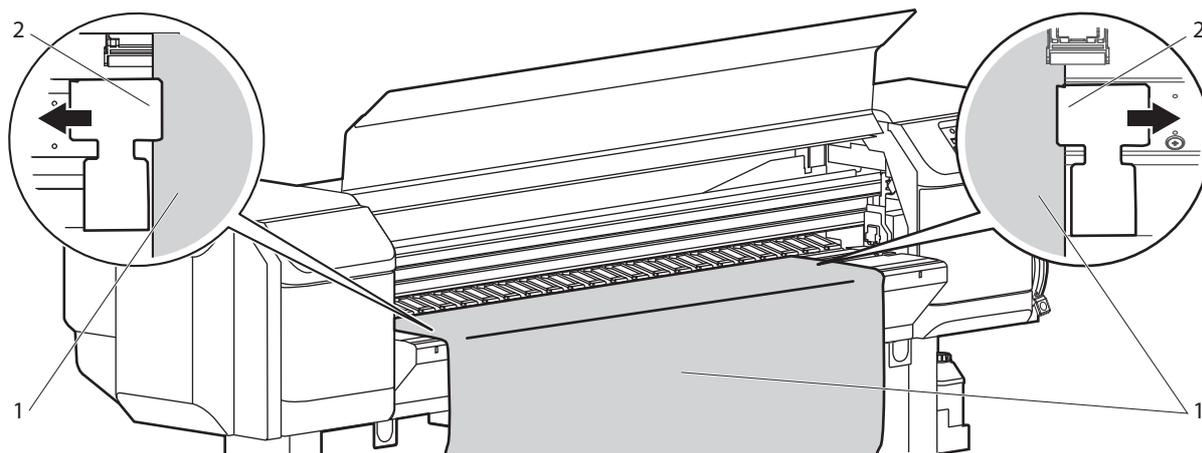
- メディア押さえプレートを使用してメディア詰まりが発生した場合、メディア押さえプレートが変形する恐れがあります。
メディア押さえプレートが変形した場合は、
 - 詰まったメディアを強引に取り除かないでください。
 - 製品の使用を中止してください。
- メディア押さえプレートが変形したまま使用すると、グリッドローラやプリントヘッド等を破損させる恐れがあります。
MUTOH カスタマサポートまでご連絡ください。

☎ 8.4 お問い合わせ先

注 記

メディア押さえプレートを使用しても、メディア搬送に何らかの支障が出た場合は、メディア押さえプレートの使用を中止してください。

6. メディア押さえプレートを使用しない場合は、次図のようにスライドさせて元の位置に戻します。



番号	名称
1	ロール紙
2	メディア押さえプレート

4.3 操作パネルのメニュー設定

4.3.1 パネル設定メニューの概要

製品の各メニューの概要について説明します。
パネル設定メニューには、以下の項目があります。

設定項目	内容
スリープモードメニュー	スリープモードの起動を行います。 【5.1 スリープモードメニュー】
ユーザ定義メニュー	メディアの設定を行います。 【5.2 ユーザ定義メニュー】
設定メニュー	製品の各種設定を行います。 【5.3 設定メニュー】
テスト作画メニュー	プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。 【5.4 テスト作画メニュー】
クリーニングメニュー	ヘッドクリーニングを行います。 【5.5 クリーニングメニュー】
簡易選択メニュー	設定メニューの表示内容を設定します。 【5.6 簡易選択メニュー】
メンテナンスメニュー	洗浄液によるプリントヘッドの洗浄や、長期保存時の保守作業などを行います。 【5.7 メンテナンスメニュー】
バージョンメニュー	ファームウェアのバージョンを表示します。 【5.8 バージョンメニュー】
初期設定メニュー	液晶表示部の表示言語や単位を設定します。また、IPアドレスの設定などを行います。 【5.9 初期設定メニュー】
Job ステータスメニュー	前回の印刷結果について、各種情報を表示します。 【5.10 Job ステータスメニュー】

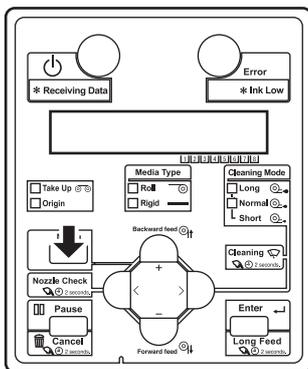
参 考

各設定項目の詳細については、「5 パネル設定メニュー」を参照してください。

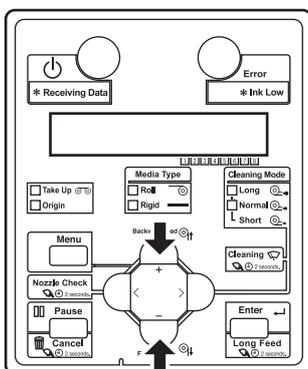
4.3.2 メニュー設定手順

以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

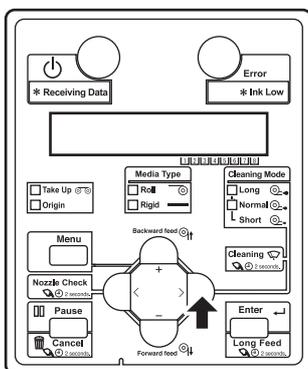
1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



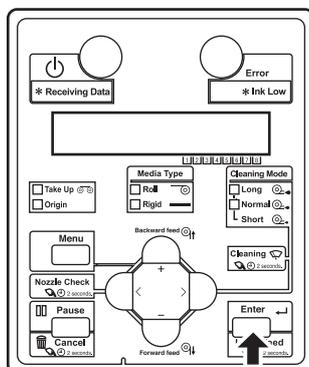
- 操作パネルに「メニュー1：スリープモード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定するメニューを選択します。



4. 操作パネルの [>] キーを押します。



- 選択した設定メニューに移行します。
5. 設定項目が複数がある場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、項目を選択します。
 6. [Enter] キーを押します。

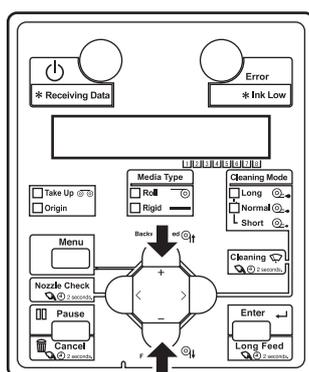


- 変更する設定項目を確定します。
- 設定項目にサブメニューがある場合は、次のメニュー階層に移行します。

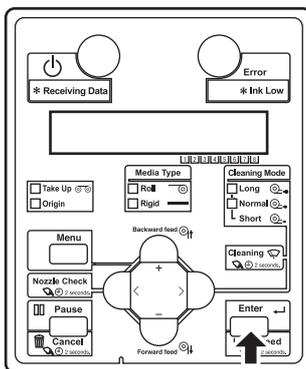
注 記

- 設定項目にサブメニューがある場合は、設定パネルの液晶表示部の右端に「>」と表示されます。
- 各設定項目の概要については、「[4.3.1 パネル設定メニューの概要](#)」を参照してください。

7. 操作パネルの液晶表示部で、点滅している部分は設定値を変更することができます。操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。



8. 変更した設定値を保存する場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。

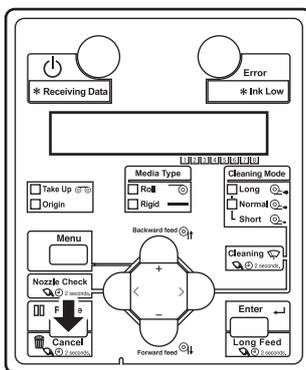


- 設定値が保存され、次の設定項目に移行します。

注 記

設定値を変更後、[Enter] キーを押さずに [Cancel] キー、および [+] キーまたは [-] キーを押すと、変更した設定値は保存されません。

9. 設定を終了する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 1つ前の階層の設定メニューに戻ります。
- メインメニューが表示されている場合は、通常状態に戻ります。

4.4 操作パネルからの各種操作

操作パネルから操作できる各種機能について説明します。

参 考

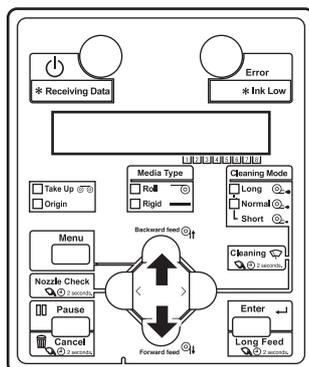
各キーの名称、機能については、「[2.2.3 操作パネル](#)」を参照してください。

4.4.1 メディア送り

ロール紙を任意の位置に送ることができます。

以下の手順に従って、メディア送りを行ってください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. フロントメディアセットレバーが下がっている（リアメディアセットレバーが上がっている）ことを確認します。
3. 操作パネルの [Forward↓] キーまたは [Backward↑] キーを押します。

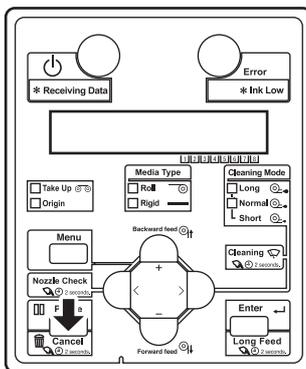


- メディアが順方向または逆方向に送られます。
4. メディアを任意の位置まで送ったら、操作パネルの [Backward↑] キーまたは [Forward↓] キーを放します。

4.4.2 印刷の中断

何らかの理由により印刷を中断したい場合は、以下の操作を行ってください。

1. コンピュータからの本製品への、印刷データの送信を中止します。
2. 操作パネルの [Cancel] キーを 2 秒以上長押しします。



- 製品は以下の動作を行います。

プリンタの状態	[Cancel] キーを 2 秒以上押したときの動作
印刷中	印刷を強制終了し、製品内部に残ったデータを 1 ファイル分割除します。
受信・解析中	すでに受信・解析したデータを削除し、以降のデータを 1 ファイル分割除します。

注 記

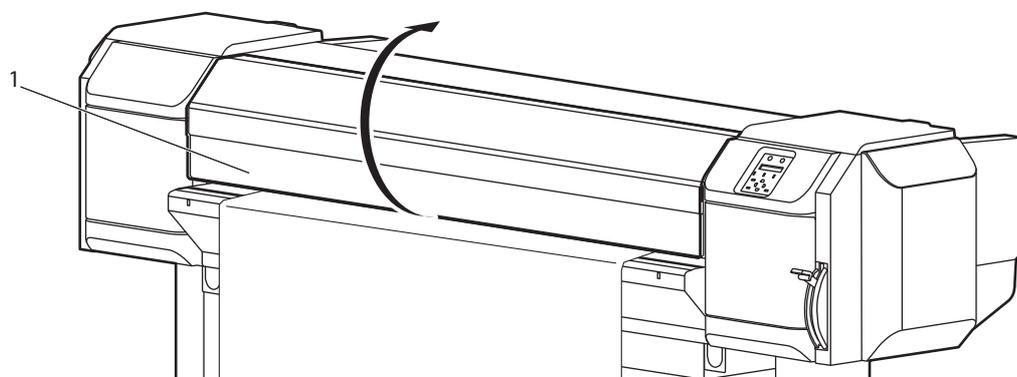
製品内部に大量のデータが蓄積されている場合、1 回の [Cancel] キー操作では、操作パネルが通常状態に戻らない場合があります。
 このような場合は、数秒間待ってから再度 [Cancel] キーを押してください。

4.4.3 メディアのカット

ロール紙のカット方法について説明します。

以下の手順に従って、ロール紙をカットしてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 印刷等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. ロール紙をカットする位置を変更したい場合は、「[4.4.1 メディア送り](#)」に従って、ロール紙をカットしたい位置まで搬送します。
3. フロントカバーを開けます。

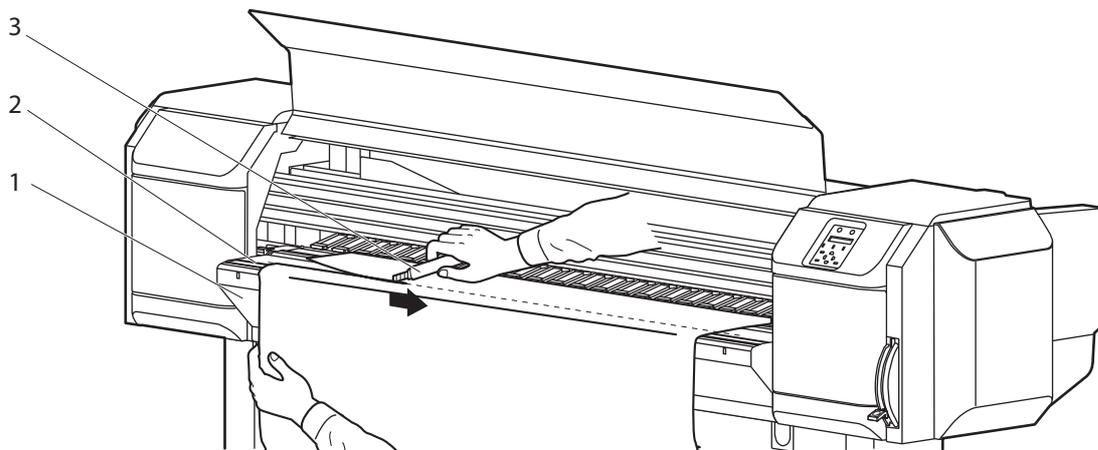


番号	名称
1	フロントカバー

4. メディアガイド上にあるメディアカット溝に沿うように、市販のカッターの刃を当て、ロール紙をカットします。

注意

- ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。取り扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。
- メディアを押える場合は、メディアカット溝の上に指を乗せない
- カッターはメディアカット溝に沿ってゆっくり動かす



番号	名称
1	メディアガイド
2	メディアカット溝
3	カッター

- ロール紙のカットを終了します。

注記

新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。

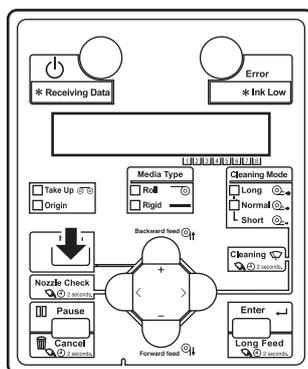
4.4.4 印刷中の設定値変更・確認

製品が印刷などの動作中に、パネル設定メニューの設定値を変更または確認することができます。

4.4.4.1 印刷中の設定値変更・確認手順

以下の操作を行って、パネル設定メニューの設定値を変更または確認してください。

1. 製品の動作状態について、以下のいずれかの動作を行っていることを確認します。
 - データ受信中
 - データ解析中
 - データ印刷中
2. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1 : スリープモード >」と表示されます。
3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更または確認します。

注記

設定値を変更、確認できる設定項目については、「[4.4.4.2 印刷中に変更・確認できる設定値](#)」を参照してください。

4.4.4.2 印刷中に変更・確認できる設定値

注 記

- 製品が動作中に設定値を変更した場合、変更した設定値を保存する場合は必ず「保存」を選択してください。
「保存」を選択せずに通常状態に戻った場合は、変更した設定値は保存されません。
- Job ステータス項目のご利用にあたって、下記をご確認ください。
 - Job ステータス項目で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
 - 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。
 - 「印刷残り」と「残り時間」は、「4.4.6 印刷中の常駐表示」の方法でも確認できます。
 - 印刷が完了したデータについて情報を確認する場合は、下記を参照してください。
▶ [5.10 Job ステータスメニュー](#)

設定項目	設定値	内容
送り微調整	-5.00% ~ 0.00 ~ 5.00%	送り補正値の微調整値を変更します。
保存	—	• [Enter] キー：変更した設定値を保存します。
Job ステータス	データ長さ	現在印刷しているデータの全長（メディア送り方向）を確認します。
	印刷済み	現在印刷しているデータについて、印刷済みの部分の長さを確認します。
	印刷残り	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを確認します。
	残り時間	印刷にかかる残り時間を表示します。
—	—	• [Cancel] キー：通常状態に移行します。

4.4.5 印刷の一時停止

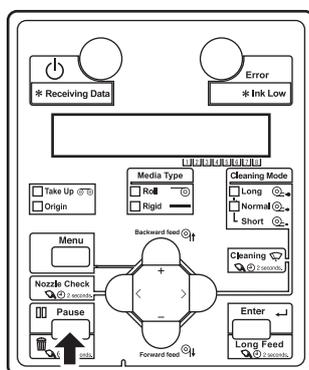
製品が印刷中に、印刷を一時停止させることができます。

以下の手順に従って、印刷の一時停止および再開を行ってください。

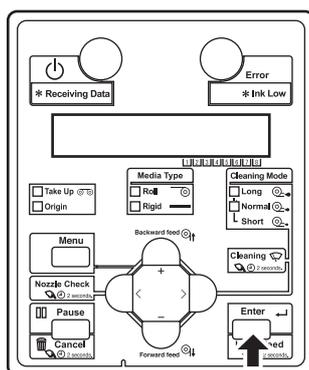
注 記

印刷の一時停止を行った場合、印刷品質は保証できません。

1. 製品が印刷中であることを確認します。
2. 操作パネルの [Pause] キーを押します。



- 製品が印刷を一時停止します。
 - 操作パネルに「サクカ`サイカイ> Enter」と表示されます。
3. 印刷を再開させる場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 製品が印刷を再開します。

4.4.6 印刷中の常駐表示

現在印刷中のデータについて、残りの部分の長さや印刷に必要な時間を、簡単な操作で表示することができます。

注 記

- この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。
- 印刷中のデータについて、より詳しい情報を確認する場合は下記を参照してください。

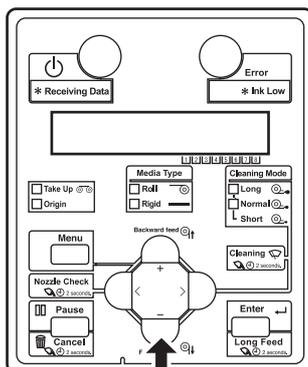
☞ **4.4.4.2 印刷中に変更・確認できる設定値**

- 印刷が完了したデータについて情報を確認する場合は、下記を参照してください。

☞ **5.10 Job ステータスメニュー**

以下の手順に従って、表示してください。

1. 製品が印刷中であることを確認します。
2. 操作パネルの [-] キーを押すと、[インサツ ノコリ] を表示します。



- 現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを表示します。

インサツ ノコリ x x x . x m

参 考

- 長さ表示設定がインチ表示の場合は、インチで表示します。
☞ **5.9.2 長さメニュー**
- 操作パネルの [+] キーでも表示項目を切換えられます。その場合は、[ノコリジカン] (手順3) から先に表示します。

- 操作パネルの [-] キーを押して、[ノコリジカン] を表示します。
 - 現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を表示します。

ノコリジカン	x x x x m i n
--------	---------------

- 操作パネルの [-] キーを押して、[ロールシ ノコリ] を表示します。
 - ロールメディアの残量を表示します。

ロールシ ノコリ	x x x m
----------	---------

注 記

ロールメディアの残量は、[5.3.11.1 ロール紙長さメニュー](#)の設定が「OFF」以外のときに表示されます。

- 表示パネルに元の [データサクガチュウ] 画面を表示するには、操作パネルの [-] キーを押します。

データサクガ チュウ

5 パネル設定メニュー

この章では、製品の各設定メニューについて説明します。

設定項目	内容
スリープモードメニュー	スリープモードの起動を行います。 図 5.1 スリープモードメニュー
ユーザ定義メニュー	メディアの設定を行います。 図 5.2 ユーザ定義メニュー
設定メニュー	製品の各種設定を行います。 図 5.3 設定メニュー
テスト作画メニュー	プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。 図 5.4 テスト作画メニュー
クリーニングメニュー	ヘッドクリーニングを行います。 図 5.5 クリーニングメニュー
簡易選択メニュー	設定メニューの表示内容を設定します。 図 5.6 簡易選択メニュー
メンテナンスメニュー	洗浄液によるプリントヘッドの洗浄や、長期保存時の保守作業などを行います。 図 5.7 メンテナンスメニュー
バージョンメニュー	ファームウェアのバージョンを表示します。 図 5.8 バージョンメニュー
初期設定メニュー	液晶表示部の表示言語や単位を設定します。また、IP アドレスの設定などを行います。 図 5.9 初期設定メニュー
Job ステータスメニュー	前回の印刷結果について、各種情報を表示します。 図 5.10 Job ステータスメニュー

参 考

- 各表中の < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。
- 設定メニューの構成については、以下を参照してください。
[図 9 設定メニュー構成図](#)

5.1 スリープモードメニュー

スリープモードの起動を行います。
 最小限の動作しか行わなくなるため、消費電力を抑えることができます。

詳細な作業手順は「[3.3.1 プリンタをスリープモードにする](#)」を確認してください。

注意

- 本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。
 スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

設定項目	設定値	内容
スリープモード	スタート	スリープモードを実行します。 🔍 5.1.1 スリープモードスタートメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔍 5 パネル設定メニュー

5.1.1 スリープモードスタートメニュー

スリープモードを実行します。

- スリープモード中は、操作パネルに「ENTER ティ サイカイシマス」と表示されます。
[Enter] キーを押すと通常状態に戻ります。

注 記

- スリープモード移行時に、製品が以下の状態になった場合は、「スリープモードヲ
カイシテキマセン」と表示され、スリープモードになりません。
 - フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている
 - フロントメディアセットレバーが上がっている（リアメディアセットレバーが下がっている）
 - 廃液タンクが満タンになっている
 - インクカートリッジのインクが残り少なくなった（またはなくなった）
 - インクカートリッジが取り外されている
 - 純正品以外のインクカートリッジが挿入されている など

製品を正常な状態に戻してから、再度スリープモードを実行してください。

[図7.2 表示の詳細](#)

- スリープモード中に、製品が上記の状態になった場合は、[Enter] キーを押しても通常状態には戻りません。
正常な状態に戻し、[Enter] キーを押すと通常状態に戻ります。

[図7.2 表示の詳細](#)

設定項目	設定値	内容
スリープモードヲ カイシシマスカ？	—	[Enter] キー：スリープモード実行手順を開始します。 手順の詳細は以下を確認してください。 図3.3.1 プリンタをスリープモードにする

5.2 ユーザ定義メニュー

5.2.1 定義種類メニュー

印刷に使用するユーザ定義を設定します。
 ユーザ定義の種類によって「Type1～15」として、それぞれ15通り設定することができます。

設定項目	設定値	内容
ユーザ	Type 1	印刷に使用するメディア種類を設定します。 印刷動作に関する設定値は、「Type 1～15」として、それぞれ15通り設定することができます。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.2.2 ユーザ定義の各種設定
	Type 2	
	...	
	Type 14	
	Type 15	
	—	• [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5 パネル設定メニュー

注 記

メディア厚検出が「On」の場合に、前回と異なるユーザ定義に設定すると、操作パネルに「ヨウシアツヲヘンコウシマスカ?」と表示されます。

- [Enter] キーを押すと、検出したメディア厚さをここで設定したユーザ定義に上書きします。
- [Cancel] キーを押すとユーザ定義の選択画面に戻ります。

ⓘ [3.5.7.1 メディア厚検出の設定が On の場合](#)

注意

- メディア厚検出の設定が「Off」の場合、メディア種類を変更すると操作パネルに「Warning! *.*mm->」と表示されます。
 セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい設定値を入力してください。
- 正確なメディア厚さより小さい数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。

ⓘ [3.5.7.2 メディア厚検出の設定が Off の場合](#)

5.2.2 ユーザ定義の各種設定

ユーザ定義についての各種設定を行います。
ユーザ定義メニューでは、以下の印刷動作についての各設定値を「Type 1 ～ 15」として、それぞれ 15 通り設定することができます。

設定項目	設定値	内容
Type 1 ～ 15	作画モード	印刷するデータの用途や印刷速度等に合わせて、作画モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.1 作画モードメニュー
	調整作画	印刷に最適な画質の調整を行うときに設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.2 調整作画メニュー
	送り補正	メディア送り補正についての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー
	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.4 吸着ファンメニュー
	メディア厚	<ul style="list-style-type: none"> メディアイニシャル時にメディア厚さを検出しない設定がされている場合は、メディアの厚さを入力します。 メディアイニシャル時にメディア厚検出を行う設定の場合、検出したメディア厚さを表示します。 [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.5 メディア厚メニュー
	メディア厚補正	メディア厚さの補正を行います。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.6 メディア厚補正メニュー
	メディア検出	メディアイニシャル時にメディアの厚さ、幅および先端の検出を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.2.2.7 メディア検出メニュー

設定項目	設定値	内容
Type 1 ~ 15	メディア幅 (幅確認)	<ul style="list-style-type: none"> メディアイニシャル時にメディア幅の検出をしない設定がされている場合は、メディアセット目安からメディアの左端までの距離 (メディア幅) を入力します。 メディアイニシャル時にメディア検出を行う設定の場合、検出したメディア幅を表示します。 [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.8 メディア幅・幅確認メニュー</p>
	パス間ウェイト	<p>重ね描き印刷時のウェイト時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.9 パス間ウェイトメニュー</p>
	メディア種類	<p>ロール紙またはリジッドメディアのどちらを使用するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.10 メディア種類メニュー</p>
	印刷範囲確認	<p>印刷前に印刷範囲 (印刷開始点と幅) を LED ポインターで確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.11 印刷範囲確認メニュー</p>
	低速印字	<p>印刷速度を落としたいときに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.12 低速印字メニュー</p>
	Y レイヤー追加	<p>ホワイトアンダーレイ (*WL1)、または3レイヤー (*WL30) のデータの場合に、ホワイトレイヤーの下にイエローレイヤーを追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.13 Y レイヤー追加メニュー (6色設定時のみ)</p>
	ユーザコピー	<p>現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.14 ユーザコピーメニュー</p>
	初期化	<p>設定内容を初期化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [>] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>☞ 5.2.2.15 初期化メニュー</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 <p>☞ 5.2.1 定義種類メニュー</p>

5.2.2.1 作画モードメニュー

印刷するデータの用途や印刷速度等に合わせて、印刷画質についての設定値（作画モード）を設定します。

注 記

作画モードメニューで「Graphics 1」、「Graphics 2」に設定されている場合、テスト作画メニューで「パレット作画」は表示されません。

🔗 [5.4 テスト作画メニュー](#)

設定項目	設定値	内容
モード	Quality 1	作画モードを設定します。 • Quality 1～4： 高品質な印刷を行いたいときに設定します。 • Graphics 1～2： 標準画質で印刷を行いたいときに設定します。 • Banner 1～2： 高速印刷を行いたいときに設定します。 • [>] キーを押している間、各作画モードの詳細を表示します。 🔗 作画モードの詳細
	Quality 2	
	Quality 3	
	<Quality 4>	
	Graphics 1	
	Graphics 2	
	Banner 1	
	Banner 2	
	—	• [Enter] キー：設定値を保存し、エフェクトメニューの設定に進みます。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

作画モードの詳細

各作画モードに登録されている、印刷画質についての設定値は次のとおりです。

作画モード	解像度	パス数		印刷方向
		4色使用	6色使用	
Quality 1	1,440 × 1,440 dpi	16回	32回	Uni (片方向)
Quality 2	1,440 × 1,440 dpi	16回	32回	Bi (双方向)
Quality 3	720 × 1,440 dpi	8回	16回	Uni (片方向)
Quality 4	720 × 1,440 dpi	8回	16回	Bi (双方向)
Graphics 1	720 × 1,080 dpi	6回	12回	Uni (片方向)
Graphics 2	720 × 1,080 dpi	6回	12回	Bi (双方向)
Banner 1	720 × 720 dpi	4回	8回	Uni (片方向)
Banner 2	720 × 720 dpi	4回	8回	Bi (双方向)

5.2.2.1.1 エフェクトメニュー

エフェクト機能を設定します。
設定した作画モードに微調整を加えて、印刷画質を向上させたいときに設定します。

注 記

- ご使用の印刷条件によっては、印刷画質の向上がみられない場合があります。
- 作画モードメニューで「Quality 1」、「Quality 2」に設定されている場合、エフェクトメニューで「i-Weave UVEx」を選択しても、「i-Weave UV」を選択したときと同じ印刷結果になります。

設定項目	設定値	内容
エフェクト	None	エフェクト機能を使用しません。
	<i-Weave UV>	印刷のつなぎ目をぼかします。
	i-Weave UVEx	パス間のエッジがほとんど目立たなくなり、よりシームレスになります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.1 作画モードメニュー

5.2.2.2 調整作画メニュー

印刷に最適な画質の調整を行うときに設定します。

注 記

- 本製品は、最適な印刷画質が得られるよう工場出荷時に調整済みです。製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、印刷画質が変化した場合に、画質調整を行ってください。
- Standard 画質微調整を行った後に、ユーザ定義を変更する場合は、必ず画質微調整も合わせて行ってください。
- Custom 画質微調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても画質微調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom 画質微調整であらかじめすべての作画モードに対して調整を行っておいてください。

設定項目	設定値	内容
調整作画	Standard	現在設定しているユーザ定義の作画モードのみ調整を行います。 🔗 3.7.1 Standard 画質調整
	Custom	すべての作画モードに対する調整を行います。 🔗 3.7.2 Custom 画質調整
	—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

Standard 調整作画メニュー

現在設定されているユーザ定義の作画モードに対してのみ調整を行います。

設定項目	設定値	内容
調整作画 1: Standard	確認パターン	画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。 🔗 3.7.1.1 Standard 確認パターン
	粗調整パターン	ズレ量が大きと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.1.2 Standard 粗調整パターン
	微調整パターン	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.1.3 Standard 微調整パターン
	—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.2 調整作画メニュー

Custom 調整作画メニュー

A～Fのすべてのパターンに対する調整を行うことができます。
この調整により、すべての作画モードに対して調整が行われます。

設定項目	設定値	内容
調整作画 2: Custom	確認パターン	画質微調整のため A～F のテストパターンを印刷します。 調整前の確認を行います。 🔗 3.7.2.1 Custom 確認パターン
	粗調整パターン ALL	ズレ量が大きいと思われる場合に実行します。 A～F の調整パターンを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.2.2 Custom 粗調整パターン
	粗調整パターン A～F	ズレ量が大きいと思われる場合に、A～F のうちから 選択された調整パターンひとつを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.2.2.2 粗調整パターン A～F
	調整パターン ALL	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。 A～F の調整パターンを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.2.3.1 微調整 ALL
	調整パターン A～F	ズレ量が小さいと思われる場合に、A～F のうちから 選択された調整パターンひとつを印刷し、設定値を入力します。 🔗 3.7.2.3.2 微調整パターン A～F
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.2 調整作画メニュー

5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

メディア送り補正についての各種設定を行います。
メディアを変更した場合に、メディア送り補正を行います。

設定項目	設定値	内容
補正	初期調整作画	初期調整作画を行います。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 5.2.2.3.1 初期調整作画メニュー
	初期調整値	初期調整値を設定します。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 5.2.2.3.2 初期調整値メニュー
	確認調整作画	確認調整作画を行います。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 5.2.2.3.3 確認調整作画メニュー
	微調整作画	微調整作画を行い、微調整値を設定します。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 5.2.2.3.4 微調整作画メニュー
	微調整値	微調整値を設定し、確認作画を行います。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ☞ 5.2.2.3.5 微調整値メニュー
	—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.3.1 初期調整作画メニュー

初期調整作画を行います。
始点に「+」マークを印刷し、設定値分メディアをフィードさせ、再度「+」マークを印刷します。
「+」マーク間を定規等で測り、設定値と異なる場合は、初期調整値メニューで実測値を入力します。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm	初期調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 • [Enter] キー： 設定値が確定します。 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、初期調整作画が開始します。 印刷終了後、通常状態に移行します。
	—	• [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

5.2.2.3.2 初期調整値メニュー

初期調整値を設定します。
 初期調整作画で設定値と実測値が異なっていた場合に、補正值（初期調整作画での実測値）の入力を行います。

設定項目	設定値	内容
調整値	<初期調整作画メニューの設定値 ± 50.0 mm	初期調整値を設定します。 例) 初期調整作画「フィード長さ」での設定値が 250 mm の場合、本メニューの調整範囲は 200 mm ~ 300 mm になります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

5.2.2.3.3 確認調整作画メニュー

確認調整作画を行います。
 初期調整値メニューで補正值を入力後、確認を行うための印刷を行います。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm	確認調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値が確定します。操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、初期調整作画が開始します。印刷終了後、通常状態に移行します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

5.2.2.3.4 微調整作画メニュー

微調整作画を行い、微調整値を設定します。
初期調整作画よりも細かい調整作画を行います。印刷結果を確認し、微調整値を入力します。

設定項目	設定値	内容
微調整作画	-5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00% (印刷後)	現在設定されている微調整値を中心に、以下の補正値を加算した微調整パターンを印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> • ±0.10%、±0.20%、±0.50%、±0.80%、±1.20% 印刷後、微調整値を以下の範囲で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • -5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00%
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [+] キー、[-] キー：微調整値を入力します。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 印刷中の場合は、印刷を中断して前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

5.2.2.3.5 微調整値メニュー

微調整値を設定します。
微調整値の入力を行います。必要な場合は、確認作画を行います。

設定項目	設定値	内容
微調整値	-5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00%	微調整値を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存します。操作パネルに「カクニンサクガ? イイエ」と表示されます。確認印刷を行う場合は、[+] キー、[-] キーで選択し [Enter] キーを押します。前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.3 メディア送り補正メニュー

5.2.2.4 吸着ファンメニュー

吸着ファンの動作を設定します。

設定項目	設定値	内容
吸着ファン	Low	柔らかいメディアを使用する時に、メディア送りに失敗してメディア詰まりが起きる恐れがある場合に設定します。
	Middle	一般的なメディアを使用する時に High だと吸着力が強すぎる場合に設定します。
	<High>	一般的なメディアを使用する場合に設定します。
	Off	吸着ファンを使用しません。 リジッドメディアを使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.5 メディア厚メニュー

メディア厚メニューは、メディア厚検出の設定により機能が異なります。

- メディア厚検出メニューの設定が「Off」の場合は、メディアの厚さを入力して設定するために使用します。

🔗 5.2.2.5.1 メディア厚メニュー

- メディア厚検出メニューの設定を「On」の場合は、検出したメディア厚さを表示します。

🔗 5.2.2.5.2 メディア厚確認メニュー

メディア厚検出の設定については、下記をご覧ください。

🔗 5.2.2.7.1 メディア厚検出 (メディアイニシャル1)

5.2.2.5.1 メディア厚メニュー

印刷面の軟らかいリジッドメディアを使用する場合、メディア厚検出が正確にできない場合があります。

その場合は、メディア厚検出メニューの設定を「Off」に設定し、ノギスなどでメディアの厚さを測り、このメニューでメディア厚さを入力して設定してください。

⚠️ 注意

- 正確なメディア厚さより小さい数値を設定すると、プリントヘッドとメディアが衝突し、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

設定項目	設定値	内容
厚さ	0.1 mm ~ 16.5 mm	メディアの厚さを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [+] キー：設定値を増加させます。 [-] キー：設定値を減少させます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.5.2 メディア厚確認メニュー

設定項目	設定値	内容
厚さ	****mm	メディアイニシャル時に検出したメディア厚さを表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.6 メディア厚補正メニュー

メディア厚さの補正を行います。
 実際のメディア厚さにあわせて、ヘッド高さを上下させたい場合に補正を行います。

設定項目	設定値	内容
補正	メディア厚～メディア厚 +1.5 mm まで	以下のキーを操作して、メディア厚補正の設定値を変更します。 • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。
	—	• [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

注 記

補正值を入力してヘッド高さを上げた場合は、印刷品質を保証できませんのでご注意ください。

5.2.2.7 メディア検出メニュー

メディアイニシャル時に行う、メディア検出動作を設定します。

- メディア検出の設定項目は、「メディア厚」と「メディア幅・先端」の2種類があり、それぞれについて動作を設定できます。
- メディア厚さはメディア種類ごとに保存されます。未登録のメディア種類が設定された場合は、メディア検出設定にかかわらず、初回は必ずメディア厚さ検出が行われ、メディアの厚さが保存されます。2回目以降は、メディア検出の設定に従って動作します。
- 厚さや幅がプリンタに入力済みのメディアを使い続ける場合は、メディア検出動作を「Off」に設定すれば、動作時間を短縮することができます。

設定項目	設定値	内容
メディア検出	メディアイニシャル1	• 高さ：メディア厚さの検出をするかどうかを設定します。
	メディアイニシャル2	• メディア：メディア幅と先端の検出をするかどうかを設定します。
	—	• [+] キー、[-] キー：メニューを選択します。 • [Enter] キー：次階層のメニューに移行します。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.7.1 メディア厚検出（メディアイニシャル1）

設定項目	設定値	内容
高さ	オフ	メディアイニシャル時に、メディア厚さの検出を行いません。 メディア厚メニューで、メディア厚を設定してください。 🔗 5.2.2.5 メディア厚メニュー
	<オン>	メディアイニシャル時に、メディア厚さの検出を行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.7 メディア検出メニュー

注 記

メディア厚さ検出は、プリントヘッドとメディアとの隙間を一定に保ち、印字品質を安定させるための機能であり、測定された値は実際のメディアの厚さと異なる場合があります。

⚠ 注 意

- メディア厚検出メニューの設定値を「Off」に設定した場合は、メディア厚さ検出を行いませんので、以下の手順に従ってメディア厚さ（数値）を設定してください。
1. 操作パネルに「Warning! *.* mm ->」（*は数字）と表示されたら、セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい数値を入力してください。
 - 正しい数値がわからない場合は、[Cancel] キーを押してください。メディア厚さ検出が行われず。
 - 正確なメディア厚さより小さい数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。
 2. [Enter] キーを押します。
 3. 操作パネルに「Misuse Damages Unit>」と表示されますので、[>] キーを2秒以上長押ししてください。
 4. 操作パネルに「<E>Skip <CAN>Detect」と表示されますので、[Enter] キーを押してください。
 - メディアイニシャルが行われます。
 - [Cancel] キーを押した場合はメディア厚さ検出が行われず。

5.2.2.7.2 メディア幅・先端検出（メディアイニシャル2）

設定項目	設定値	内容
メディア	Off	メディアイニシャル時に、メディアの幅や先端の検出を行いません。 メディア幅メニューで、メディア幅を設定してください。 🔗 5.2.2.8 メディア幅・幅確認メニュー
	Top&Width	メディアイニシャル時に、メディア幅および先端の検出を行います。
	<Width>	メディアイニシャル時に、メディア幅の検出を行います。 先端の検出は行いません。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.2.2.7 メディア検出メニュー

5.2.2.8 メディア幅・幅確認メニュー

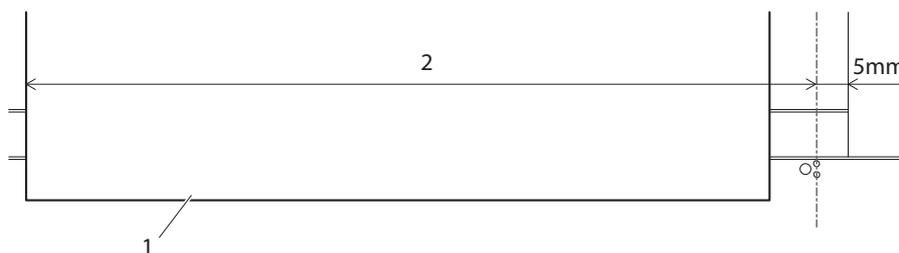
メディア幅メニューは、メディア幅・先端検出メニューの設定により機能が異なります。

- メディア幅・先端検出メニューの設定を「Off」に設定した場合、ペーパーガイド F のメディアセット目安から 5 mm の位置からメディアの左端までの距離（メディア幅）を入力して設定することができます。

🔗 5.2.2.8.1 メディア幅メニュー

- メディア幅・先端検出メニューの設定を「Top&Width」または「Width」に設定した場合は、検出したメディア幅を表示します。

🔗 5.2.2.8.2 幅確認メニュー



番号	名称
1	ロール紙
2	メディア幅

5.2.2.8.1 メディア幅メニュー

注 記

メディア幅メニューで、セットしたメディアのメディア幅よりも大きな値を設定すると、印刷中にメディアおよび製品がインクで汚れる可能性があります。

設定項目	設定値	内容
メディア幅	182 mm ~ <1,000 mm> ~ 1,625 mm	メディア検出が「Off」のときにメディア幅を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.2.2.8 メディア幅・幅確認メニュー

5.2.2.8.2 幅確認メニュー

設定項目	設定値	内容
幅確認	****mm	メディアイニシャル時に検出したメディア幅を表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 5.2.2.8 メディア幅・幅確認メニュー

5.2.2.9 パス間ウェイトメニュー

重ね描き印刷時および通常印刷時のパス間のウェイト時間を設定します。

設定項目	設定値	内容
パス間ウェイト	<0.0 秒> ~ 0.1 秒 ~ 5.0 秒	パス間ウェイト時間を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.10 メディア種類メニュー

ロール紙またはリジッドメディアのどちらを使用するかを設定します。

注 記

ロール紙の設定で重たいリジッドメディアを印刷した場合、印刷途中でエラーとなる場合があります。また、リジッドメディアの設定でロール紙に印刷した場合は、良好な印刷結果を得られない場合があります。

必ずお使いのメディアの種類によって設定を変更して印刷を行ってください。

設定項目	設定値	内容
メディア種類	ロール紙	ロール紙を使用する場合に設定します。
	リジッド	リジッドメディアを使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.11 印刷範囲確認メニュー

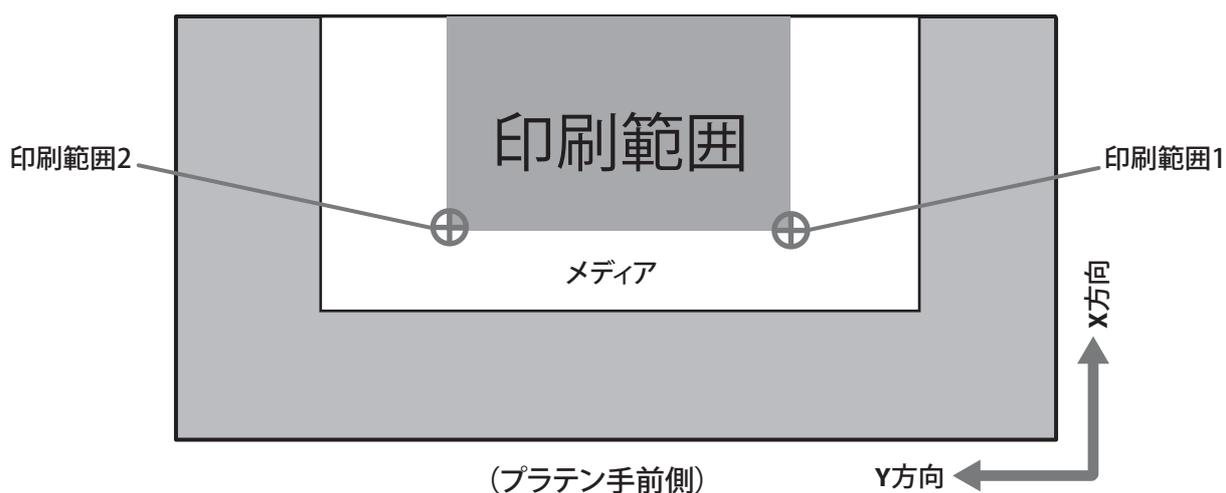
印刷前に印刷範囲（印刷開始点と幅）をLEDポインターで確認できます。

この機能は下記をチェックすることができます。

- メディア位置と印刷範囲がずれていないか
- 印刷データの幅がメディアに対して大きすぎないか

動作

- 印刷範囲（幅方向のみ）をLEDポインターで指示します。
- ポイント上でLEDポインターが点滅（1秒に1回）します。
- ポイントからポイントへ移動するときは点灯しながら移動します。
- 印刷データの幅がメディアに対して大きすぎる場合は、ポイント上で早く点滅（1秒に2回）します。
- LEDポインターは、下図の「印刷範囲1」～「印刷範囲2」の順番に移動します。



設定項目	設定値	内容
印刷範囲確認	< オフ >	印刷範囲を示しません。
	ステップ	ポイントごとにユーザーに確認をしながら、印刷範囲をLEDポインターで示します。
	オート	ユーザーへの確認なしに印刷範囲をLEDポインターで示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を初期化し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 図5.2.2 ユーザ定義の各種設定

注 記

- 巻き取り装置を使用している場合は、印刷開始点を示さず、幅のみを示します。
- 「ステップ」設定時は、以下の表示のときに [Enter] キーを押すと、次の動作に移ります。[Cancel] キーを押すと印刷を中止します。
「インサツハンイ カクニン カイシ ->」
「インサツハンイ 1 (2) ハ タダシイデスカ？」
「サクガ ヲ カイシシマスカ？」
- 「ステップ」設定時に、入力待ち状態で 30 秒以上経過しないようにしてください。
30 秒以上経過すると、確認手順の開始時の状態に戻ります
- 「オート」設定時は、以下の表示のときに [Enter] キーを押すと、次の動作に移ります。
[Cancel] キーを押すと印刷を中止します。
「サクガ ヲ カイシシマスカ？」

5.2.2.12 低速印字メニュー

印刷速度を落としたいときに使用します。

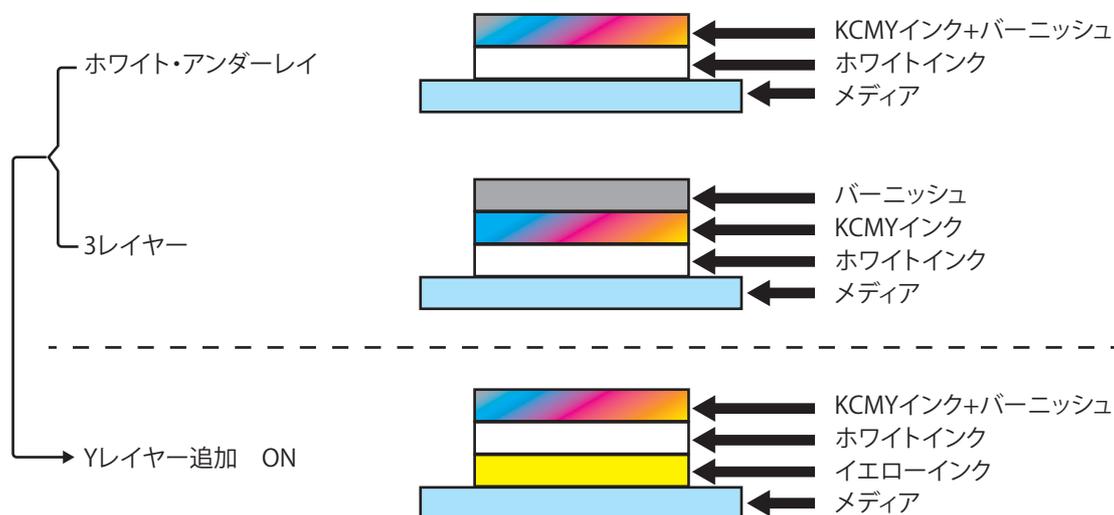
- 表面に凹凸や高低差があるメディアに印刷するときに設定すると、画質が向上します。

設定項目	設定値	内容
低速印字	< オフ >	印刷速度を落としません。
	40%	印刷速度を 40% にします。
	20%	印刷速度を 20% にします。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 図 5.2.2 ユーザ定義の各種設定

5.2.2.13 Y レイヤー追加メニュー（6色設定時のみ）

6色でご使用のときにのみ利用できる機能です。ホワイトアンダーレイ、または3レイヤーのデータの場合に、ホワイトレイヤーの下にイエローレイヤーを追加します。

設定項目	設定値	内容
Y レイヤー追加	<オフ>	イエローレイヤーを追加しません。
	オン	ホワイトレイヤーの下にイエローレイヤーを追加します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を初期化し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 図 5.2.2 ユーザ定義の各種設定



注記

3レイヤーの場合に「Y レイヤー追加」を「オン」にすると、バーニッシュレイヤーとKCMY レイヤーを一番上のレイヤーに統合します。

5.2.2.14 ユーザコピーメニュー

現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。以下の設定値がコピーされます。

- 作画モード
- エフェクト
- 調整作画の調整値
- 送り補正（初期調整作画長、初期調整値、微調整値）
- 吸着ファン
- メディア厚
- メディア厚補正
- メディア検出
- メディア幅
- パス間ウェイト
- メディア種類
- 印刷範囲確認
- 低速印字

設定項目	設定値	内容
ユーザコピー	<1> ~ 15、ALL ユーザ定義が1の場合： <2> ~ 15、ALL	<ul style="list-style-type: none"> • 現在のユーザ定義の設定値を、選択したユーザ定義にコピーします。 • ALL を選択した場合は、現在のユーザ定義の設定値を、他のすべてのユーザ定義にコピーします。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：コピーを実行し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：コピーを実行せず、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.2.2 ユーザ定義の各種設定</p>

5.2.2.15 初期化メニュー

選択されているユーザ定義の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

設定項目	設定値	内容
初期化	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を初期化し、通常状態（「サクカァ ディ キマス」表示）に戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.2.2 ユーザ定義の各種設定</p>

5.3 設定メニュー

製品の各種設定を行います。

設定項目	内容
サイドマージン	印刷時の左右のマージンを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.1 サイドマージンメニュー
巻き取り装置	巻き取り装置（オプション）の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.2 巻き取り装置メニュー
メディアセット位置	透明なメディアなどメディア検出ができない場合に手動でメディアセット位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.3 メディアセット位置メニュー
原点設定	印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.4 原点設定メニュー
CR 作画移動幅	印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.5 CR 作画移動幅メニュー
重ね描き回数	印刷 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.6 重ね描き回数メニュー
斜行チェック	メディア搬送中の斜行検出を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.7 斜行チェックメニュー
シングルヘッド	片方のプリントヘッドのみを使って印刷するかどうかを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.8 シングルヘッドメニュー
ノズル選択	片方のヘッドノズルのみを使って印刷するかどうかを設定できます。 このメニューはインクの色数が 4 色の場合のみ使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.9 ノズル選択メニュー
オートクリーニング	オートクリーニングを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.10 オートクリーニングメニュー
ロール紙長さ設定	セットしたロール紙の長さを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.11 ロール紙長さ設定メニュー
先端処理	先端処理機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔍 5.3.12 先端処理メニュー
CR メンテナンス	メンテナンス処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔍 5.3.13 CR メンテナンスメニュー

設定項目	内容
インクステータス	<p>インクカートリッジスロットに取り付けられている、S/C カードの各種情報（インクステータス）を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.14 インクステータスメニュー</p>
寿命確認	<p>製品各部の部品寿命を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.15 寿命確認メニュー</p>
ヘッダーダンプ	<p>印刷データについて下記の情報（ダンプデータ）を印刷するかどうかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データヘッダー • データドット数（ヘッダーダンプ設定が「オン」設定時のみ印刷します） • プリンタシリアルナンバー • ファームウェアバージョン <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.16 ヘッダーダンプメニュー</p>
排気ファン	<p>排気ファンの動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.17 排気ファンメニュー</p>
ホワイトメンテナンス	<p>ホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.18 ホワイトメンテナンスメニュー</p>
スタートフィード	<p>印刷前または後にメディアの巻き戻しや送り出しを、設定値の長さだけ行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.19 スタートフィードメニュー</p>
初期化	<p>製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.20 初期化メニュー</p>
フラッシング	<p>印刷中のフラッシング動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.21 フラッシングメニュー</p>
カラーメンテナンス	<p>長時間（72 時間以上）使用しない場合のスリープモード、または電源オフからの復帰時に、カラーメンテナンスを行います。 （本メニューはご使用のインク種類により表示されます）</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.22 カラーメンテナンスメニュー</p>
追加照射回数	<p>通常の印刷動作の後に、UV 光を追加照射する回数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 <p>🔗 5.3.23 追加照射回数メニュー</p>
一時詳細表示	<p>簡易設定メニューで非表示に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定メニューのすべての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定メニューが表示されているときに押すと、簡易設定メニューで設定した元の状態に戻ります。 <p>🔗 5.6 簡易選択メニュー</p>
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 <p>🔗 5 パネル設定メニュー</p>

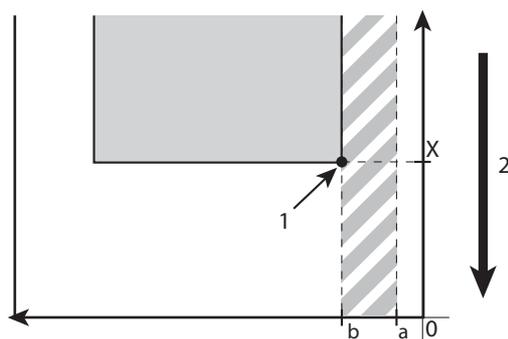
5.3.1 サイドマージンメニュー

印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。

注 記

- フラッシングメニューで「メディア上」に設定した場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。
そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

🔗 5.3.21 フラッシングメニュー



- 印刷開始位置
- メディア搬送方向

X（メディア送り量）

a（0 mm / 8 mm: フラッシング設定オン、オフ / メディア上）

a ~ b（5 mm ~ 80 mm: サイドマージン設定量）

- 原点設定メニューで印刷データの印刷開始位置（原点）を設定した場合は、サイドマージンの設定値が無効になります。
その場合、原点から印刷を開始し、反原点側のサイドマージンは 5 mm となります。

🔗 5.3.21 フラッシングメニュー

🔗 5.3.4 原点設定メニュー

設定項目	設定値	内容
サイドマージン	<5 mm> ~ 80 mm	サイドマージンを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.2 巻き取り装置メニュー

巻き取り装置（オプション）の動作を設定します。

注 記

製品に巻き取り装置が取り付けられていない場合は、巻き取り装置メニューを「オン」に設定しないでください。
製品が正しく動作しなくなります。

参 考

巻き取り装置（オプション）の詳細については、以下のいずれかにお問い合わせください。

- お買い求めの MUTOH 製品取扱店
- MUTOH 各営業所
☎ [8.4 お問い合わせ先](#)

設定項目	設定値	内容
巻き取り装置	<オフ>	巻き取り装置を使用しません。
	オン	巻き取り装置を使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ☎ 5.3 設定メニュー

5.3.2.1 ページ間余白メニュー

巻き取り装置メニューを「オン」に設定すると、ページ間余白メニューに移行します。

ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

設定項目	設定値	内容
ページ間余白	<通常>	印刷間の余白を変更しません。
	狭い	印刷間の余白が「通常」よりも狭くなります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ☎ 5.3.2 巻き取り装置メニュー

5.3.3 メディアセット位置メニュー

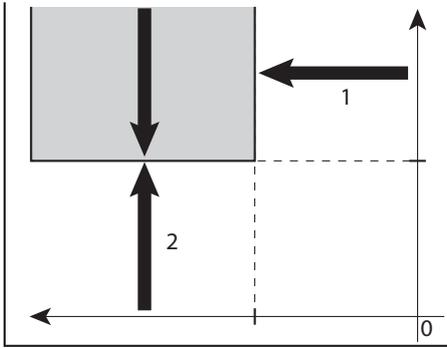
透明なメディアや薄いメディアなどでメディア検出ができない場合に手動でメディアセット位置を設定します。

注 記

- このメニューは、メディア幅・先端検出（メディアイニシャル2）が「Off」または「Width」の場合のみ有効になります。

5.2.2.7.2 メディア幅・先端検出（メディアイニシャル2）

- このメニューはセットされているメディアに対してのみ有効です。メディア交換などでメディアセット位置が変わった場合は、もう一度このメニューを行ってください。

設定項目	設定値	内容
メディアセット位置	サイドエッジ： -0 mm ~ +1,625 mm トップエッジ： -1,200 mm ~ +1,200 mm	<ul style="list-style-type: none"> • サイドエッジ：メディアの右端位置を設定します。入力値が高くなるほど、プリントヘッドは反原点側に移動します。 • トップエッジ：メディアの先端位置を設定します。入力値が高くなるほど、メディアが送り出されます。 <p>以下のキーを操作して、プリントヘッドの位置およびメディア送り量を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [>] キー：次の桁にカーソルを移動します。 • [<] キー：前の桁にカーソルを移動します。 • [+] キー：入力値を増加させます。 • [-] キー：入力値を減少させます。  <p>1. サイドエッジ検出方向 2. トップエッジ検出方向</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「シハ`ラクオマチクタ`サイ」と表示され、LED ポインタが入力値の位置まで移動します。 • メディア端ぎりぎりに LED ポインタが来ていなければ、入力値を変更し [Enter] キーを押します。 • ちょうど良い位置になったら、[Enter] キーを押して確定します。次の設定に移行します。
	メディア幅： 182 mm ~ +1,625 mm- サイドエッジ設定値	<ul style="list-style-type: none"> • メディア幅：メディアの幅を設定します。メディアの幅を数値入力してください。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 <p>5.3 設定メニュー</p>

5.3.4 原点設定メニュー

印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。

既に印刷したメディアの余白部分に印刷したい場合や、治具にセットした対象物に印刷したい場合などに設定します。

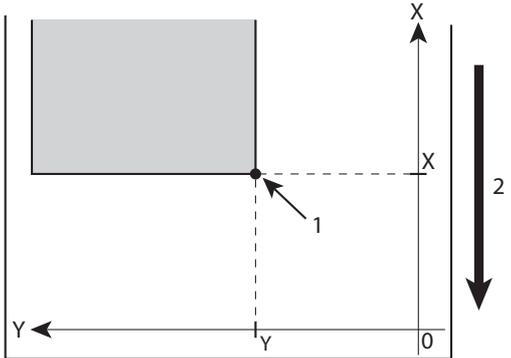
注 記

- 巻き取り装置メニューで「オン」に設定されている場合、X（メディア送り量）の設定値は 15 mm ～ 999.9 mm になります。

[🔗 5.3.2 巻き取り装置メニュー](#)

設定項目	設定値	内容
原点設定	<オフ>	原点設定を使用しません。
	オン	原点位置を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none">[+] キー、[-] キー：メニューを選択します。[Enter] キー：原点位置を入力します。[Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

<原点位置の入力>

設定項目	設定値	内容
原点設定	<ul style="list-style-type: none"> • X (メディア送り量) : 15.0 mm ~ 999.9 mm • Y (プリントヘッド移動量) : 5.0 mm ~ 1,405.0 mm 	<p>以下のキーを操作して、プリントヘッドの位置およびメディア送り量を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [>] キー：プリントヘッド移動量を減少させます。 • [<] キー：プリントヘッド移動量を増加させます。 • [+] キー：メディア送り量を減少させます。 • [-] キー：メディア送り量を増加させます。  <p>1. 印刷開始位置 2. メディア搬送方向</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「ケ`ンテンニイト`ウチュウ」と表示され、LED ポインタを点灯させながらプリントヘッドが入力位置まで移動します。 • 移動位置が原点にしたい位置でなければ、再度操作パネルのキーで位置を微調整します。
位置確認 →Enter		<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値が確定します。プリントヘッドは元の位置に戻ります。設定値を保存して、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.5 CR 作画移動幅メニュー

印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定項目	設定値	内容
CR 作画移動	データ幅	プリントヘッドが印刷データ幅の範囲を移動します。プリントヘッドの移動範囲が最適になるため、印刷速度が向上します。
	機械幅	プリントヘッドが原点から製品の最大メディア幅までを移動します。
	<メディア幅>	プリントヘッドがメディアの幅を移動します。
	データエッジ	プリントヘッドの移動範囲が、印刷データのパスの幅にあわせて変化します。プリントヘッドの移動範囲が最適になるため、「データ幅」設定時より、印刷速度が向上します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.6 重ね描き回数メニュー

印刷 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。

一度描いた印刷の上に、設定回数分を重ねて印刷するため、印刷結果を濃くすることができます。

注 記

6色使用時に「重ね描き回数」を「1回」に設定すると、[5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー](#)に移行します。

設定項目	設定値	内容
重ね描き回数	<1回>～9回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。ただし6色使用時に重ね描き回数を「1回」に設定すると、次の階層に移行します。 🔗 5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー <ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー

レイヤー印刷時の、各レイヤーの重ね描き回数を設定できます。

注 記

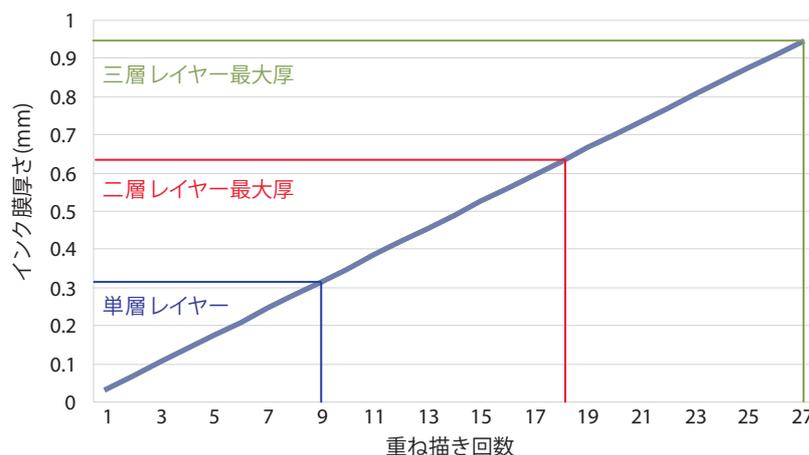
レイヤー印刷は、対応した RIP ソフトの機能によります。

設定項目	設定値	内容
レイヤー重ね描き回数	1 : Co	シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の重ね描き回数の設定に移行します。 🔗 5.3.6.1.1 カラーレイヤー回数メニュー
	2 : Wh	ホワイト (Wh) の重ね描き回数の設定に移行します。 🔗 5.3.6.1.2 ホワイトレイヤー回数メニュー
	3 : Va	バーニッシュ (Va) の重ね描き回数の設定に移行します。 🔗 5.3.6.1.3 バーニッシュレイヤー回数メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次の階層に移行します。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3.6 重ね描き回数メニュー

インク膜の厚さについて

レイヤー重ね描き回数の設定によって、インク膜の厚さが変化します。

下表は作画モードが 720 dpi × 1,440 dpi (Quality 3 / Quality 4) の場合です。



注 記

- 重ね描き回数が増えるとインク膜が厚くなります。ご使用になるメディアによっては、プリントヘッドとインク膜が擦れてプリントヘッドを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- インク膜の厚さは作画モードによって異なります。

5.3.6.1.1 カラーレイヤー回数メニュー

シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の重ね描き回数を設定します。

設定項目	設定値	内容
Color	<1 回> ~ 9 回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー

5.3.6.1.2 ホワイトレイヤー回数メニュー

ホワイト (Wh) レイヤーの重ね描き回数を設定します。

設定項目	設定値	内容
White	<1 回> ~ 9 回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー

5.3.6.1.3 バーニッシュレイヤー回数メニュー

バーニッシュ (Va) レイヤーの重ね描き回数を設定します。

設定項目	設定値	内容
Varnish	<1 回> ~ 9 回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 5.3.6.1 レイヤー重ね描き回数メニュー

5.3.7 斜行チェックメニュー

メディア搬送中の斜行検出を設定します。

設定項目	設定値	内容
斜行チェック	<オフ>	斜行チェックを行いません。
	オン	斜行チェックを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.8 シングルヘッドメニュー

片方のプリントヘッドのみを使って印刷するかどうかを設定できます。

注 記

- 本製品は、プリントヘッド部の内部にプリントヘッドが2つ搭載されています。
- 「ヘッド1」、「ヘッド2」設定時でも、テスト作画メニューを実行する場合は、両方のプリントヘッドを使用して印刷します。

設定項目	設定値	内容
シングルヘッド	<オフ>	両方のプリントヘッドを使って印刷します。
	ヘッド1	左側のプリントヘッドのみを使って印刷します。
	ヘッド2	右側のプリントヘッドのみを使って印刷します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.9 ノズル選択メニュー

プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷するかどうかを設定できます。

このメニューはインクの色数が4色の場合のみ使用できます。

印刷速度は低下しますが、画質の向上が期待できます。

注 記

- 4色の場合、ひとつのプリントヘッドあたり、各色でノズルを2列使用します。このメニューを使用すると、ノズル2列のうち1列のみを使用して印刷します。
- シングルヘッドメニューと組み合わせて使用することもできます。
 [5.3.8 シングルヘッドメニュー](#)

設定項目	設定値	内容
ノズル選択	<オフ>	ノズル選択機能を使用しません。
	ノズル A	プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷します。各色2列あるノズル列のうち、片側のノズル列のみ使用します。
	ノズル B	「ノズル A」の場合と逆のノズル列を使用します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー

5.3.10 オートクリーニングメニュー

オートクリーニングを設定します。

設定した時間が経過するとクリーニングを行います。

設定項目	設定値	内容
オートクリーニング	累積作画	印刷を開始してからクリーニングを行うまでの時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 🔗 5.3.10.1 累積作画オートクリーニングメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.10.1 累積作画オートクリーニングメニュー

印刷を開始してからクリーニングを行うまでの時間を設定します。

設定項目	設定値	内容
累積作画	<オフ>	クリーニングを行いません。
	1h / 2h / 3h / 4h	設定した時間が経過するとクリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.11 ロール紙長さ設定メニュー

使用するロール紙長さ設定を選択します。

設定項目	設定値	内容
ロール紙	<オフ>	ロール紙長さ設定を使用しません。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー
	ロール紙 1	セットしたロール紙の長さを設定します。 ロール紙長さの設定値は、「ロール紙 1」～「ロール紙 3」として、それぞれ 3 通り設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。 🔗 5.3.11.1 ロール紙長さメニュー
	ロール紙 2	
	ロール紙 3	
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3 設定メニュー

5.3.11.1 ロール紙長さメニュー

セットしたロール紙の長さを設定します。

注 記

ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。
ロール紙長さを設定しないと、ロール紙残量表示が正しく表示されない場合があります。

設定項目	設定値	内容
長さ	1 m ~ <30 m> ~ 200 m	ロール紙の長さを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.3.11 ロール紙長さ設定メニュー

5.3.11.2 作画停止メニュー

プリンタの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、「ロールシザンリョウ エラー」を表示して印刷を停止するかどうかを設定します。

注 記

- 通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「オフ」設定で問題ありません。
- 使い切った時に紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、作画停止メニューを「オフ」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「オン」に設定してください。
- 作画停止メニューを「オン」に設定していて、「ロールシザンリョウ エラー」や「ロールシニアエンド」が発生している場合、新しいロール紙に変更後に用紙セットレバーを下げるとロール紙の長さ設定メニューが表示されます。セットしたロール紙の長さを入力してください。

設定項目	設定値	内容
作画停止	<オフ>	印刷の停止判定にロール紙の残量カウントを使用しません。リアセンサーが反応した場合に印刷が停止します。
	オン	リアセンサーが反応しない場合でも、ロール紙の残量カウントがゼロになると印刷を停止します。 • [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.3.11.3 ニアエンドメニュー
	—	• [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.3.11 ロール紙長さ設定メニュー

5.3.11.3 ニアエンドメニュー

プリンタの内部でカウントしているロール紙の長さがゼロになる前に、「ロールシニアエンド： * m」（*は1～10の数字）を表示させることができます。

設定項目	設定値	内容
ニアエンド	<オフ>	「ニアエンド」を表示しません。
	ノコリ 10 m ～ 1 m	長さを選択すると、ロール紙の残量カウントがその長さになった時に「ニアエンド」を表示します。
	—	• [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.3.11 ロール紙長さ設定メニュー • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.3.11.2 作画停止メニュー

5.3.12 先端処理メニュー

先端処理メニューを設定します。通常はオートのままで使用してください。

設定項目	設定値	内容
先端処理	< オート >	先端処理が必要な場合は自動で実行します。
	オフ	先端処理を行いません。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 I5.3 設定メニュー

注 記

先端処理メニューを「オフ」にする場合は、簡易選択メニューで「先端処理」設定値を「オン（表示）」にした後、設定メニューから「先端処理」の設定値を変更してください。

[I5.6 簡易選択メニュー](#)

5.3.13 CR メンテナンスメニュー

フラッシングボックス用吸収材とクリーニングワイパーの交換を行うときに使用します。

[I6.4.3 フラッシングボックス用吸収材の交換](#)、[6.4.4 クリーニングワイパーの交換](#)

各部の清掃を行うときは、「デイリーメンテナンスメニュー」を使用してください。

[I5.7.1 デイリーメンテナンスメニュー](#)

注 記

CR メンテナンスメニュー表示中は、3 分間何もキー操作をせずに放置しても、通常状態には戻りません。

[I2.3 動作の概要](#)

設定項目	設定値	内容
CR メンテナンス	Start	メンテナンス処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： <ul style="list-style-type: none"> プリントヘッド部が製品左側に移動します。 クリーニングワイパーが上側に移動します。
	End	メンテナンス処理を終了します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： <ul style="list-style-type: none"> プリントヘッド部が元の位置に戻ります。 クリーニングワイパーが元の位置に戻ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：メンテナンス処理を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 I5.3 設定メニュー

5.3.14 インクステータスメニュー

スマートチップの各種情報（インクステータス）を表示します。

注 記

- インクステータスメニューを表示させる場合は、純正品のインクカートリッジを使用してください。
純正品以外のインクカートリッジを使用すると、インクステータスが正しく表示されません。
- インクステータスメニューではインク色をスロット番号で表示します。

<6色の場合>

- 1: ブラック (K)
- 2: マゼンタ (M)
- 3: シアン (C)
- 4: イエロー (Y)
- 5: バーニッシュ (VA)
- 6: バーニッシュ (VA)
- 7: ホワイト (WH)
- 8: ホワイト (WH)

<4色の場合>

- 1: マゼンタ (M)
 - 2: マゼンタ (m)
 - 3: シアン (C)
 - 4: シアン (c)
 - 5: イエロー (Y)
 - 6: イエロー (y)
 - 7: ブラック (K)
 - 8: ブラック (k)
- インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。
-  [7.4 スマートチップリカバリー](#)

< 6色使用時 >

設定項目	設定値	内容
インクステータス	1234	K/M/C/Yそれぞれのインク残量が0～100（単位：%）で表示されます。
	5678	VA/VA/WH/WHのインク残量が0～100（単位：%）で表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー

< 4色使用時 >

設定項目	設定値	内容
インクステータス	1234	M/m/C/cそれぞれのインク残量が0～100（単位：%）で表示されます。
	5678	Y/y/K/kそれぞれのインク残量が0～100（単位：%）で表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー

5.3.15 寿命確認メニュー

製品各部の部品寿命を表示します。

設定項目	設定値	内容
寿命確認	ヘッド1	各部品の部品寿命を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 部品寿命については、*印の数（最大5個：残り100%）で表示しています。 • 部品寿命が近づくにつれて、*印の数が1個（20%）ずつ減っていきます。 • *印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。  8.4 お問い合わせ先
	ヘッド2	
	ポンプ	
	CR モータ	
	PF モータ	
	C ポンプ	
	UV ランプ L	
	UV ランプ R	
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー	

5.3.16 ヘッダーダンプメニュー

印刷データについて下記の情報（ダンプデータ）を印刷するかどうかを設定できます。

- データヘッダー
- データドット数（ヘッダーダンプ設定が「オン」設定時のみ印刷します）
- プリンタシリアルナンバー
- ファームウェアバージョン

ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。

参 考

コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

設定項目	設定値	内容
ヘッダーダンプ	<オフ>	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷データのみを印刷します。 • ダンプデータは印刷しません。
	オン	印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷します。
	ダンプ	<ul style="list-style-type: none"> • ダンプデータのみを印刷します。ただし、ダンプデータの「データドット数」は印刷しません。 • 印刷データは印刷しません。
	インサツ	<ul style="list-style-type: none"> • 前回印刷したダンプデータを印刷します。 • ダンプデータの履歴が無い場合は、「データガ アリマセン」と表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 <p>図 5.3 設定メニュー</p>

5.3.17 排気ファンメニュー

排気ファンの動作を設定します。

製品内部の換気を行い、各部品の性能を安定させます。またインクミストによる製品内部の汚れを軽減させます。特に長時間印刷する場合は、動作させることを推奨します。

設定項目	設定値	内容
排気ファン	Off	排気ファンの動作を Off します。
	<Low>	排気ファンを「弱」で動作させます。
	High	排気ファンを「強」で動作させます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 I 5.3 設定メニュー

5.3.18 ホワイトメンテナンスメニュー

ホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。

ホワイトインクはプリントヘッドやインクチューブ内で沈殿・凝固しやすい性質があります。そのため、本製品は、待機中であっても、性能維持のため定期的に少量のホワイトインクを排出します。

普段の印刷にホワイトインクをほとんど使わない場合は、「微量」に設定しておくことで待機中のホワイトインクの消費を抑えることができます。

設定項目	設定値	内容
ホワイト メンテナンス	<通常>	プリントヘッドやインクチューブの詰まりを防止するために、定期的にホワイトインクのメンテナンス動作を行います。通常はこちらを設定してください。
	微量	ホワイトインクのメンテナンス動作を少なくします。こちらを設定すると、インク消費を抑えることができます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 I 5.3 設定メニュー

注 記

- ホワイトインクの印刷では、濃淡のむらができやすくなります。
- ホワイトインクによる、濃淡のむらを解消するには、クリーニングまたは微量充てんを数回実行してください。

[I 5.5 クリーニングメニュー](#)

5.3.19 スタートフィードメニュー

スタートフィードを設定しておくこと、印刷結果どうしの間余白を変更できます。

設定項目	設定値	内容
スタートフィード	-10 mm ~ <0 mm> ~ 500 mm	<ul style="list-style-type: none"> • 値が 0 以上：「0」設定時よりも余白が増えます。 • 値が 0：印刷間の余白を変更しません。 • 値が 0 以下：「0」設定時よりも余白が減ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.3 設定メニュー</p>

注 記

巻き取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を 0 未満に設定するときは、「ページ間余白」メニューを「狭い」に設定してください。
 「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。
 [5.3.2.1 ページ間余白メニュー](#)

5.3.20 初期化メニュー

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
 間違えて設定値を入力してしまった場合や、初期値に戻りたい場合に使用します。

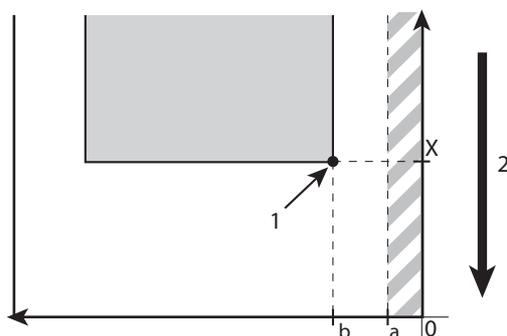
設定項目	設定値	内容
初期化	ALL	すべての設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	設定メニュー	設定メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「ハ° ラメータショキカチュウ」と表示され、設定値の初期化を行います。 • [Cancel] キー：初期化を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.3 設定メニュー</p>

5.3.21 フラッシングメニュー

印刷中のフラッシング動作を設定します。

注 記

- フラッシングを「オフ」に設定すると、フラッシング動作を行わないため、ノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。
- フラッシング設定が「メディア上」の場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。



1. 印刷開始位置
2. メディア搬送方向

X (メディア送り量)

- a (0 mm / 8 mm: フラッシング設定オン、オフ / メディア上)
a ~ b (5 mm ~ 80 mm: サイドマージン設定量)

- 原点設定メニューで印刷データの印刷開始位置（原点）を設定した場合は、フラッシング設定の「メディア上」は無効になります。その場合、フラッシング設定の「オン」に従ってフラッシング動作を行います。

☞ 5.3.1 サイドマージンメニュー

☞ 5.3.4 原点設定メニュー

設定項目	設定値	内容
フラッシング	<オン>	<p>プリントヘッドが、設定した往復回数を移動する毎に、フラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。</p> <p>往復回数の設定は「5.3.21.1 フラッシングリターン回数メニュー」で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。 <p> 5.3.21.1 フラッシングリターン回数メニュー</p>
	メディア上	<p>プリントヘッドが、メディアの余白上でもフラッシング動作を行います。</p> <p>フラッシングボックスまで戻る回数が減るため、印刷速度が向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。 <p> 5.3.21.1 フラッシングリターン回数メニュー</p>
	オフ	<p>フラッシング動作を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.3 設定メニュー</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.3 設定メニュー</p>

5.3.21.1 フラッシングリターン回数メニュー

フラッシングメニューで「オン」、「メディア上」に設定した場合に、プリントヘッドがフラッシングボックスに戻る間隔を設定します。設定した回数だけプリントヘッドが往復するごとに、プリントヘッドがフラッシングボックスまで戻ります。

注 記

フラッシングリターン回数を多く設定すると、フラッシングボックス上でフラッシング動作を行わないため、長時間印刷する場合にノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。

設定項目	設定値	内容
リターン回数	<1回>～999回	フラッシングリターン回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 参照 5.3.21 フラッシングメニュー

< フラッシング動作例 >

フラッシング設定	リターン回数設定	動作
オン	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、フラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
オン	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
メディア上	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
メディア上	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
オフ	—	フラッシングボックスでもメディア上でもフラッシング動作を行いません。

5.3.22 カラーメンテナンスメニュー

長時間（72 時間以上）使用しない場合のスリープモード、または電源オフからの復帰時に、カラーメンテナンスを行います。

色合いの変化が気になる場合は、設定を ON にしてください。

（本メニューはご使用のインク種類により表示されます）

設定項目	設定値	内容
カラーメンテナンス	< オフ >	カラーメンテナンスを行いません。
	オン	カラーメンテナンスを行います。 多くのインクを消費します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー

5.3.23 追加照射回数メニュー

通常の印刷動作の後に、UV 光を追加照射する回数を設定します。

設定項目	設定値	内容
追加照射回数	<0 回> ~ 3 回	追加照射回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。  5.3 設定メニュー

5.4 テスト作画メニュー

プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。

注 記

- 作画モードメニューで「Graphics 1」、「Graphics 2」に設定されている場合、「パレット作画」は表示されません。
[🔗 5.2.2.1 作画モードメニュー](#)
- 4色使用時は、「ノズルチェック B」の項目は表示されません。

設定項目	内容
ノズルチェック	ノズルチェック印刷を行います。 ヘッドの目詰まり、印刷の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。 🔗 3.6.1 ノズルチェック
ノズルチェック B	ホワイトインク用のノズルチェック印刷を行います。 🔗 3.6.2 ノズルチェック B
モードプリント	モードプリント印刷を行います。 以下の印刷条件を確認するときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • 作画モード • エフェクト • 作画微調整値 🔗 3.6.3 モードプリント
設定内容作画	設定内容作画を行います。 現在の設定内容を確認する時に使用します。 🔗 3.6.4 設定内容作画
パレット作画	パレット作画を行います。 使用するコンピュータでのペン色設定と、製品での印刷色の比較をする時に使用します。 🔗 3.6.5 パレット作画
ヘッド調整	テストパターンを印刷し、プリントヘッド間のズレの確認と調整を行います。 🔗 3.6.6 ヘッド調整
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「データサクカ チュウ」と表示され、テスト作画が開始します。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5 パネル設定メニュー • [>] キー：次階層のメニューに進みます。

5.5 クリーニングメニュー

ヘッドクリーニングを行います。

参考

ヘッドクリーニングは、製品が通常状態の時でも行うことができます。

操作手順については、以下を参照してください。

 [6.5.2 ヘッドクリーニング](#)

設定項目	内容
微量	「通常」よりも少量のインクを排出します。 • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング ^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
通常	通常はこのモードを選択します。 • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング ^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
強力	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。 • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング ^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
微量充てん	微量充てんを行います。 • 「強力」よりかなり多くのインクを消費します。 • 「強力」よりかなり高いクリーニング効果があります。 • [Enter] キー：操作パネルに「インクジ ^o ユウテンチュウ **%」と表示され、微量充てんが開始します。 微量充てんの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
初期充てん	初期充てんを行います。 • 「微量充てん」よりかなり多くのインクを消費します。 • 「微量充てん」よりかなり高いクリーニング効果があります。 • [Enter] キー：操作パネルに「インクジ ^o ユウテンチュウ **%」と表示され、初期充てんが開始します。 初期充てんの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5 パネル設定メニュー

注意

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- フロントカバー、メンテナンスカバーを開けないこと。
- フロントメディアセットレバーを上げないこと（リアメディアセットレバーを下げないこと）。
- インク残量の少ないインクカートリッジを使用しないこと。

5.6 簡易選択メニュー

設定メニューの表示内容を設定します。

普段設定しない設定項目を表示させないようにすることができます。

操作パネルの [<] キーまたは [>] キーを押して設定値の「On (表示)」、「Off (非表示)」を切替えます。

設定値が On の場合、操作パネルに「*」が表示されます。

注 記

簡易選択メニューで「Off」を選択した場合でも、設定メニューで「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。

☞ 5.3 設定メニュー

設定項目	設定値	内容
サイドマージン	<On>	サイドマージンメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
巻き取り装置	<On>	巻き取り装置メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
メディアセット位置	<On>	メディアセット位置メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
原点設定	<On>	原点設定メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
CR 作画移動幅	<On>	CR 作画移動幅メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
重ね描き回数	<On>	重ね描き回数メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
斜行チェック	<On>	斜行チェックメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
シングルヘッド	<On>	シングルヘッドメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ノズル選択	<On>	ノズル選択メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
オートクリーニング	<On>	オートクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ロール紙長さ設定	<On>	ロール紙長さ設定メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
先端処理	<On>	先端処理メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	

設定項目	設定値	内容
CR メンテナンス	<On>	CR メンテナンスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
インクステータス	<On>	インクステータスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
寿命確認	<On>	寿命確認メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ヘッダーダンプ	<On>	ヘッダーダンプメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
排気ファン	<On>	排気ファンメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ホワイトメンテナンス	<On>	ホワイトメンテナンスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
スタートフィールド	<On>	スタートフィールドメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
初期化	<On>	初期化メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
フラッシング	On	フラッシングメニューを表示するかどうか設定します。
	<Off>	
カラーメンテナンス	<On>	カラーメンテナンスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
追加照射回数	<On>	追加照射回数メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ALL On		設定メニューの設定項目を全て表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目に「*」が表示されます。
ALL Off		設定メニューの設定項目を全て表示しません。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目で「*」が消えます。 • 「ALL Off」を選択した場合でも、設定メニューで「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。
—		<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 <p>図5 パネル設定メニュー</p>

5.7 メンテナンスメニュー

インク排出や大容量パックのアダプタープラグの点検、交換を行うときに使用します。

設定項目	設定値	内容
メンテナンス	デイリーメンテナンス	以下の場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ヘッドクリーニングを行っても、ノズル抜けが直らない場合に清掃を行うとき スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき ☞ 5.7.1 デイリーメンテナンスメニュー
	プラグ寿命	アダプタープラグの寿命の確認や初期化を行います。 ☞ 5.7.2 プラグ寿命メニュー
	インク排出	プリンタ内のインクを排出します。輸送前に行います。 ☞ 5.7.3 インク排出
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5 パネル設定メニュー

5.7.1 デイリーメンテナンスメニュー

デイリーメンテナンスを行います。以下の場合に使用します。

- ヘッドクリーニングを行っても、ノズル抜けが直らない場合に清掃を行うとき
- スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

注 記

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行う場合は、スリープモードから清掃を行ってください。

☞ 3.3.1 プリンタをスリープモードにする

設定項目	パネル表示	内容
デイリーメンテナンス	Start	[Enter] キーを押して、各部の清掃を行ってください。
	End	清掃が終了したら、[Enter] キーを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> 自動で微量クリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.7 メンテナンスメニュー

5.7.2 プラグ寿命メニュー

大容量パックのアダプタープラグの点検、交換を行うときに使用します。

設定項目	設定値	内容
プラグ寿命	確認	大容量バックアダプターのアダプタープラグの寿命を確認できます。 🔗 5.7.2.1 プラグ寿命確認メニュー
	初期化	大容量バックアダプターのアダプタープラグの寿命を初期化できます。 🔗 5.7.2.2 プラグ寿命初期化メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.7 メンテナンスメニュー

5.7.2.1 プラグ寿命確認メニュー

設定項目	設定値	内容
確認	Slot1 ~ Slot8	各スロットの大容量バックアダプターのアダプタープラグの寿命を確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：選択したスロットのアダプタープラグの寿命を表示します。 • 「*」マークの数で寿命を表示します。寿命がゼロになると、“Change” と表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.7.2 プラグ寿命メニュー

5.7.2.2 プラグ寿命初期化メニュー

設定項目	設定値	内容
初期化	Slot1 ~ Slot8	各スロットの大容量バックアダプターのアダプタープラグの寿命を初期化できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：選択したスロットのアダプタープラグの寿命を初期化します。 • 確認画面で [Enter] キーを押すと寿命をリセットします。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.7.2 プラグ寿命メニュー

5.7.3 インク排出

プリンタ内のインク排出を行うときに使用します。

設定項目	パネル表示	内容
インク排出	Start	• [Enter] キー：インク排出を開始します。
	廃液を空にしてください	廃液タンクを確認し、タンク内に廃液がある場合は空にしてください。
	カートリッジを抜いてください	インクカートリッジをすべて取り外してください。
	インク排出中	プリンタ内からインクを排出中です。
	[ALL] カートリッジなし	排出が完了しました。
	—	• [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。  5.7 メンテナンスメニュー

5.8 バージョンメニュー

ファームウェアのバージョンを表示します。
 サービスマンがメンテナンスを行う場合等に使用します。

設定項目	パネル表示	内容
Version	*. **	ファームウェアのバージョンを表示します。
	—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5 パネル設定メニュー

5.9 初期設定メニュー

液晶表示部の表示言語や単位を設定します。また、IP アドレスの設定などを行います。

設定項目	設定値	内容
初期設定	言語	操作パネルの液晶表示部に表示されるメニューなどの言語を設定します。 🔍 5.9.1 言語メニュー
	長さ	長さ表示の単位をセンチメートル表示またはインチ表示にします。 🔍 5.9.2 長さメニュー
	IP アドレス	製品の IP アドレスを設定します。 🔍 5.9.3 IP アドレスメニュー
	サブネットマスク	製品のサブネットマスクを設定します。 🔍 5.9.4 サブネットマスクメニュー
	ゲートウェイ	製品のゲートウェイを設定します。 🔍 5.9.5 ゲートウェイメニュー
	警告ブザー	警告ブザーの停止方法を設定します。 🔍 5.9.6 警告ブザーメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔍 5 パネル設定メニュー

5.9.1 言語メニュー

操作パネルの液晶表示部に表示されるメニューなどの言語を設定します。

設定項目	設定値	内容
言語	<エイゴ English>	メニューなどの表示を英語で表示します。
	ニホンゴ Japanese	メニューなどの表示を日本語で表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.9 初期設定メニュー

5.9.2 長さメニュー

長さの単位を設定します。

設定項目	設定値	内容
長さ	<mm>	長さ表示をミリメートル (mm) で表示します。
	inch	長さ表示をインチ (inch) で表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.9 初期設定メニュー

5.9.3 IP アドレスメニュー

製品の IP アドレスを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

製品の IP アドレスは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
IP アドレス	0.0.0.0 ~ <192.168.1.253> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、IP アドレスを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.9 初期設定メニュー

5.9.4 サブネットマスクメニュー

製品のサブネットマスクを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

製品のサブネットマスクは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
サブネットマスク	0.0.0.0 ~ <255.255.255.0> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、サブネットマスクを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 🔍 5.9 初期設定メニュー

5.9.5 ゲートウェイメニュー

製品のゲートウェイを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

製品のゲートウェイは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
ゲートウェイ	0.0.0.0 ~ <192.168.1.254> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、ゲートウェイを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 🔍 5.9 初期設定メニュー

5.9.6 警告ブザーメニュー

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。

「オフ」に設定することで、夜間に印刷するときなどプリンタ操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。

設定項目	設定値	内容
警告ブザー	< オン >	操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音が止まります。 初期設定では、この設定です。
	オフ	ブザー音が複数回鳴ると、キー操作を行わない場合でも、ブザー音は自動的に止まります。
	—	<ul style="list-style-type: none">• [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。• [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.9 初期設定メニュー

5.10 Job ステータスメニュー

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

印刷したデータの長さや、完了したかどうかを表示します。印刷が中断した場合は、どこまで印刷したかなどを表示します。

設定項目	設定値	内容
Job ステータス	Job ステータス	印刷が完了したかどうかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 完了した場合：「カンリョウ」 中断した場合：「キャンセル」
	データ長さ	印刷データの全長（メディア送り方向）を表示します。
	印刷済み	印刷済みの部分の長さを表示します。
	印刷残り	まだ印刷されていないデータの長さを表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。 🔗 5 パネル設定メニュー

注 記

- この機能は、印刷動作が終了したデータについての情報を見る場合に使用します。印刷中のデータについては、以下を参照してください。
[🔗 4.4.4.2 印刷中に変更・確認できる設定値](#)
[🔗 4.4.6 印刷中の常駐表示](#)
- この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- 印刷データに長さ情報が含まれていないは、すべての項目で「0」を表示します。

6 保守

この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。

6.1 手袋、ゴーグルをつける

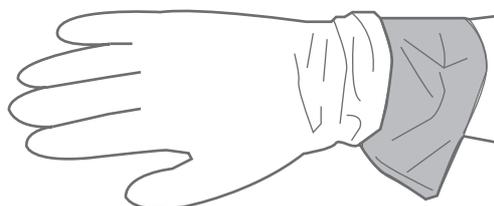
UV 硬化インクが皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。プリンタ使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。

特に下記の作業を行う場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用してください。

- 6.2 インクカートリッジを振る
- 6.4.1 インクカートリッジの交換
- 6.4.3 フラッシングボックス用吸収材の交換
- 6.4.4 クリーニングワイパーの交換
- 6.5.1 デイリーメンテナンス
- 6.6 廃液の処理

6.1.1 付属の手袋の着用方法

ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。



▲ 注意

- 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。
- 衣類等に付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は洗濯をしてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断／手当を受けてください。

6.2 インクカートリッジを振る

色安定性を保つために、定期的にインクカートリッジを振る必要があります。

また、操作パネルに以下のエラーメッセージが表示された場合も該当するインクカートリッジを振ってください。

6 色設定時

- 「W カートリッジ フットエクダサイ」: 12 時間ごとに表示します。ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。
- 「KMCY カートリッジ フットエクダサイ」: 72 時間ごとに表示します。ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジを振ってください。
- 「KMCYW カートリッジ フットエクダサイ」: ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。

4 色設定時

- 「ALL カートリッジ フットエクダサイ」: 72 時間ごとに表示します。ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジを振ってください。

注意

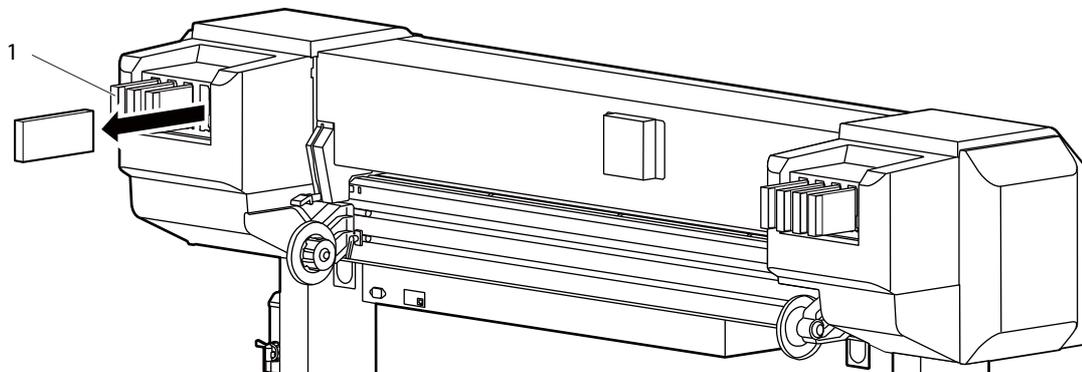
- インクカートリッジは使用する前に振ってください。
- インクカートリッジは定期的に振る必要があります。
放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- インクカートリッジを振るメッセージが表示された後、インクカートリッジを振らずにさらに 12 時間が経過すると、本製品は印刷を実行しなくなります。その場合は、インクカートリッジを振ると復帰します。

注記

本項目はプリンタ付属の「専用インク使用時のご注意」シートと同一の内容です。

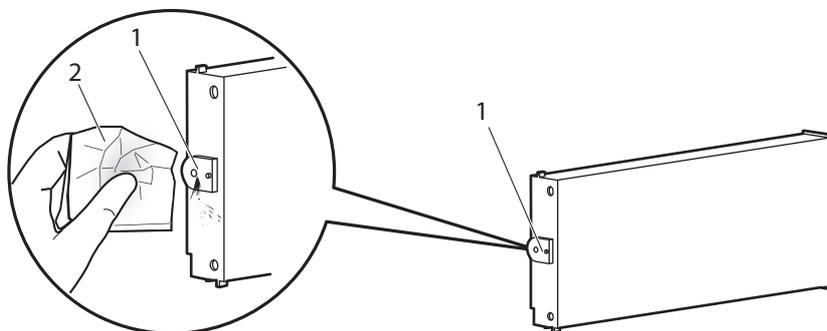
以下の手順に従ってインクカートリッジを振ってください。

1. プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
2. 付属の手袋とゴーグルを着け、インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。



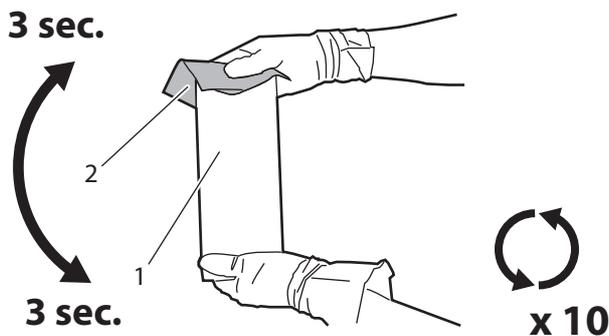
番号	名称
1	インクカートリッジ

3. プリンタ付属のペーパータオルで、インクカートリッジのプリンタ差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。



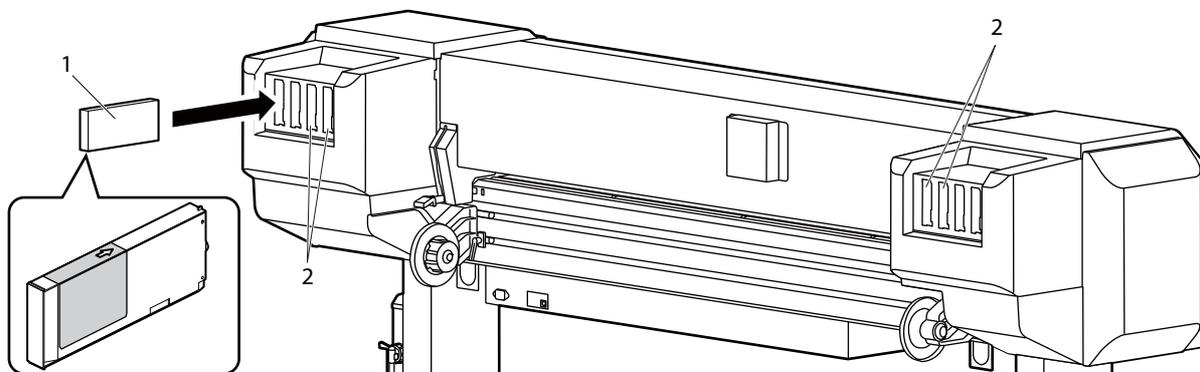
番号	名称
1	プリンタ差し込み口
2	ペーパータオル

4. プリンタ差し込み口をペーパータオルで押えながら、以下の手順でインクカートリッジを振ります。
- 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
 - 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
 - 10回繰り返します。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	ペーパータオル

5. インクカートリッジを元のインクカートリッジスロットに取り付けます。



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

注記

カートリッジを戻す際は、元のスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のスロットに取り付けないでください。

6.3 長期間のスリープモードに入る前に

- 日常のお手入れを行ってください。
🔗 [6.5.1 デイリーメンテナンス](#)

注意

- スリープモードを1週間以上継続するような場合は、1週間が経過した時点で以下を行ってください
- インクカートリッジの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
- インクカートリッジを振ってください。
- 廃液タンクの廃液を捨ててください。

6.4 消耗品の交換

インクカートリッジ、ロール紙およびフラッシングボックス用吸収材の交換時期および交換手順について説明します。

6.4.1 インクカートリッジの交換

注意

- インクカートリッジは直射日光を避け冷暗所に保管してください。
- 開封後保管する場合は、元のアルミ袋の中に入れて状態で保管してください。紫外線がカートリッジに当たるとインクが徐々に硬化して故障の原因になります。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが眼に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

(1) 交換時期

- a. 操作パネルに「[*****] インクスクナイ」と表示された場合
 - インクカートリッジ内のインク残量が少なくなると表示されます。
 - 警告ブザーが鳴り続けます。ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [Enter] キーを押してください。
 - 新しいインクカートリッジ、S/C カードに交換してください。
- b. 操作パネルに「[*****] インクナシ」と表示された場合
 - インクカートリッジ内のインクがなくなると表示されます。
 - 印刷が停止します。
 - 警告ブザーが鳴り続けます。ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [Enter] キーを押してください。
 - 速やかに新しいインクカートリッジ、S/C カードに交換してください。

注 記

- インクカートリッジ交換時期の [*****] は、インクが少なくなった、またはなくなった色をスロット番号で表示します。

<6色使用時>

- 1: ブラック (K)
- 2: マゼンタ (M)
- 3: シアン (C)
- 4: イエロー (Y)
- 5: バーニッシュ (VA)
- 6: バーニッシュ (VA)
- 7: ホワイト (WH)
- 8: ホワイト (WH)
- ALL: すべてのインク

<4色使用時>

- 1: マゼンタ (M)
 - 2: マゼンタ (M)
 - 3: シアン (C)
 - 4: シアン (C)
 - 5: イエロー (Y)
 - 6: イエロー (Y)
 - 7: ブラック (K)
 - 8: ブラック (K)
 - ALL: すべてのインク
- 「インクナシ」と表示された場合、印刷中であっても印刷を停止します。
 - 「インクナシ」と表示された場合、新しいインクカートリッジを挿入するまで印刷することができなくなります。
 - 交換用のインクカートリッジがお手元がない場合は、使い終わったインクカートリッジを製品に挿入したままにしてください。インクカートリッジを取り外した状態で製品を放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。

(2)種類

インクの詳細については、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☎ 8.4 お問い合わせ先

注 記

インクカートリッジを交換する場合は、純正品のインクカートリッジをご使用ください。

本製品は純正品のインクカートリッジの使用を前提に調整されています。
純正品以外を使用すると

- 印刷結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなる恐れがあります。
- 故障しても保証対象外（有償修理）となります。

(3)交換手順

以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

⚠ 注 意

- 作業を行うときは、必ず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。

注 記

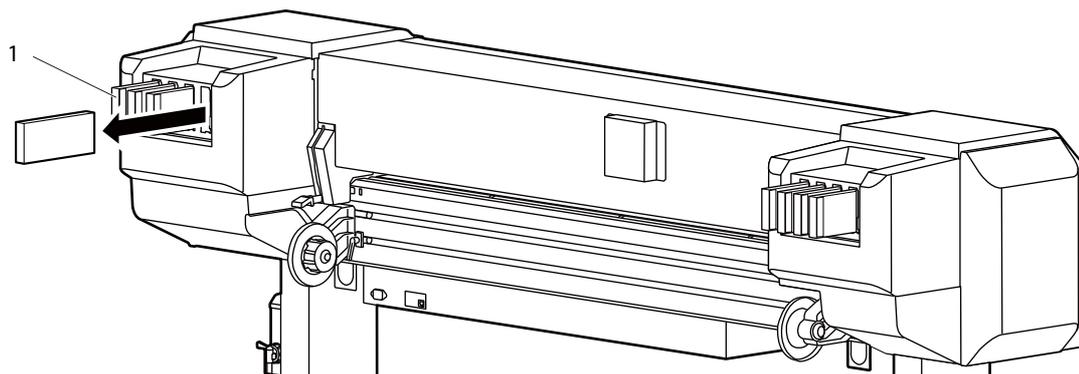
- インクカートリッジは強く振らないでください。
インクが漏れることがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
分解したインクカートリッジは使用できません。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、印刷環境に 3 時間以上放置してから使用してください。
- インクカートリッジには、インクを補充しないでください。
正常に印刷できなくなる恐れがあります。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

注 記

製品の電源が OFF になっている場合は、インクカートリッジを交換しないでください。
 インク残量の検出が正しく行えず、正常な印刷ができなくなります。

2. 付属の手袋とゴーグルを着け、交換するインクカートリッジを取り外します。



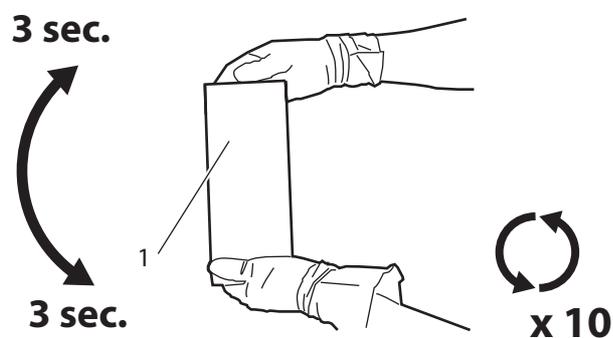
番号	名称
1	インクカートリッジ

3. 以下の手順で新しいインクカートリッジを振ります。

- 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- 10回繰り返します。

▲ 注意

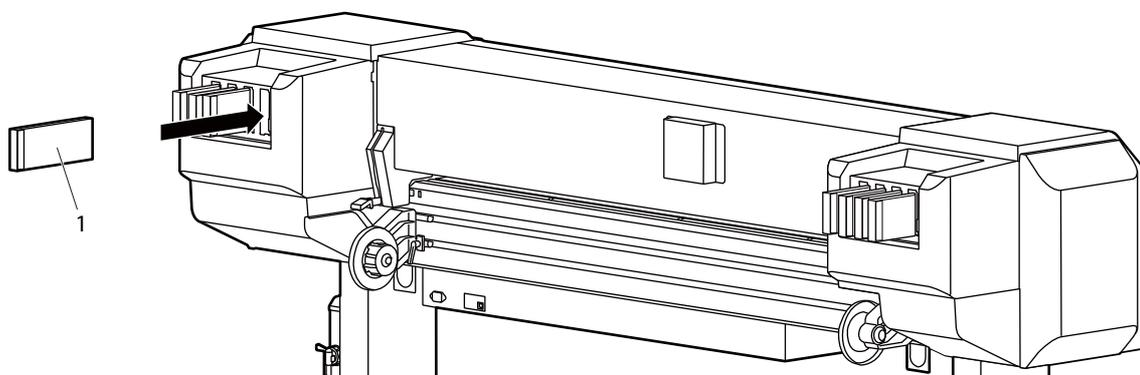
- インクカートリッジは使用する前に振ってください。
- インクカートリッジは定期的に振る必要があります。
放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。



番号	名称
1	インクカートリッジ

4. インクカートリッジをインクカートリッジスロットに挿入します。

- インクカートリッジは、奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インクカートリッジ

5. 操作パネルが通常状態に戻ったことを確認します。

注 記

印刷中にインクカートリッジを交換した場合は、印刷を再開します。

- インクカートリッジの交換を終了します。

6.4.2 ロール紙の交換

ロール紙の交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

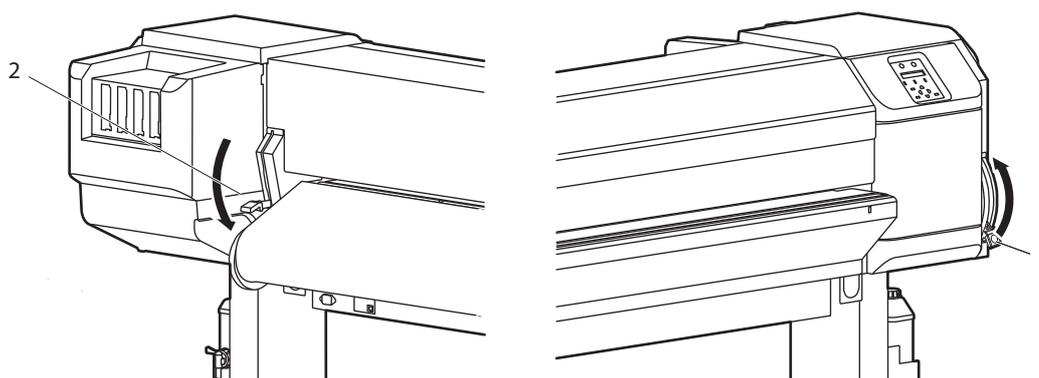
ロール紙は、以下の場合に交換してください。

- a. 製品にセットしているロール紙がなくなった場合
 - 操作パネルに「メディアエント」^①と表示されます。
 - 印刷中にメディアがなくなった場合は印刷動作を中断します。
- b. 使用するメディア種類を変更したい場合

(2) 交換手順

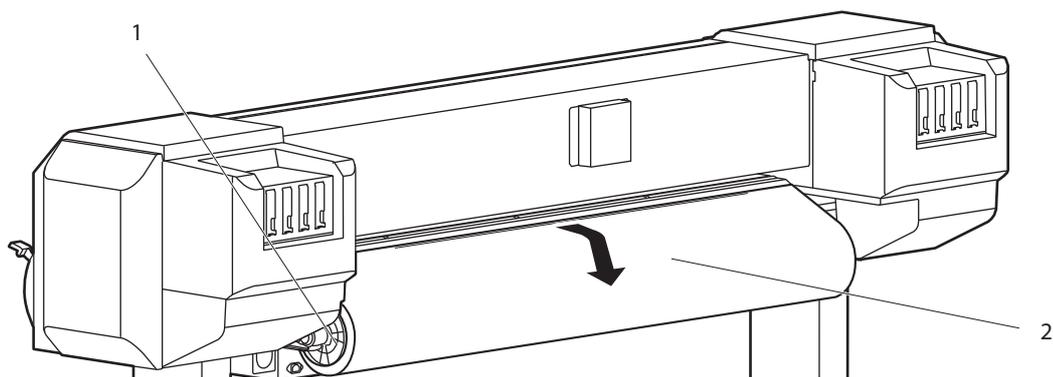
以下の手順に従って、ロール紙を交換してください。

1. 製品の電源が ON になっている場合は、印刷等の動作を行っていないことを確認します。
2. メディアセットレバーを上げます（リアメディアセットレバーを下げます）。



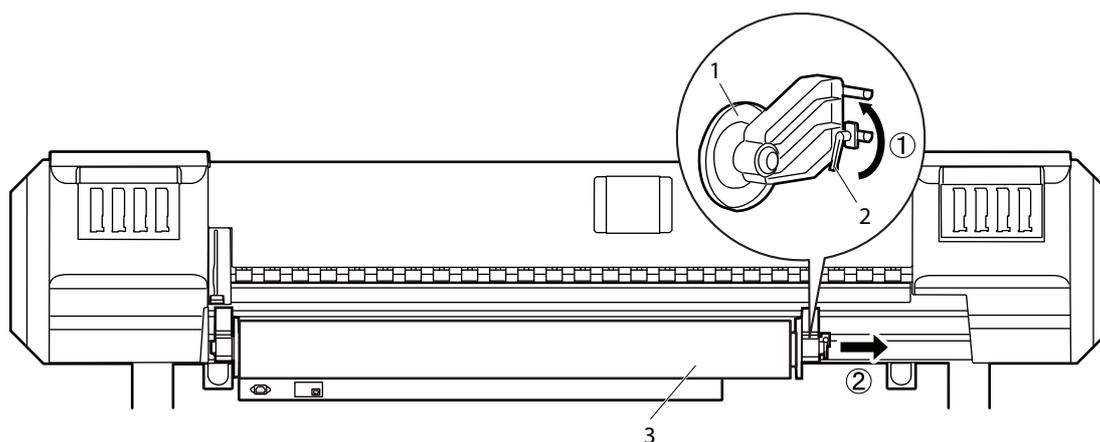
番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

3. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻き取ります。



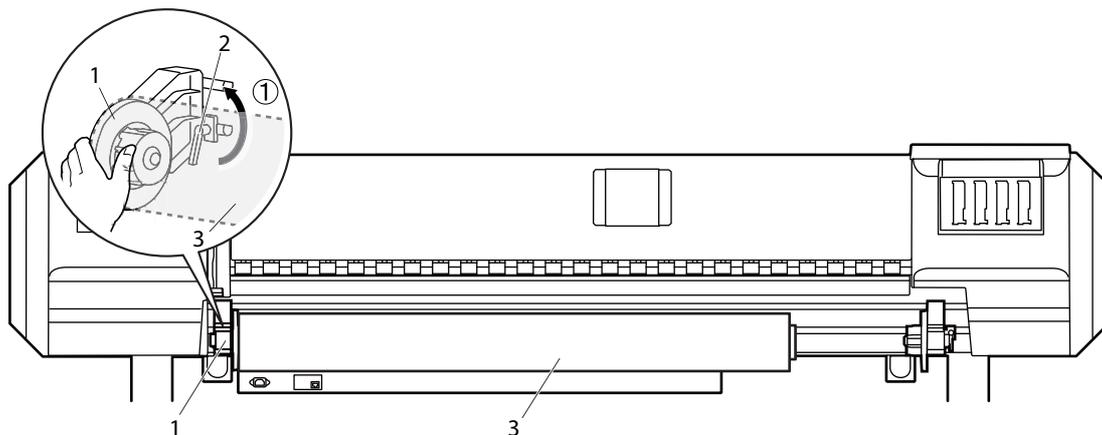
番号	名称
1	フランジ
2	ロール紙

4. ロール紙受け（右）の固定レバーを緩めて、ロール紙受けからロール紙を取り外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	固定レバー
3	ロール紙

5. 手順4と同様にして、ロール紙受け（左）からロール紙を取り外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	固定レバー
3	ロール紙

6. 別のロール紙を取り付ける場合は、以下の内容に従って、作業を行ってください。

参考

- ロール紙の取り付け方法は、「[3.5 メディアの取り付け](#)」を参照してください。
- 使用しないロール紙は、「[4.2.3 メディアの保管時の注意](#)」に従って、保管してください。

- ロール紙の交換を終了します。

6.4.3 フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換手順について説明します。

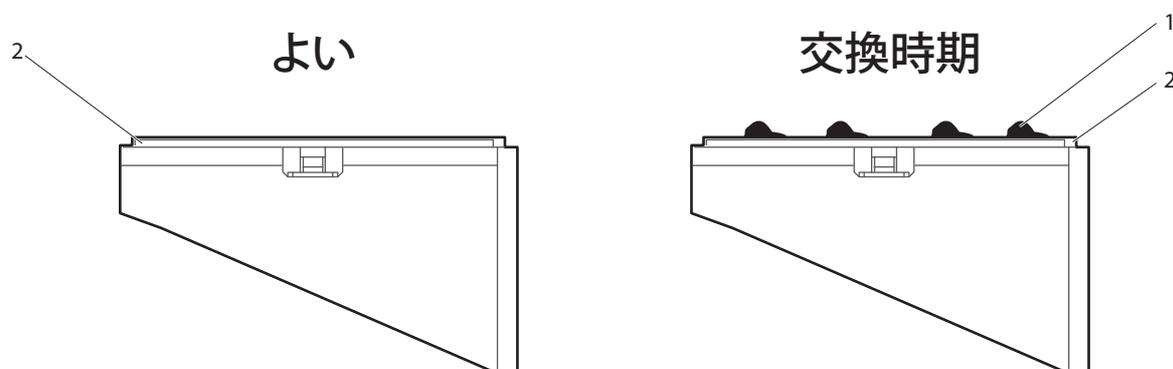
注 記

製品には必ずフラッシングボックス用吸収材を取り付けてください。
フラッシングボックス用吸収材は、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。

(1) 交換時期

フラッシングボックス用吸収材は以下の場合に交換してください。

- フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がった場合



番号	名称
1	インクかたまり
2	フラッシングボックス枠

(2) 種類

参 考

フラッシングボックス用吸収材の種類および詳細は、「[8.3 オプション・サプライ用品リスト](#)」を参照してください。

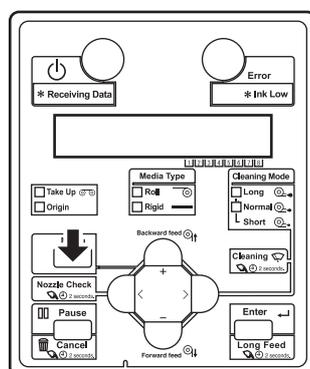
(3) 交換手順

以下の手順に従って、フラッシングボックス用吸収材を交換してください。

注意

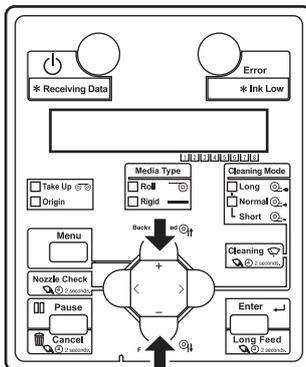
- 作業を行うときは、必ず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
 - 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
 - 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 印刷等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. 操作パネルに CR メンテナンスメニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。

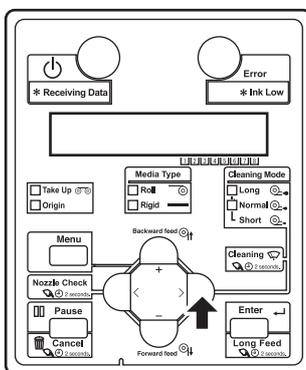


- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー 3 : セッテイ>」を選択します。

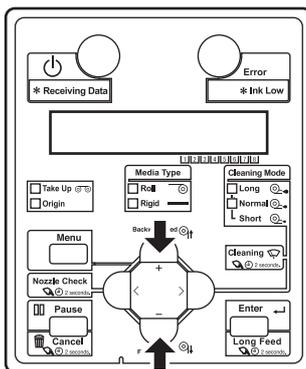


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

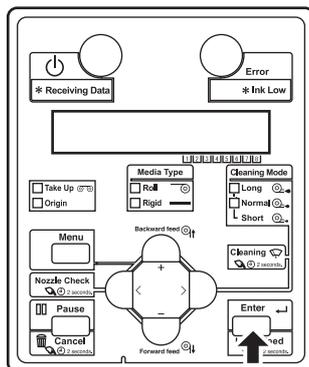


- 操作パネルに「セット 1 : サイド マージン」と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「セット 1 3 : CR メンテナンス」を選択します。

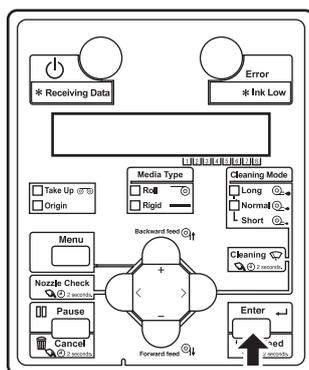


e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



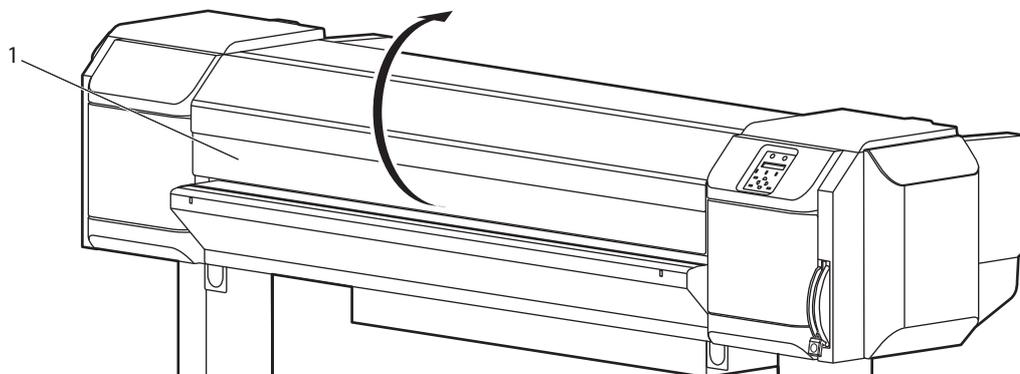
- 操作パネルに「CR メンテナンス： S t a r t」と表示されます。
- CR メンテナンスメニューに移行します。
▶ [5.3.13 CR メンテナンスメニュー](#)

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



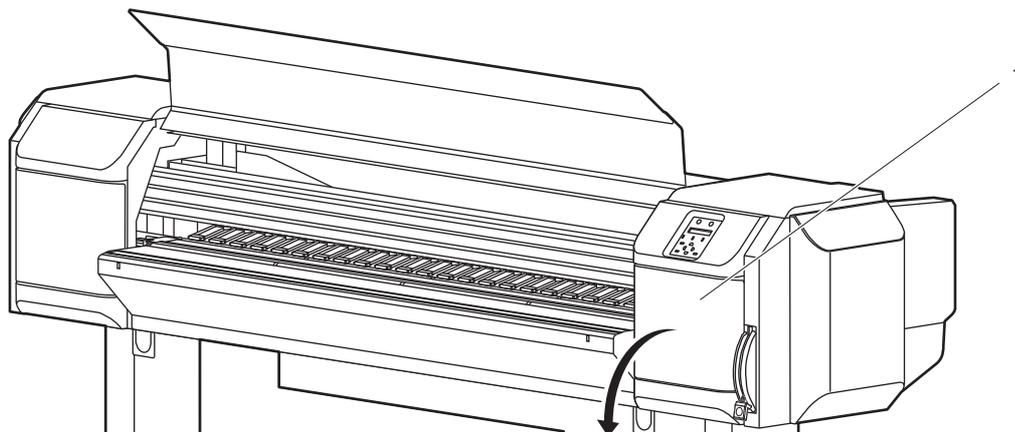
- メンテナンス処理に入ります。
- プリントヘッド部が製品左側に移動します。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： E n d」と表示されます。

4. フロントカバーを開けます。



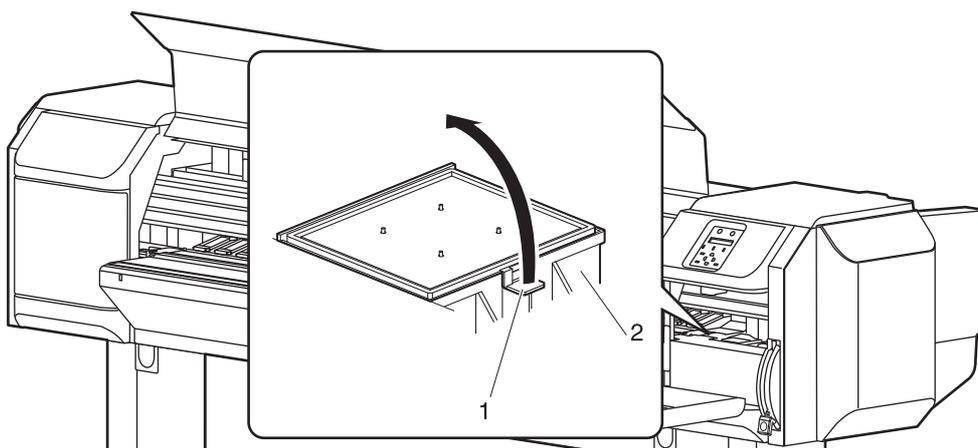
番号	名称
1	フロントカバー

5. 製品右側のメンテナンスカバーを開きます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

6. フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部を持上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材受けを取り外します。

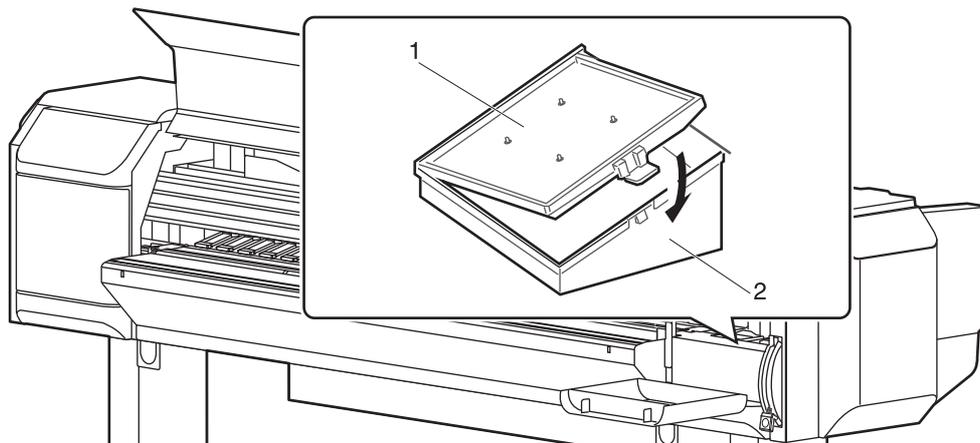


番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部
2	フラッシングボックス用吸収材受け

⚠ 注意

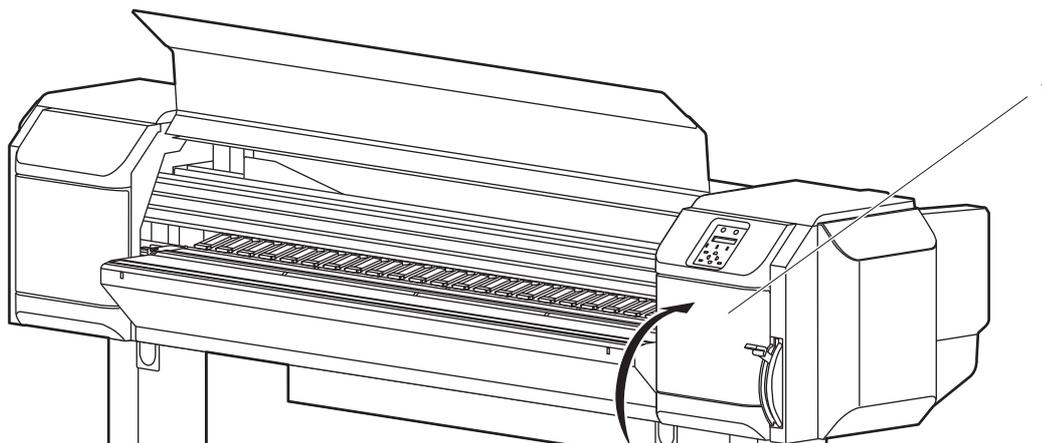
- フラッシングボックス用吸収材を交換する場合、廃液がこぼれないように十分注意してください。
 廃液がグリッドローラに付着するとグリッドローラ表面を侵して、メディア搬送に影響を及ぼす恐れがあります。

7. 新しいフラッシングボックス用吸収材受けをフラッシングボックスに取り付けます。



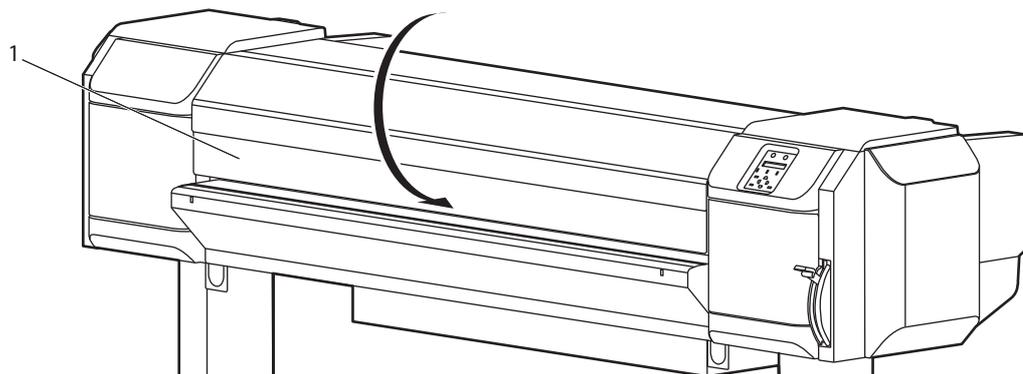
番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受け
2	フラッシングボックス

8. メンテナンスカバーを閉じます。



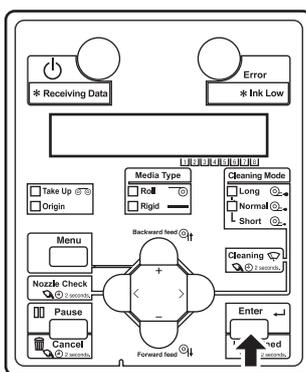
番号	名称
1	メンテナンスカバー

9. フロントカバーを閉じます。



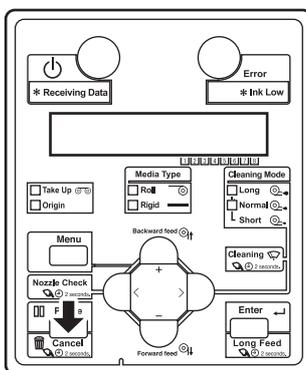
番号	名称
1	フロントカバー

10. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： S t a r t」と表示されます。

11. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。



- 製品は通常状態に移行します。
- フラッシングボックス用吸収材の交換を終了します。

6.4.4 クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーの交換手順について説明します。

注 記

製品には必ずクリーニングワイパーを取り付けてください。
クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。

(1) 交換時期

- 6 か月に一度

(2) 種類

参 考

クリーニングワイパーの種類および詳細は、「[8.3 オプション・サプライ用品リスト](#)」を参照してください。

(3) 交換手順

以下の手順に従って、クリーニングワイパーを交換してください。

▲ 注 意

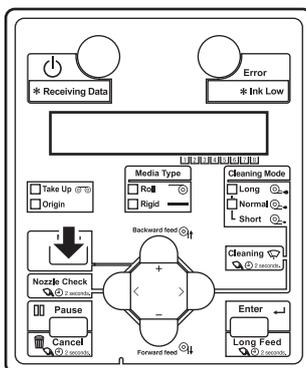
- 作業を行うときは、必ず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
 - 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
 - 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。

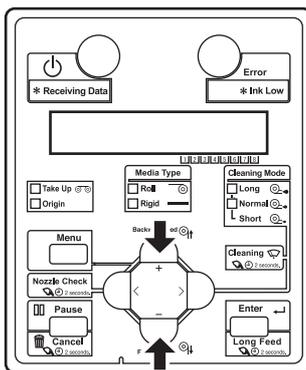
- 印刷等の動作を行っていないこと
- 操作パネルが通常状態であること

2. 操作パネルに CR メンテナンスメニューを表示させます。

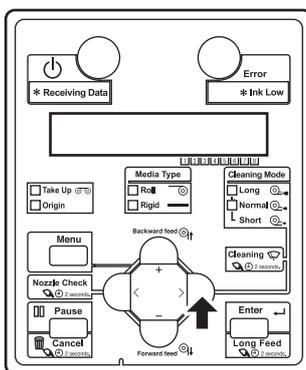
- a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： スリープモード >」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー3： セッテイ >」を選択します。

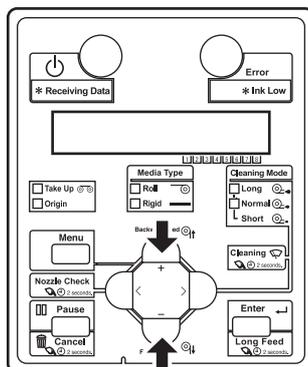


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

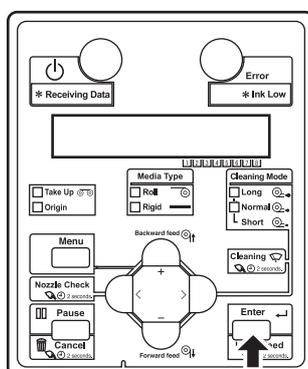


- 操作パネルに「セット1： サイドマージン」と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「セット 1 3 : CR メンテナンス」を選択します。

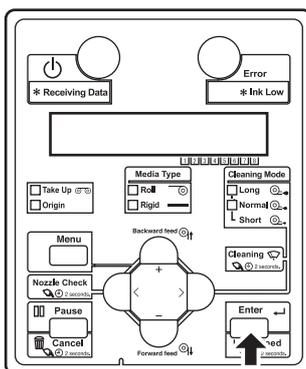


- e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



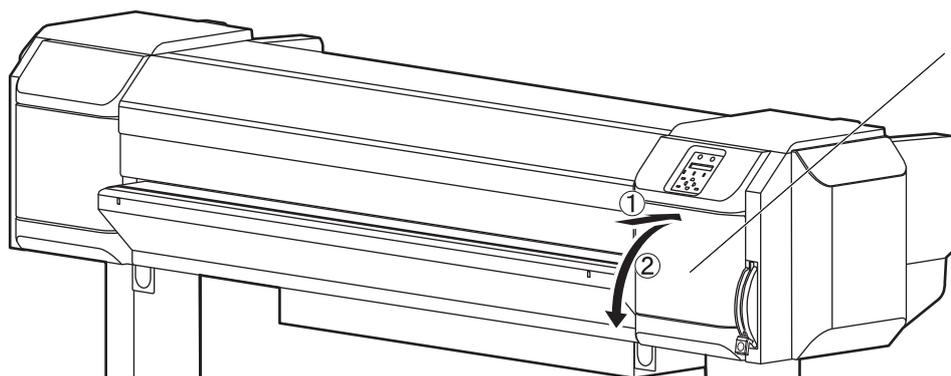
- 操作パネルに「CR メンテナンス : S t a r t」と表示されます。
 - CR メンテナンスメニューに移行します。
- 📖 5.3.13 CR メンテナンスメニュー

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



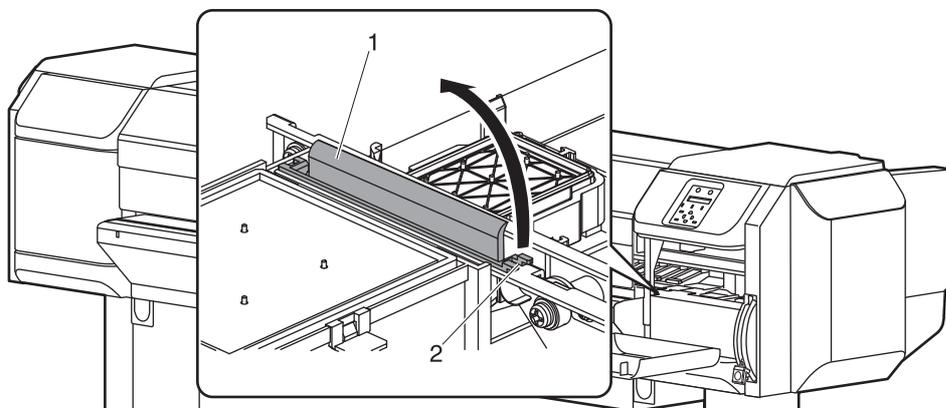
- メンテナンス処理に入ります。
- プリントヘッド部が製品左側に移動します。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： E n d」と表示されます。

4. 製品右側のメンテナンスカバーを開きます。



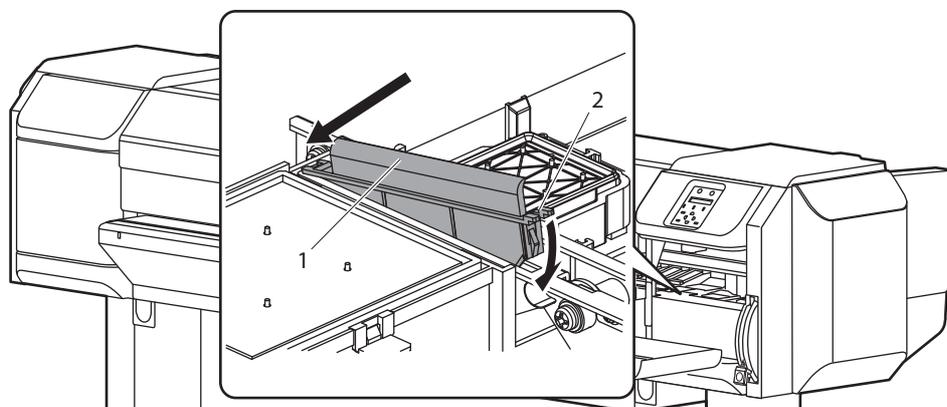
番号	名称
1	メンテナンスカバー

5. クリーニングワイパーのツメ部を持上げてフックを解除し、クリーニングワイパーを取り外します。



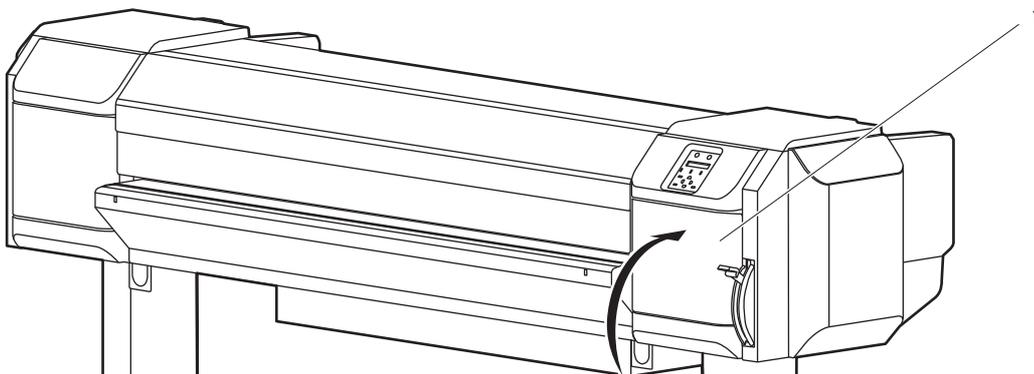
番号	名称
1	クリーニングワイパー
2	クリーニングワイパーのツメ部

6. 以下の手順に従って、新しいクリーニングワイパーを取り付けます。
- クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
 - クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。



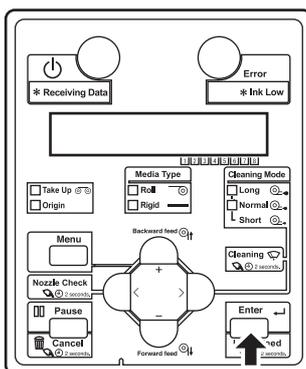
番号	名称
1	クリーニングワイパー
2	クリーニングワイパーのツメ部

7. メンテナンスカバーを閉じます。



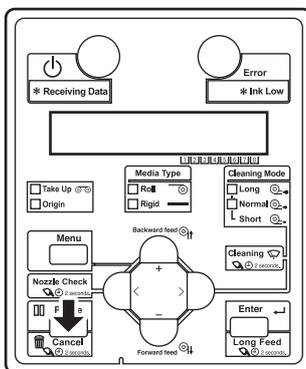
番号	名称
1	メンテナンスカバー

8. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： S t a r t」と表示されます。

9. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。



- 製品は通常状態に移行します。

クリーニングワイパーの交換を終了します。

6.4.5 大容量パックアダプタのアダプタープラグの交換について

大容量パックアダプタは、一定回数抜き差しをすると、アダプタープラグの交換が必要になります。

交換時期になると、操作パネルに「[*] プラグコウカン」と表示されます（[*] は交換対象の大容量パックアダプタを示します）。

メッセージは、キー入力で消去できますが、印刷終了後に毎回表示されます。

大容量パックアダプタの取扱説明書の「3.3 アダプタープラグの交換」を見ながら交換してください。

交換後、大容量パックアダプタを取り付けると、以下のメッセージが表示されます。

「[*] プラグ カエマシタカ？ イイエ」

[+] キー / [-] キーで「ハイ」を選択し、[Enter] キーを押してください。大容量パックアダプタの抜き差し回数がリセットされます。

注 記

- 「[*] プラグ カエマシタカ？ イイエ」は「[*] プラグコウカン」表示後に大容量パックアダプタを抜き差しするだけでも表示されます。
- アダプタープラグを交換していない場合は、「ハイ」を選択しないでください。アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。
- メッセージで指示されている大容量パックアダプタ以外のアダプタープラグを交換した場合は、「プラグ寿命初期化」メニューから交換したスロットを選択し初期化をしてください。
メッセージで指示された以外の大容量パックアダプタを交換し、プラグ寿命初期化メニューから初期化しなかった場合、その抜き差し回数はリセットされないため、規定よりも短い期間で交換メッセージが表示されます。

6.5 清掃

本書、または付属の「VJ-1638UH MarkII デイリーメンテナンスシート」に従って、毎日の作業終了後にメンテナンスを行ってください。

本製品を常によい状態で使用できるように、毎日の作業終了後に清掃する必要があります。

警告

- 通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「[8.4 お問い合わせ先](#)」までご連絡ください。

注意

- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷めたり、製品本体を損傷したりする原因となります。
- 製品内部に水気が入らないように注意してください。
製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
- ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

6.5.1 デイリーメンテナンス

毎日の作業終了後に行っていただくメンテナンスについて説明します。

デイリーメンテナンスの流れ

本製品は日常のメンテナンスが必要です。1日の作業終了後に、以下の流れに従って、デイリーメンテナンスを行ってください。

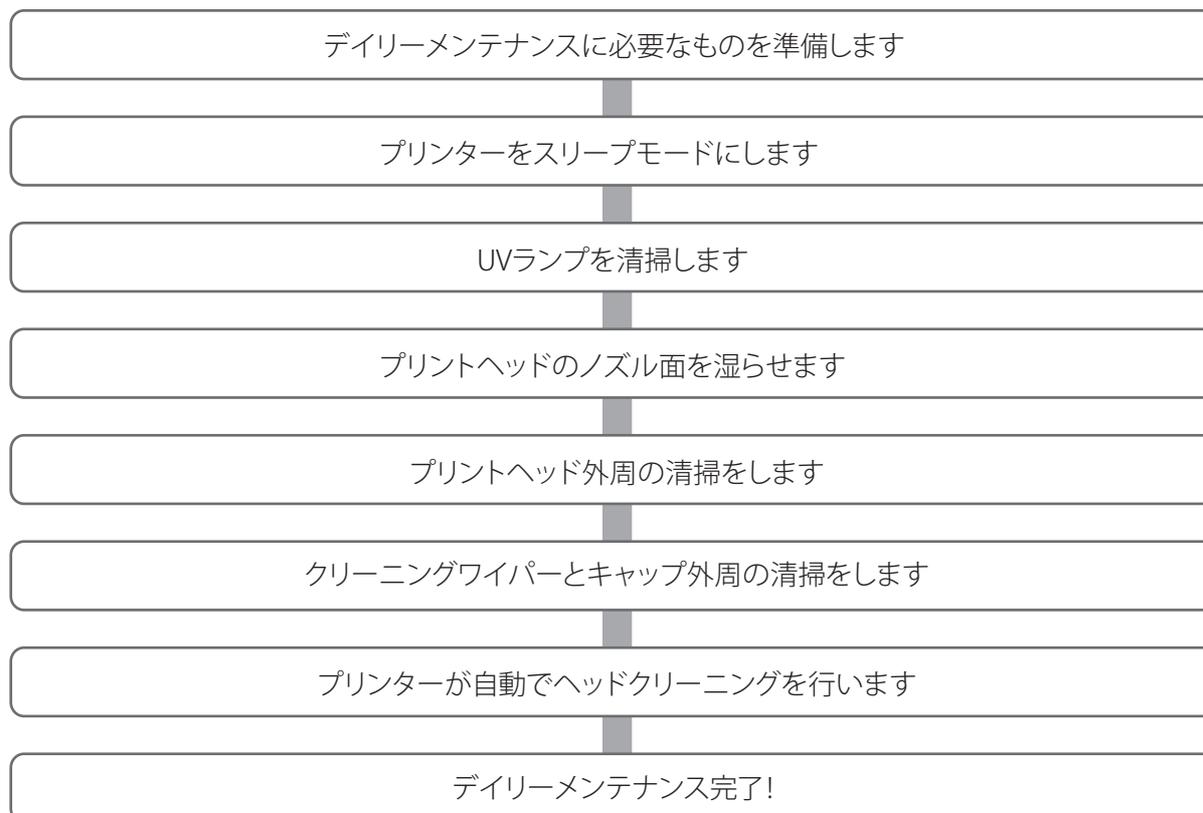
- 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、操作パネルに「デイリーメンテナンス シテクダサイ」と表示されます。かならずメンテナンスを行ってください。

注 記

- スリープモードにせず1日中印刷を行う場合も、1日に1回、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。
- デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
- スリープモードにしない場合は、パネル設定メニューの「メンテナンス1： デイリーメンテナンス」から、各部の清掃を行ってください。

🔗 [5.7.1 デイリーメンテナンスメニュー](#)

🔗 [6.5.3 各部の清掃](#)



デイリーメンテナンスの準備

用意するもの

1. デイリーメンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。



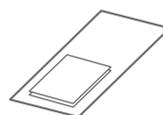
ポリエチレン手袋



ゴム手袋



ゴーグル



ペーパータオル
または、ポリニットワイパー



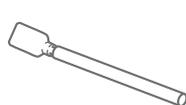
スポイト



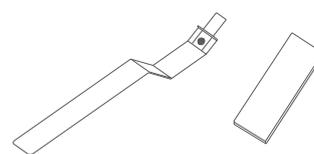
専用メンテナンス液



プラスチックカップ



クリーンスティック



柄付きスクレイパー、またはスクレイパー

注 記

- ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- 専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☎ 8.4 お問い合わせ先

2. ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。

3. ゴーグルを着用します。

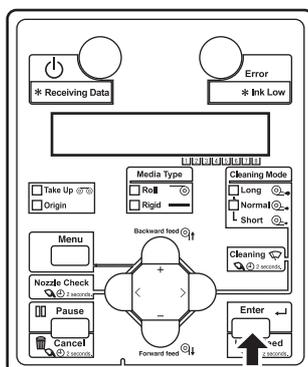
⚠ 注 意

- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- 作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

4. プリンタをスリープモードにします。

☎ 3.3.1 プリンタをスリープモードにする

5. 操作パネルに「デイリーメンテナンス： Start」と表示されます。
 - 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
 - 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されます。
6. デイリーメンテナンスを行います。

注 記

デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 10 分以内です。

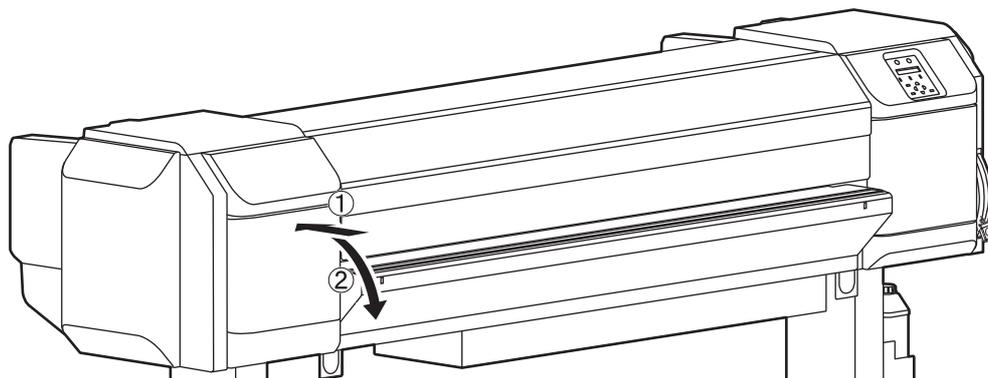
デイリーメンテナンスを行う

⚠ 注意

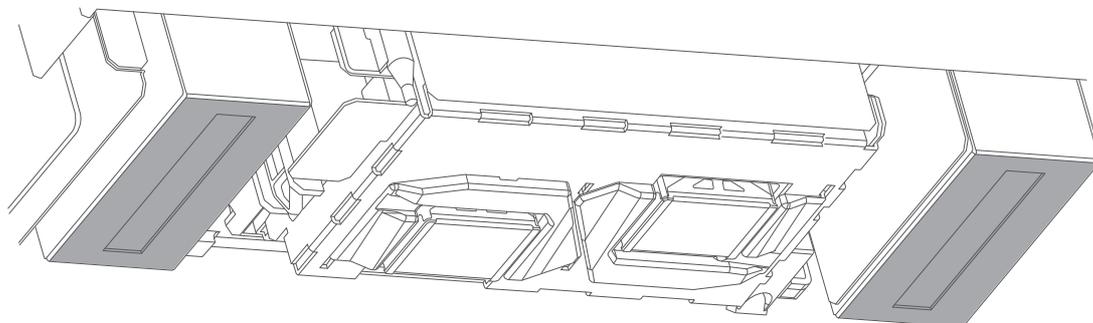
- 清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。

1. UV ランプを清掃する

1. プリンタ左側のメンテナンスカバーを開けて、取り外します。



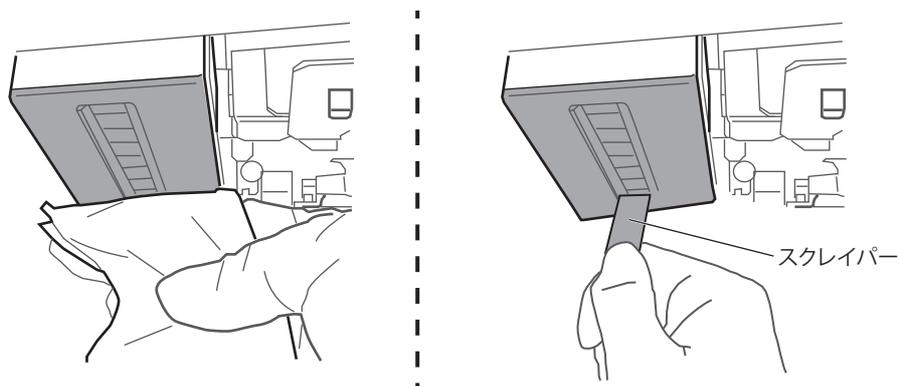
2. UV ランプ (2カ所) の下側にインクやホコリが付着しているか確認します。



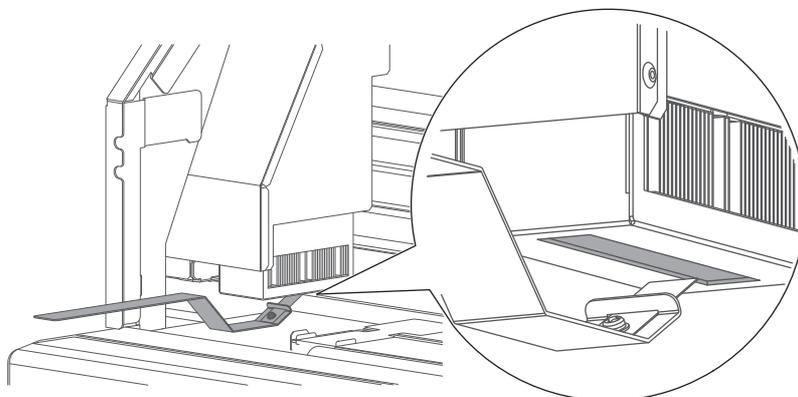
- UV ランプの下側にインクやホコリが付着していない場合は、清掃をする必要はありません。「[2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる](#)」に進んでください。

3. ペーパータオルで UV ランプ下側に付着したインクやホコリを拭き取ります。
付着したインクが固まって拭き取れない場合は、付属のスクレイパーを使用します。
- スクレイパーを少し傾け、インクが固着している箇所に当てて、インクを削ぎ落とします。
 - ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。

※イラストは左側のUVランプの清掃例です。



- 右側の UV ランプを清掃するときは、柄付きのスクレイパーを使用します。
- フロントカバーを開けて、UV ランプの下部に柄付きスクレイパーを当ててインクを削ぎ落とします。
- ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。



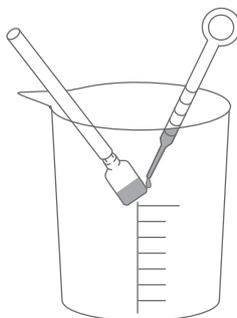
注意

- スクレイパーは専用のものを使用してください。
- スクレイパーの角を使って清掃をしないでください。UV ランプの破損の原因となります。
- スクレイパーを UV ランプに強く押し付けしないでください。UV ランプの破損の原因となります。

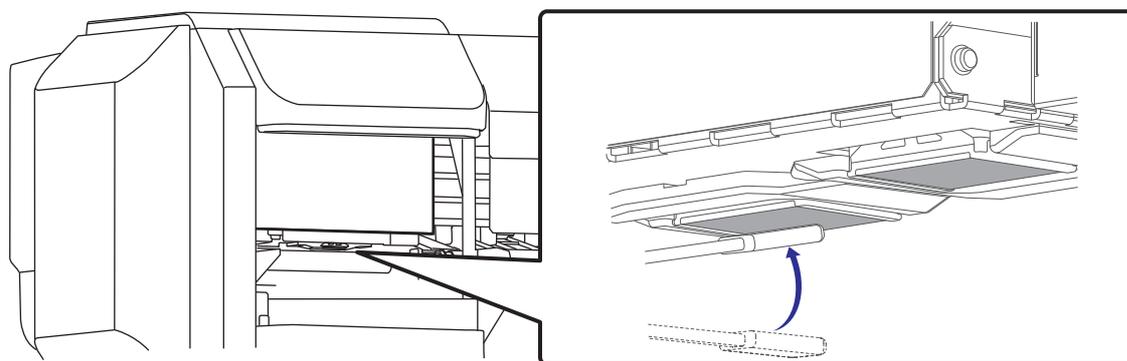
4. 続いて、プリントヘッドのノズル面を湿らせます。

2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる

1. プラスチックカップの中にクリーンスティックを入れます。
 - スポイトを使ってクリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸します。
(使用量目安：0.5 ml)



2. キャリッジの下側を見ます。
専用メンテナンス液を浸したクリーンスティックで、プリントヘッド（2カ所）のノズル面を湿らせます。
 - クリーンスティックを軽く当てるようにしてノズル面を湿らせます。
 - ノズル面全体が湿るまで、数回繰り返します。



⚠ 注意

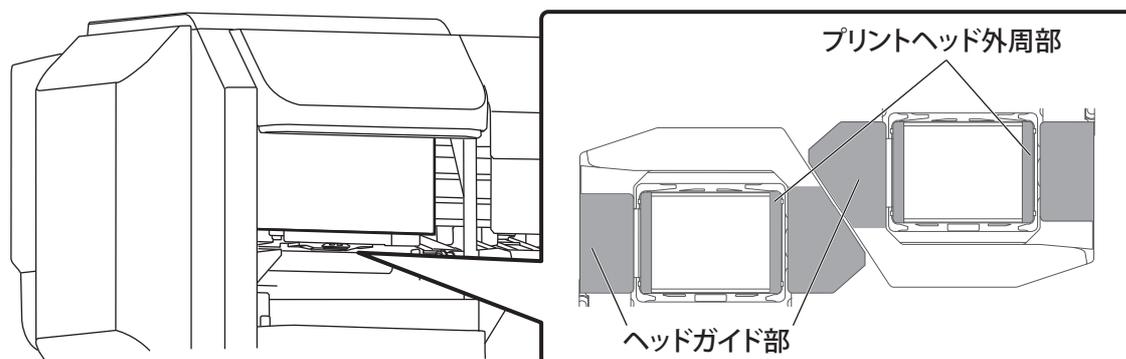
- ノズル面を絶対に擦らないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ノズル面全体が湿れば十分です。必要以上に繰り返さないでください。

3. 続いて、プリントヘッド周辺を清掃します。

3. プリントヘッド周辺を清掃する

1. キャリッジの下側を見て、クリーンスティックで清掃します。

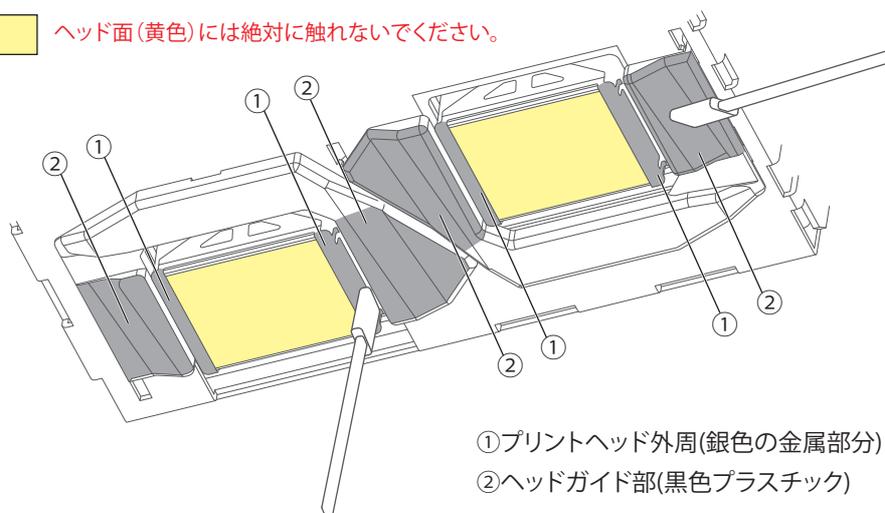
- プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
- ヘッドガイド部（黒色プラスチック）



2. キャリッジの下側に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃します。

■ 清掃箇所

■ ヘッド面(黄色)には絶対に触れないでください。



①プリントヘッド外周(銀色の金属部分)

②ヘッドガイド部(黒色プラスチック)

⚠ 注意

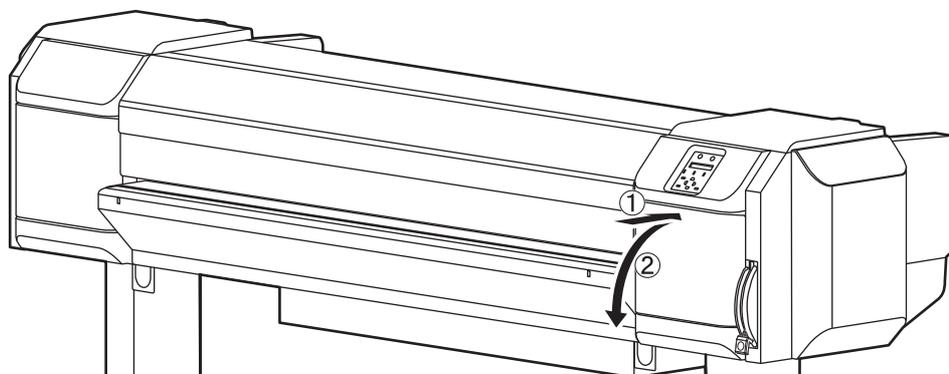
- メンテナンス液が飛び散ってプリンターに付着した場合は、ペーパータオルで拭き取ってください。

3. メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。

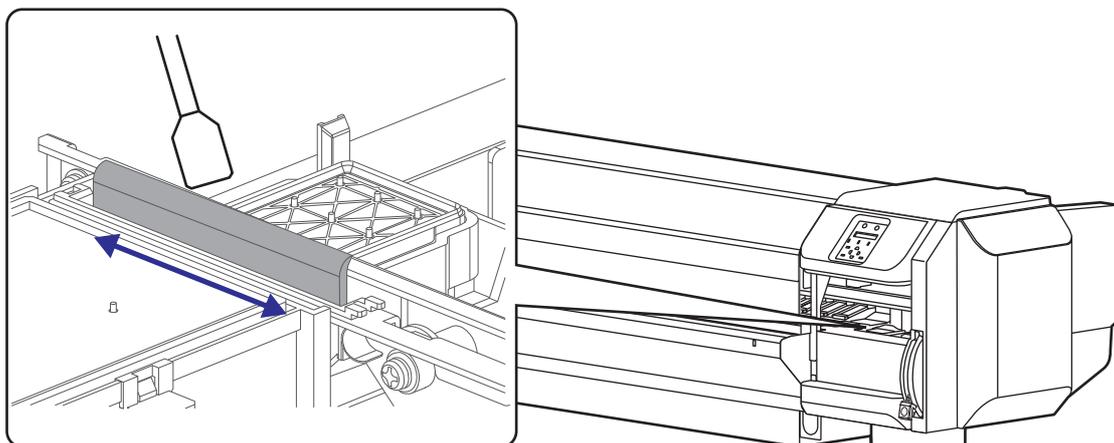
4. 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する

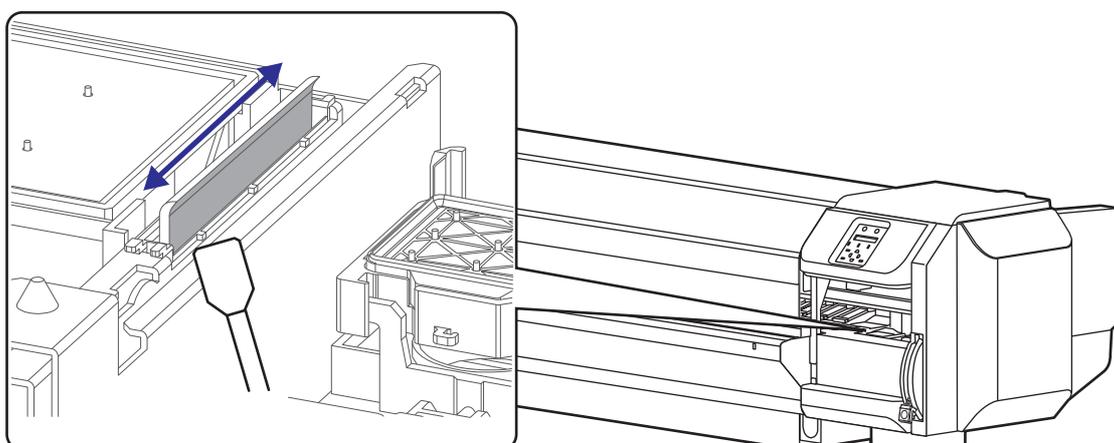
1. プリンター右側のメンテナンスカバーを開けて、取り外します。



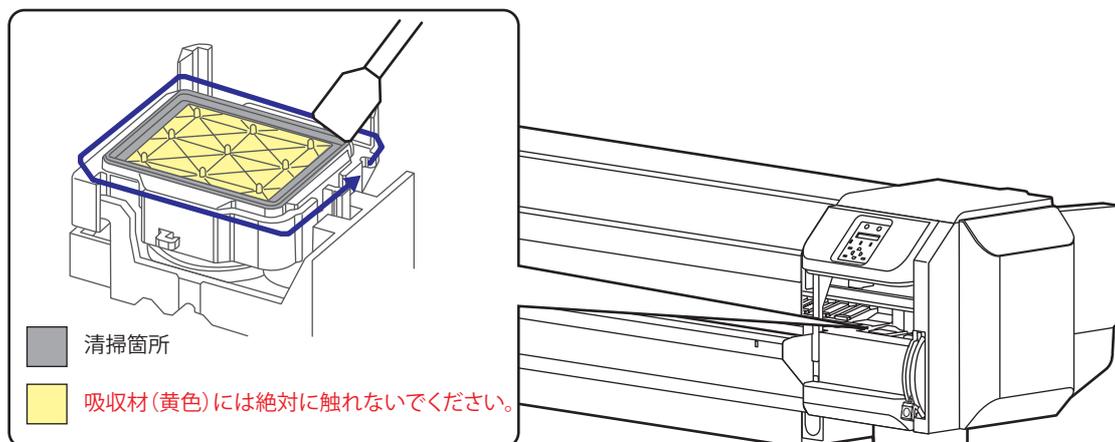
2. クリーンスティックを使用して、クリーニングワイパー（黒いゴム板）の左側面の汚れを拭き取ります。



3. クリーニングワイパーの右側面の汚れを拭き取ります。



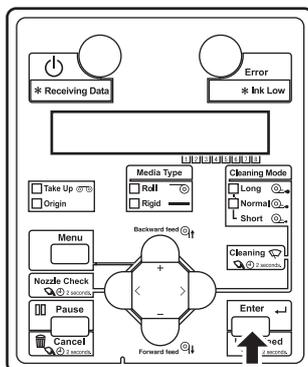
- クリーンスティックを使用して、キャップ外周に付着したインクやホコリを拭き取ります。



- メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。
- 続いて、デイリーメンテナンスを終了します。

5. デイリーメンテナンスを終了する

1. 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されています。
 - 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、元の位置に移動します。
 - プリンタが自動で微量クリーニングを行います。
 - クリーニング終了後、スリープモードに移行します。
2. クリーンスティックを廃棄します。
 3. スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
 4. プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。

注意

- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

5. 以上で、デイリーメンテナンスを終了します。

6.5.2 ヘッドクリーニング

印刷した画面がかすれたり、欠けたりするようになったら、プリントヘッド表面とノズルの清掃（ヘッドクリーニング）を行います。

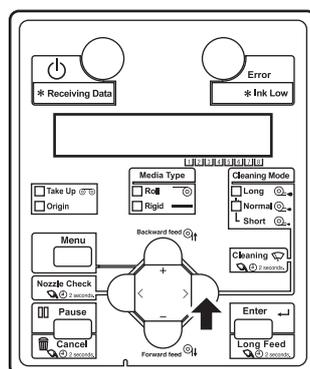
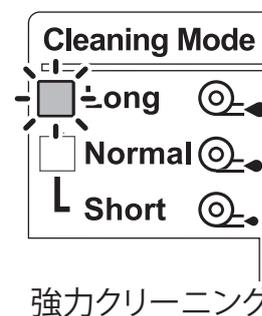
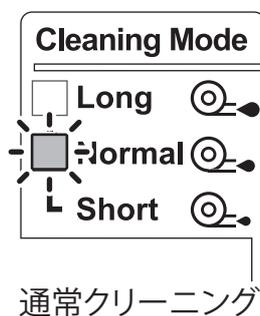
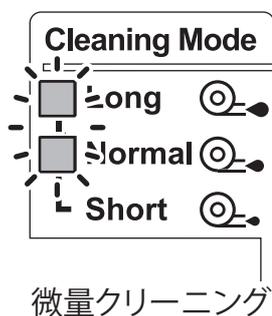
以下の手順に従って、ヘッドクリーニングを行ってください。

注 記

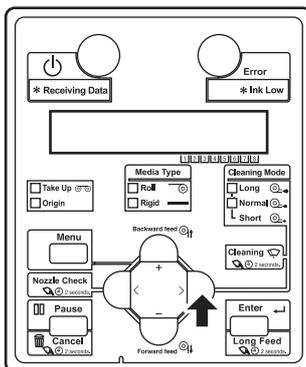
- ヘッドクリーニング時には、メディアを取り外してください。
メディアをセットしたままクリーニングを行うと、プリントヘッドとメディアが接触する可能性があります。
- ヘッドクリーニングを数回行っても、印刷のかすれ・欠けがなくなる場合は、デイリーメンテナンスを行った後に、再びヘッドクリーニングを行ってください。

6.5.3 各部の清掃

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. フロントメディアセットレバーが下がっている（リアメディアセットレバーが上がっている）ことを確認します。
3. 操作パネルの [>] キーを押して、クリーニングモードを選択します。



4. 操作パネルの [Cleaning] キーを 2 秒以上押し続けます。



- ヘッドクリーニングを開始します。
- 操作パネルに「クリーニング`チュウ` **%」と表示されます。
- ヘッドクリーニングが終了すると、操作パネルが通常状態に戻ります。

注 記

- 1 回のヘッドクリーニングで印刷のかすれ・欠けがなくならなかった場合には、Long クリーニングを行ってください。
- Long クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「[6.5.3 各部の清掃](#)」を行ってください。
- ヘッドクリーニングを数回行っても、印刷のかすれ・欠けがなくなる場合は、パネル設定メニューのクリーニングメニューから「微量充てん」または「初期充てん」を行なってください。
 [5.5 クリーニングメニュー](#)
- それでも問題が解決しない場合は「[7 トラブルシューティング](#)」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

6.5.3 各部の清掃

以下の場合に、各部の清掃を行ってください。

- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくなるとき
- スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

準備：

「[デイリーメンテナンスの準備](#)」を参照して、準備をしてください。

注 記

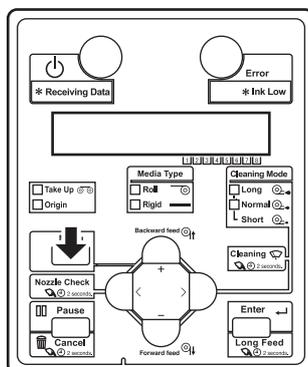
以下の手順は、メンテナンス後も印刷を行うときの手順です。

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、スリープモードにして、メンテナンスを行ってください。

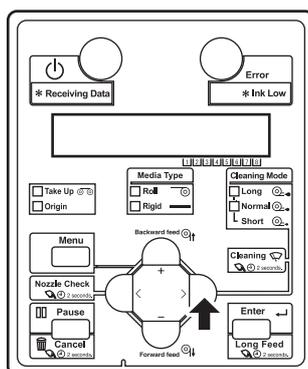
[6.5.1 デイリーメンテナンス](#)

1. デイリーメンテナンス状態にする

1. 印刷が終了していることを確認します。
2. 操作パネルの [Menu] キーを押します。

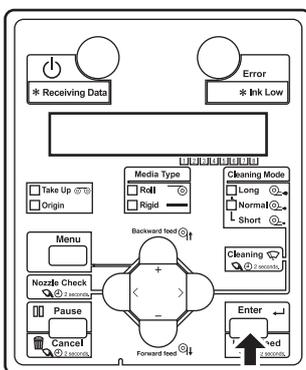


3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーで、「メニュー7：メンテナンス>」を選択します。
 - 操作パネルの [>] キーを押します。



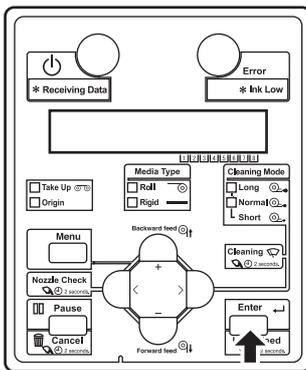
4. 操作パネルに「メンテナンス 1：デイリーメンテナンス」と表示されます。

- 操作パネルの [Enter] キーを押します。



5. 操作パネルに「デイリーメンテナンス：Start」と表示されます。

- 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
- 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されます。
- 各部の清掃を行います。

2. 各部の清掃を行う

清掃箇所と手順は、「6.5.1 デイリーメンテナンス」と同一です。

「**デイリーメンテナンスを行う**」を参照して、各部の清掃を行ってください。

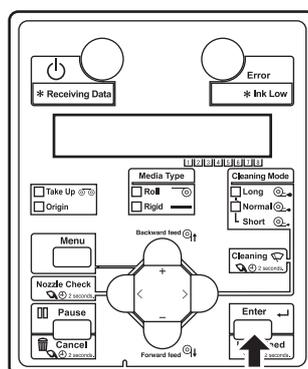
-  **1. UV ランプを清掃する**
-  **2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる**
-  **3. プリントヘッド周辺を清掃する**
-  **4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する**

注 記

デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 10 分以内です。

3. メンテナンスを終了する

1. 操作パネルに「デイリーメンテナンス： End」と表示されています。
 - 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- キャリッジとクリーニングワイパーが、元の位置に移動します。
 - プリンタが自動で微量クリーニングを行います。
2. クリーンスティックを廃棄します。
 3. スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
 4. プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。

▲ 注意

- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

5. 以上で、各部の清掃を終了します。

6.5.4 製品外装の清掃

(1) 清掃時期

月に1回

(2) 清掃手順

製品外装に付着したホコリや汚れは、柔らかい布を使って拭き取ってください。

6.5.5 製品内部の清掃

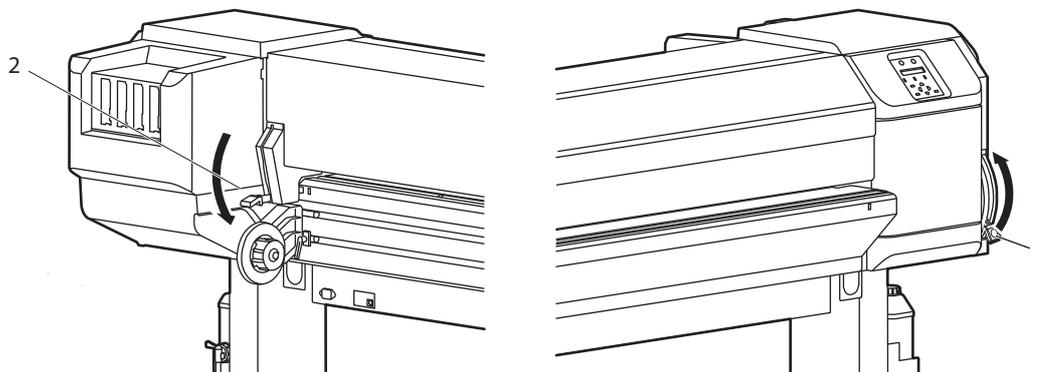
(1) 清掃時期

月に1回

(2) 清掃手順

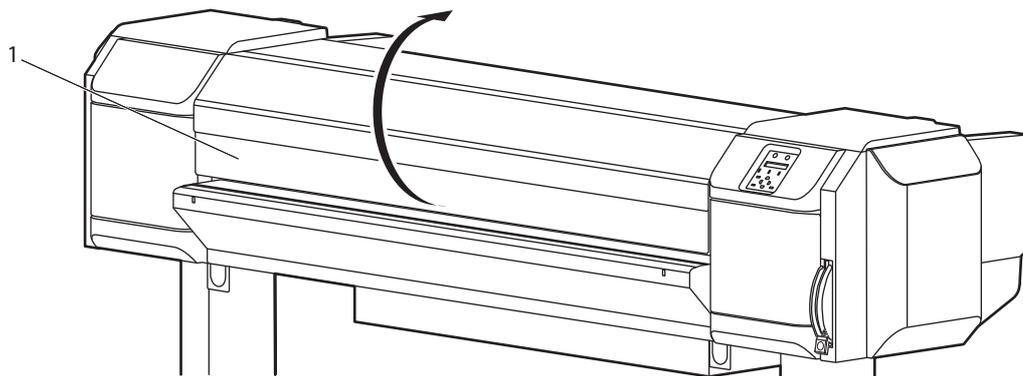
以下の手順に従って、清掃してください。

1. フロントメディアセットレバーを上げ（リアメディアセットレバーを下げ）ます。



番号	名称
1	フロントメディアセットレバー
2	リアメディアセットレバー

2. フロントカバーを開けます。

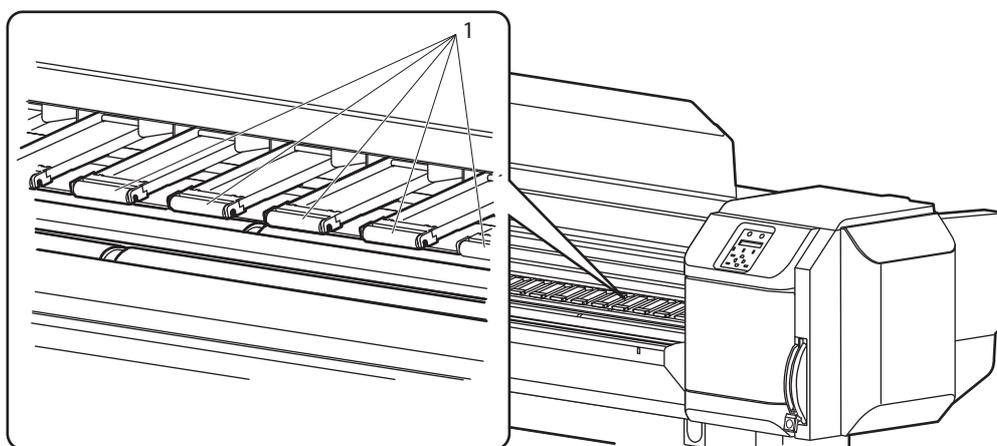


番号	名称
1	フロントカバー

3. 加圧ローラは、柔らかいブラシを使って、紙粉やホコリを払います。

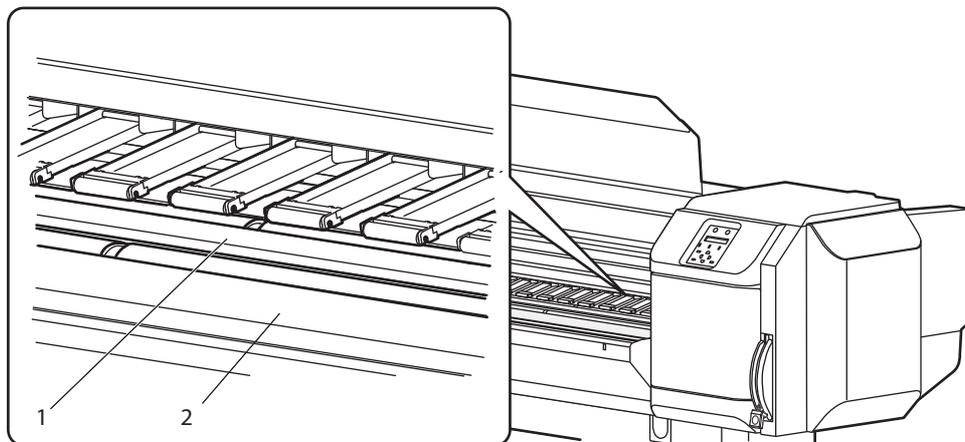
注 記

製品内部に付着した紙粉は、エアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
製品内部から異音が発生する場合があります。



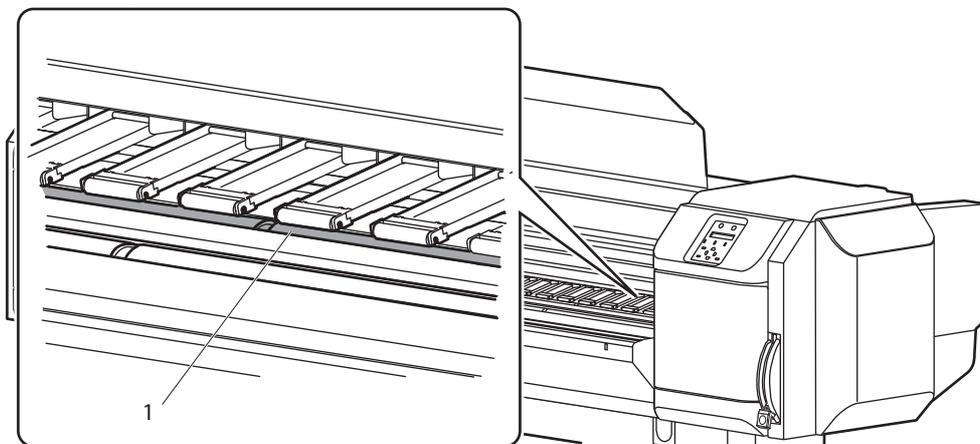
番号	名称
1	加圧ローラ

4. プラテンおよびメディアガイドは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、紙粉やインクなどの汚れを拭き取ります。



番号	名称
1	プラテン
2	メディアガイド

5. ゴムローラは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、ゴム部分と中央部の金属部分の汚れを落とします。
- 加圧ローラの真下のゴムローラを清掃してください。



番号	名称
1	ゴムローラ

6.6 廃液の処理

廃液の処理時期、処理方法について説明します。

(1) 処理時期

廃液は以下の場合に処理してください。

- a. 印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上貯まっている場合
- b. 操作パネルに「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

(2) 処理方法

以下の手順に従って、廃液を処理してください。

警告

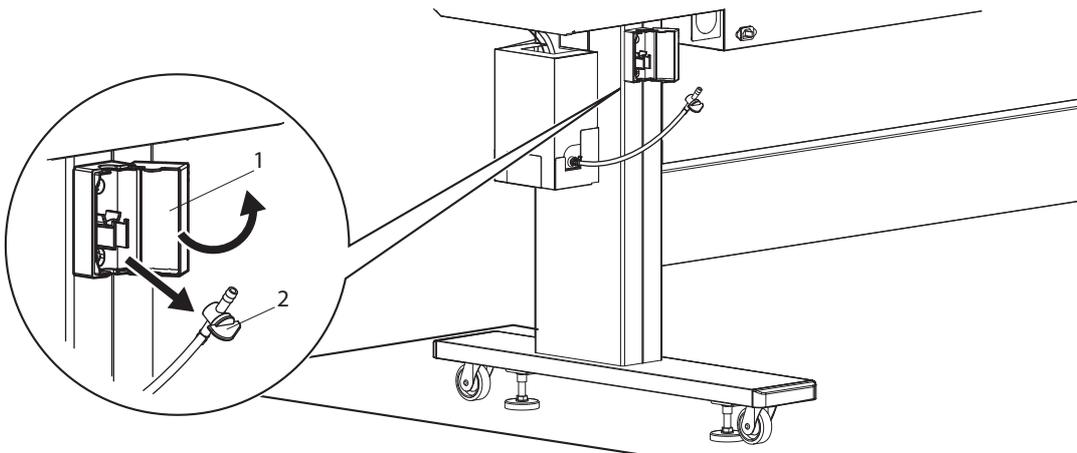
- プリンタから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

注意

- 作業を行うときは、必ず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。
UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や眼に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼と多量の水で 15 分間洗浄し、万一異常がある場合は医師の診断／手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。

1. サプライ廃液ボトルなどの、廃液を受ける空容器を用意します。
2. いらぬメディアなどを廃液タンクの下に敷きます。

3. 二方コックランプのカバーを開き、二方コックを取り外します。

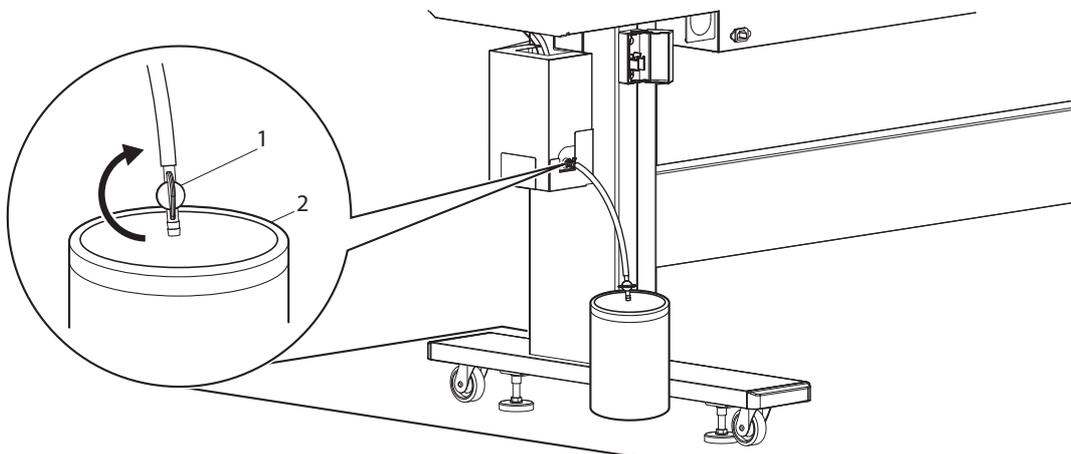


番号	名称
1	二方コックランプ
2	二方コック

4. 二方コックの先端を空容器に入れた後、二方コックを開き、空容器に廃液を移します。

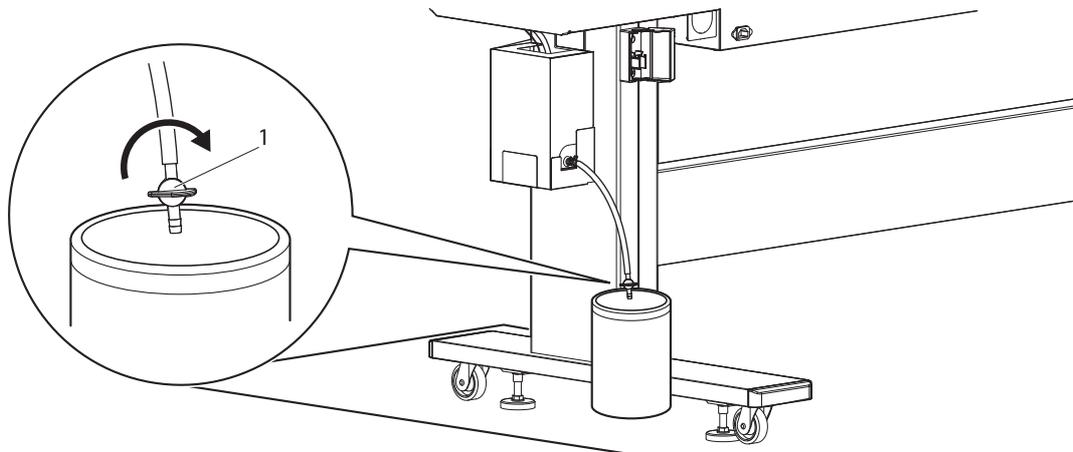
注 記

二方コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛び散ることがあります。二方コックの先端を空容器に入れて処理を行ってください。



番号	名称
1	二方コック
2	空容器

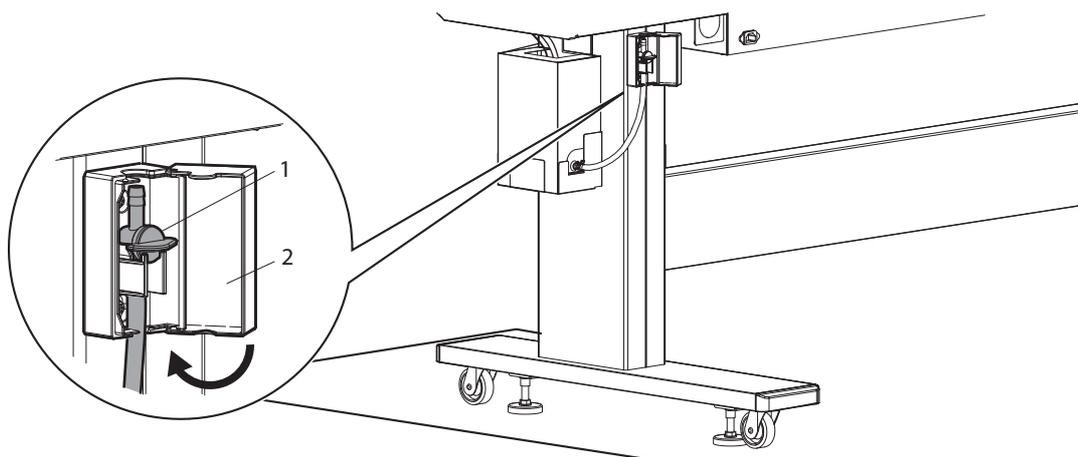
5. 廃液を空容器に移し終わったら、二方コックを確実に閉めます。



番号	名称
1	二方コック

6. 二方コックの口を布等で拭き取ります。

7. 二方コックを二方コッククランプに収納し、カバーを閉じます。



番号	名称
1	二方コック
2	二方コッククランプ

8. 廃液は産業廃棄物として処理します。

- 廃液の処理を終了します。

6.7 輸送

本製品の輸送方法について説明します。

⚠ 注意

- 製品は水平の状態を保ったまま移動してください。
- 製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
製品内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

6.7.1 輸送前の準備

(1) 輸送前の手順

以下の手順に従って本製品を輸送してください。

1. インク排出を行います。
☞ [5.7.3 インク排出](#)
2. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。
☞ [3.2.2 電源を OFF する方法](#)
3. 廃液を処理します。
☞ [6.6 廃液の処理](#)
4. 搬送台（オプション）が取り付けられている場合は、搬送台を取り外します。
☞ [3.5.3 搬送台（オプション）の取り外し](#)
5. 電源ケーブル等のケーブル類を全て取り外します。
6. 本製品を再梱包します。
 - 振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

注記

本製品の再梱包は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

(2) 輸送後の手順

輸送後は以下の手順に従って、本製品を使用可能な状態にしてください。

1. 設置に適した場所を確認します。
☞ 設置要領書
2. 設置場所に移動後、製品を固定します。
3. 電源ケーブル等のケーブル類を取り付けます。
☞ [3.1 電源ケーブルの接続](#)
☞ [3.8 コンピュータとの接続](#)
4. インクの初期充てんを行います。
☞ [6.7.2 インク排出後の初期充てん](#)
5. ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まり等がないか確認します。
☞ [3.6.1 ノズルチェック](#)
6. 画質微調整を行います。
☞ [3.6.6 ヘッド調整](#)

6.7.2 インク排出後の初期充てん

インク排出後は、起動時に初期充てんを行ってください。ただし、洗浄液による洗浄は必要ないため、「3.4 インクの初期充てん」とは手順が一部異なります。

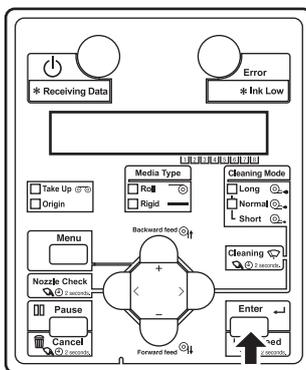
以下の手順で復帰時の初期充てんを行ってください。

1. 製品の電源を ON します。

図 3.2.1 電源を ON する方法

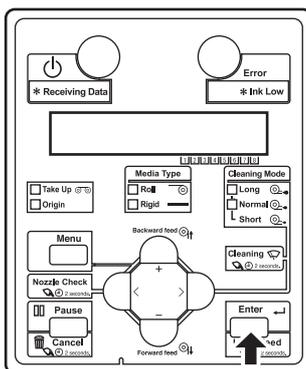
- 製品が初期動作を開始します。
- 初期動作終了後、操作パネルに「インクシ ュウテンカイシ ー > E n t e r」と表示されます。

2. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「ハイエキヲ カラニシテクダ`サイ ー > E」と表示されます。
- 廃液タンクを確認し、タンク内に廃液がある場合は空にします。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「インクカートリッジ`ヲ`セット」と表示されます。

4. インクカートリッジを用意します。

- 使用するインクカートリッジの種類と数量が、設定している使用インク色数によって異なります。

(1) インクの色数が 6 色の場合

- シアン (C) : 1 本
- マゼンダ (M) : 1 本
- イエロー (Y) : 1 本
- ブラック (K) : 1 本
- バーニッシュ (VA) : 2 本
- ホワイト (WH) : 2 本

(2) インクの色数が 4 色の場合

- シアン (C) : 2 本
- マゼンダ (M) : 2 本
- イエロー (Y) : 2 本
- ブラック (K) : 2 本

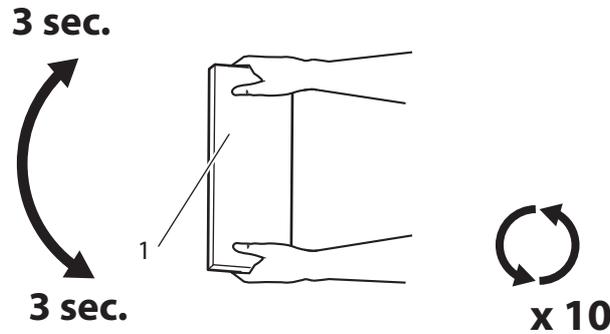
注 記

インクカートリッジは新品を使用してください。

インクが減ったカートリッジを使用すると、初期充電が中断する恐れがあります。

5. 以下の手順で新しいインクカートリッジを振ります。

- 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- 10回繰り返します。



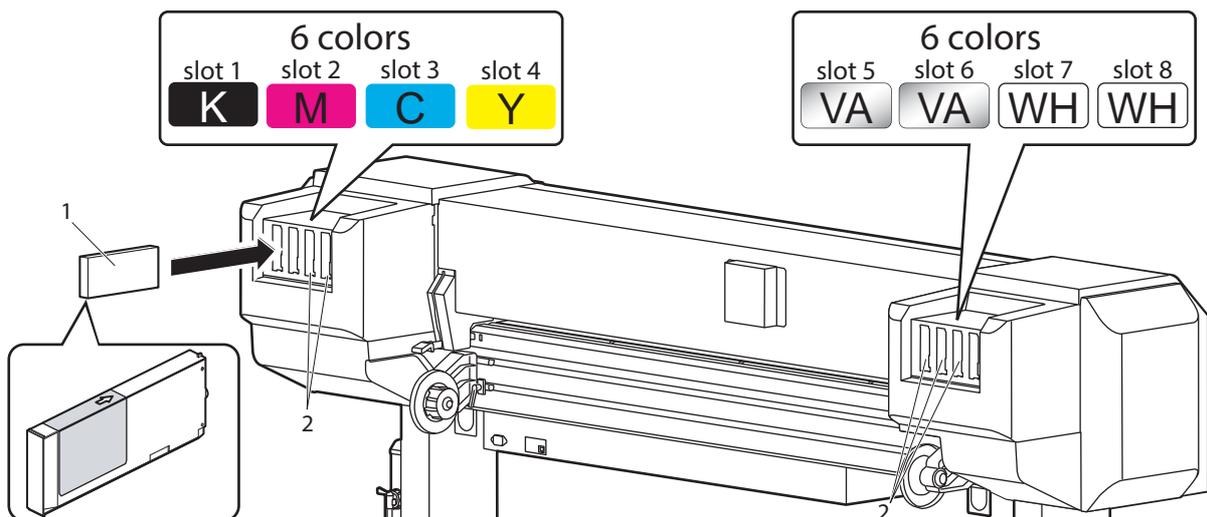
番号	名称
1	インクカートリッジ

6. インクカートリッジを、製品背面のインクカートリッジスロットに取り付けます。

注記

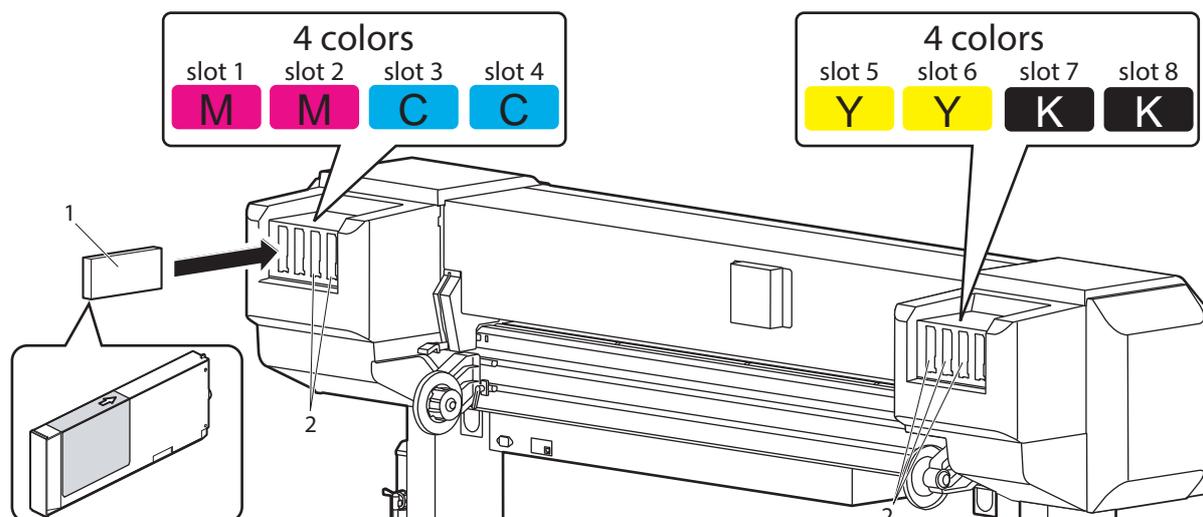
使用するインク色数によって、インク色とインクカートリッジスロットの対応関係が異なりますのでご注意ください。

(1) インクの色数が6色の場合



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

(2) インクの色数が4色の場合



番号	名称
1	インクカートリッジ
2	インクカートリッジスロット

- インク色表示ラベルでインク色とインクカートリッジスロットの対応を確認できます。
- インクカートリッジはインクカートリッジスロットの奥までしっかり挿入してください。
- インクカートリッジを取り付けると、操作パネルに「インクシ ユウテンチュウ * *%」と表示され、初期充電を開始します。
- 初期充電にはおおよそ 15 分間かかります。
- 初期充電中は、インク充電動作と休止動作を繰り返します。
- メッセージの「**」部が 100 になると、初期充電が終了します。
- 初期充電が終了すると、操作パネルに「メディアナシ」と表示されます。

⚠ 注意

- インク充電中は、以下のことを遵守してください。充電動作が中断するため、再充電によるインクの損失が発生します。
 - 製品の電源を OFF しないこと。
 - 製品の電源ケーブルを抜かないこと。
 - フロントカバーを開けないこと。
 - メンテナンスカバーを開けないこと。
 - フロントメディアセットレバーを上げない（リアメディアセットレバーを下げない）こと。

注 記

- 初期充てん終了直後にノズルチェック印刷を行うと、次のような現象が発生する場合があります。
 - 印刷した線がかすれる
 - 部分的に印刷されないこのような場合には、「[5.5 クリーニングメニュー](#)」に従って、微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
- 微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、「[8.4 お問い合わせ先](#)」までご連絡ください。

7 トラブルシューティング

この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。

この章の内容のどの項目にも当てはまらないエラーが発生する場合は、「[8.4 お問い合わせ先](#)」までご連絡ください。

注 記

製品保証サービスを受ける場合は、保証書をご用意ください。
保証書の提示がない場合、保証期間内であっても保証対象外（有償修理）となります。
保守サービス契約を締結されている場合は、契約書等をご用意ください。

7.1 製品の異常・故障

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

7.1.1 設置・導入時のトラブル

(1) インクの初期充電ができない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、フロントメディアセットレバーが上がって（リアメディアセットレバーが下がって）いませんか？	フロントカバーを閉じ、フロントメディアセットレバーを下げ（リアメディアセットレバーを上げ）てください。	☞ 3.5 メディアの取り付け
2	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 2.2 各部の名称と機能
3	インクカートリッジをプリンタに奥まで確実に差し込んでいますか？	インクカートリッジを全て確実に差し込んでください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
4	廃液センサケーブルは差し込まれていますか？	廃液センサケーブルを廃液センサコネクタに正しく差し込んでください。	☞ 設置要領書

(2) 初期充電してもインクが出ない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクカートリッジは冷えて凍っていませんか？	最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。	☞ 6.5.2 ヘッドクリーニング
2	初期充電中に電源を切りませんでしたか？	再度電源を入れ初期充電を継続してください。	☞ 3.4 インクの初期充電
3	初期充電後ごくまれに正常に印刷できない場合があります。	微量充電を行ってください。	☞ 5.5 クリーニングメニュー

7.1.2 全く印刷しない場合

(1) 電源投入後まったく動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	電源ケーブルはつながっていますか？	電源ケーブルをつないでください。	☞ 3.1 電源ケーブルの接続
2	AC電源は規定の電圧になっていますか？	他のコンセントに接続してください。	☞ 3.1 電源ケーブルの接続

番号	考えられる要因	対策	参照
3	フロントカバーが開いていたり、フロントメディアセットレバーが上がって（リアメディアセットレバーが下がって）いませんか？	フロントカバーを閉じ、フロントメディアセットレバーを下げ（リアメディアセットレバーを上げ）てください。	☞ 3.5 メディアの取り付け
4	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 2.2 各部の名称と機能

(2) メディアをセットしても動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、フロントメディアセットレバーが上がって（リアメディアセットレバーが下がって）いませんか？	フロントカバーを閉じ、フロントメディアセットレバーを下げ（リアメディアセットレバーを上げ）てください。	☞ 3.5 メディアの取り付け
2	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 2.2 各部の名称と機能
3	メディアを斜めにセットしていませんか？	メディアをまっすぐにセットしてください。	☞ 3.5 メディアの取り付け
4	インクカートリッジをプリンタに奥まで確実に差し込んでいますか？	インクカートリッジを全て確実に差し込んでください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
5	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書

(3) コンピュータからデータを送るとプリンタ側でエラーが出て印刷しない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	コンピュータ側の機種を選択は合っていますか？	コンピュータ側とプリンタ側の機種の設定が合っているか確認してください。	☞ 3.8 コンピュータとの接続
2	コンピュータ側とプリンタ側のインターフェイス条件やコマンドモードは合っていますか？		

(4) LAN でオンラインできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ネットワーク・インターフェイスケーブルはきちんと接続していますか？	クロスケーブル、ストレートケーブルの種類を確かめてから、ネットワーク・インターフェイスケーブルをきちんと接続してください。	☞ 3.8.4 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続
2	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワーク設定を正しく設定してください。	☞ 3.8.5 IP アドレスの設定 ☞ 3.8.7 ゲートウェイの設定

番号	考えられる要因	対策	参照
3	プリンタのネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	製品のネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	☞ 3.8.1 システム条件の確認
4	コンピュータより印刷データを送ると、操作パネルの Power ランプは点滅しますか？	Power ランプが点滅しない場合は、コンピュータメーカーに連絡してください。	—

7.1.3 メディアに関するトラブル

(1)メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる

注 記

詰まったり、破れたりしたメディアは、[7.3 メディアが詰まった場合](#)に従って取り除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアをセットする位置は合っていますか？	メディアを正しくセットしてください。	☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
2	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞ 3.5.4 ロール紙の取り付け
3	加圧ローラにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 6.5.5 製品内部の清掃
4	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
5	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？	メディアを交換してください。	☞ 4.2.2 メディアの取り扱い上の注意
6	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？	吸着ファンメニューを設定してください。	☞ 5.2.2.4 吸着ファンメニュー
7	メディア厚さの値は適切ですか？	メディア厚さ検出を行うように再設定して、メディアをセットしなおしてください。	☞ 5.2.2.7 メディア検出メニュー

(2)メディアイニシャル中にメディアがシワになる

注 記

詰まったり、破れたりしたメディアは、「7.3 メディアが詰まった場合」に従って取り除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアをセットする位置は合っていますか？	メディアを正しくセットしてください。	☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
2	メディアを斜めにセットしていませんか？	メディアを真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
3	加圧ローラにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 6.5.5 製品内部の清掃
4	プリンタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
5	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？	メディアを交換してください。	☞ 4.2.2 メディアの取り扱い上の注意

(3)メディアイニシャルでメディアサイズを間違えている

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアを斜めにセットしていませんか？	メディアを真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
2	メディアをセットしたとき、カール癖が上側になっていませんか？	メディアのカール癖を取り除くか、新しいメディアをセットしなおしてください。	☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
3	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 3.5.4 ロール紙の取り付け
4	一度印刷したメディアを再度使用していませんか？	新品のメディアを使用してください。	☞ 4.2.1 取り付け可能なメディア
5	メディア厚さの値は適切ですか？	メディア厚さ検出を行うように再設定して、メディアをセットしなおしてください。	☞ 5.2.2.7 メディア検出メニュー

(4)メディア詰まりが頻発する

番号	考えられる要因	対策	参照
1	指定環境以外で使用していませんか？	指定環境内で使用してください。	☞4.2.2 メディアの取り扱い上の注意
2	古いメディアを使用していませんか？	新しいメディアに交換してください。	☞6.4.2 ロール紙の交換
3	メディアに折り目、シワ等がありませんか？		
4	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？	吸着ファンメニューを設定してください。	☞5.2.2.4 吸着ファンメニュー

(5)印刷中にメディアが斜行する

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアをセットする位置は合っていますか？	メディアを正しくセットしてください。	☞3.5.5 ロール紙のセット方法
2	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞3.5.4 ロール紙の取り付け

7.1.4 印刷に関するトラブル

(1)部分的に印刷が汚れたり、抜けたりする

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアが湿気を含んでいませんか？	新しいメディアに交換してください。	☞6.4.2 ロール紙の交換
2	折り目、シワのあるメディアを使用していませんか？		
3	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？	吸着ファンメニューを設定してください。	☞5.2.2.4 吸着ファンメニュー

(2)印刷はするが、描く位置がおかしい（描けないところがある）

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアをセットする位置は合っていますか？	メディアを正しくセットしてください。	☞3.5.5 ロール紙のセット方法
2	原点や書き出し位置は、設定していませんか？	原点や書き出し位置の設定を解除するか、または再設定してください。	☞5.3.4 原点設定メニュー

(3) 印刷した線がにじむ

番号	考えられる要因	対策	参照
1	メディアの印刷面に印刷していますか？	メディアの印刷面を確認して正しくセットしてください。	図 3.5.5 メディアの取り付け
2	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	図 3.6.6 ヘッド調整
3	メディア送り補正を行ってみましたか？	メディア送り補正を行ってください。	図 4.2.6 メディア送り補正

(4) 印刷に白スジや黒スジが出る

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	図 3.5.4 ロール紙の取り付け
2	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	図 6.5.2 ヘッドクリーニング
3	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	図 3.6.6 ヘッド調整
4	メディア送り補正を行ってみましたか？	メディア送り補正を行ってください。	図 4.2.6 メディア送り補正

(5) 印刷した線が繋がらない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	図 3.6.6 ヘッド調整
2	メディア送り補正を行ってみましたか？	メディア送り補正を行ってください。	図 4.2.6 メディア送り補正

(6) 印刷線が二重になる、印刷結果がかすれる

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	図 6.5.2 ヘッドクリーニング

7.2 表示の詳細

ここでは、本製品の正常動作時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

7.2.1 動作状態表示

本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

番号	表示	内容	参照
1	サクカ`テ`キマス	待機中（メディアはセットされています）。	—
2	メテ`ィア`ナシ	待機中（メディアはセットされていません）。	[図] 3.5 メディアの取り付け
3	テ`ータシ`ュシンチュウ	データ受信中です。	—
4	テ`ータカイセキチュウ	データ解析中です。	—
5	テ`ータサクカ`チュウ	印刷中です。	—
6	インサツノコリ ***. * m	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。	[図] 4.4.6 印刷中の常駐表示
7	ノコリシ`カン **** m i n	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。	[図] 4.4.6 印刷中の常駐表示
8	クリーニング`チュウ **%	ヘッドクリーニング中です。しばらくお待ちください。	[図] 6.5.2 ヘッドクリーニング
9	ヘッド`センシ`ョウチュウ	<ul style="list-style-type: none"> 初期充てんで洗浄液の充てんおよび排出を行っています。 ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。 	[図] 5.7.3 インク排出
10	ゲ`ンテンニイト`ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。しばらくお待ちください。	[図] 5.3.4 原点設定メニュー
11	**ハ`ラメータシヨキカチュウ**	初期化メニューで、設定値の初期化中です。しばらくお待ちください。	—
12	**2ヒ`ョウ`オシツツ`ケル**	[Clening] キーまたは [Nozzle Check] キーを押していた時間が2秒未満でした。再度キーを2秒以上押し続けてください。	[図] 2.2.3 操作パネル
13	[*****] S / C リート`チュウ	S/C カードの読み取り中です。	—
14	インクシ`ュンカンチュウ	プリンタ内でインクが循環中です。	—
15	ワイパ`ーヲ`トリツケマシタカ？ -> イイエ	クリーニングワイパーをセットしてください。	[図] 3.4.1 初期充てんの詳細

番号	表示	内容	参照
16	ワイパー トリツケマシタカ？ → ハイ	クリーニングワイパーがセットされていることを確認し、[Enter] キーを押してください。	☞ 3.4.1 初期充てんの詳細
17	インクシ ュウテンカイシ → Enter	インク充てんを開始します。 [Enter] キーを押してください。	☞ 3.4 インクの初期充てん ☞ 5.7 メンテナンスメニュー
18	インク クミアワセ： *シヨク	使用したいインク種類を4色または6色から選んでください。	☞ 3.4 インクの初期充てん
19	センシ ョウカートリッジ ヲ セット	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取り付けてください。	☞ 5.7.3 インク排出
20	カートリッジ ヲヌイテクダ サイ	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取り外してください。 インク排出中です。 インクカートリッジを抜いてください。 	☞ 5.7.3 インク排出
21	インクカートリッジ ヲ セット	インク充てん中です。 インクカートリッジを取り付けてください。	☞ 3.4 インクの初期充てん
22	インクシ ュウテンチュウ **%	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。	☞ 3.4 インクの初期充てん
23	メデ ィアヲセットシテクダ サイ	フロントメディアセットレバーが上がっているか、リアメディアセットレバーが下がっています。 メディアをセットしてください。	☞ 3.5.2 リジッドメディアのセット ☞ 3.5.5 ロール紙のセット方法
24	ユーザ : Type ** OK?	メディア検出動作を開始します。 <ul style="list-style-type: none"> このユーザ定義を使用する場合は、[Enter] キーか [Cancel] キーを押すか、しばらくお待ちください。 ユーザ定義を変更する場合は、[+] キーまたは [-] キーで変更します。 	☞ 3.5.6 ユーザ定義の設定手順
25	ヘンコウ： *. * mm →	<ul style="list-style-type: none"> メディア厚さ検出で測定された、ヘッド高さの設定値が表示されています。 設定値を変更する場合は、[+] キーまたは [-] キーで変更します。 	☞ 3.5.6 ユーザ定義の設定手順
26	アツサ+ホセイ： *. * +〇.〇	ヘッド高さの設定値 (*, *) と、入力した補正值 (〇.〇) が、それぞれ表示されています。	☞ 3.5.6 ユーザ定義の設定手順
27	メデ ィア イニシャル チュウ	メディア検出動作中です。	☞ 3.5.6 ユーザ定義の設定手順
28	Warning! *. * mm	メディア厚さ検出が Off になっています。 <ul style="list-style-type: none"> セットしているメディアの厚さが表示通りか確認し、間違っている場合は正しい数値を入力してください。 	☞ 3.5.6 ユーザ定義の設定手順 ☞ 3.5.7.2 メディア厚検出の設定が Off の場合

番号	表示	内容	参照
29	ロールシ サ`ンリョウ エラー	ロール紙の残量カウントがゼロになりました。印刷を停止します。	☞ 5.3.11.2 作画 停止メニュー
30	ロールシ ニアエント` : * m	ロール紙の残量カウントがもうすぐゼロになります。ロール紙の残量は* m です。	☞ 5.3.11.3 ニア エンドメニュー
31	ハイエキヲ カラニシテクタ` サイ -> E	廃液タンクの廃インクを容器に移し、 [Enter] キーを押してください。	☞ 6.6 廃液の処理
32	Misuse Damage Unit >	誤ったメディア厚さの設定はプリント ヘッドを損傷する恐れがあることを警告 しています。 • 次に進むには操作パネルの [>] キー を長押しします。	☞ 3.5.6 ユーザ定 義の設定手順 ☞ 3.5.7.2 メディ ア厚検出の設定が Off の場合
33	< E > Skip, < CAN > Detect	• メディア厚さの検出をスキップする場 合は、操作パネルの [Enter] キーを押 します。 • メディア厚さを検出する場合は、操作 パネルの [Cancel] キーを押します。	☞ 3.5.6 ユーザ定 義の設定手順 ☞ 3.5.7.2 メディ ア厚検出の設定が Off の場合

参 考

オプション機能用の表示で、Authorization Code による設定値が表示される場合があります。
詳細については以下のいずれかにお問い合わせください。

- お買い求めの MUTOH 製品取扱店
- MUTOH 各営業所
☞ 8.4 お問い合わせ先

7.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合、エラーの原因を取り除くと、メッセージ型エラーは復旧し、本製品は動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	カバーオープン	フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じてください。	☞3.5 メディアの取り付け
2	メンテナンスカバー L オープン	製品左側のメンテナンスカバーが開いています。	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞2.2 各部の名称と機能
3	メンテナンスカバー R オープン	製品右側のメンテナンスカバーが開いています。	メンテナンスカバーを閉じてください。	
4	メディアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました。 (動作を停止します)	メディアをセットし直してください。	☞3.5 メディアの取り付け
5	メディアシャコウエラー	メディアが斜行しました。 (動作を停止します)	メディアをセットし直してください。	☞3.5 メディアの取り付け
6	メディアエンド	メディアがなくなりました。 (動作を停止します)	新しいメディアをセットしてください。	☞6.4.2 ロール紙の交換
7	サクカ シュウリョウ メディアエンド	メディアがなくなりました。 (動作を停止します) 印刷は最後まで終了しました。	続けて印刷をする場合は、新しいメディアをセットしてください。	☞3.5 メディアの取り付け
8	メディアサイズ カク ニン メディアエンド	印刷の途中で、メディアがなくなりました。 (動作を停止します)	新しいメディアをセットしてください。	☞3.5 メディアの取り付け
9	[*****] インクスクナイ	インクの残量が少なくなりました。 (動作を継続します)	新しいインクカートリッジに交換してください。	☞6.4.1 インクカートリッジの交換
10	[*****] インクナシ	インクがなくなりました。 (動作を停止します)	新しいインクカートリッジに交換してください。	☞6.4.1 インクカートリッジの交換
11	[*****] カートリッジ ナシ	インクカートリッジが挿入されていません。 (動作を停止します)	インクカートリッジを挿入してください。	☞6.4.1 インクカートリッジの交換
12	[*****] ミジ ユウテン	インクが充てんされていません。	初期充てんを行ってください。	☞3.4 インクの初期充てん
13	ハイエキタンク マン タン	廃液タンクが満タンになりました。 (動作を停止します)	廃液を処理してください。	☞6.6 廃液の処理
14	シ ュミョウ カクニ ン [ポンプ]	ポンプモーターの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞8.4 お問い合わせ先

番号	表示	内容	対策	参照
15	シ ュミョウ カクニン [CR モータ]	CR モーターの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☎ 8.4 お問い合わせ先
16	シ ュミョウ カクニン [PF モータ]	PF モーターの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☎ 8.4 お問い合わせ先
17	シ ュミョウ カクニン [C ホ ン プ °]	循環ポンプモーターの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☎ 8.4 お問い合わせ先
18	シ ュミョウ カクニン [UV ランプ ° L]	UV ランプ L の寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☎ 8.4 お問い合わせ先
19	シ ュミョウ カクニン [UV ランプ ° R]	UV ランプ R の寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☎ 8.4 お問い合わせ先
20	[*] フ ラク ° コウカ ン	大容量パックアダプタのアダプタープラグが使用限界になりました。	大容量パックアダプタのアダプタープラグを交換してください。	☎ 大容量パックアダプタの取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交換」
21	シ ュミョウ ケイコク [C ホ ン プ °]	循環ポンプの交換が必要です。 サービス窓口に部品の交換を依頼してください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブザーを停止するには、[Enter] キーまたは [Cancel] キーを押してください。 2. 「メンテナンスコール シマシタカ？」と表示されますので、操作パネルの [+] [-] キーで [ハイ] [イイエ] を選択してください。 3. [Enter] キーを押します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ハイ] を選択した場合は、「サクガデキマス」が表示されます。手順を終了します。 • [イイエ] を選択した場合は、「マモナク ショウデキナクナリマス」と表示されます。手順 4 に進みます。 4. [Enter] キーを押すと、「サクガデキマス」が表示されます。 	☎ 8.4 お問い合わせ先

番号	表示	内容	対策	参照
22	フゝヒン コウカン [C ホゝンフゝ]	循環ポンプが部品寿命に達しました。部品が交換されるまで、操作パネルからの操作ができなくなります。	1. ブザーを停止するには、 [Enter] キーまたは [Cancel] キーを押してください。 2. サービス窓口に部品の交換を至急依頼してください。 • この状態になると自動メンテナンス機能が働かないため、部品交換後のプリンタの動作保障はできません。	☞ 8.4 お問い合わせ先
23	[****] S / C リードエラー	S/C カードの読み取りに失敗しました。	インクカートリッジを挿し直してしてください。それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
24	[*****] S / C ニンシキ エラー	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。	対象のインクカートリッジを挿し直してください。それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。	☞ 7.4.1 「[****] S / C ニンシキ エラー」が表示された場合
25	[****] カラーカクニオン → E	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。	正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿入し直してください。 • 正しいインクカートリッジが挿入されている場合、Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。	☞ 7.4.2 「[****] カラーカクニオン → E」が表示された場合
26	[****] S / C カラー エラー	インクカートリッジが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。	インクカートリッジを正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
27	[*] S / C インク エラー	本製品で使用できない種類のインクです。	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
28	[*] S / C コードエラー	適切でないインクカートリッジが挿入されています。	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	☞ 8.4 お問い合わせ先

番号	表示	内容	対策	参照
29	[*] ハゾンシタ チップ ^o	スマートチップが破損しています。	新しいインクカートリッジに交換してください。	☞ 6.4.1 インクカートリッジの交換
30	[*****] インクカクニン	インクカートリッジが正しく認識できませんでした。	インクカートリッジを挿入し直してください。復帰しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	☞ 8.4 お問い合わせ先
31	サクカ ^o テ ^o キマス / P F センサエラー	PF 原点センサが搬送原点位置を検出できませんでした。	印刷は可能ですが、印刷品質は保証できません。問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	☞ 8.4 お問い合わせ先
32	W カートリッジ ^o フツテクタ ^o サイ	ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。	ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。	☞ 6.2 インクカートリッジを振る
33	KMCY カートリッジ ^o フツテクタ ^o サイ	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジを振ってください。	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジを振ってください。	
34	ALL カートリッジ ^o フツテクタ ^o サイ	すべてのインクカートリッジを振ってください。	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジを振ってください。	
35	KMCYW カートリッジ ^o フツテクタ ^o サイ	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (WH) のインクカートリッジを振ってください。	
36	テ ^o イリーメンテナンスシテクタ ^o サイ	前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。	デイリーメンテナンスを行ってください。	☞ 6.5.1 デイリーメンテナンス

注 記

- エラー表示の [*****] は警告対象のスロット番号を示します。すべてのスロット番号が該当する場合は [ALL] と表示されます。
- インク無しとカートリッジ無しが同時に発生したときはカートリッジ無し表示を優先します。

7.2.3 データエラー表示と対処方法

データエラーとは、コンピュータと本製品とのデータ通信上の障害が発生した場合に表示されます。

データエラーが発生すると、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取り除くと、データエラーは復旧し、本製品は印刷動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	I **** エラー []	データ受信中にエラーが発生しました。	プリンタとコンピュータとの通信条件を確認してください。	 4.3 操作パネルのメニュー設定

注 記

エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

7.2.4 コマンドエラー表示と対処方法

コマンドエラーとは、コンピュータから本製品に送信されたコマンドデータの解析中に、何らかの障害が発生した場合に表示されます。

コマンドエラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取り除くと、コマンドエラーは復旧し、本製品は印刷動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	MH ** エラー []	コンピュータから不正なコマンドデータが送信されました。	コンピュータとプリンタのコマンド設定が合っているか確認してください。	図 4.3 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

7.2.5 再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 本製品の駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 本製品の電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 本製品の制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。

連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

番号	表示	内容	対策	参照
1	E ***エラー ○○○ ○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取り除いてください。 2. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 3. プリンタの電源をオフにして、10 秒以上たってから再度電源をオンにしてください。 	<p>【7.3 メディアが詰まった場合</p> <p>【6.4 消耗品の交換</p>

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

7.3 メディアが詰まった場合

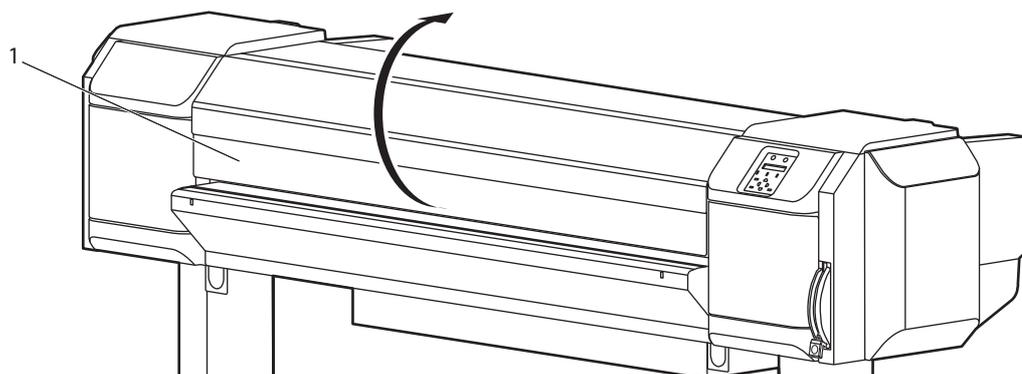
セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、メディアを取り除いてください。

7.3.1 リジッドメディアを取り除く方法

リジッドメディアが詰まった場合は、「[8.4 お問い合わせ先](#)」へお問い合わせください。

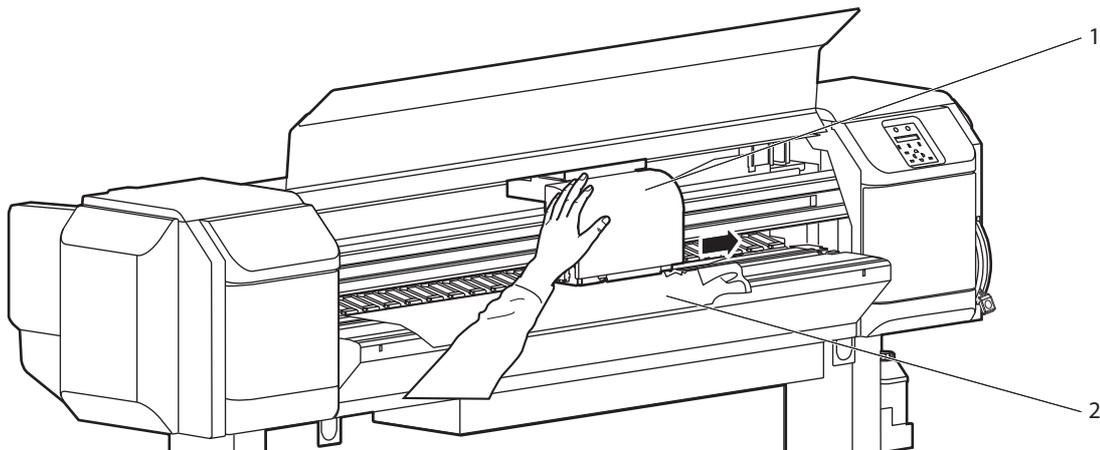
7.3.2 ロール紙を取り除く方法

1. 製品の電源を OFF します。
☞ [3.2.2 電源を OFF する方法](#)
2. フロントカバーを開けます。



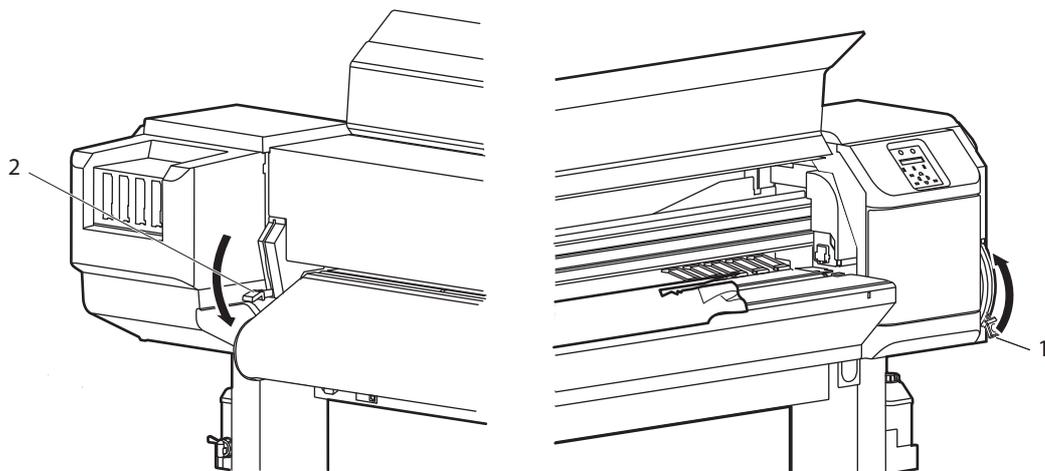
番号	名称
1	フロントカバー

3. プリントヘッド部をメディア上から右へ移動させます。



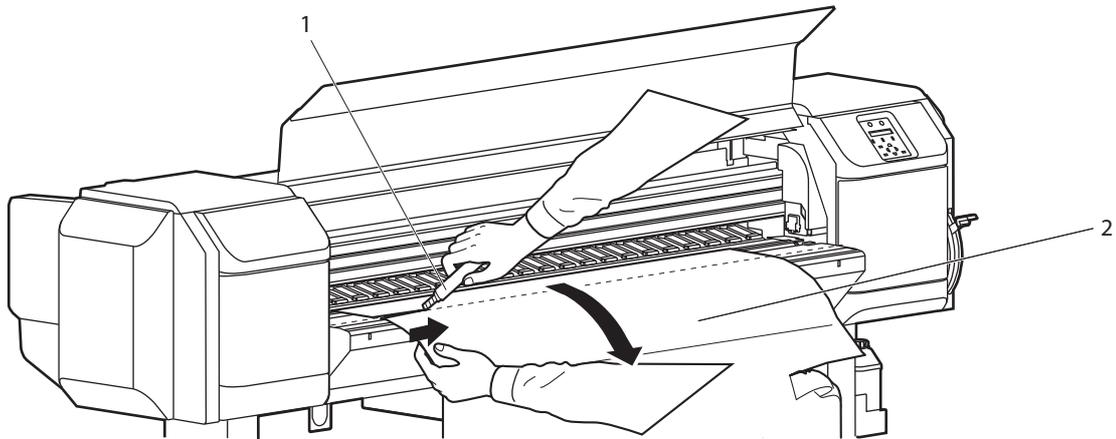
番号	名称
1	プリントヘッド部
2	ロール紙

4. フロントメディアセットレバーを上げます (リアメディアセットレバーを下げます)。



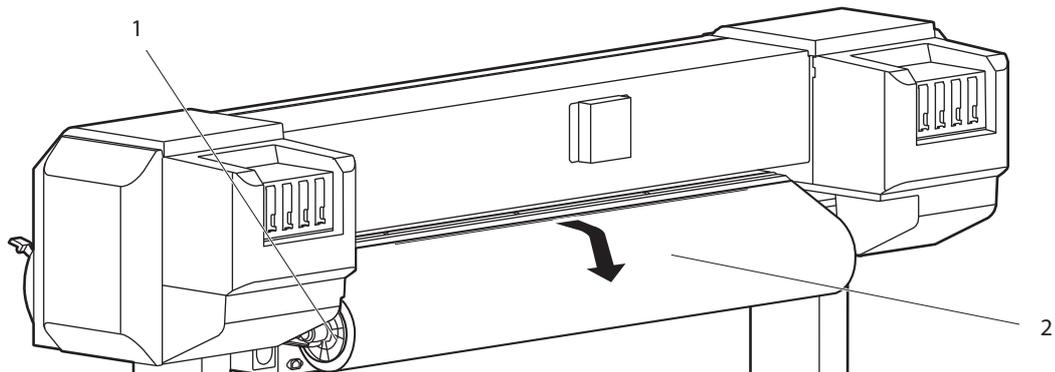
番号	名称
1	メディアセットレバー

5. メディアを手前側に引き出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。



番号	名称
1	カッターナイフ
2	ロール紙

6. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻き取ります。



番号	名称
1	フランジ
2	ロール紙

7. 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除きます。

7.4 スマートチップリカバリー

操作パネルに以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

- [*****] S / C ニンシキ エラー
- [****] カラーカクニン → E

上記のエラーメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、以降の操作を行ってください。

7.4.1 「[*****] S / C ニンシキ エラー」が表示された場合

対象のインクカートリッジを挿し直してください。それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。

- インクカートリッジを挿し直して、新たに「[****] カラーカクニン → E」が表示された場合は、「7.4.2 「[****] カラーカクニン → E」が表示された場合」に従って操作してください。

7.4.2 「[****] カラーカクニン → E」が表示された場合

正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。

- 間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿し直してください。
- 正しいインクカートリッジが挿入されている場合、**Enter** キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。

注 記

- スマートチップリカバリー実行中はインク量インジケータおよびインクステータメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。
🔍 [2.2.4.1 インジケータ表示の内容](#)、[5.3.14 インクステータメニュー](#)

8 付録

この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザサポートについて説明します。

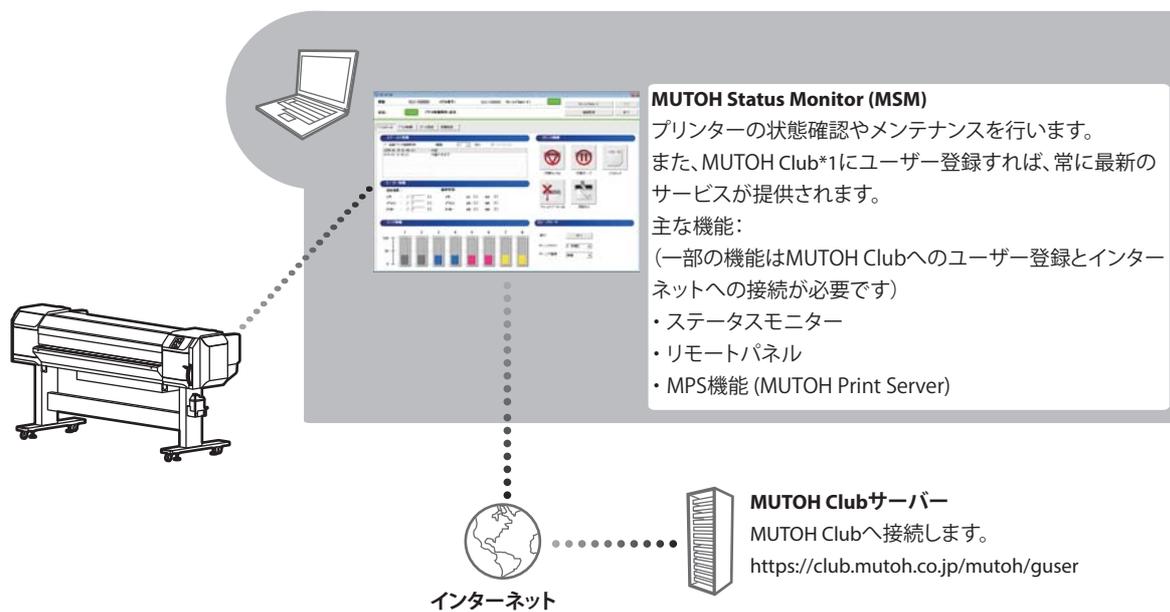
8.1 製品仕様

8.1.1 本体仕様

項目		仕様
型式名称		VJ-1638UH2
印刷方式		オンデマンドピエゾ駆動方式
駆動方式		ファームウェアサーボ/DCモータ駆動
メディア搬送方式		多点加圧グリッドローラ方式
メディア固定方式		手動レバーによる加圧ローラダウン方式
メディア給排紙		ロール紙：後方給紙/前方排紙 リジッドメディア：後方給紙/前方排紙
リジッドメディア	重量	15 kg 以下
	最大長さ	1,200 mm
	最大幅	1,625 mm
	最大厚さ	15 mm (反り 1 mm 以下)
	最大印刷幅	1,615 mm
ロール紙	外径	150 mm 以下
	紙管径	2 インチまたは 3 インチ
	重量	30 kg 以下
	最大幅	1,625 mm
	最大厚さ	0.5 mm
	最大印刷幅	1,615 mm
印刷マージン		<リジッドメディア> 前：最大 5 mm (レイヤー印刷時 30 mm)、後：最大 40 mm、左：5 mm ~ 80 mm、右：5 mm ~ 80 mm <ロール紙> 前：最大 15 mm (レイヤー印刷時 40 mm) (連続印刷時 5 mm)、後：5 mm (メディア終端は最大 40 mm)、左：5 mm ~ 80 mm、右：5 mm ~ 80 mm
メディアカット方式		横切りマニュアルカット方式
ヘッド高さ調整		自動高さ調整
CPU		64Bit RISC CPU
メモリ		384MB
コマンド		MH-RTL (RTL-PASS)
インターフェイス		Ethernet (100BASE-TX/1000BASE-T)
インク	供給方式	各色の独立インクカートリッジからのチューブ供給方式
	インクカートリッジ	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ：各色 220 ml

項目		仕様
環境条件	動作環境	温度：20°C～32°C 湿度：40%～60%、結露なきこと
	印刷精度保証範囲	温度：22°C～30°C 湿度：40%～60%、結露なきこと
	変化率	温度：1時間あたり2°C以内 湿度：1時間あたり5%以内
	保存環境（インク未充てん時）	温度：-20°C～60°C 湿度：20%～80%、結露なきこと 保存期限：6ヶ月以内
	保存環境（インク充てん時）	温度：5°C～30°C 湿度：20%～80%、結露なきこと 保存期限：30日以内（取扱説明書記載のメンテナンス作業を行うこと）
電源	定格電圧	AC 100V
	電圧入力範囲	90V - 132V
	周波数	50Hz / 60Hz ± 1Hz
消費電力	印刷時	最大 770 W
	待機時	48 W 以下
外形寸法	高さ	1,261 mm（専用スタンド含む）
	幅	2,983 mm
	奥行き	2,730 mm（搬送台含む） 818 mm（本体のみ）
質量		約 197 kg（専用スタンド含む）

8.1.2 システム構成

***1 MUTOH Club**

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。
 ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能：

- ・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- ・メディアプロファイルのダウンロード
- ・プリンター状態の確認
 (MSMのプリンター情報提供サービス使用時)

8.2 インターフェイス仕様

本製品でサポートしている各種インターフェイスの仕様について説明します。

8.2.1 ネットワーク・インターフェイス仕様

項目	仕様
ネットワークタイプ	Ethernet IEEE802.3
ネットワーク I/F	100BASE-TX / 1000BASE-T 自動切替え式 (RJ-45 コネクタ ツイストペアケーブル) MDI / MDI-X 自動切替え
対応プロトコル	TCP/IP

8.3 オプション・サプライ用品リスト

8.3.1 オプション

名称	型番	販売単位
搬送台	VJ17H-TBL	1セット (2台/セット、前後共通)
メディアサポート (搬送台増設ローラー)	VJ-1617H-RLR	1本
メディアリテーナ	VJ19-MRT	1セット
大容量インクパックアダプタ	VJ-HCIPADPT-UV8	1箱 (8個入り)
巻き取り装置 (30 kg 対応)	VJ16/19-TUP30	1箱 (1台入り)
電源ケーブル (アメリカ対応品)	VJ-AC15SA	1本
電源ケーブル (ヨーロッパ対応品)	VJ-AC10SE	1本
電源ケーブル (日本国内対応品)	VJ-AC15SJ	1本

参考

ソフトウェアサーバ RIP の詳細については、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

 [8.4 お問い合わせ先](#)

8.3.2 サプライ用品

(1) インクカートリッジ

名称	販売単位
インク (ブラック)	1本 (220 ml 入り)
インク (シアン)	1本 (220 ml 入り)
インク (マゼンタ)	1本 (220 ml 入り)
インク (イエロー)	1本 (220 ml 入り)
インク (ホワイト)	1本 (220 ml 入り)
インク (バーニッシュ)	1本 (220 ml 入り)
洗浄液	1本 (220 ml 入り)

インク、洗浄液の詳細については、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

(2) その他サプライ用品

名称	型番	販売単位
メンテナンス液	VJ-ULVA1-ML500	1箱 (1個入り)
クリーンスティック	RH2 クリーンスティック	1箱 (100本入り)
ポリニットワイパー	POLYNITW2	1箱 (300枚入り)
スポイト	DROPPER 6PACK SET	1箱 (6個入り)
VJ-1638 エコソル用フラッシング吸収材	VJ16STG-FB-SO3	1箱 (3個入り)
VJ用アダプタープラグ	VJ-HCIPAR	1箱 (20個入り)

注 記

以下のサプライ品の詳細については お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

- 廃液ボトル
I 8.4 お問い合わせ先

8.4 お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- 住所：〒 154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3
- TEL：☎ 0120-174911
- FAX：☎ 0120-184711
- E-mail：gsup@mutoh.co.jp
- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

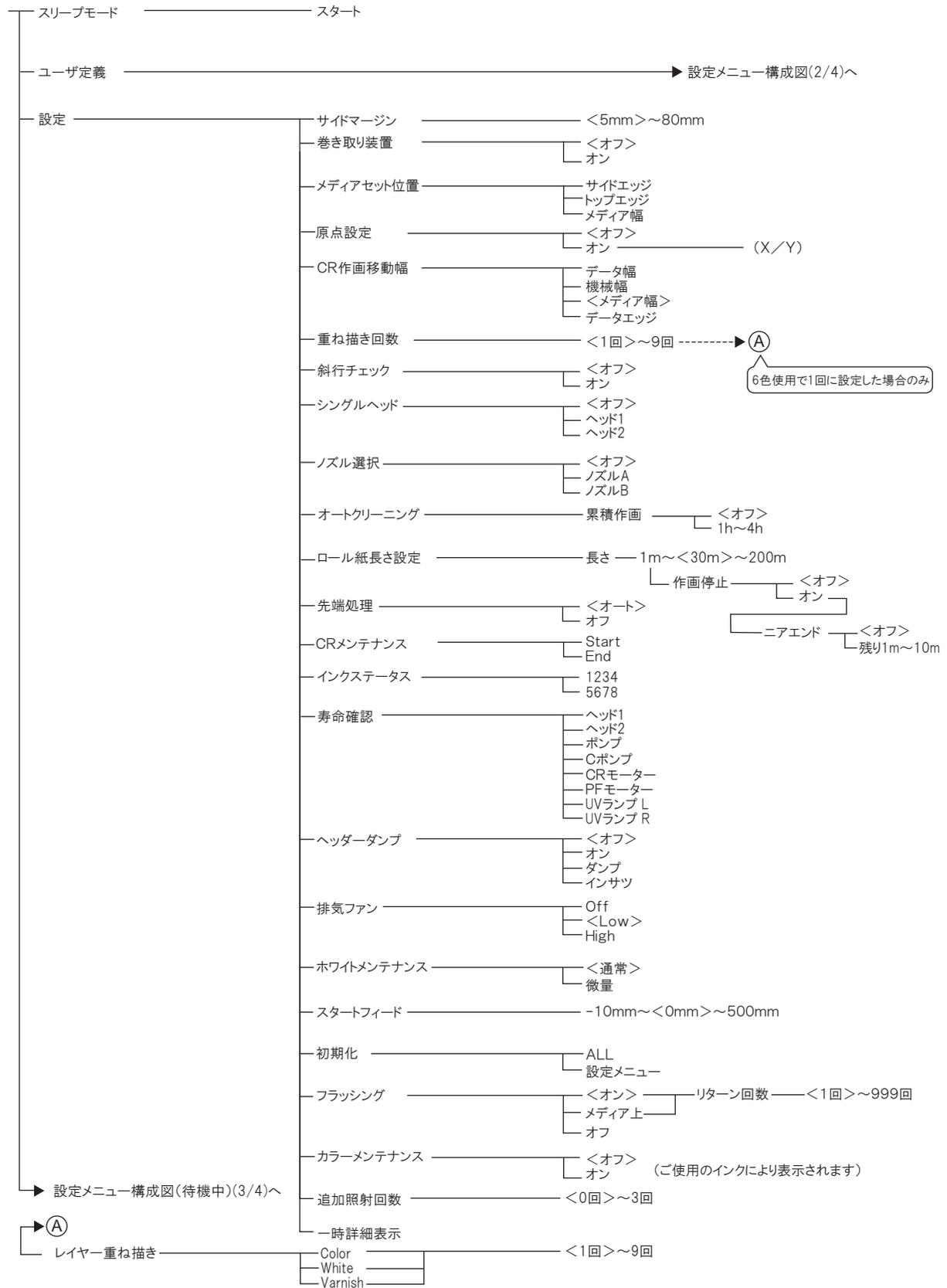
9 設定メニュー構成図

設定メニュー構成図については、以下を参照してください。

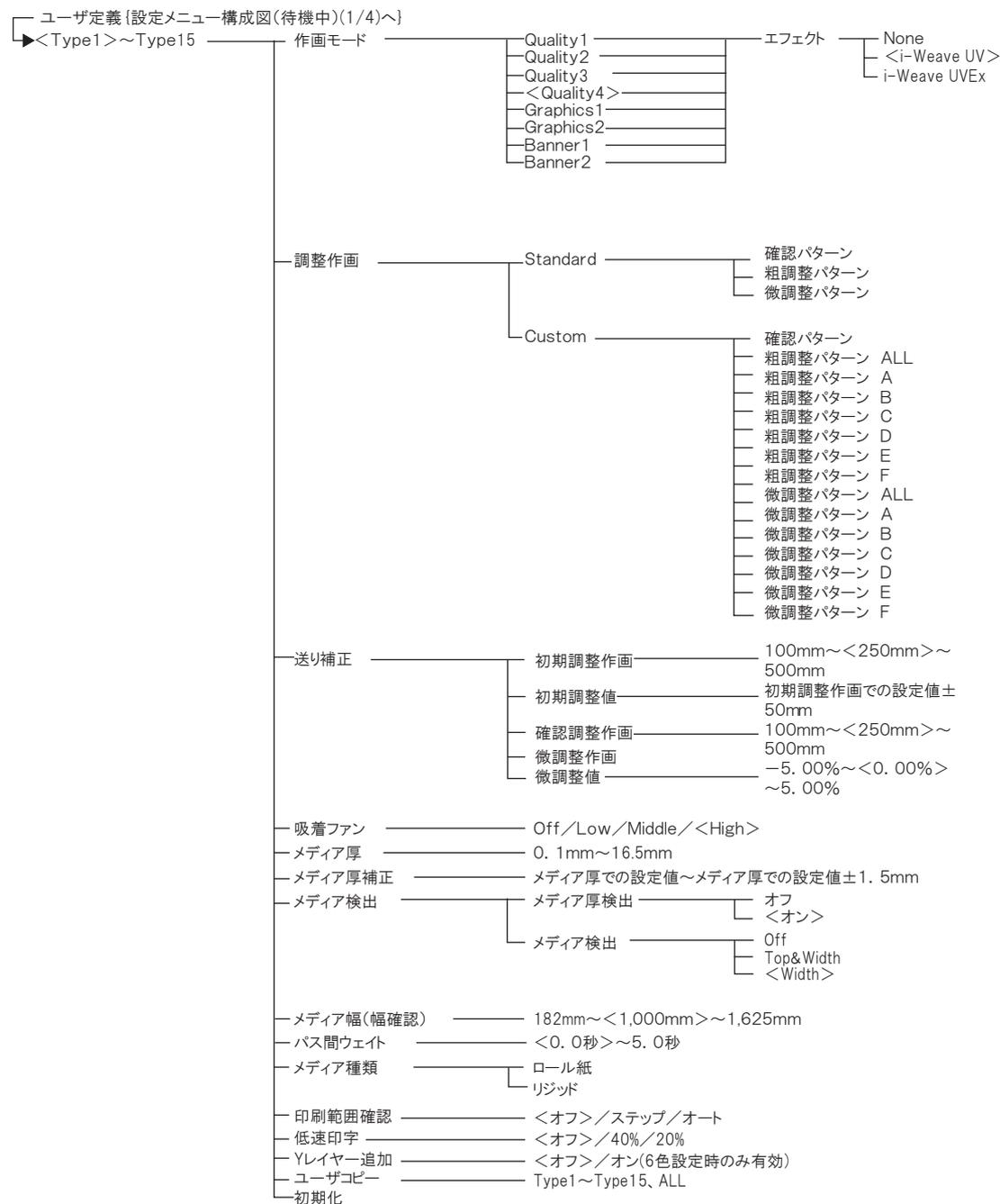
注 記

- 各設定項目の詳細については、以下を参照してください。
 - 設定メニュー（待機中）：
☞ [5 パネル設定メニュー](#)
 - 設定メニュー（データ受信・データ解析中・作画中）：
☞ [4.4.4 印刷中の設定値変更・確認](#)
- < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。
-

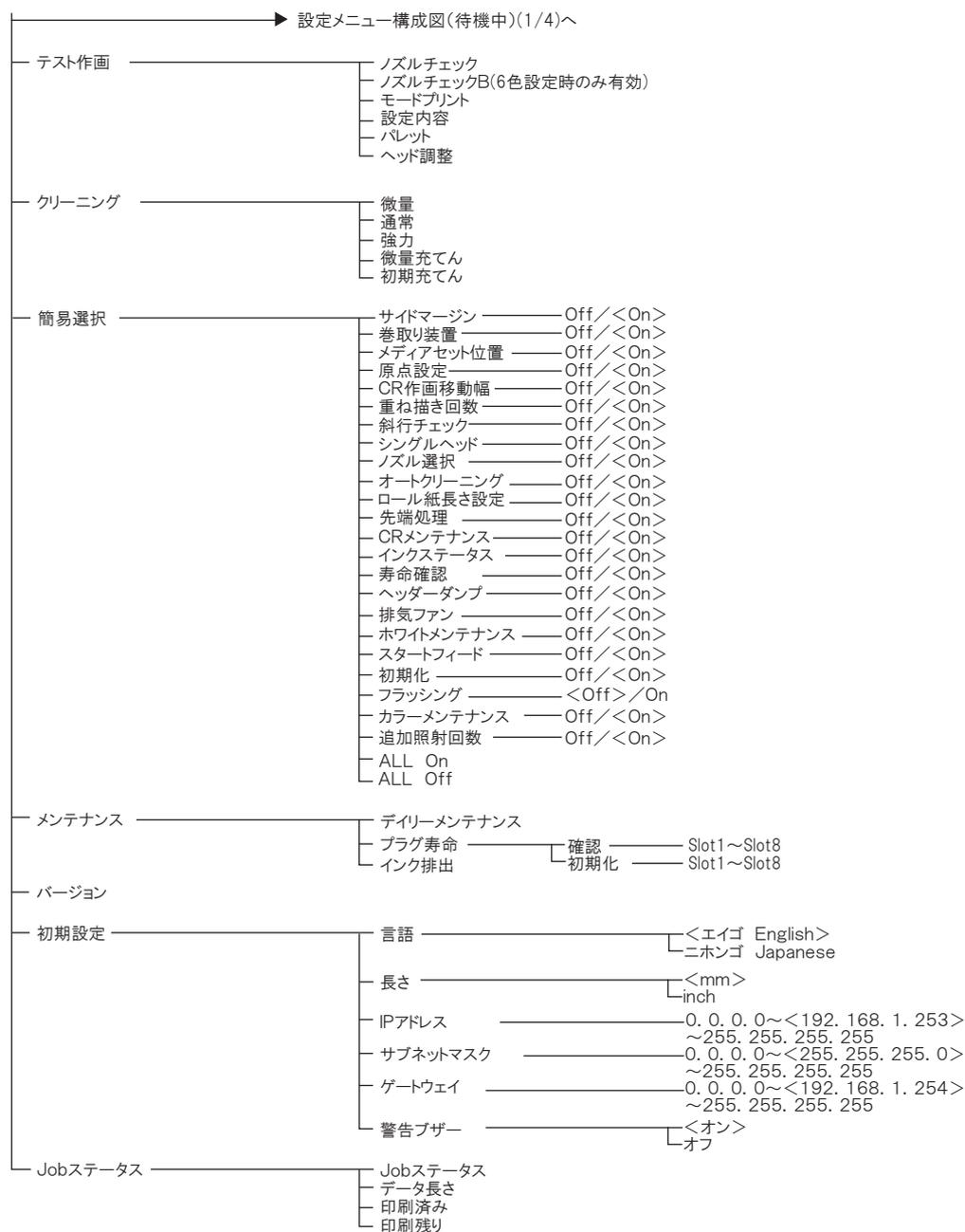
設定メニュー構成図 (待機中) (1/4)



設定メニュー構成図（待機中）（2/4）



設定メニュー構成図 (待機中) (3/4)



設定メニュー構成図 (データ受信中・データ解析中・作画中)



改訂履歴

管理情報

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2020年10月	00	VJ1638UH2J-A-00	V.1.13
2020年11月	01	VJ1638UH2J-A-01	V.1.13
2021年2月	02	VJ1638UH2J-A-02	V.1.13
2021年9月	03	VJ1638UH2J-A-03	V.1.16以降



技術サポートお問い合わせシート

プリンタの運用で技術的にお困りのことがございましたら、この用紙をコピーして太枠内の必要事項をご記入の上、下記FAX番号にお送りください。担当者がFAXまたはお電話で回答いたします。

武藤工業株式会社

カスタマーサポート

FAX 0120-184711

問い合わせ

年

月

日

回答

年

月

日

貴社名

TEL

FAX

部署名

御担当者

様

お問い合わせ内容

お問い合わせ製品名： VJ-1638UH Mark II

(どの様な操作をしたら： どの様な現象が起きたか： プリンタのエラー表示は： 詳しく記入してください)

回答欄

(カスタマーサポート担当者氏名：)

(別紙回答： 有・無)

武藤工業株式会社

国内営業部 カスタマーサポート

〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3

TEL : 0120-174911 FAX : 0120-184711

MUTOH

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000 (大代表)

- お問い合わせは
MUTOHホームページ (<http://www.mutoh.co.jp/>)
 - 製品案内 (<http://www.mutoh.co.jp/products/index.html>)
 - 製品サポート (<http://www.mutoh.co.jp/support/index.html>)